

厚生労働省 平成 27 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
「児童相談所における児童買春、児童ポルノ被害児童への
対応状況に関する研究」
報告書

2016 年 3 月

「児童相談所における児童買春・児童ポルノ被害児童への
対応状況に関する調査研究事業研究会」編

はじめに

児童買春、児童ポルノ禁止法が施行された1999年から、16年以上の年月が経ったが、2015年度の児童ポルノ被害は過去最悪を記録した。警察庁によると、小学生以下の被害児童は144人に及び、そのうち約半数が強制わいせつなどの被害を受け、その様子を撮影されていたという。児童買春においては、JKビジネスと呼ばれる新たな形態の“ビジネス”が各地に生まれていたり、またスマートフォンで簡単に使用できる出会い系アプリなどを温床として、児童が買春に巻き込まれるなど様々な犯罪被害が生じている。

このような現況の中、本調査は全国の児童相談所が把握する子どもたちの被害事例を掘り下げ、そこから見える現行体制の課題や限界を探り、今後の在り方を模索することを目的とした、児童買春、児童ポルノの被害の実態についての初めての全国的な調査と言えるのではないか。今回は児童相談所での取組を通じて見えてきた子どもたちへの被害実態の調査であるが、本調査を契機として、全国規模での調査を引き続き実施されることが望まれる。調査対象を警察や学校(小学校～大学)や児童養護施設、自立援助ホームなどにも広げ、今子どもたちが置かれている現状を的確に把握し、政策に反映させることで1日も早く児童買春、児童ポルノ被害がなくなることを願う。

私たちNPOは、相談に繋がった子どもたちや若者の話を聞く中でいつも感じていたジレンマがある。幸いにもこのような相談窓口を得て、内なる声を上げられたことで周りが被害に気づけた子どももいる。しかし知識も経験も乏しい子どもたちが、自分の置かれてきた状況を振り返り、児童ポルノをはじめとする犯罪被害に遭っていると認識し、支援先を探し、SOSを自ら発することは容易なことではない。NPOとして活動を続けてきた我々としては、実際の被害の全体像がわからないまま、たまたま繋がった相談や通報を頼りに活動をしていくても、本来届けるべきところに必要な支援は届かず、声なき声をキャッチできずにいるのでは、との意識が長らくあった。

本報告にある児童相談所という場での職員の取り組みを見てきた中で、多くの職員が、様々な困難を抱えながらも目の前の子どもたちと向き合ってきたことがわかる。子ども自身が語ることをしなかったり、短い保護や介入の期間では紐解かれないものも多いと推測される。しかし今回協力してくださった児童相談所の関係者を通じて、初めて性的搾取の被害を受けた子どもたちが置かれている背景と現状が見えてきた。この調査から、真に社会がこうした児童への暴力を認識し、効果的な予防対策を打ち出し、児童買春・ポルノの被害児童への支援の枠組みができるこことを切に願う次第である。

(特非)人身取引被害者サポートセンターイトハウス

藤原 志帆子

厚生労働省 平成 27 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
「児童相談所における児童買春、児童ポルノ被害児童への対応状況に関する研究」

報告書

目次

はじめに

第 1 章 事業の概要と調査に関する手続き	2
第 1 節 本事業の概要	2
第 2 節 調査の手続き	2
第 2 章 アンケート分析	8
第 1 節 研究の概要と回収率	8
第 2 節 回答者	10
第 3 節 事例	15
第 4 節 アンケート調査からいえること	55
第 3 章 質的分析	57
第 1 節 プロセス分析	57
第 2 節 内容分析	90
第 3 節 調査結果まとめ	95
第 4 章 考察	101
第 1 節 児童買春、児童ポルノ被害の実態と児童の生活環境	101
第 2 節 児童相談所における児童買春、児童ポルノ事例への対応の実態	112
第 5 章 提言	119
第 1 節 民間団体からの提言	119
第 2 節 提言—実態調査を通して見えてきた課題の解決に向けて—	124
おわりに	
資料編	129
1) アンケート調査	131
2) インタビュー調査	196

厚生労働省 平成 27 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

「児童相談所における児童買春、児童ポルノ被害児童への
対応状況に関する研究」

報告書

第1章 事業の概要と調査に関する手続き

武子 愛

第1節 本事業の概要

1) 事業名

厚生労働省 平成27年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「児童相談所における児童買春、児童ポルノ被害児童への対応状況に関する研究」

2) 事業実施目的

初期対応の段階から高い専門性を必要とする児童買春、児童ポルノの問題に関して、被害児童の被害を把握して初期対応する機関および個人と、児童相談所との連携プロセスを探ることを目的とする。

3) 事業内容

本事業は2つの調査研究によって行う。

事業1：児童相談所における児童買春、児童ポルノ被害対応プロセスに関する調査（ヒアリング調査）

平成26年度福祉行政報告例にて報告された「児童買春等被害相談」35件に対応した児童相談所児童福祉司に対し、半構造化面接にてヒアリング調査を実施、その詳細（経緯、背景、重複する生活問題等）および当該ケースにおいてとられた対応について明らかにする。

事業2：児童相談所における買春、ポルノ被害に関する実態調査（アンケート調査）

全国児童相談所の全児童福祉司約2800名に対し、郵送によるアンケート調査を実施、福祉行政報告例において「児童買春被害」「児童ポルノ被害」に関する定義がなかったために把握されていなかった児童買春、児童ポルノ被害が含まれたケースの有無を児童の行動レベルで定義して把握し、「児童買春被害」「児童ポルノ被害」が含まれたケースの傾向を明らかにする。

4) 事業の効果および活用方法

「被害」として明確化されていない児童買春、児童ポルノ問題について、有効な支援方法を考えていく上で重要な基礎資料となるデータを収集できる。

研究の知見をもとに、初期対応の段階から高い専門性を必要とする児童買春、児童ポルノ被害に関し、①被害児童への対応状況、②初期対応する団体・機関スタッフと児童相談所との連携の現状と課題を整理する。そのうえで、児童買春、児童ポルノ被害の予防と被害発生後の迅速かつ有効な支援方法を確立するための検討を行い、対応方策・連携プロセスに関する政策提言をする。

第2節 調査の手続き

1) 調査の背景

児童買春、児童ポルノの問題は1990年に児童相談所における虐待件数の調査からその一部として把握されてきた問題であった。その後1994年子どもの権利条約批准、1999年児童買春、児童ポルノ禁止法制定、2000年児童虐待防止法制定、などの法律の変遷を経て現在に至り、現在では「児童買春等被害相談」という項目で児童買春、児童ポルノ被害を含む事例の件数を把握できるようになった。しかし児童買春、児童ポルノ被害

に焦点を当て、どのようなプロセスを経て児童相談所につながり、どのような対応がとられたのかを明らかにする調査が行われたことはない。本事業では児童買春、児童ポルノの被害児童を誰がどのように発見し、どのように児童相談所とつながり、どのような対応、どのような支援がとられているのかを把握する。

2) 事業1 ヒアリング調査について

①調査の背景

児童買春被害は児童の心にトラウマを残し、児童ポルノはネット上にいつまでも画像が残り続け被害が延々と続くという被害の特殊性がある。しかし社会では買春被害を受けた児童や、児童ポルノの被写体となった児童を明確に「被害者」と認識しておらず、児童は被害者であるという当事者性に欠けている場合も多い。そのように「被害」と明確化されていないこの問題について、被害者になる児童はどのような状況からこの問題と関わり、どのような団体、機関、個人が児童相談所につなげて解決を図ったのかを探ることは、今後有効な支援を考えるうえで重要な基礎資料となると考える。

②調査対象

平成26年度福祉行政報告例で「(再掲)児童買春等被害相談」で把握されている35件のケースを担当した児童福祉司

※今回、ヒアリング調査を行うにあたり、実際に具体的な相談対応が行われたケースは17件であったことが判明したため、当該17件を対象にヒアリングを行っている。

③調査期間 2016年2月15日～3月15日まで

④調査の手続き

調査開始前に、依頼元である厚生労働省より平成26年度福祉行政報告例にて「児童買春等被害相談」に該当ケースがあるとした児童相談所の連絡先の提供を受けた。ヒアリング調査は短時間ですべて訪問できるよう外部調査員を委託雇用し、契約をした。外部調査員には委託先である株式会社朝日エル内にて研修を行い、調査の概要と当日のヒアリングについて説明を行っている。ヒアリング先17件に対し、研究会調査員が参加できたものは7件、外部調査員のみで行ったものが10件である。

⑤調査の方法

当日は研究会で作成したインタビューガイドに沿って進められた。調査時間中は、児童相談所所長の許可を得てヒアリングに協力いただいた児童福祉司の同意のもと、すべて録音とメモを行った。また、短い調査時間では聞き取れない被害児童の基礎的なデータは、事前に調査主旨を説明する文書とともに調査フォームを郵送し、記入していただき情報を収集した。ヒアリング当日は質問主旨の理解のために調査者が調査フォームを示しながら、調査を行っている。なお、調査フォームは当日回収した。

⑥倫理的配慮

事前に調査主旨と同意書、倫理的配慮に関する書面を送付した。そのうえで、ヒアリング調査当日に、調査員が担当児童福祉司とともに、以下の点を再確認しながら説明を行い、説明後に同意書にサインをいただいた。

- ・録音データの書き起こしは、データにパスワードロックをかけ、インターネットに接続できない外付けハードディスクへ保管すること
- ・メモ、書き起こしプリントアウトは調査を請け負う株式会社朝日エル内で厳重に保管すること

- ・音声録音データは、報告書作成後 1 年間保管後、責任をもって消去すること
- ・調査結果は厚生労働省に報告書として提出されること
- ・厚生労働省の許可のもと、さらなる分析結果が関連学会で発表されることもあること
- ・児童相談所名称、所在地を含め、ヒアリング協力者、ヒアリング内で語られた人物すべての個人が特定できないように匿名化し、対象となる個人や組織の構成に対する人権の擁護に十分配慮すること

3) 事業 2 アンケート調査について

①調査の背景

本事業は 2 つの背景から行われた。一つは、児童買春、児童ポルノの定義は定まっていないということである。現状、福祉行政報告例における児童相談所への調査において児童買春、児童ポルノ被害を含む事例を把握する際は「児童買春等被害相談」として「各種相談のうち児童買春等の被害に関する相談について再掲すること」とのみ記されており、どのような児童の行動が児童買春、児童ポルノに該当するのかの定義は回答者に委ねられている。このような回答指示の場合、調査者側の範疇外にある児童買春、児童ポルノの幅広い事例が把握できるメリットがある反面、回答者によって回答に差異が生じる可能性がある。定義づけを行い再度検討することによって、これまで見えてくることのなかった傾向を明らかにすることができます。

もう一つは、児童買春、児童ポルノ被害事例における特殊性の問題がある。児童買春、児童ポルノ問題は複合的な要因から起こっていることが多いと推測される。その行動の背景にあるものが何であるのかは、現在の統計からは把握することができない。

上記 2 つの理由から、統計に書き表しきれずに見逃されていた児童ポルノ、児童買春の問題の傾向を明らかにしていくことは、今後の有効な支援方法を考えるうえで重要な基礎資料となると考える。

②調査対象 全国の児童相談所において児童福祉司発令が行われた者 2934 名（平成 27 年 4 月 1 日現在）

③調査期間 2016 年 2 月 1 日～2 月 15 日まで

④調査の方法

本調査は郵送法によるアンケート調査によって行う。回答者の負担軽減のため、各児童福祉司が担当した事例のみに絞り、平成 27 年度上半期分（平成 27 年 4 月～9 月）のケースを振り返ってもらい、児童買春、児童ポルノ被害が含まれると思われる事例についてケースの詳細を事例件数分答えてもらう。

アンケートは各児童相談所へ所属児童福祉司分を一括で郵送した。あわせて、返信用のレターパックを同封し、回答後児童相談所ごとにまとめて回答用紙の返送を求めた。

⑤調査項目

同時並行で行ったヒアリング調査との比較検討を行うことを踏まえ、以下 7 点を調査項目としている。

- 1, ケース詳細（概要）
- 2, 初期対応機関、団体、個人の把握
- 3, 被害児童の生活課題と被害児童を取り巻く環境
- 4, ケースに対して行った対応
- 5, ケースに対して行った援助
- 6, ケースの刑事事件化
- 7, ケース対応時の困難
- 8, 必要と考えられた社会資源

⑥本調査で用いた児童買春、児童ポルノの児童の行動規定

本調査で使用する児童買春、児童ポルノの定義は、「児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び罰則並びに児童の保護等に関する法律」における以下の文言を用いた。

「児童買春」：「次の各号に掲げる者に対し、対償を供与し、又はその供与の約束をして、当該児童に対し、性交等（性交若しくは性交類似行為をし、又は自己の性的好奇心を満たす目的で、児童の性器等（性器、肛門又は乳首をいう。以下同じ。）を触り、若しくは児童に自己の性器等を触らせることをいう。以下同じ。）をすることをいう。

一 児童

二 児童に対する性交等の周旋をした者

三 児童の保護者（親権を行う者、未成年後見人その他の者で、児童を現に監護するものをいう。以下同じ。）又は児童をその支配下に置いている者」

「児童ポルノ」：「写真、電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。以下同じ。）に係る記録媒体その他の物であって、次の各号のいずれかに掲げる児童の姿態を視覚により認識することができる方法により描写したもの」

一 児童を相手方とする又は児童による性交又は性交類似行為に係る児童の姿態

二 他人が児童の性器等を触る行為又は児童が他人の性器等を触る行為に係る児童の姿態であって性欲を興奮させ又は刺激するもの

三 衣服の全部又は一部を着けない児童の姿態であって、殊更に児童の性的な部位（性器等若しくはその周辺部、臀部又は胸部をいう。）が露出され又は強調されているものであり、かつ、性欲を興奮させ又は刺激するもの」

上記定義を用いた上で、民間支援団体でのグループインタビューにおいて、児童買春、児童ポルノにおける児童の行動規定を行った。挙げられた項目を調査員2名で整理し、以下のようにまとめた。

◆児童買春について

(a) 相手方

- ・家族以外の大人
- ・同年代の児童
- ・その他

(b) 対償

- ・食事
- ・宿泊
- ・金品
- ・好意
- ・退屈しのぎ
- ・不明
- ・その他

(c) 行動

- ・性交、性交類似行為系（口、肛門、膣、不明）
- ・接触系（胸、乳首、臀部、肛門、性器、大腿部、不明）
- ・下着を売る

◆児童ポルノについて

(a) 撮影者

- ・交際相手
- ・保護者
- ・第三者
- ・契約者
- ・不明
- ・その他

(b) きっかけ

- ・仕事（モデル、ジュニアアイドル）
- ・恋愛（交際中に撮影される）
- ・性的虐待（親、交際相手以外の第三者）
- ・不明
- ・その他

(c) 行動

- ・自分で撮影
- ・他人に撮影された（同意なし）
- ・他人に撮影された（同意あり）

(d) アクセス経路

- ・SNS、メール、Lineなど、第三者が簡単にみられる状態にする（同意なし）
- ・SNS、メール、Lineなど、第三者が簡単にみられる状態にする（同意あり）
- ・単純所持
- ・その他

このまとめを元に研究者であるスーパーバイザーと協議を行い、概念のあいまいな「好意」「退屈しのぎ」等を外し、他に考えられるものを付け加えて本調査のアンケートの選択肢を作成した。

本調査における児童買春、児童ポルノ被害に関する定義

「児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律」より

児童買春

次の各号に掲げる者に対し、**対償を供与し**、又はその**供与の約束**をして、当該児童に対し、**性交等**（性交若しくは性交類似行為をし、又は自己の性的好奇心を満たす目的で、児童の性器等（性器、肛門又は乳首をいう。以下同じ。）を触り、若しくは児童に自己の性器等を触らせる）ことをいう。以下同じ。）をすることをいう。

一 児童

二 児童に対する性交等の斡旋をした者

三 児童の保護者（親権を行う者、未成年後見人その他の者で、児童を現に監護するものをいう。以下同じ。）又は児童をその支配下に置いている者

児童ポルノ

写真、電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。以下同じ。）に係る**記録媒体その他の物**であって、次の各号のいずれかに掲げる児童の姿態を視覚により認識することができる方法により描写したもの）をいう。

- 一 児童を相手方とする又は児童による性交又は性交類似行為に係る児童の姿態
- 二 他人が児童の性器等を触る行為又は児童が他人の性器等を触る行為に係る児童の姿態であって性欲を興奮させ又は刺激するもの
- 三 衣服の全部又は一部を着けない児童の姿態であって、殊更に児童の性的な部位（性器等若しくはその周辺部、臀部又は胸部をいう。）が露出され又は強調されているものであり、かつ、性欲を興奮させ又は刺激するもの

本調査における児童買春、児童ポルノ被害と考えられる児童の行動規定

児童買春被害と考えられる児童の行動規定

(a) 相手方

- ・18歳以上の個人（家族を除く）
- ・18歳未満の児童

(b) きっかけ

- ・自分から
→ SNS、アプリ等のインターネットを通じて
- ・JC・JKビジネス
- ・家族による斡旋
- ・交際相手、知人、友人による斡旋
…等

(c) 対償

- ・食事
- ・宿泊
- ・金品
- ・好意
- ・退廻しのぎ
…等

(d) 行動

- ・性交・性交類似行為（口、肛門、膣）
- ・相手方が児童の身体を触る（胸、乳首、臀部、肛門、性器、大腿部、手、その他）
- ・相手方が自己の身体を触らせる（胸、乳首、臀部、肛門、性器、大腿部、手、その他）
- ・下着を売る
- ・性的な接触は確認されないが、保護者・家族以外の大人と一緒に出掛けている…等

児童ポルノ被害と考えられる児童の行動規定

(a) 撮影を行った者

- ・交際相手
- ・家族
- ・個人（交際相手・家族除く）
- ・買春者
- ・法人
…等

(b) きっかけ

- ・恋愛（交際中に撮影される）
- ・性的虐待（保護者、監護者による）
- ・家庭内性暴力（きょうだい、親戚による）
- ・性犯罪被害（交際相手、保護者、監護者、きょうだい、親戚以外による）
- ・仕事（モデル、ジュニアアイドル）
…等

(c) 行動

- ・自分で撮影
- ・他人に撮影された
→ 本人の同意なし
→ 本人の同意あり
…等

(d) 記録媒体の頒布の有無

- ・SNS、メール、LineやDVDなどの媒体で、第三者が簡単にみられる状態にする
→ 本人の同意なし
→ 本人の同意あり
・単純所持される
…等

※(a)(b)(c)(d)群からそれぞれ1つ以上組み合わせる。

調查報告

第2章 アンケート分析

武子 愛・赤嶺 恵理・田中 元基

第1節 研究の概要と回収率

1) 調査の目的

今後有効な支援方法を考えていく上で重要な基礎資料とするため、児童相談所における児童買春、児童ポルノ被害が含まれた事例の傾向を明らかにする。

2) 対象

全国において児童相談所にて発令が行われた児童福祉司 2934 名

3) 調査方法

本調査は郵送法によるアンケート調査によって行う。回答者の負担軽減のため、各児童福祉司が担当した事例のみに絞り、平成27年度上半期分（平成27年4月～9月）の事例を振り返ってもらい、児童買春、児童ポルノ被害が含まれると思われる事例について事例の詳細を件数分答えてもらう。

回収は各児童相談所へ所属児童福祉司分の調査票を郵送、回答後児童相談所ごとにまとめて回答用紙の返送を求める。

4) 調査項目

同時並行で行ったヒアリング調査との比較検討を行うことを踏まえ、以下7点を調査項目としている。

- 1, ケース詳細（概要）
- 2, 初期対応機関、団体、個人の把握
- 3, 被害児童の生活課題と被害児童を取りまく環境
- 4, ケースに対して行った対応
- 5, ケースに対して行った支援
- 6, ケースの刑事事件化
- 7, ケース対応時の困難
- 8, 必要と考えられた社会資源

5) 調査設計にあたり参考にしたもの

なお、質問項目の選択肢については、2つのグループインタビューおよび2つの報告書を参考にしている。

1, 児童相談所児童福祉司インタビュー（主に「つないだ機関」「ケース対応時の困難感」「必要な社会資源」の選択肢作成のため）

調査票設計時に入職5年以上の経験を持つ児童福祉司4名のグループインタビューから選択肢を作成。グループインタビューに同席した研究者2名によって統合化作業を行っている。

2, 民間支援団体による「児童買春被害」「児童ポルノ被害」の定義検討インタビュー

アンケート調査設計段階で、売買春を含む性被害を受けた10代の児童たちを支援している民間支援団体の支援員8名にて児童買春被害、児童ポルノ被害の定義を行った。統合化作業は同席していた研究者1名と他2名の研究者によって行われ、さらにスーパーバイザーの指導を受けた。結果、買春の代償として「宿泊」「食事」が挙がるなど、現場では法律によらず児童の実態に即して被害を定義している様子がうかがわれた（詳細は第1章にて先述した通り）。

3. 報告書

選択肢作成のため以下 2 本の報告書を参考にしている。

1, 一般財団法人こども未来財団『平成 25 年度児童関連サービス調査研究等事業報告書「児童虐待ケース分析等に関する調査研究」結果報告書』(平成 26 年 3 月)

2, 全国児童相談所所長会『「全国児童相談所における子どもの性暴力被害事例(平成 23 年度)」報告書』(平成 25 年 7 月)

6) 回収状況

◆回収率

78.3% (2297 名)

◆児童買春、児童ポルノ被害を含む事例の把握数

266 件

7) 留意点

◆事例数に比べて選択肢が多いため、クロス集計を行うと回答数が少なくなる。そのため、今回は明確な傾向を見ることはできない。明確な傾向とは言えないが、言及する選択肢の回答者が複数人見受けられるクロス集計を掲載している。

◆本調査はヒアリング調査と同時進行で行ったものである。そのため選択肢作成での検討が十分ではなく、その他の回答が多く集まったアンケート調査となった。しかしその他の記載は調査開始段階では予想していなかった事柄の発見につながると考え、その他の記載をすべてローデータのまま掲載した。また、掲載にあたって研究者 2 名でおおまかな分類作業を行っている。

◆クロス集計を行うにあたっては、問題の明確化を図る目的でカテゴリーの統合を行っている。1つは児童の学力である。アンケートでは「低い」「やや低い」「普通」「やや高い」「高い」計 5 段階で選択肢を設けた。これを、「低い+やや低い」「普通」「やや高い」の 3 分類に統合している。もう 1 つは、障害の有無である。障害の有無は、アンケートでは「なし」「発達障がい」「知的障がい」「精神障がい」「身体障がい」「知的に境界域」「不明」計 7 選択肢を設けた。児童買春、児童ポルノ被害は、状況判断のむずかしさが課題となることから、そこに課題を持つと予想される「知的障害・知的境界域」を 1 つに統合し、「その他の障害」「なし」「不明・無回答」と分けた。「知的障害・知的境界域」と重複してその他の障害を持つ事例も 9 事例あったが、それらは「その他の障害」には入れずに「知的・知的境界域」に統合した。

第2節 回答者

1)回答者の属性

- ◆回答者は性別、年齢とも偏りがなかった。
- ◆経験年数については半数以上が3年未満となっている。
- ◆研修会は参加したことがないとする回答者が8割強である。

表 2-2-1 回答者の属性

	項目	N	%	合計
性別	男性	1098	47.8	
	女性	1168	50.8	
	その他	1	.0	
	無回答	30	1.3	
年齢	20~24 歳	65	2.8	
	25~29 歳	375	16.3	
	30~34 歳	353	15.4	
	35~39 歳	323	14.1	
	40~44 歳	363	15.8	
	45~49 歳	335	14.6	
	50~54 歳	243	10.6	
	55~59 歳	156	6.8	2297(100.0%)
	60 歳以上	57	2.5	
	無回答	27	1.2	
経験年数	1~3 年	1183	51.5	
	4~6 年	559	24.3	
	7~10 年	317	13.8	
	11~15 年	117	5.1	
	16 年以上	68	3.0	
	無回答	53	2.3	
	参加したことがある	269	11.7	
研修会参加	参加したことない	1996	86.9	
	無回答	32	1.4	

2) アセスメント時の意識と研修会参加

◆アセスメント時に児童買春、児童ポルノ問題を意識するかどうかについては、「いつも意識する」「年齢や性別によって意識する」をあわせて児童買春は7割、児童ポルノは6割強が意識するとなっており、意識が高いことがうかがわれる。

表 2-2-2 アセスメント時の児童買春・児童ポルノ被害への意識

	児童買春		児童ポルノ		合計
	N	%	N	%	
いつも意識する	178	7.7	201	8.8	
年齢や性別によ って意識する	1478	64.3	1326	57.7	
あまり意識する ことはない	433	18.9	558	24.3	2297(100.0%)
ほとんど意識し ない	116	5.1	125	5.4	
わからない	54	2.4	53	2.3	
無回答	38	1.7	34	1.5	

◆事例数については、把握している回答者が9.7%，恐れのある事例を把握している回答者が8.2%と、共に全体の1割程度の回答者が事例を把握していることが明らかになった。

表 2-2-3 児童買春、児童ポルノ問題が含まれている事例の把握数

	児童買春、児童ポルノ問題が含まれて いることを把握している事例数		児童買春、児童ポルノ問題が含ま れている恐れのある事例の数		合格
	N	%	N	%	
なし	2047	89.1	2044	89.0	
1件	191	8.3	143	6.2	
2件	25	1.1	36	1.6	2297(100.0%)
3件	5	.2	4	.2	
3件以上	2	.1	4	.2	
無回答	27	1.2	66	2.9	

※把握件数3件以上は、「4」1件、「7」1件

※恐れのある事例の数3件以上は、「4」1件、「5」2件、無回答1件

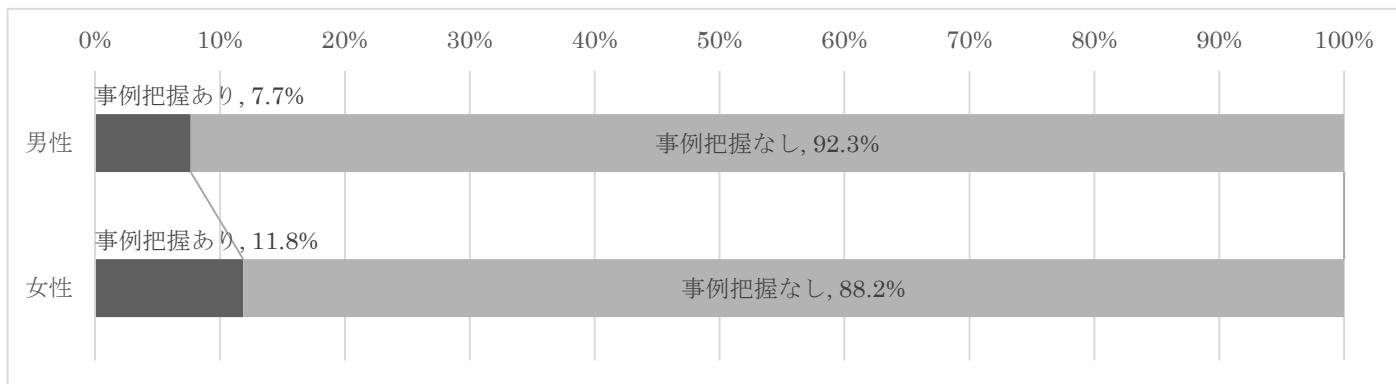
3) 回答者の性別×事例把握

- ◆回答者の性別と事例の把握でクロス集計を行ってみると、事例の把握について、男性は 7.7%が、女性は 11.8%が「あり」としており、男性に比べて女性の方がやや把握している傾向が見られた。
- ◆被害の恐れのある事例に関しては、男女とも「あり」は 8.2%, 8.6%となっており、割合は同程度であった。

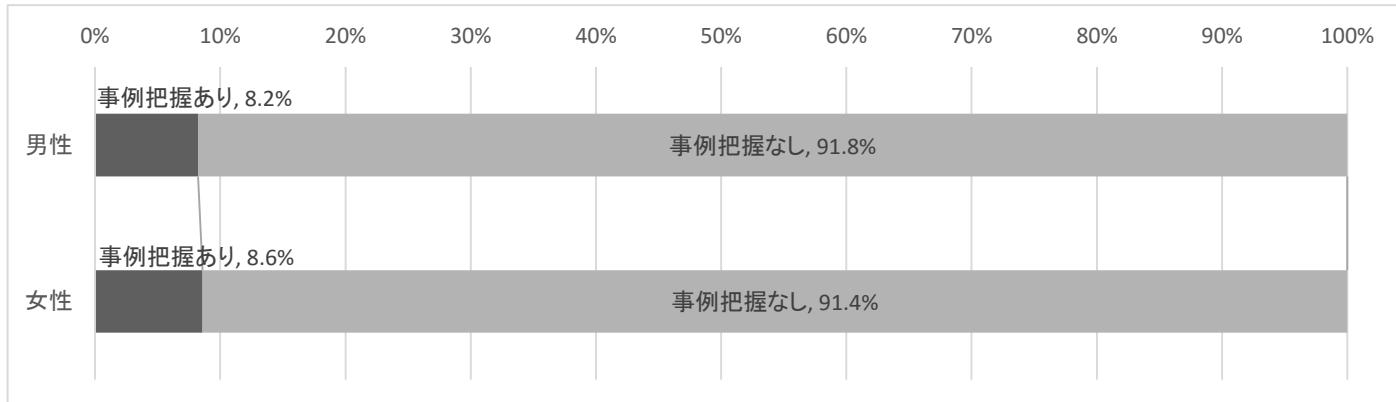
表 2-2-4 回答者の性別と事例の把握クロス集計表

性別		事例把握			被害の恐れのある事例把握			合計
		なし	あり	合計	なし	あり		
男性	N	1012	84	1096	992	89	1081	
	%	92.3%	7.7%	100.0%	91.8%	8.2%	100.0%	
女性	N	1027	138	1165	1044	98	1142	
	%	88.2%	11.8%	100.0%	91.4%	8.6%	100.0%	
その他	N	1	0	1	1	0	1	
	%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
合計	N	2040	222	2262	2037	187	2224	
	%	90.2%	9.8%	100.0%	91.6%	8.4%	100.0%	

※回答者の性別 × 事例の把握グラフ



※回答者の性別 × 被害の恐れのある事例把握グラフ



4) 研修会参加×事例の把握

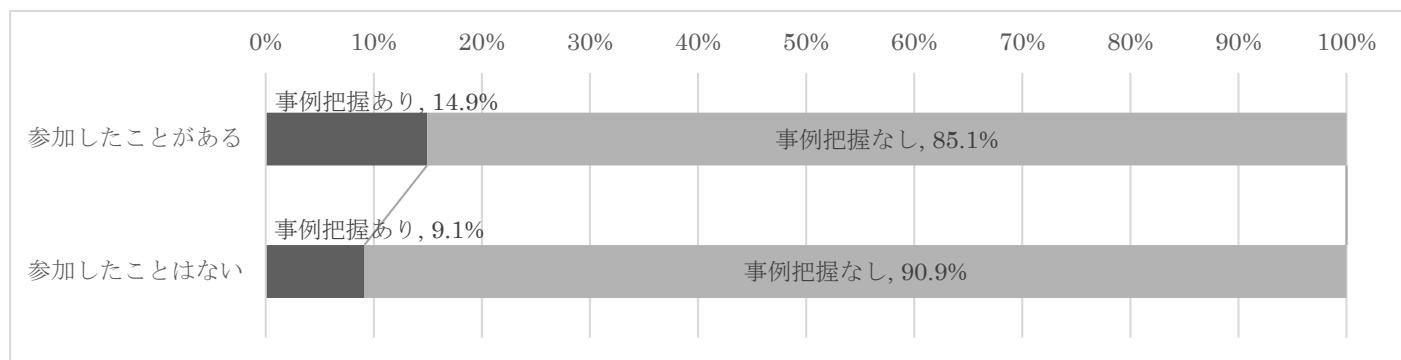
◆回答者の研修会参加と事例の把握でクロス集計を行ってみると、事例の把握について、「参加したことがある」とした回答者は 14.9%が、「参加したことはない」とした回答者は 9.1%が「あり」としており、研修会に参加していない回答者よりも参加した回答の方が把握している傾向が見られた。

◆被害の恐れのある事例に関しては、研修会に「参加したことがある」とした回答者は 14.3%が「あり」とした一方、「参加したことはない」回答者では「あり」は 7.6%にとどまっていた。このことにより研修会に参加した回答の方が参加していない回答者よりも、含まれている事例、含まれている恐れのある事例とも把握していることが明らかになった。

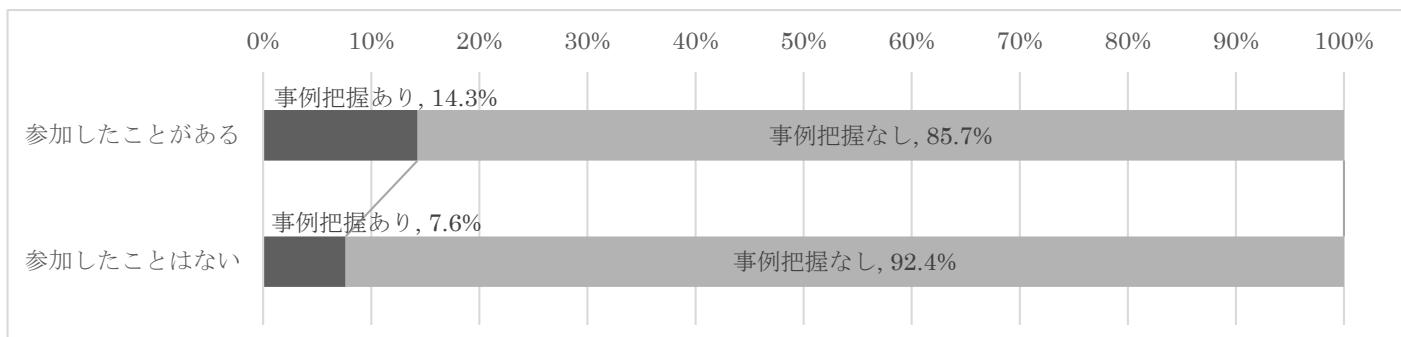
表 2-2-5 研修会の参加と事例の把握クロス集計表

	研修会参加	事例把握の有無		合計	被害の恐れのある事例把握		合計
		なし	あり		なし	あり	
研修会参加したことがある	度数 %	228 85.1%	40 14.9%	268 100.0%	222 85.7%	37 14.3%	259 100.0%
研修会参加したことない	度数 %	1810 90.9%	182 9.1%	1992 100.0%	1815 92.4%	150 7.6%	1965 100.0%
合計	度数 %	2038 90.2%	222 9.8%	2260 100.0%	2037 91.6%	187 8.4%	2224 100.0%

※研修会参加の有無×事例把握グラフ



※研修会参加の有無×被害の恐れのある事例把握グラフ



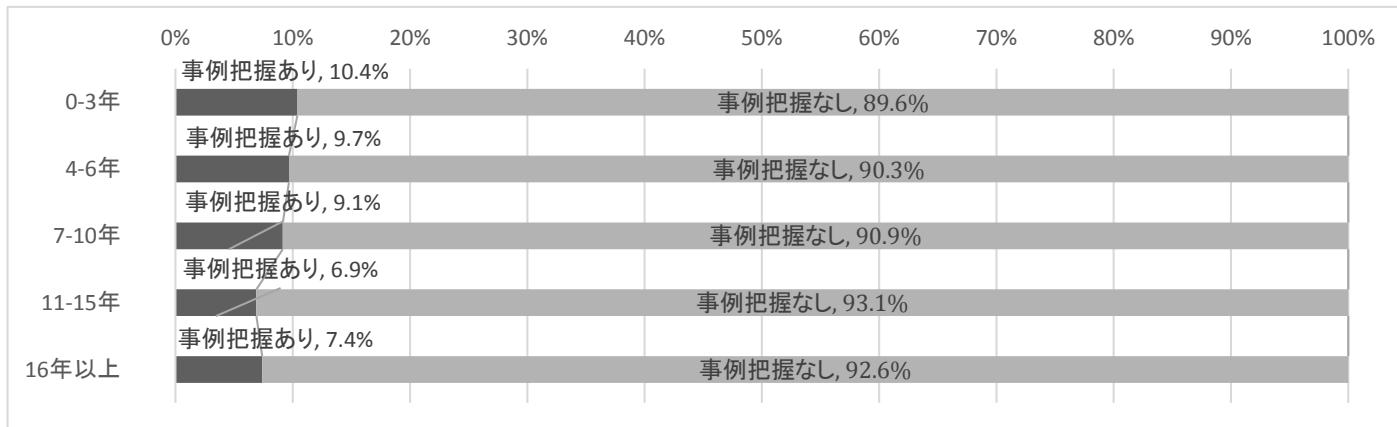
5) 経験年数×事例の把握

◆回答者の経験年数と事例の把握でクロス集計を行ってみると、含まれている事例、含まれている恐れのある事例とも経験年数が上がるにつれ、把握している率が下がっていく傾向が見られた。

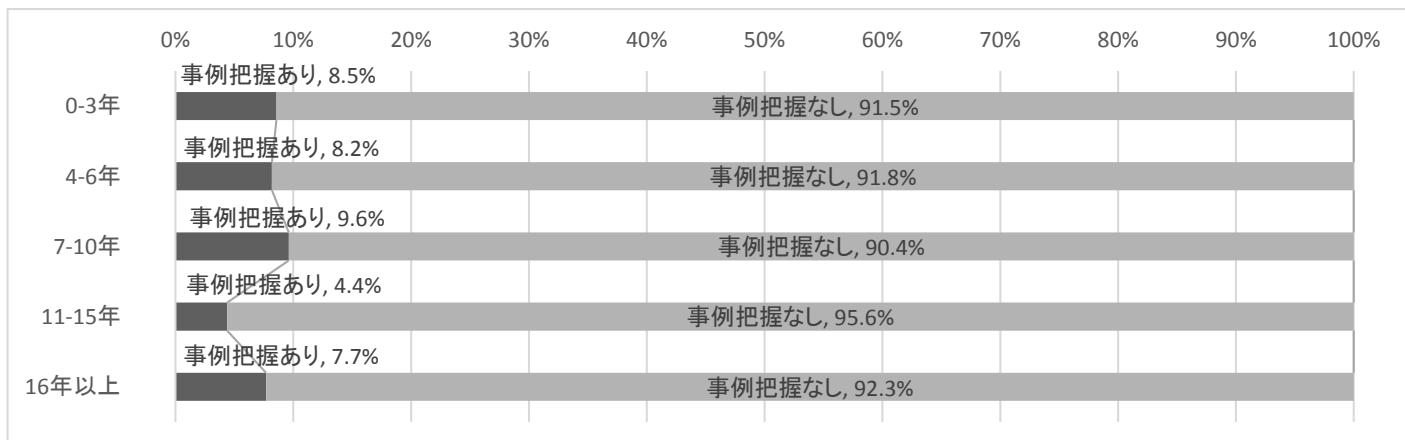
表 2-2-6 経験年数と事例の把握クロス集計表

経験年数		事例把握の有無		合計	被害の恐れのある事例把握		合計
		なし	あり		なし	あり	
0-3年	度数	1057	123	1180	1062	99	1161
	%	89.6%	10.4%	100.0%	91.5%	8.5%	100.0%
4-6年	度数	504	54	558	505	45	550
	%	90.3%	9.7%	100.0%	91.8%	8.2%	100.0%
7-10年	度数	288	29	317	282	30	312
	%	90.9%	9.1%	100.0%	90.4%	9.6%	100.0%
11-15年	度数	108	8	116	109	5	114
	%	93.1%	6.9%	100.0%	95.6%	4.4%	100.0%
16年以上	度数	63	5	68	60	5	65
	%	92.6%	7.4%	100.0%	92.3%	7.7%	100.0%
合計	度数	2020	219	2239	2018	184	2202
	%	90.2%	9.8%	100.0%	91.6%	8.4%	100.0%

※経験年数×事例把握グラフ



※経験年数×被害の恐れのある事例把握グラフ



第3節 事例

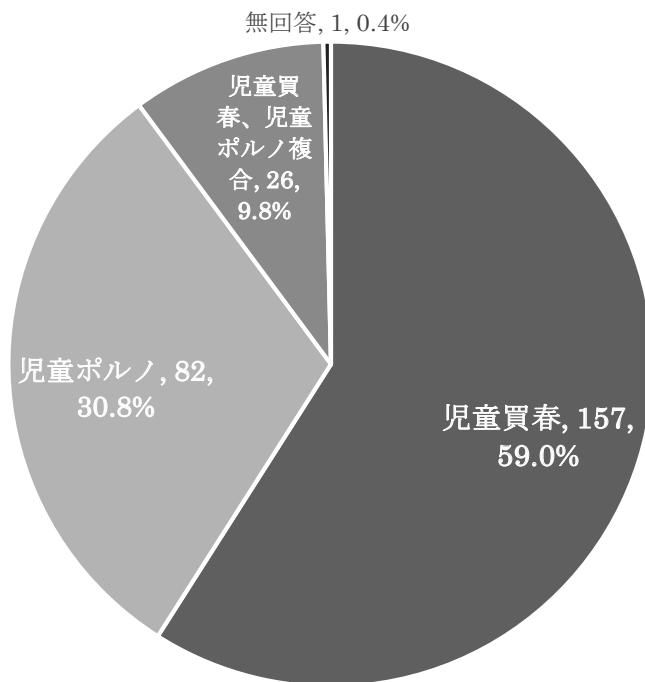
1) 被害の形態

◆回答者が把握している児童買春、児童ポルノ被害が含まれている事例の件数は、266件であった。回答者の11.5%，10人に1人以上が事例を把握していることになる。

◆児童買春、児童ポルノの割合では、59.0%が児童買春となっており、児童買春、児童ポルノ複合とあわせて全体の7割近くが児童買春被害となっている。

表 2-3-1 被害の形態

	N	パーセント
児童買春	157	59.0
児童ポルノ	82	30.8
児童買春、児童ポルノ複合	26	9.8
無回答	1	0.4
合計	266	100.0



2) 主な買春者

- ◆買春者は、18歳以上の個人が7割を超えている。
- ◆「その他」の記述には「不特定多数」、「近親者」等が記載されていた。

表 2-3-2 主な買春者 (N=児童買春 157件+児童買春、児童ポルノ複合型 26件+無回答 1件=184件)

買春者		N	ケースのパーセント
	18歳以上の個人(家族を除く)	136	73.9%
	18歳未満児童	19	10.3%
	不明	13	7.1%
	家族	11	6.0%
	その他	6	3.3%
	無回答	4	2.2%
合計		189	102.7%

※複数回答可のため、100%を超える

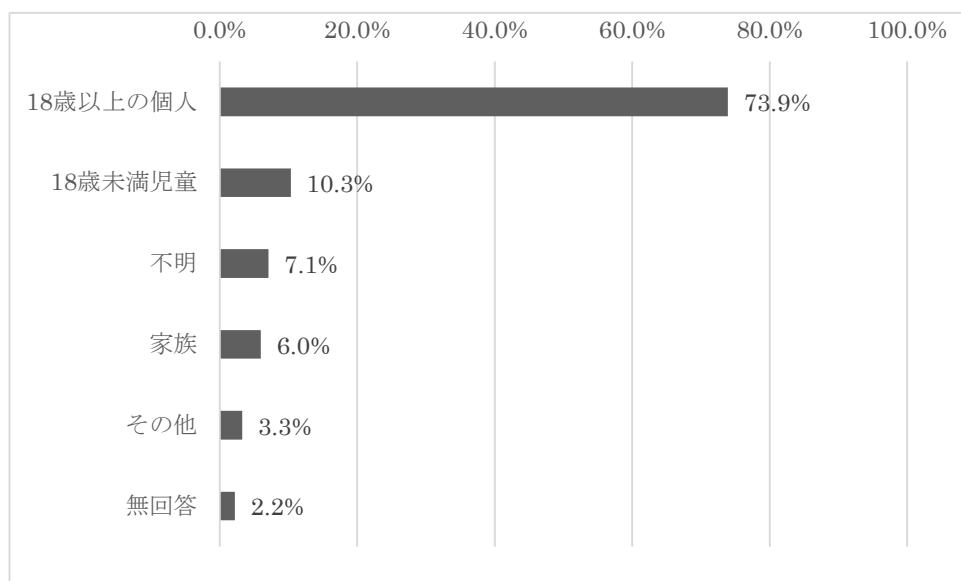


表 2-3-3 買春者の「その他」記述とその分類

分類	記載
近親者	親族 母の知人 母の知人
年齢不詳	SNSを通して知り合った男性
不特定多数	不特定多数 複数

3) 買春者との接触のきっかけ

◆買春者と接触したきっかけは「SNS, アプリ等ネットを通じて」が最も多く6割近い。次いで「その他」が多くかった。

◆その他記載を分類すると、「家族関係」「街で勧誘される」等が多かった。

表 2-3-4 買春者との接触のきっかけ(N=児童買春 157 件 + 児童買春、児童ポルノ複合型 26 件 + 無回答 1 件 = 184 件)

	N	ケースのパーセント
買春者との接 触のきっかけ	SNS, アプリ等ネットを通じて	108 58.7%
	その他	30 16.3%
	交際相手・知人・友人による斡旋	28 15.2%
	家族による斡旋	11 6.0%
	不明	10 5.4%
	JC・JKビジネス	6 3.3%
	無回答	3 1.6%
合計	196	106.5%

※複数回答可のため、100%を超える

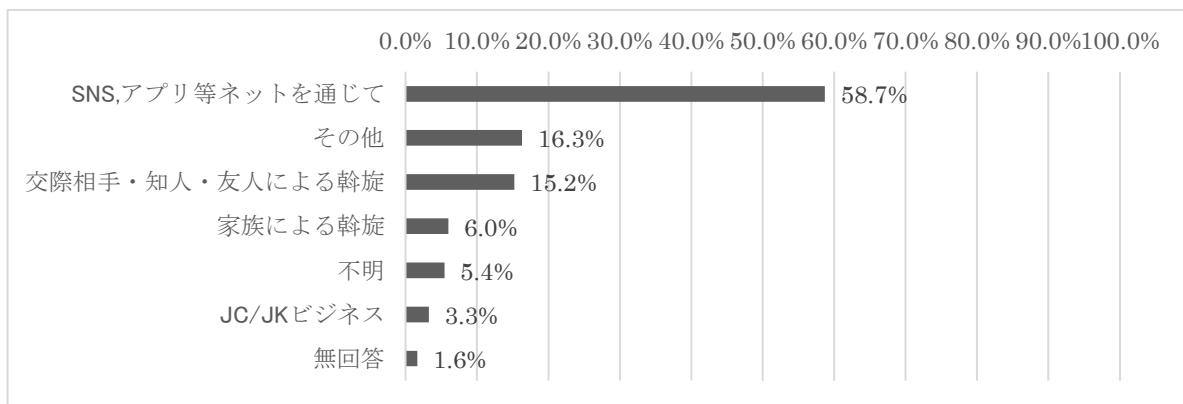


表 2-3-5 買春者との接触のきっかけの「その他」記述と分類

分類	記載
家族関係	元実父
	家族
	近親者
	実父
	家庭内にて
	母の恋人
住居が近隣	実父
	近隣住民
	自宅近所の高齢者
就労	地域住民宅へ被害児自ら訪問
	地域住民宅へ被害児自ら訪問
	性風俗店
知人	ガールズバーでの勤務
	援助交際デリヘル
	デリヘル
街で勧誘される	アルバイト先の先輩
	母の雇用主
	商業施設で声をかけられる
	加害者に声をかけられて
	公園で声をかけられた
	声をかけられて
自ら勧誘	街で声をかけられて
	繁華街で客待ち
	路上に立ち児童自ら交渉
その他	家を追い出された

4) 買春の対償

- ◆買春の対償は、「金品」が多く7割近くであった。次いで多いのが「宿泊」(23.9%)であった。
- ◆その他の記載を見ると「菓子」「なし」「時間」「善意」などが挙げられており、金品の授受を目的としていないものも、回答者は買春被害ととらえていることがうかがわれる。

表 2-3-6 買春の対償(N=児童買春 157 件+児童買春、児童ポルノ複合型 26 件+無回答 1 件=184 件)

買春の対償	N	ケースのパーセント
金品	124	67.4%
宿泊	44	23.9%
食事	38	20.7%
不明	15	8.2%
その他	14	7.6%
無回答	8	4.3%
合計	243	132.1%

※複数回答可のため、100%を超える

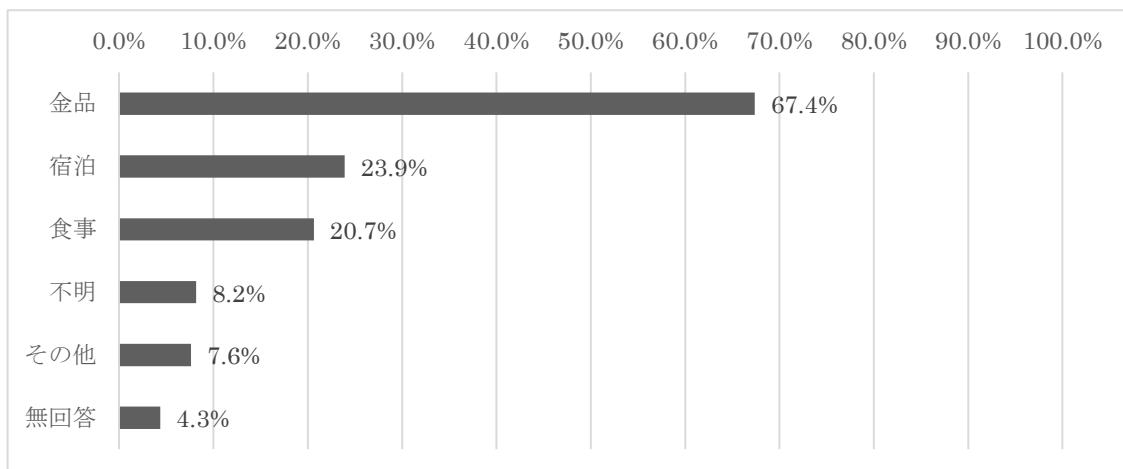


表 2-3-7 買春の代償の「その他」記述とその分類

分類	記載
菓子	お菓子 菓子類、休憩 菓子類、休憩
なし	なし なし
物	物品 玩具
家族	父子でお風呂に入る。一緒に寝る
時間	一緒に遊んであげる
相手方の感謝	人の役に立ちたい

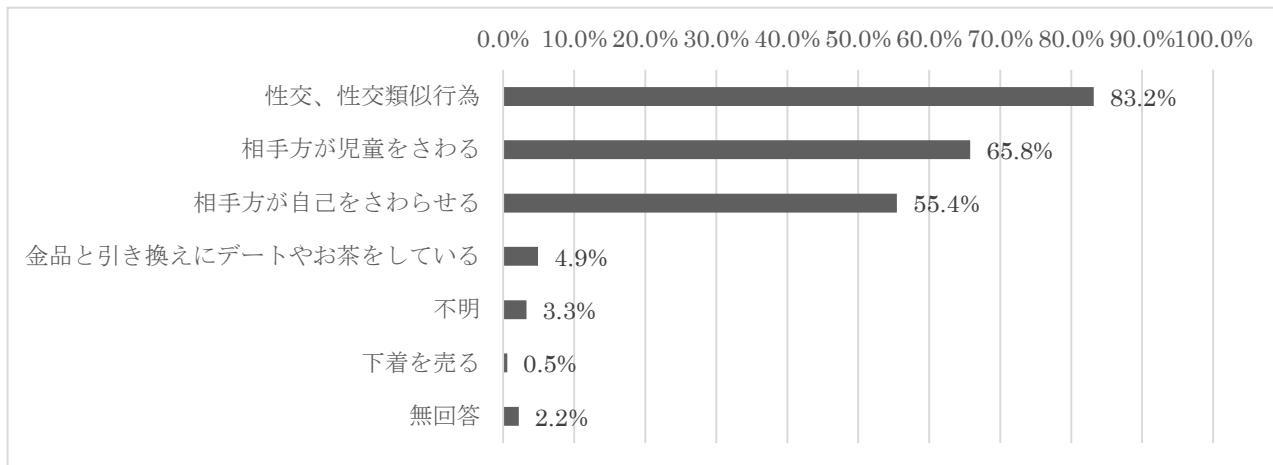
5) 買春に関する児童の行動

◆買春に関する児童の行動は、性交、性交類似行為が8割を超えていた。性交、性交類似行為のない「金品と引き換えにデートやお茶をしている」も4.9%あり、回答者が金品の授受を目的とした性交、性交類似行為以外も買春被害と認識していることがうかがわれる。

表2-3-8 買春に関する児童の行動(N=児童買春157件+児童買春、児童ポルノ複合型26件+無回答1件=184件)

	N	ケースのパーセント
買春に関する児童の行動	性交、性交類似行為	153 83.2%
	相手方が児童の身体をさわる	121 65.8%
	相手方が自己の身体を触らせる	102 55.4%
	性的な接触は確認されないが、金品と引き換えにデートやお茶をしている	9 4.9%
	不明	6 3.3%
	下着を売る	1 0.5%
	無回答	4 2.2%
合計	396	215.2%

※複数回答可のため、100%を超える



6) 買春に関わった児童の身体部位

◆性交、性交類似行為では膣への挿入が6割を超えており、児童の身体をさわる、買春者の身体をさわらせる行為に関しては不明が5割以上となっている。

表 2-3-9 性交、性交類似行為(身体部位) (N=153 件)

	N	ケースのパーセント
性交、性交類似行為 (身体部位)		
膣	97	63.4%
口	41	26.8%
不明	38	24.8%
肛門	6	3.9%
無回答	5	3.3%
合計	187	122.2%

※複数回答可のため、100%を超える

表 2-3-10 児童の身体をさわる(身体部位) (N=121 件)

	N	ケースのパーセント
身体をさわる (身体部位)		
不明	66	54.5%
性器	46	38.0%
胸	45	37.2%
乳首	26	21.5%
臀部	21	17.4%
手	18	14.9%
大腿部	17	14.0%
肛門	7	5.8%
その他	2	1.7%
無回答	2	1.7%
合計	250	206.6%

※複数回答可のため、100%を超える

表 2-3-11 相手方が自己の身体をさわらせる(身体部位) (N=103 件)

	N	ケースのパーセント
身体をさわらせる (身体部位)		
不明	69	67.0%
性器	31	30.1%
胸	5	4.9%
乳首	5	4.9%
手	4	3.9%
大腿部	3	2.9%
臀部	2	1.9%
肛門	2	1.9%
その他	1	1.0%
無回答	1	1.0%
合計	123	119.4%

※複数回答可のため、100%を超える

7) 児童ポルノ撮影者

- ◆児童ポルノ撮影者は「家族」がもっとも多く 28.7%，次いで「本人」で 24.1% となっている。
- ◆「その他」は「近親者」「年齢不詳」等記載があった。

表 2-3-12 児童ポルノ撮影者 (N=児童ポルノ 82 件+児童買春、児童ポルノ複合型 26 件=108 件)

撮影者		N	ケースのパーセント
家族		31	28.7%
本人		26	24.1%
18歳未満の児童（交際相手、家族、買春者除く）		18	16.7%
18歳以上の個人（交際相手、家族、買春者除く）		15	13.9%
買春者		10	9.3%
交際相手（18歳以上）		8	7.4%
その他		5	4.6%
交際相手（18歳未満）		3	2.8%
不明		2	1.9%
無回答		4	3.7%
合計		122	113.0%

※複数回答可のため、100%を超える

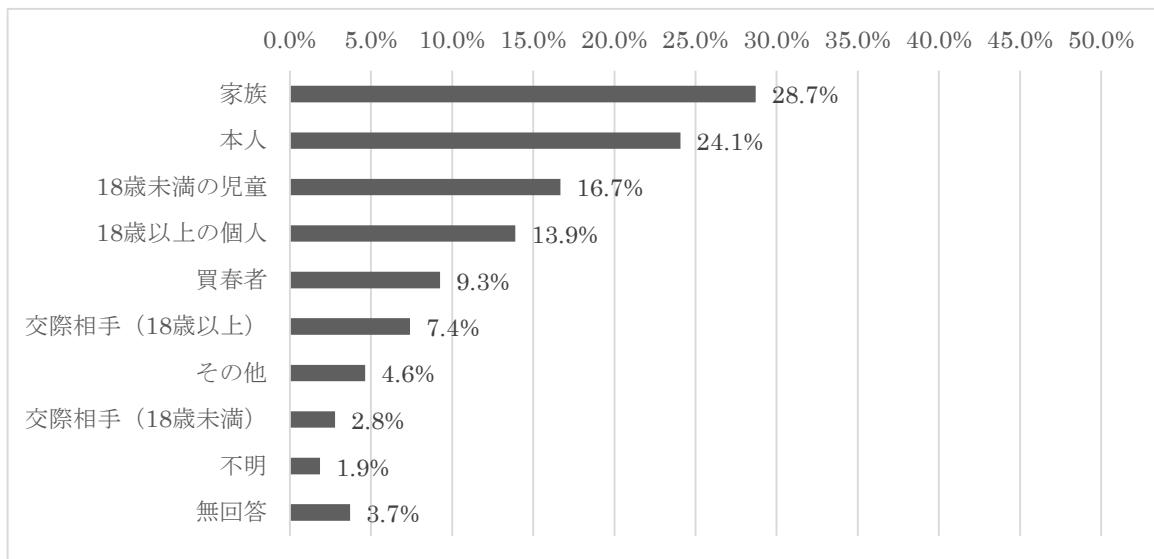


表 2-3-13 児童ポルノ撮影者「その他」記述とその分類

分類	記載
友人	友人（同級生男児）
近親者	母の内縁男性で弟の実父。同居している 実母の交際相手
年齢不詳	交際相手（年齢不明） アプリで知り合った男性と思われる人。年齢等は不明

8) 児童ポルノ撮影のきっかけ

◆撮影のきっかけは「性犯罪被害」が最も多く 26.9%，次いで「性的虐待」で 25.0%となっている。次いで多いものが「その他」16.7%となっていた。

◆「その他」は「ネットトラブル」に関する記載が多かった。

表 2-3-14 児童ポルノ撮影のきっかけ(N=児童ポルノ 82 件+児童買春、児童ポルノ複合型 26 件=108 件)

撮影のきっかけ	N	ケースのパーセント
性犯罪被害（交際相手、保護者、監護者、きょうだい、親戚以外による）	29	26.9%
性的虐待（保護者、監護者による）	27	25.0%
その他	18	16.7%
恋愛（交際中に撮影される）	14	13.0%
いじめ	10	9.3%
不明	7	6.5%
家庭内暴力（きょうだい、親戚による）	4	3.7%
仕事（モデル、ジュニアアイドル）	2	1.9%
無回答	3	2.8%
合計	114	105.6%

※複数回答可のため、100%を超える

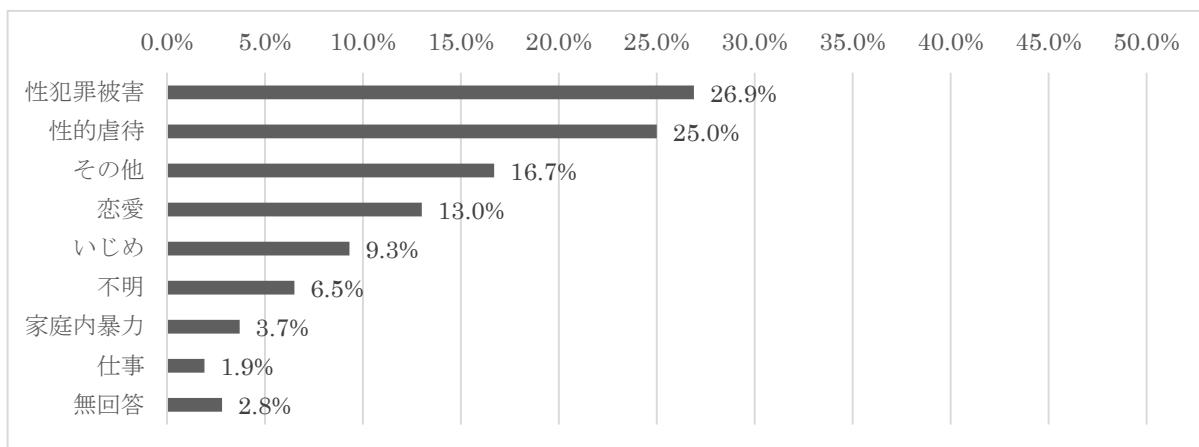


表 2-3-15 児童ポルノ撮影のきっかけ「その他」記述とその分類

分類	記載
ネットトラブル	ネットトラブル SNS内で写真強要された ネット上の知り合いに求められて スマホ SNSでのやりとりに LINEのやりとりから ネットで知り合い SNSで誘われて興味本位
遊びの延長	興味 遊び仲間 ふざけ合いの延長
勧誘	声をかけられて
好意	被害女児が、加害男児に好意を持っていた
修学旅行	修学旅行中
就労	チャットレディ
性加害	本人による性加害
自らの意思	反応が見たくて自分で撮った

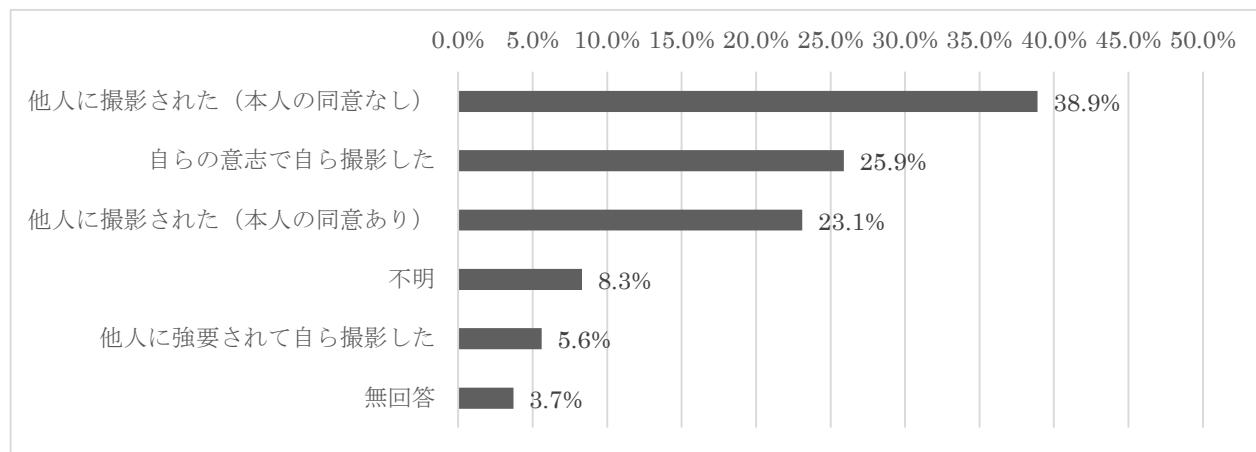
9) 児童ポルノを撮影された状況

◆撮影状況は、「他人に撮影された（本人の同意なし）」が最も多く 38.9%，次いで「本人の自らの意志で自ら撮影した」が 25.9% となっている。

表 2-3-16 児童ポルノを撮影された状況 (N=児童ポルノ 82 件+児童買春、児童ポルノ複合型 26 件=108 件)

撮影された状況	N	ケースのパーセント
他人に撮影された（本人の同意なし）	42	38.9%
自らの意志で自ら撮影した	28	25.9%
他人に撮影された（本人の同意あり）	25	23.1%
不明	9	8.3%
他人に強要されて自ら撮影した	6	5.6%
無回答	4	3.7%
合計	114	105.5%

※複数回答可のため、100%を超える



10) 記録媒体の頒布の有無

◆撮影物頒布状況は、「単純所持される」が最も多く 38.0%となっている。次いで多いものが「SNS、メール、LINE 等の媒体で第三者が見られる（本人の同意なし）」22.2%となっている。

◆「その他」には「他人と共有」も挙がっており、ネットから離れたところでも被害が起きていることがうかがわれる。

表 2-3-17 記録媒体の頒布の有無(N=児童ポルノ 82 件+児童買春、児童ポルノ複合型 26 件=108 件)

記録媒体の頒布状況	N	ケースのパーセント
単純所持される	41	38.0%
SNS、メール、LINE等の媒体で第三者が見られる状態にする（本人の同意なし）	24	22.2%
不明	21	19.4%
SNS、メール、LINE等の媒体で第三者が見られる状態にする（本人の同意あり）	16	14.8%
その他	5	4.6%
無回答	4	2.8%
合計	110	101.8%

※複数回答可のため、100%を超える

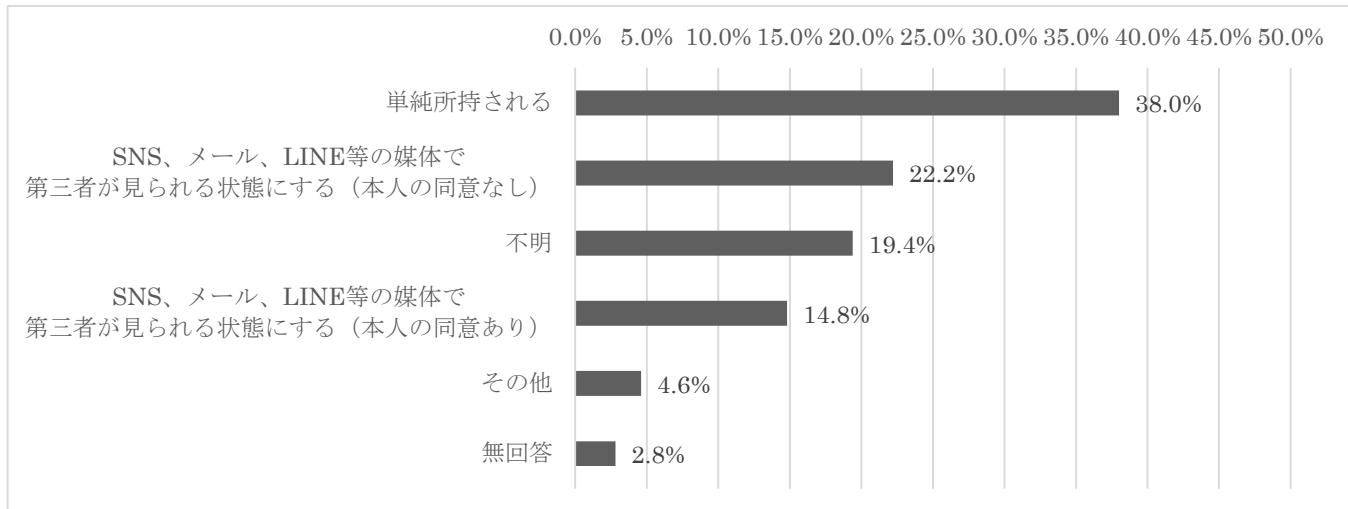


表 2-3-18 記録媒体の頒布の有無「その他」記述とその分類

分類	記載
脅迫	公開すると脅される
事件化により不詳	1※及び3※と推察されたが、事件捜査により、証拠隠滅 1※及び3※と推察されたが、事件捜査により、証拠隠滅
スカイプ	スカイプでの性交渉
他人と共有	他の友人に見せた

※「1」とは「SNS、メール、LINEなどの媒体で第三者が見られる（本人の同意なし）」状態
※「3」とは「単純所持される」状態

11) 被害児童のプロフィール

- ◆被害児童の性別は、圧倒的に女児が多く9割を超えていた。
- ◆相談履歴は「今回が初めて」が半数程度、「過去に相談歴あり」が半数程度であった。
- ◆初めて相談受理した年齢で最も多いのは13歳～15歳で43.6%となっている。
- ◆児童の学力は「低い」と「やや低い」で5割強となっている。また、8割以上が就学している。
- ◆家族の形態はふたり親世帯が35.0%と最も多いため、「母子世帯」「父子世帯」をあわせたひとり親世帯も32.7%が多い。被害児童の家庭環境が多様であることがうかがわれる。

表2-3-19 被害児童の属性

		N	%
性別	男児	15	5.6
	女児	244	91.7
	不明	1	.4
	無回答	6	2.3
相談履歴	今回が初めて	138	51.9
	過去に相談歴あり	115	43.2
	無回答	13	4.9
初めて相談受理した年齢	1～5歳	6	2.3
	6～12歳	48	18.0
	13～15歳	116	43.6
	16～18歳	89	33.5
	無回答	7	2.6
児童の学力	高い	4	1.5
	やや高い	10	3.8
	普通	85	32.0 266(100.0%)
	やや低い	90	33.8
	低い	61	22.9
	不明	9	3.4
	無回答	7	2.6
児童の就学状況	主に就学している	220	82.7
	就労している	13	4.9
	就労も就学もしていない	25	9.4
	不明	2	.8
	無回答	6	2.3
家族の形態	ふたり親世帯	93	35.0
	ふたり親世帯（ステップファミリー）	38	14.3
	母子世帯	64	24.1
	父子世帯	23	8.6
	その他の世帯	48	18.0

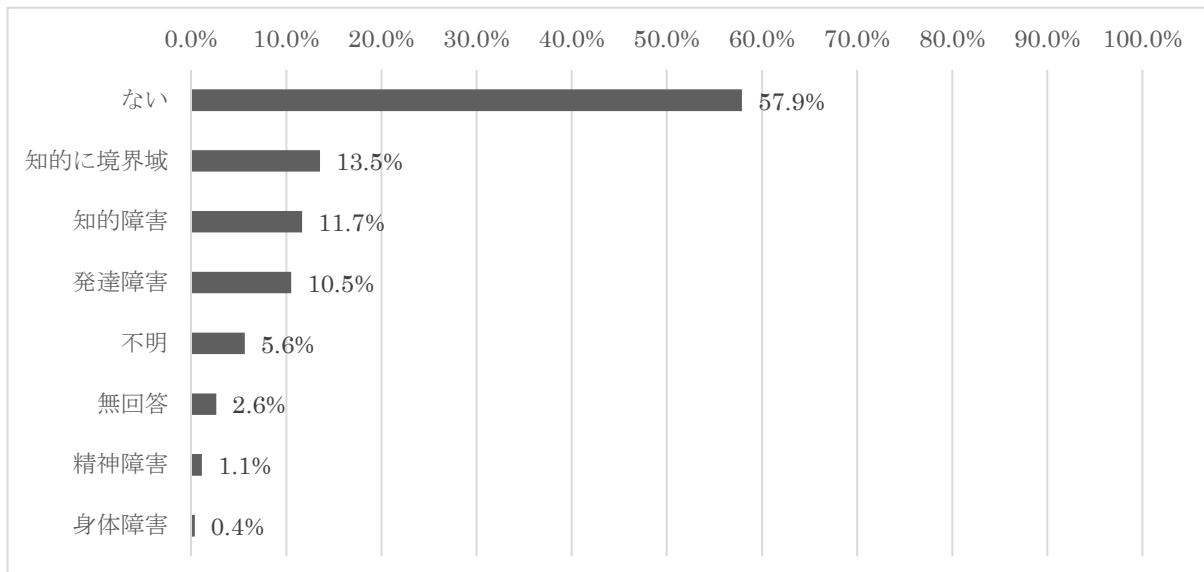
12) 被害児童の障害の有無

◆被害児童で最も多いのは障害がない児童(57.9%)であるが、「知的障害」と「知的に境界域」をあわせると25.2%となり、被害児童の4人に1人程度が「知的障害」あるいは「知的境界域」の児童である。

表 2-3-20 被害児童の障害の有無(N=266)

障害の有無	N	ケースのパーセント	
ない	154	57.9%	
知的に境界域	36	13.5%	
知的障害	31	11.7%	
発達障害	28	10.5%	
不明	15	5.6%	
精神障害	3	1.1%	
身体障害	1	0.4%	
無回答	7	2.6%	
合計	275	103.4%	

※複数回答可のため、100%を超える



13) 被害児童を児童相談所へつなげた機関

◆児童相談所につないだ機関で最も多いのは警察(53.0%), 次いで学校(20.3%)となっており、警察と学校であわせて7割を超える。

表 2-3-21 被害児童を児童相談所へつないだ機関(N=266)

		N	ケースのパーセント
つないだ機関	警察	142	53.4%
	学校	54	20.3%
	当該児童の保護者	29	10.9%
	親族	24	9.0%
	市町村の児童相談担当部署	18	6.8%
	児童本人	16	6.0%
	その他	13	4.9%
	施設職員	9	3.4%
	福祉事務所	4	1.5%
	病院	3	1.1%
	民間支援機関	2	0.8%
	弁護士	2	0.8%
	幼稚園・保育園	1	0.4%
	保健所・保健センター	1	0.4%
	近隣・知人(同級生の保護者除く)	1	0.4%
	無回答	8	3.0%
合計		327	122.9%

※複数回答可のため、100%を超える

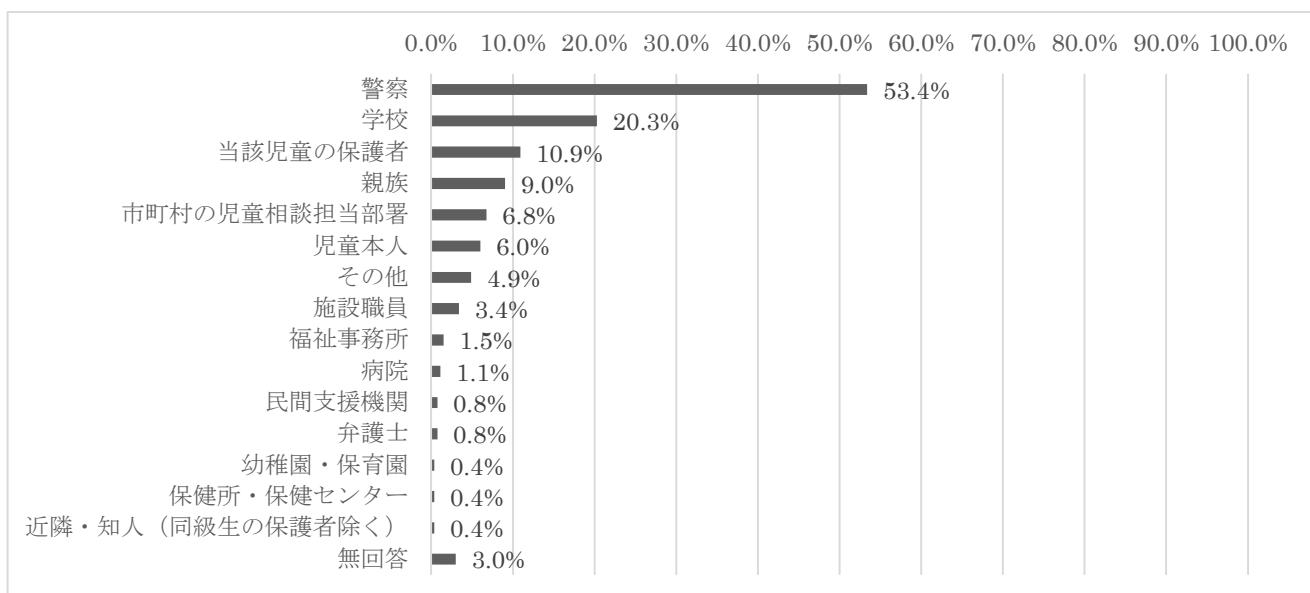


表 2-3-22 被害児童を児童相談所へつないだ機関「その他」記述とその分類

分類	記載
保護観察官	保護観察官 保護観察官
他府県児童相談所	他府県児童相談所 他児相からの移管
相談支援事業所	相談支援事業所 相談支援事業所
施設	児童養護施設 以前入所していた施設職員
里親	里親
家裁調査官	家庭裁判所調査官
医療機関	医療機関
つながっていない	加害児童の触法通告として児相に警察から通告があった。被害児は児相につながっていない

14) 被害児童の生活課題

◆被害児童の生活課題で最も多いものは「親子関係不調」(64.7%)である。次いで多いものは「家出・無断外泊」(43.6%)である。

◆合計は複数回答可のため 100%を超えており、300%を超えることから一人の児童につき平均 3つ以上の課題が選択されたことになり、複合的に様々な課題を抱えていることがうかがわれる。

◆「その他」には「性的虐待」「障害」「性的興味」等が記載されている。

表 2-3-23 被害児童の生活課題(N=266)

生活課題	N	ケースのパーセント
親子関係不調	172	64.7%
家出・無断外泊	116	43.6%
低い自己肯定感（自信のなさ）	106	39.8%
不登校	73	27.4%
異性への依存	68	25.6%
感情不安定	58	21.8%
インターネット上の人間関係への依存	56	21.1%
友人から孤立	40	15.0%
自傷行為	39	14.7%
その他	28	10.5%
あてはまるものはない	24	9.0%
いじめ被害を受けていた	23	8.6%
自殺念慮	13	4.9%
解離	11	4.1%
本児の不安定な就労	11	4.1%
睡眠障害	10	3.8%
PTSD	10	3.8%
保健室登校	7	2.6%
異性への極端な嫌悪感	5	1.9%
うつ状態	4	1.5%
わからない	4	1.5%
パニック	3	1.1%
無回答	7	2.6%
合計	888	333.8%

※複数回答可のため、100%を超える

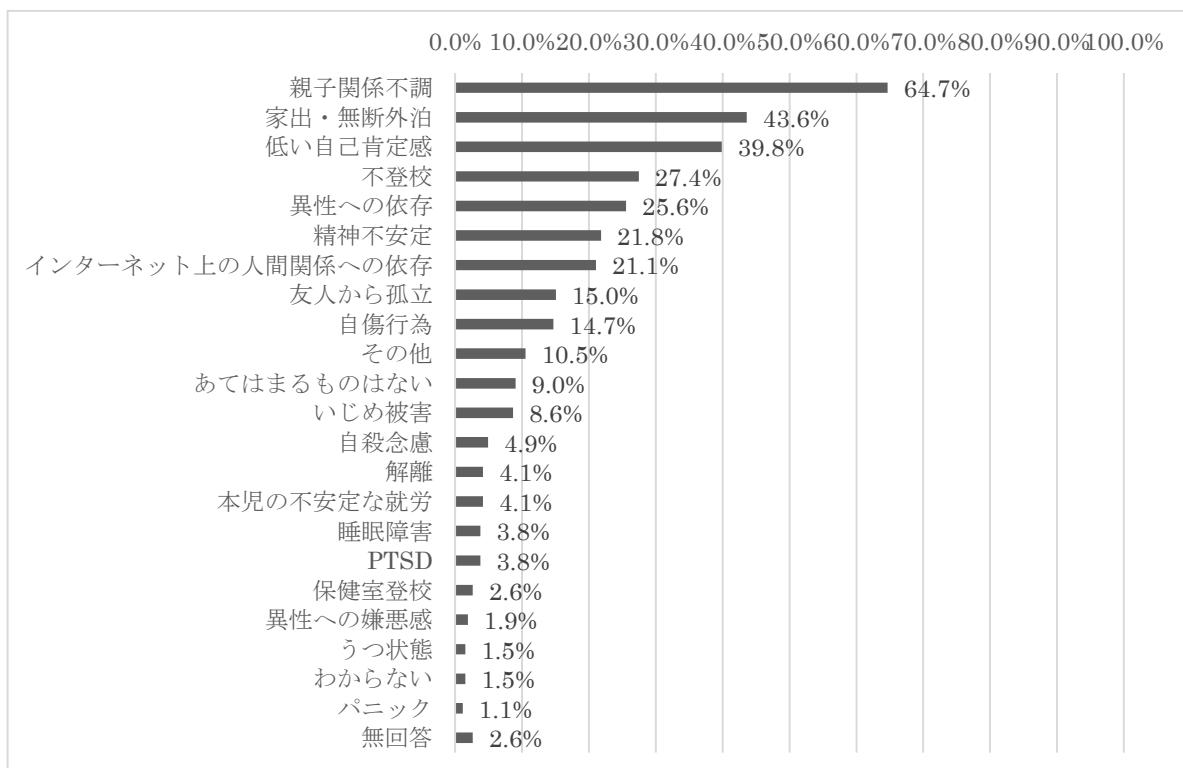


表 2-3-24 被害児童の生活課題「その他」記述とその分類

分類	記載
障がい	肢体不自由により回避行動がとれない ADHD(衝動的行動) 本児のADHD
性的虐待	実父からの性的虐待 性的虐待 母の同居男性からの性被害 性被害
性的興味	男性への興味 異性への興味関心、インテーセックス 性化行動
体調不良	体調不良 頭痛
登校しぶり	登校渋り 登校しぶり
場面緘默	場面緘默 場面緘默
非行	万引き 万引き
友人関係	友人関係 加害児をバカにする言動があった
PTSD	オーラルセックスの強要の後遺症・氷を食べ続けて止らないときがある
環境不適応	学校、施設への不適応
状況判断困難	状況判断力の低さ
親族関係不調	親族関係不調(祖父母・兄弟等)
進路の不安	進路の不安
被害感の欠如	被害感の欠如
保護者の婚外恋愛	父の浮気相手の裸の写真を見ている
保護者への暴力	母に対する暴力、父母の結婚写真を切り裂く、母の寝具を切り裂く

15) 被害児童をとりまく環境

◆児童をとりまく環境として、「ひとり親家庭」(36.1%)が最も多く、次いで「保護者の心身の不安定不安定」(27.1%)となっている。「保護者の無関心」(26.7%),「経済的な困難」(24.4%)も僅差で多いものとして挙がっており、保護者自身が置かれた状況の苛酷さがうかがわれる結果となっている。

表 2-3-25 被害児童をとりまく環境(N=266)

児童をとりまく環境	N	ケースのパーセント
ひとり親家庭	96	36.1%
保護者の心身の不安定状態	72	27.1%
保護者の無関心	71	26.7%
経済的な困難	65	24.4%
保護者との分離体験	58	21.8%
夫婦間不和	58	21.8%
ステップファミリー	32	12.0%
家庭間不和	31	11.7%
保護者の不安定な就労	30	11.3%
保護者のDV	27	10.2%
劣悪な住環境	26	9.8%
その他	24	9.0%
親族から孤立	21	7.9%
保護者の若年出産	20	7.5%
あてはまるものはない	20	7.5%
地域から孤立	18	6.8%
頻繁な転居	14	5.3%
わからない	7	2.6%
無回答	7	2.6%
合計	697	262.0%

※複数回答可のため、100%を超える

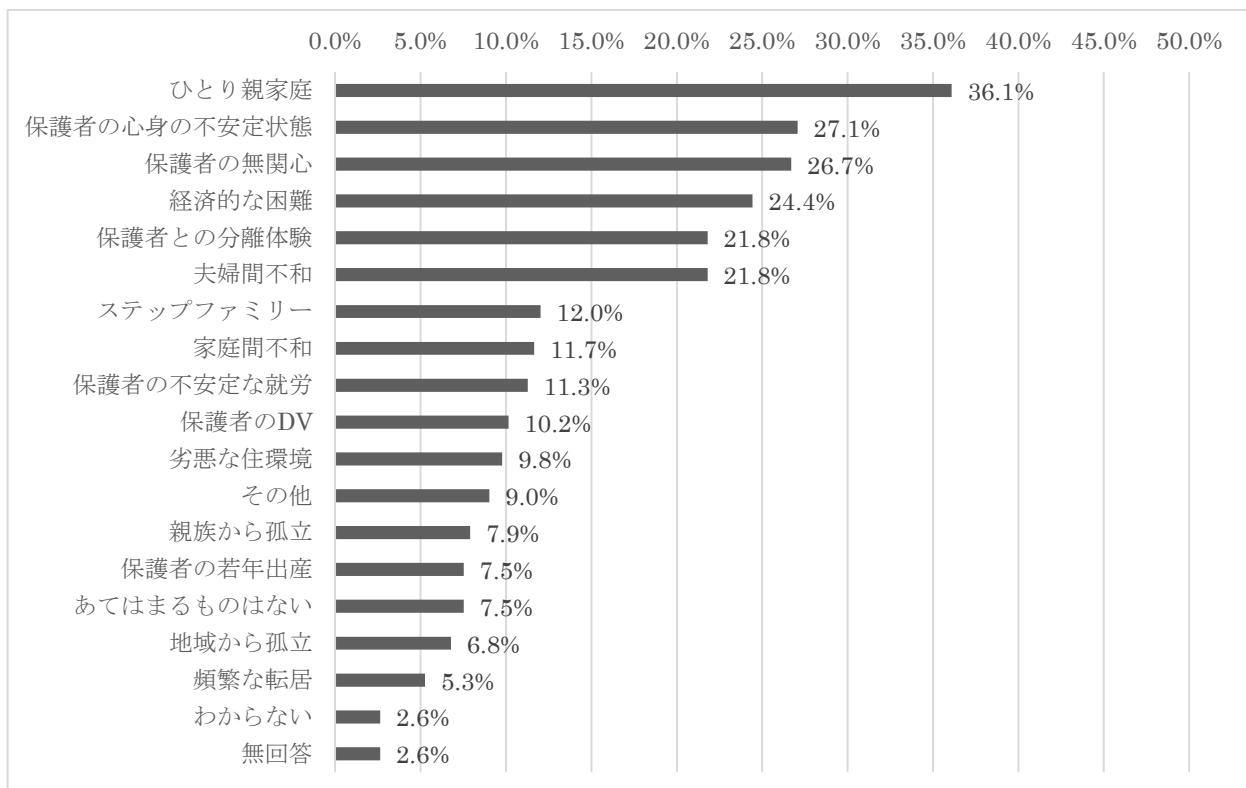


表 2-3-26 被害児童をとりまく環境「その他」記述とその分類

分類	記載
虐待	父からの虐待 保護者からの虐待 母から暴力・暴言あり 身体的、心理的、性的虐待
保護者自身の課題	実母が外国籍 祖母の介護、外国人の母 保護者も社会的規範に対して、ハーダルが低い・養父の身体障害・麻薬所持・窃盗 実父がうつ病 保護者の養育能力の低さ 保護者の理解力の低さ 母の夜間の仕事 保護者の過干渉 保護者の過干渉
保護者との関係不調	進路変更をめぐる保護者との対立
友人関係	友人関係 非行系児童との交遊
養育負担	弟たちの養育負担が大きい
面前DV	父から母への面前DV
兄弟間差別	兄弟間差別
児童養護施設入所	長年の児童養護施設入所
信仰	宗教信仰
障がい	障がいに対する無理解
ストーカー被害	児童自身が中学時ストーカー被害にあっていた
家庭における性規範	家庭内の性的規範の低さ

16) 児童相談所におけるケースへの対応

◆児童相談所の対応で多いものは、今年度上半期が調査対象期間であったこともあり、「継続指導中」(32.1%)、「施設入所中」(21.1%)が多い対応として挙がっている。

表 2-3-27 児童相談所におけるケースへの対応 (N=266)

児童相談所の対応	N	ケースのパーセント
継続指導中	85	32.1%
施設入所中	56	21.1%
終結（完全に相談終了）	34	12.8%
児童福祉司指導中	28	10.6%
終結（市町村に引きついで終了）	20	7.5%
調査中（取り扱い中）	20	7.5%
その他	12	4.5%
家裁送致	11	4.2%
他の児童相談所へ移管	6	2.3%
里親委託中	5	1.9%
他機関斡旋	4	1.5%
訓戒・誓約	2	.8%
無回答	9	3.4%
合計	292	110.2%

※複数回答可のため、100%を超える

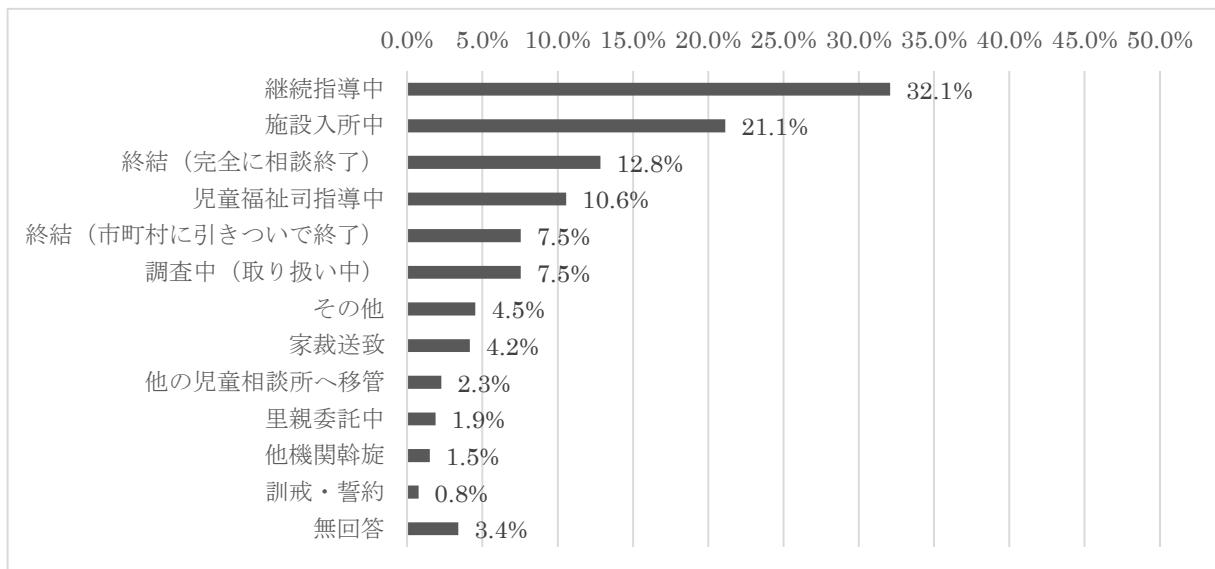


表 2-3-28 児童相談所における対応「その他」記述とその分類

分類	記載
移管	転出先児童相談所に情報提供 加害児が転居したため移管後も通所指導中。同時に共謀した別の男児は発達障害と思われ医療機関につないだ
一時保護中	一時保護中 一時保護中 一時保護委託中
家裁送致	児童買春によらない触法事案により警察が家裁送致 警察が家裁送致 警察から家裁送致され、保護観察処分
児童の子に対する援助	児童が18歳となり母親として対応中。児童の子は27条措置。母になった児は音信不通
自立	自立援助ホームに適応できず自立
措置解除	施設入所したが無断外出し措置解除した
対応せず	別件で逮捕

17) 児童相談所におけるケースへの支援

- ◆児童相談所で行った支援は、「来所してもらい個別面接」(65.8%),「一時保護・一時保護委託」(55.3%)が多い支援として挙がっていた。次いで多いものが「家庭訪問による面接」(36.1%)であった。
- ◆「個別心理療法」(21.1%)は被害児童の5人に1人程度が受けている。
- ◆複数回答のため合計は100%を超えるが、272.9%となっているため、被害ケース一つにつき2.7つの支援が行われていることがわかる。
- ◆「その他」は「被害への援助なし」が最も多かった。また、「学校への援助依頼」、「児童相談所以外の場所での面接」「市町村援助」「警察捜査」「家裁送致」など、他機関との連携に関する記載も目立っていた。

表 2-3-29 児童相談所で行った支援(N=266)

	N	ケースのパーセント
児童相談所で行った援助 来所してもらい個別面接	175	65.8%
一時保護・一時保護委託	147	55.3%
家庭訪問による面接	96	36.1%
個別心理療法	56	21.1%
警察への相談・告発	54	20.3%
施設訪問による面接	52	19.5%
学校訪問による面接	37	13.9%
精神科医療	35	13.2%
その他	27	10.2%
その他医療	18	6.8%
司法面接	17	6.4%
グループ療法	1	.4%
無回答	11	4.1%
合計	726	272.9%

※複数回答可のため、100%を超える

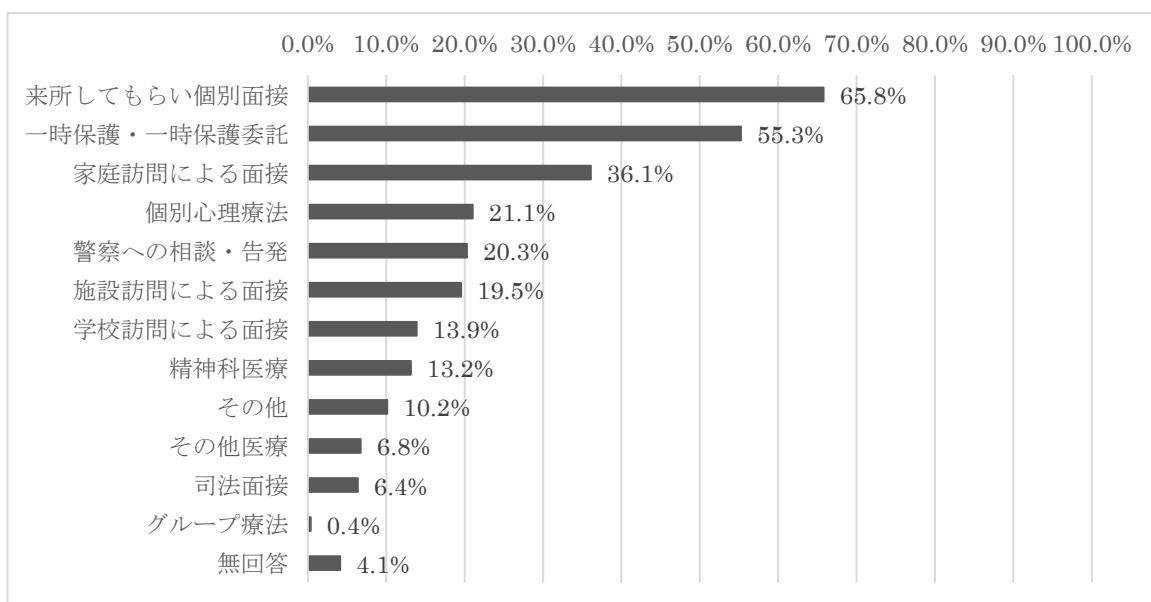


表 2-3-30 児童相談所で行った支援「その他」記述とその分類

分類	記載
移管	既に転出済のため電話連絡のみ 住所地を管轄する児相への斡旋
家裁送致	家庭裁判所へのぐ犯送致 家裁へ●犯送致の相談
学校への援助依頼	学校における個別指導（性教育）依頼 学校への働きかけ（SNSの使用についての指導） 母から電話で事情聴取・学校に●●●依頼
警察捜査	児童福祉司指導中に無断外泊し警察保護（発覚）。帰宅時面接、その後再度無断外泊で警察保護、身柄通告。警察聴取中に発覚 児童ポルノについて母子で警察に相談した。捜査中に母と同居男性に性被害を受けた通告があ
児童相談所外で面接	町役場での面接 関係機関での面接
被害への援助なし	なし 詳細不明だが、触れないようにしたいと保護者が希望したらしい 児童・家族との関わりなし なし なし
保護者への連絡	母へ架電 母へ架電
ケース会議	ケース会議参加
市町村援助	市が訪問を実施
障がいに対する援助	判定をして保護者に本児の障がいについて説明
自立援助ホーム委託	自立援助ホーム委託
性教育	PHNによる性教育
出産、育児の援助	妊婦状態での転居に伴う移管のため、親としての対応
弁護士面談	弁護士との面接

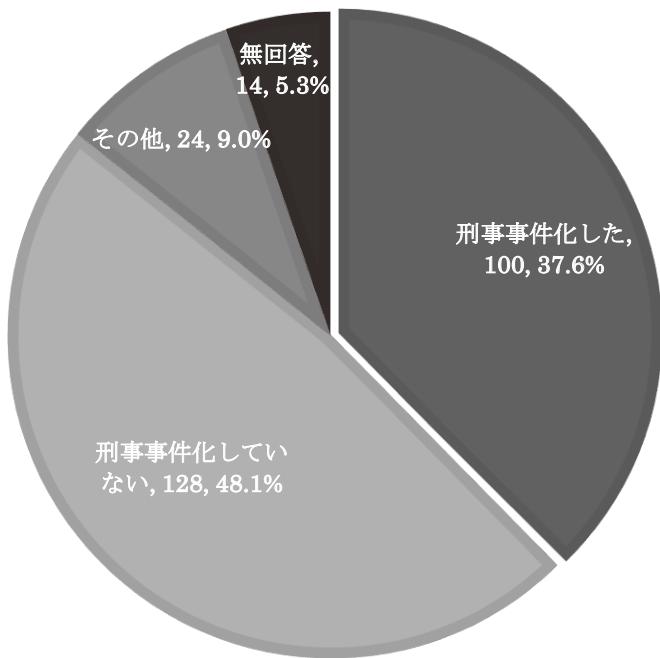
※●は読み取れず

18) 刑事事件化の有無

◆ケースの刑事事件化は37.6%と、被害ケース3ケースにつき1ケースが刑事事件化していることがわかる。

表2-3-31 ケースの刑事事件化

	度数	パーセント
刑事事件化した	100	37.6%
刑事事件化していない	128	48.1%
その他	24	9.0%
無回答	14	5.3%
合計	266	100.0%



19) ケース対応時の困難

◆児童福祉司のケース対応時の困難については、「保護者が問題に向き合わない」(27.1%)が最も多かったが、次に多かったのが「その他」(22.2%)であった。

◆「その他」は「児童本人に問題意識、被害者意識なし」、「警察との連携」に関する記述が多かった。

表 2-3-32 ケース対応時の困難(N=266)

対応時の困難		N	ケースのパーセント
保護者が問題に向き合わない		72	27.1%
その他		59	22.2%
児童本人に十分な判断能力がなく、事態を把握できない		58	21.8%
児童を被害者として対応するか指導対象として対応するかという混乱が生じる		56	21.1%
児童本人が問題行動であると認識し、被害について語らない		46	17.3%
問題が発覚することで保護者から見捨てられる不安を児童が持つ		33	12.4%
保護者や家族の間で意見が合わない		29	10.9%
児童本人が加害側との関係不和を恐れて被害について語らない		26	9.8%
児童から被害を聞き取る適切な方法がわからない		24	9.0%
保護者が問題を隠蔽する		23	8.6%
問題発覚すると、保護者が児童に忌避感を持つ		18	6.8%
困難を感じたことはない		11	4.1%
わからない		10	3.8%
何を児童買春被害もしくは児童ポルノ被害とするのかのガイドラインが所内にない		7	2.6%
児童福祉司自身が何を児童買春、児童ポルノ被害とするのかわからない		6	2.3%
無回答		10	3.8%
合計		488	183.5%

※複数回答可のため、100%を超える

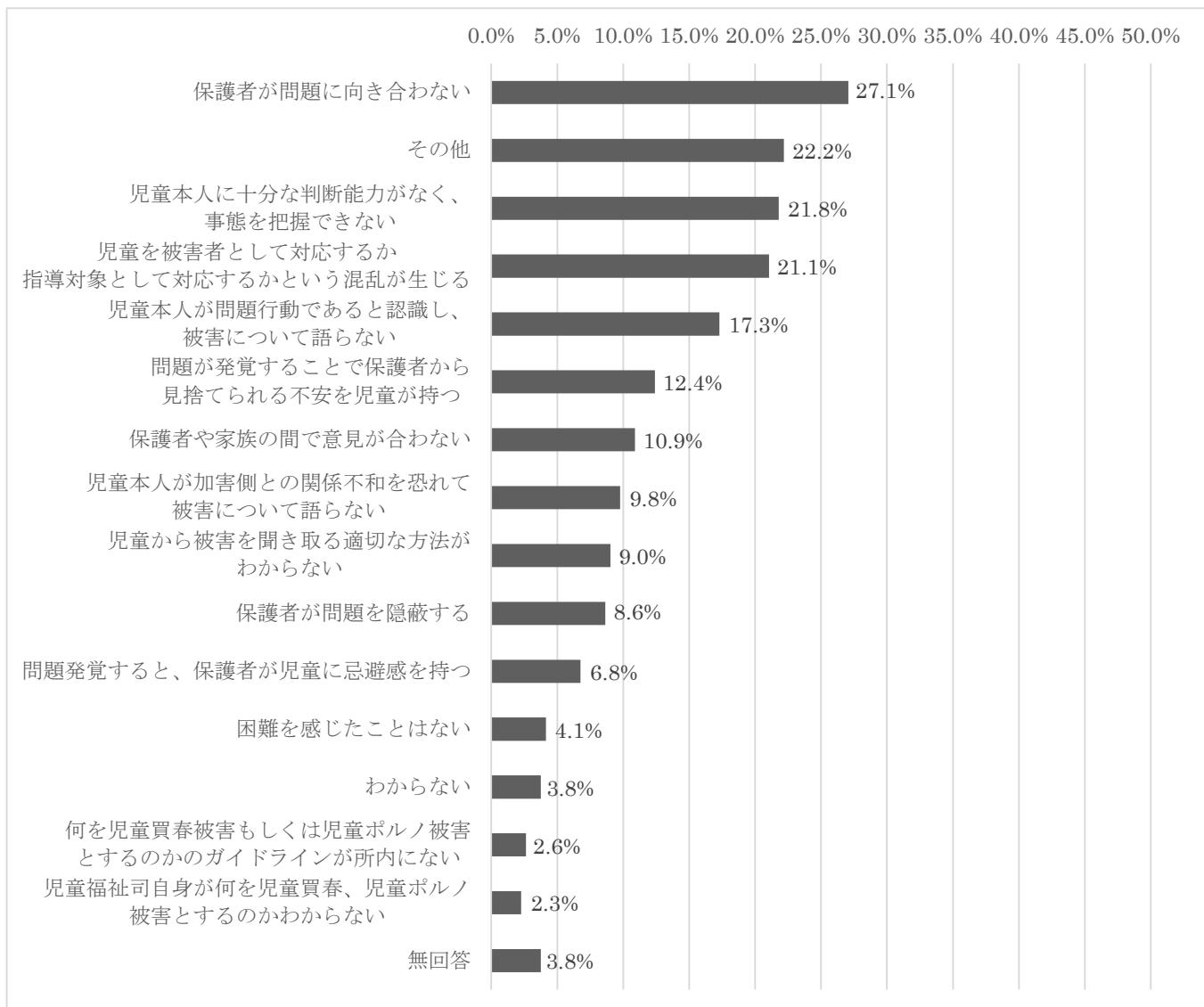


表 2-3-33 ケース対応時の困難「その他」記述とその分類

分類	記載
児童本人がポルノ被害だと思わない 被害があつたことを、児童が知らない 自身に罪の意識なし 本人が楽しんで行っている 本児の当面の支援（施設生活定着、児相や施員との関係構築）が●され、被害に焦点化すると本児がそれを忌避し行方不明となるおそれがあったため 児童本人に問題意識がうすく性教育や心理ケアにつなぎにくい。繰り返す 児童が児童売春に対する罪悪感がなく、稼ぐためなら繰り返すことを明言していたこと 児童本人が売春することに拒否感、抵抗がない	
児童本人に問題意識・被害意識なし	児童の異性との性的接觸に対する抵抗が少ない上、避妊等の必要性の認識が乏しい 児童が被害者に対し愛情を持っている・被害として受け取っていない 児童本人に問題意識がない 児童本人が問題と認識しない 本人があくまで同意と主張し、相手が処罰されることに不満を抱く 児童本人が問題行動であると認識していない。被害側と認識していない 援助交際すること自体に抵抗感、被害感が児童になかった 児童本人が被害感に乏しく、再発防止のための十分な指導ができたか不安がある 児童が売春について親を困らせるためにやったと述べていること 児童本人に問題意識が欠けており指導が入らない 児童17歳本人にとっては恋愛の延長であり被害意識を持っていない
児童本人の意思による支援継続困難	児童が関係機関の誰にも連絡に応じなくなってしまった。以前は市の相談員や児相ワーカーには信頼関係が見受けられたが…
児童本人の社会資源の不在	親族等身近な支援者が少ない 事件により本児は高校を退学することとなり施設内で過ごす方法を施設職員と協議
児童本人の被害開示負担感	児童の被害状況を語る能力 児童本人が理由はわからないが、被害について語らない 児童本人が思い出すことでしんどくなるため被害について語らない
児童に罪悪感大	児童の自責感が強く、加害者のせいではなく自分が悪いという思いがぬぐいきれること。警察や検察の事情聴取での児童の負担が大きいこと
再発防止指導困難	本人が問題行為と認識しているが、再発防止にむけてどう指導していくか 本人が同じことを繰り返す 発覚する前から本人に指導しているが話しが入っていない
警察との連携困難	警察対応 警察対応 警察で聴取されたであろう内容を再度聴取すべきかどうか。相談の主訴と異なったため相談として扱うかどうか 立件されず 被害を認められなかつた が乏しくなっていた。自分さえ我慢すればという気持ちが強くなっていた。我慢すれば今の生活を続けられるという気持ちが強く保護を最初はかたくなに拒否。画像があったのを本人が確認しており消す事を望んだが、警察で何度も話しをすることを拒否。思い出したくないと…。警察は事件化しないと動けない。画像が流出したかどうかも調べられない。児童が安心して生活するには画像が流出していないか確認して安心させてあげたかったが安心させるかわりに児童への負担も大きく難しかつた 証拠品の取り扱いや警察とのやりとり 児童ポルノ被害と性被害が連続し、警察が介入。母子への指導が中心だった 警察が捜査に入ると情報が児相へは入らない 警察の捜査(事情聴取)に本児が耐えられない。捜査が進まないことで、本児が自分を責める悪循警察との連携、警察の事情聴取と同時に児相が、本児にどの程度聞き取りを行うか不明確だった被害の認定 児童の自責感が強く、加害者のせいではなく自分が悪いという思いがぬぐいきれること。警察や検察の事情聴取での児童の負担が大きいこと 既に転出済のため具体的な対応なし
対応なし	相談時に既に数年経過しており、過去の出来事として取り扱っていない 学校が把握しているが取り扱わない方針 ケース移管したため対応せず ケース移管したため対応せず
保護者の問題への認識困難	被害によるダメージの大きさを保護者が理解出来ない点 実母が告発を決心するとなれば、子供の落ち着き方が全然違う 里父母及びその家族が児童に生理的嫌悪感を抱いた
児童の信仰上の援助困難	宗教信仰
家庭裁判所との連携	家庭裁判所からの調査依頼があり、該当児童に児相が対応した経過を回答。該当児童が児童ポルノの加害者と判明するが、詳細は教えてもらえない
援助に関わる職員体制未確立	心理士がつづくまで、どんな指導を行なうか考えた 異性であること
児童相談所から引き継ぐ先不在	自立め向けた受け皿の少なさ 受け入れ施設がなかなか見つからなかった
時間経過による支援困難	事件が明らかになったのが発生から数ヶ月後であり、適切な対応の検討が必要になった ※●は読み取れず

20) ケース対応時に必要と考えられる社会資源

◆ケース対応時に必要な支援に関しては、「性被害を受けた児童のためのカウンセリング（性教育を含む）」が最も多かった。

◆「その他」には「保護者への援助」が最も多く記載されていた。また、「買春被害児童への処罰」「加害者への処罰」など、被害者・加害者問わずペナルティを課すような社会資源を必要としていることがうかがわれた。

表 2-3-34 対応時に必要と考えられる社会資源(N=266)

必要な社会資源	性被害を受けた児童のためのカウンセリング (性教育含む)	N	ケースのパーセント
		161	60.5%
	児童買春・児童ポルノ被害に関する身近な相談機関	96	36.1%
	性被害に対応できるクリニック	89	33.5%
	児童買春・児童ポルノ被害対応ガイドライン	76	28.6%
	児童ポルノ流出後、画像消去する協力機関	49	18.4%
	法的に定められたシェルター	33	12.4%
	妊娠した児童を一時保護できる協力機関	32	12.0%
	その他	17	6.3%
	必要と考える社会資源はない	4	1.5%
	わからない	13	4.9%
	無回答	9	3.4%
合計		570	217.7%

※複数回答可のため、100%を超える

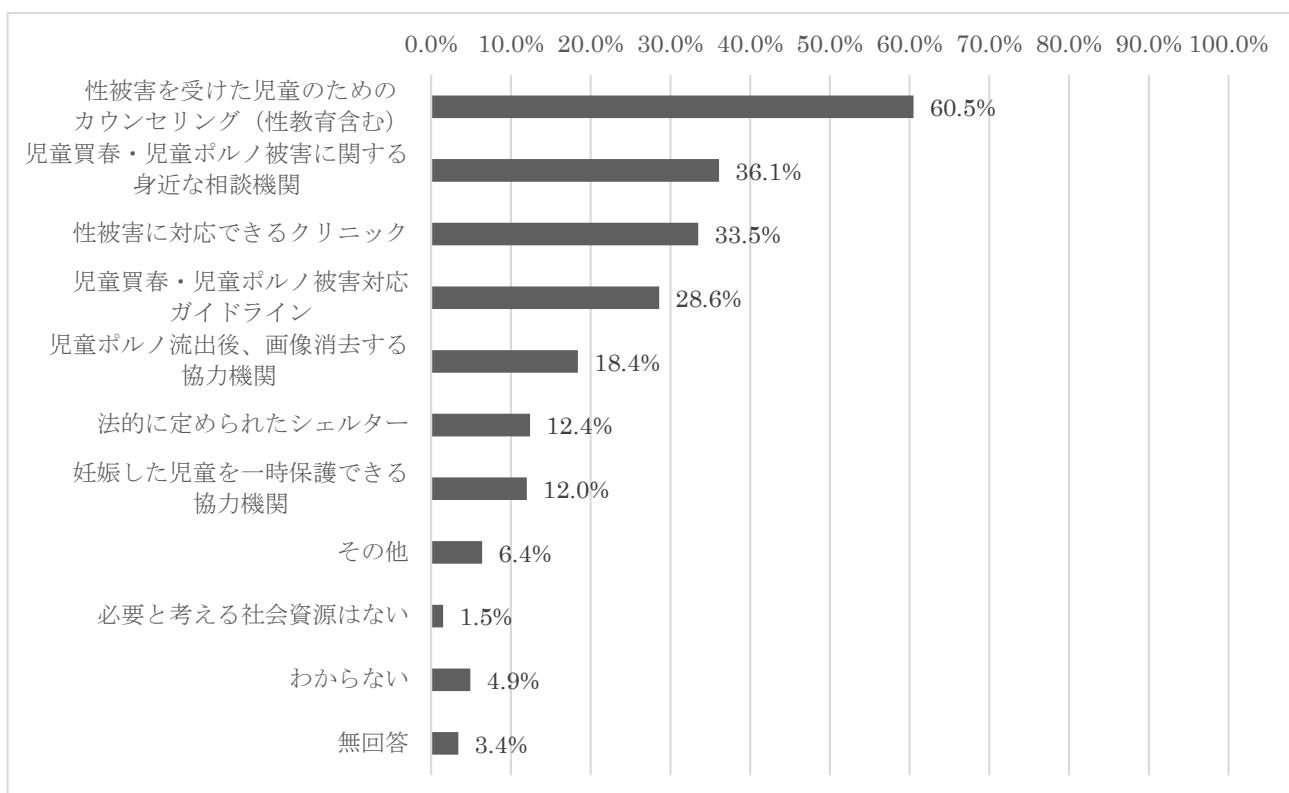


表 2-3-35 対応時に必要と考えられる社会資源「その他」記述とその分類

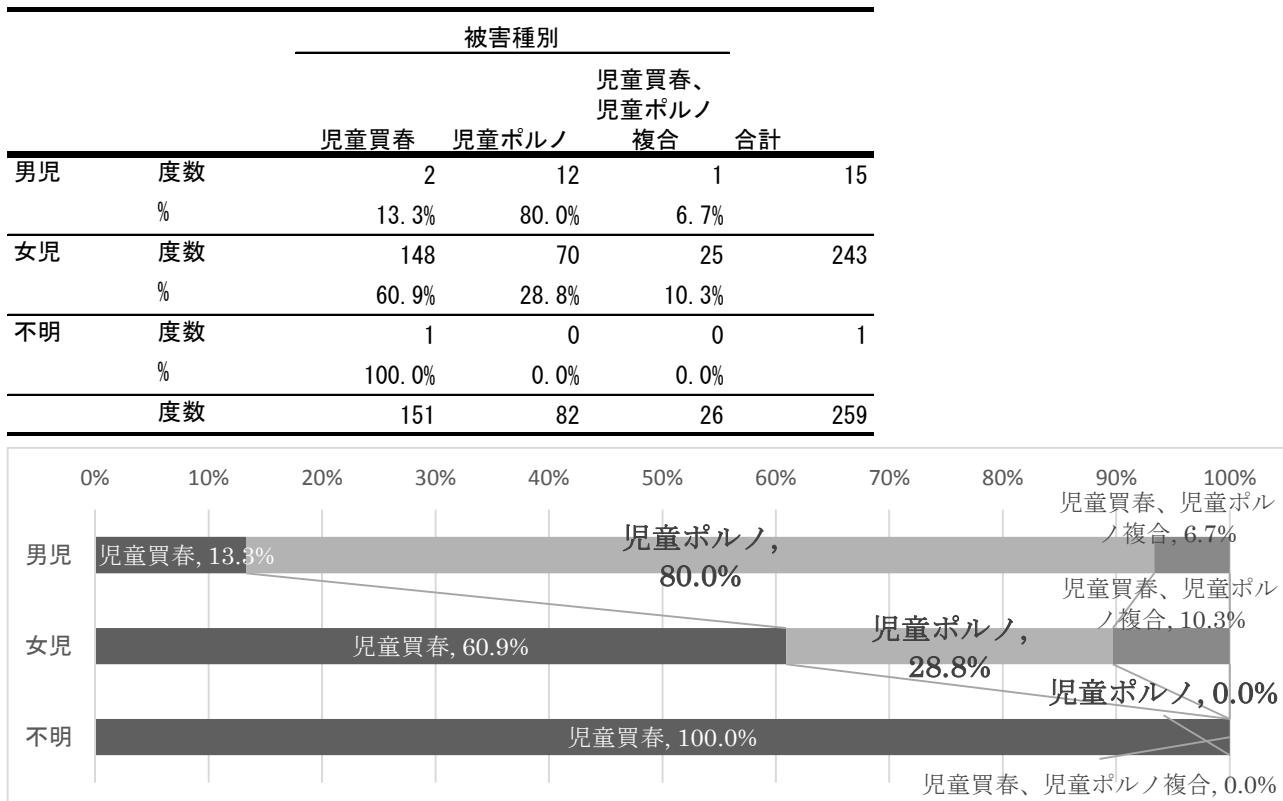
分類	記載
保護者への援助	保護者の精神疾患治療 加害の保護者に対する医療的な支援 保護者の支援ができる機関(心理教育を含む)
買春被害児童への罰則	売春した児童に対する罰則 売春した児童に対する罰則
加害者への罰則	加害者への罰 加害者への罰
ネット環境の制限	問題のあるSNS等を取り締まる機関 インターネット環境の制限
学校での意識啓発	被害という意識啓発活動を学校等で継続して行う
警察による介入	警察による積極的介入
携帯電話会社情報開示	携帯電話通信会社が情報を開示する 携帯電話通信会社が情報を開示する
児童と成人の区分けのない支援機関	児童か成人かを境とせず、被害者の生活全般を支援できる機関
他機関連携	検察・警察・児相が連携した対応
不明	児童買春と児童ポルノ被害に関する●●●●●
弁護士との連携	弁護士のサポート

※●は読み取れず

21) 児童の性別×被害形態

◆児童買春・児童ポルノ被害は9割が女児であり圧倒的に女児が多いが、被害形態を性別で見ていくと、男児の被害は少ないものの8割が児童ポルノ被害であった。

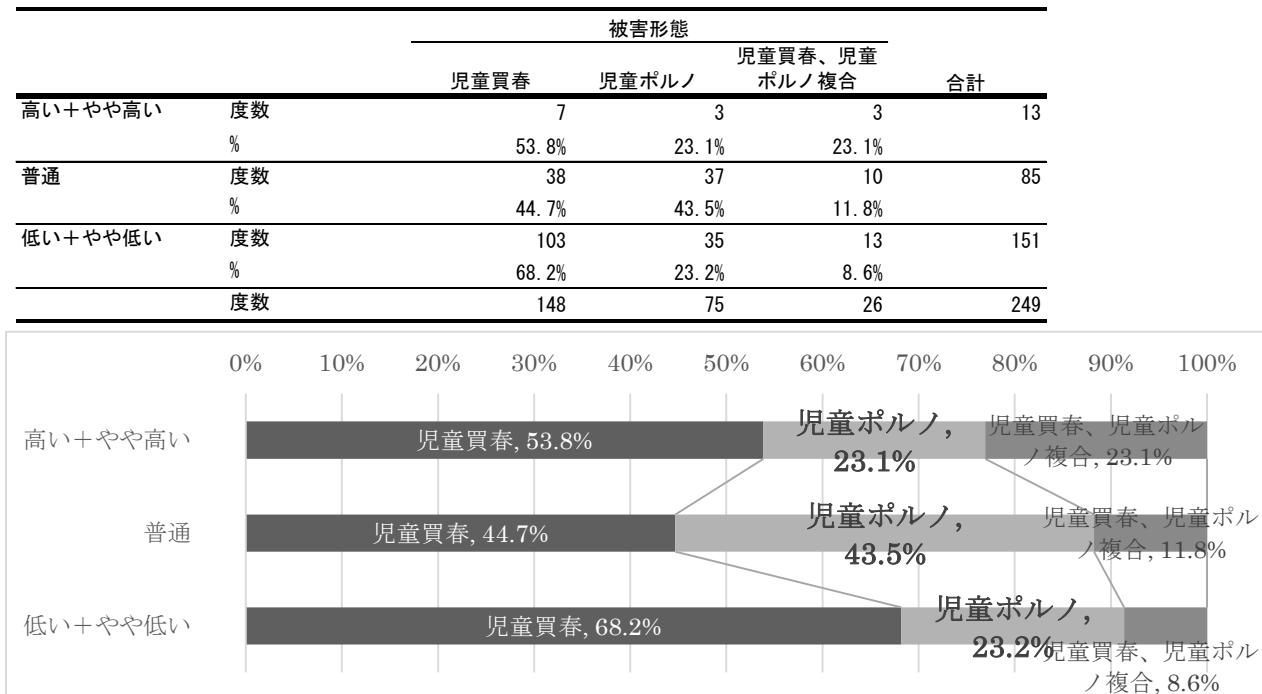
表 2-3-36 児童の性別 × 被害の形態のクロス集計表(性別の無回答 6 を除く)



22) 児童の学力×被害形態

◆児童の学力で被害形態の比率に違いが見られた。「低い+やや低い」児童、「高い+やや高い」児童に比べて、「普通」の児童は児童ポルノ被害の比率が高かった。

表 2-3-37 児童の学力 × 被害形態のクロス集計表(被害形態、学力の不明・無回答 17 を除く)

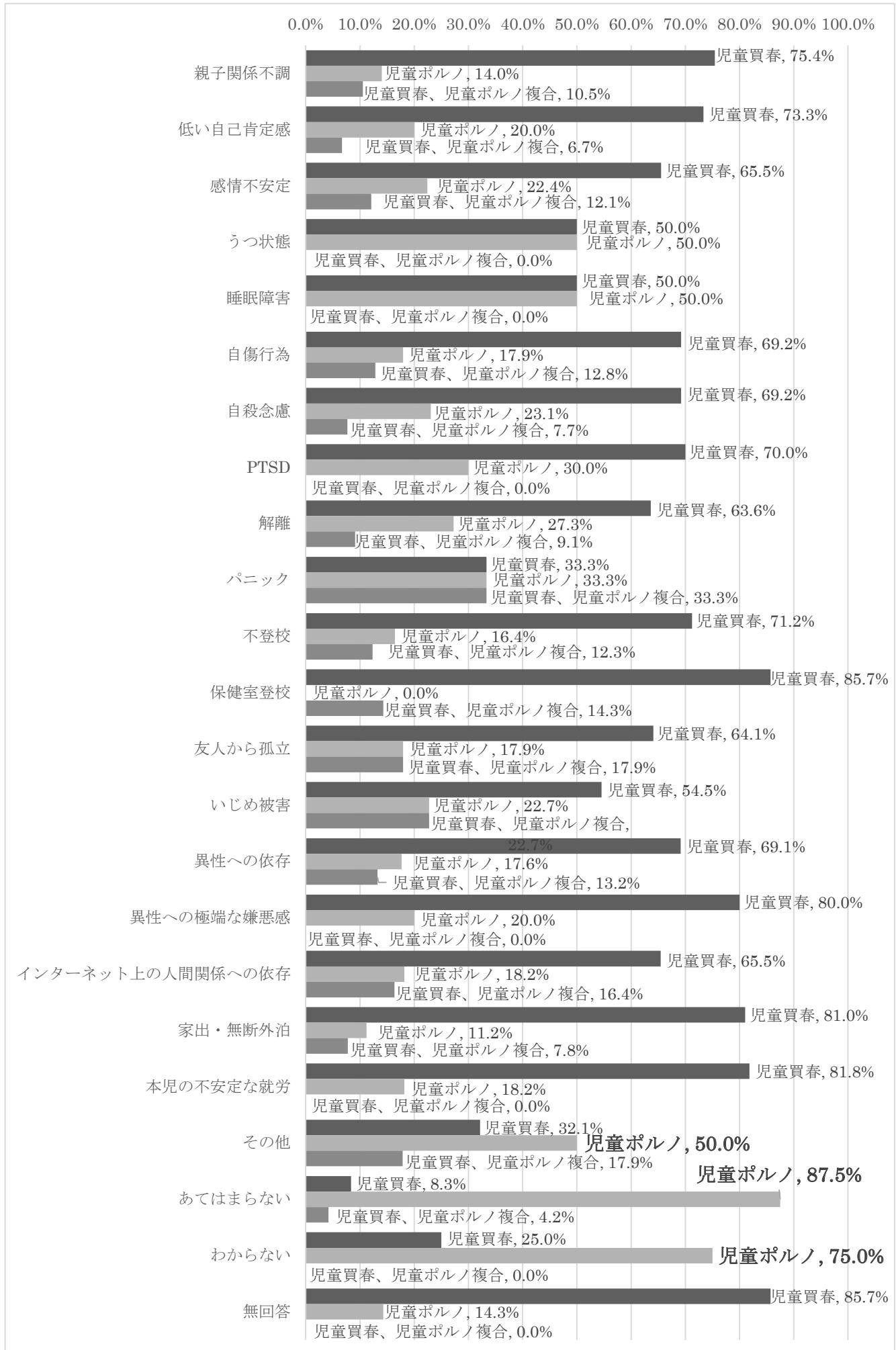


23) 生活課題×被害形態

◆児童の生活課題では被害種別の比率に違いが見られた。生活課題の「その他」「あてはまるものはない」「わからない」では、児童買春よりも児童ポルノの比率が高かった。

表 2-3-38 児童の生活課題 × 被害の形態のクロス集計表(被害形態無回答 1 を除く)

生活課題		度数	被害形態			N
			児童買春	児童ポルノ	児童買春、児童ポルノ複合	
親子関係不調	度数	129	24	18	10.5%	171
	%	75.4%	14.0%	10.5%		
低い自己肯定感	度数	77	21	7	6.7%	105
	%	73.3%	20.0%	6.7%		
感情不安定	度数	38	13	7	12.1%	58
	%	65.5%	22.4%	12.1%		
うつ状態	度数	2	2	0	0.0%	4
	%	50.0%	50.0%	0.0%		
睡眠障害	度数	5	5	0	0.0%	10
	%	50.0%	50.0%	0.0%		
自傷行為	度数	27	7	5	12.8%	39
	%	69.2%	17.9%	12.8%		
自殺念慮	度数	9	3	1	7.7%	13
	%	69.2%	23.1%	7.7%		
PTSD	度数	7	3	0	0.0%	10
	%	70.0%	30.0%	0.0%		
解離	度数	7	3	1	9.1%	11
	%	63.6%	27.3%	9.1%		
パニック	度数	1	1	1	33.3%	3
	%	33.3%	33.3%	33.3%		
不登校	度数	52	12	9	12.3%	73
	%	71.2%	16.4%	12.3%		
保健室登校	度数	6	0	1	14.3%	7
	%	85.7%	0.0%	14.3%		
友人から孤立	度数	25	7	7	17.9%	39
	%	64.1%	17.9%	17.9%		
いじめ被害	度数	12	5	5	22.7%	22
	%	54.5%	22.7%	22.7%		
異性への依存	度数	47	12	9	13.2%	68
	%	69.1%	17.6%	13.2%		
異性への嫌悪感	度数	4	1	0	0.0%	5
	%	80.0%	20.0%	0.0%		
インターネット上の人間関係への依存	度数	36	10	9	16.4%	55
	%	65.5%	18.2%	16.4%		
家出・無断外泊	度数	94	13	9	7.8%	116
	%	81.0%	11.2%	7.8%		
本児の不安定な就労	度数	9	2	0	0.0%	11
	%	81.8%	18.2%	0.0%		
その他	度数	9	14	5	28	28
	%	32.1%	50.0%	17.9%		
あてはまらない	度数	2	21	1	4.2%	24
	%	8.3%	87.5%	4.2%		
わからない	度数	1	3	0	0.0%	4
	%	25.0%	75.0%	0.0%		
無回答	度数	6	1	0	0.0%	7
	%	85.7%	14.3%	0.0%		
合計	度数	157	82	26	265	



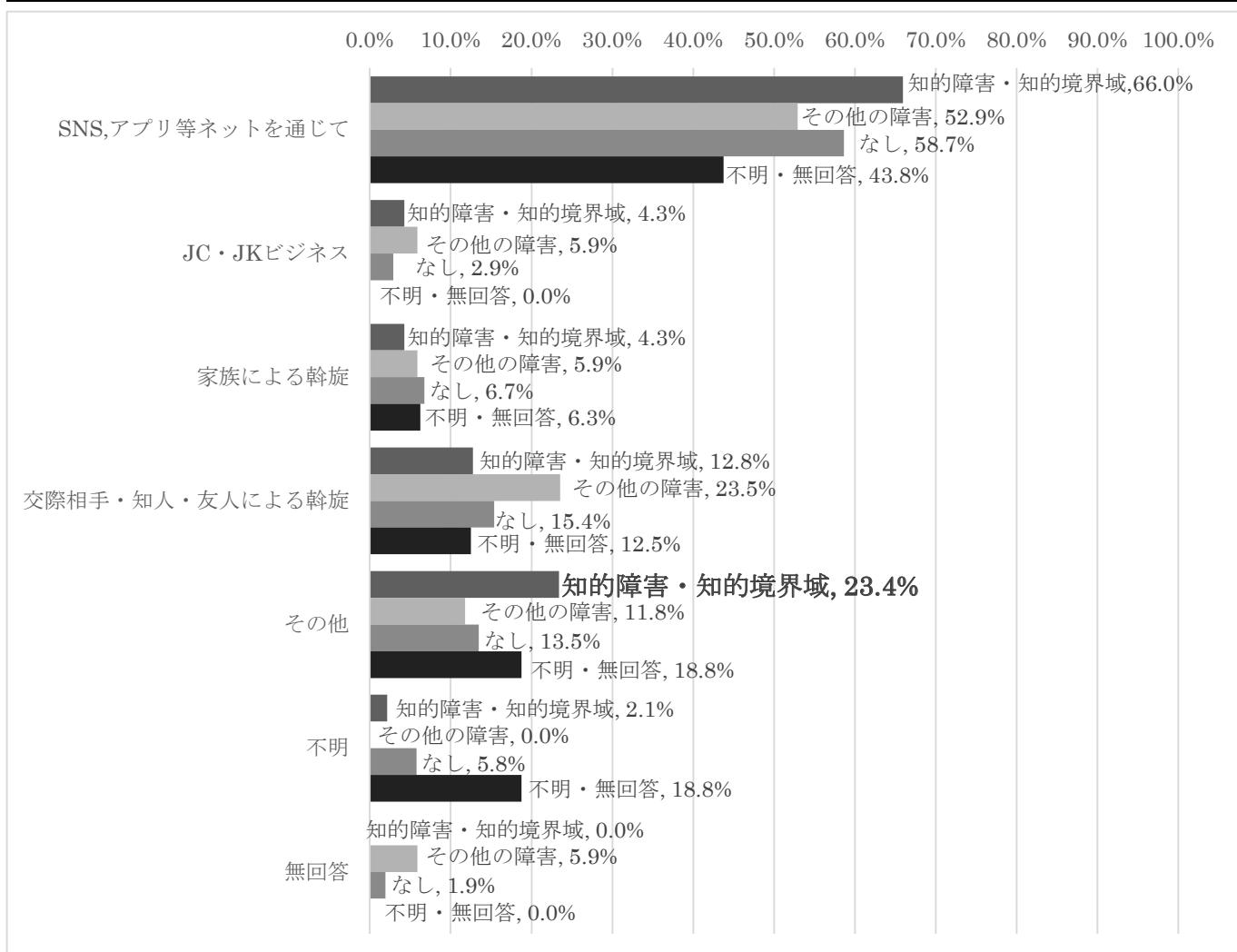
24) 障害の有無×買春のきっかけ

◆児童の障害¹⁾および学力と、買春者、買春のきっかけ、買春の代償、買春に関する児童の行動でクロス集計を行ったところ、買春のきっかけに傾向の違いが見られた。買春者と接触したきっかけで最も多いものは「知的・知的境界域」「その他の障害」「なし」「不明・無回答」とともに「SNS、アプリ等ネットを通じて」となっているが、次いで多いものを見てみると、「知的・知的境界域」は「その他」(23.4%)であった。該当ケースのその他記載を見てみると、街中で声をかけられたケースが目立った。

表 2-3-39 障害の有無×買春者と接触したきっかけ

(N=児童買春 157 件+児童買春、児童ポルノ複合 26 件+無回答 1 件=184 件)

		買春者との接觸のきっかけ							N 47	
		SNS、アプリ等 ネットを通じ て	JC・JKビジネ ス	家族による斡 旋	交際相手・知 人・友人によ る斡旋		その他	不明	無回答	
					度数	%				
知的障害・知的境界 域	度数	31	2	2	6	12.8%	11	1	0	47
知的障害・知的境界 域	%	66.0%	4.3%	4.3%	12.8%	23.4%	23.4%	2.1%	0.0%	
その他の障害	度数	9	1	1	4	23.5%	2	0	1	17
その他の障害	%	52.9%	5.9%	5.9%	23.5%	11.8%	11.8%	0.0%	5.9%	
なし	度数	61	3	7	16	15.4%	14	6	2	104
なし	%	58.7%	2.9%	6.7%	15.4%	13.5%	13.5%	5.8%	1.9%	
不明・無回答	度数	7	0	1	2	12.5%	3	3	0	16
不明・無回答	%	43.8%	0.0%	6.3%	12.5%	18.8%	18.8%	18.8%	0.0%	
	度数	108	6	11	28	30	30	10	3	184



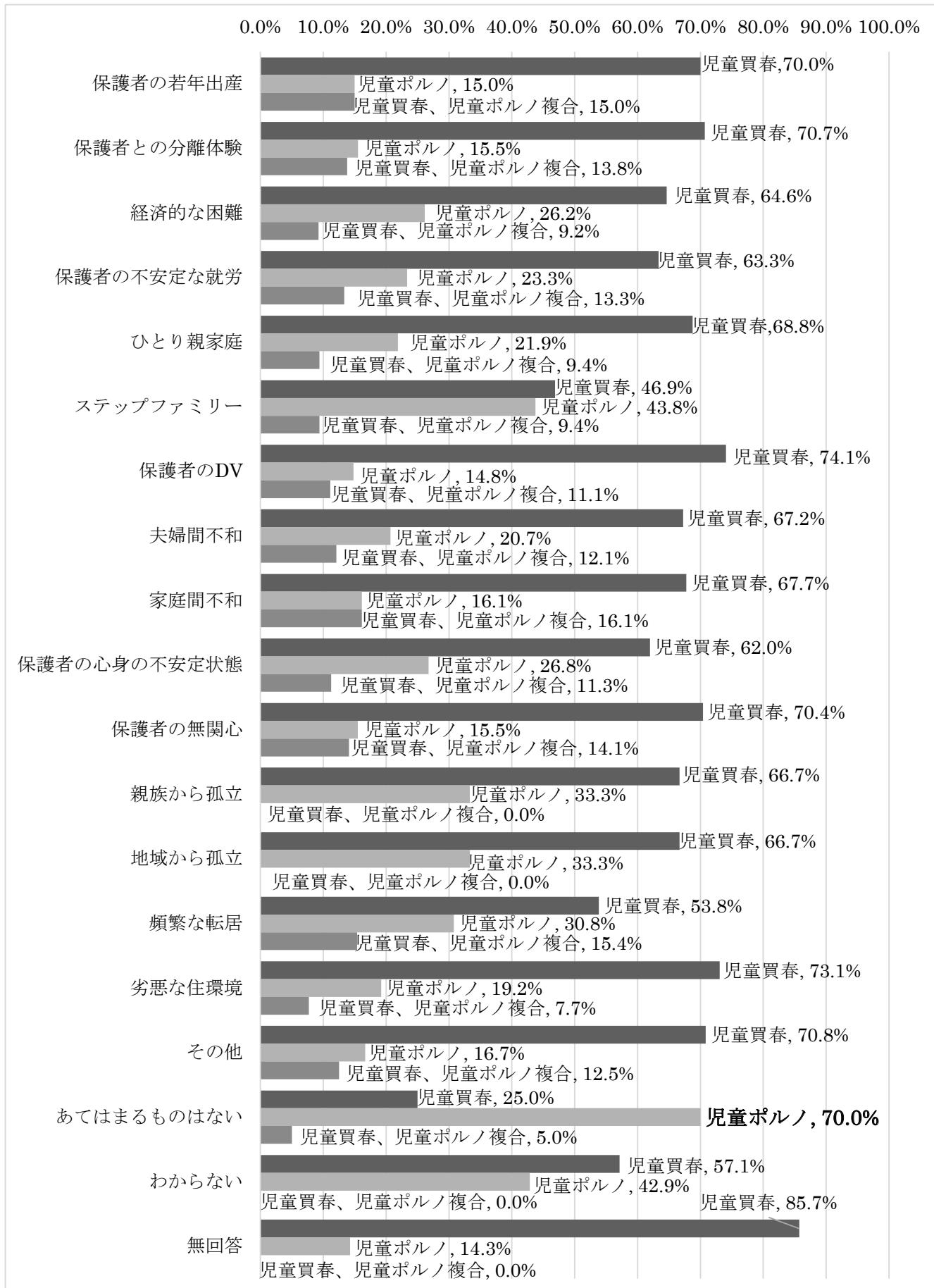
1) 「発達障害」と「知的に境界域」重複の児童が 4 名、「発達障害」と「知的障害」重複の児童が 4 名、「知的障害」と「身体障害」重複の児童 1 名は、「知的障害・知的境界域」に含めている。

25) 児童を取りまく環境×被害形態

◆児童を取りまく環境ではほとんどの項目において児童買春の方が比率が高いが、「あてはまるものはない」のみ、児童ポルノの比率が高かった。

表 2-3-40 児童を取りまく環境と被害の形態(被害形態無回答 1 を除く)

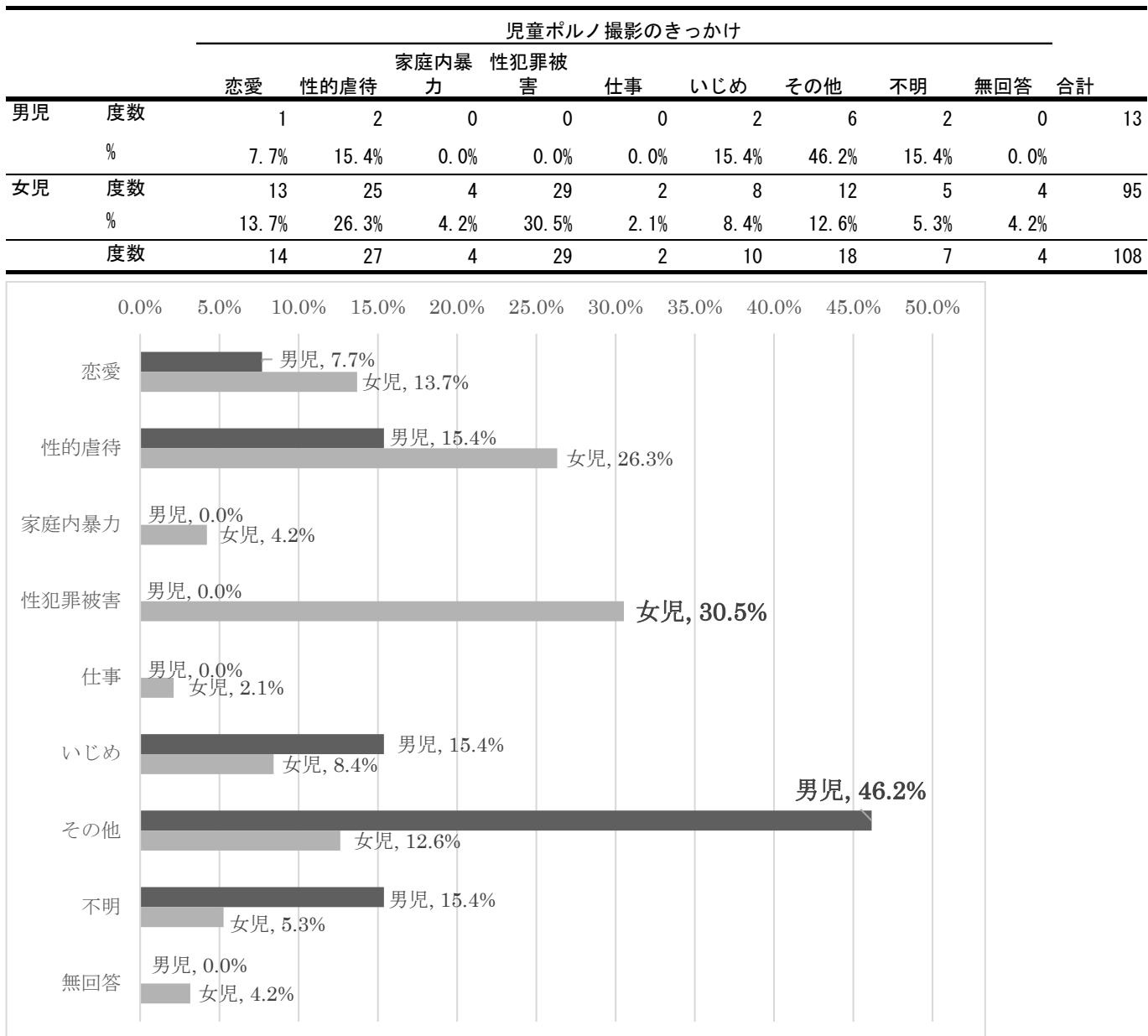
児童を取り巻く環境	保護者の若年出産	被害形態			
		児童買春	児童ポルノ	児童買春、児童ポルノ複合	合計
児童を取り巻く環境	保護者の若年出産	度数	14	3	3
		%	70.0%	15.0%	15.0%
保護者との分離体験		度数	41	9	8
		%	70.7%	15.5%	13.8%
経済的な困難		度数	42	17	6
		%	64.6%	26.2%	9.2%
保護者の不安定な就労		度数	19	7	4
		%	63.3%	23.3%	13.3%
ひとり親家庭		度数	66	21	9
		%	68.8%	21.9%	9.4%
ステップファミリー		度数	15	14	3
		%	46.9%	43.8%	9.4%
保護者のDV		度数	20	4	3
		%	74.1%	14.8%	11.1%
夫婦間不和		度数	39	12	7
		%	67.2%	20.7%	12.1%
家庭間不和		度数	21	5	5
		%	67.7%	16.1%	16.1%
保護者の心身の不安定状態		度数	44	19	8
		%	62.0%	26.8%	11.3%
保護者の無関心		度数	50	11	10
		%	70.4%	15.5%	14.1%
親族から孤立		度数	14	7	0
		%	66.7%	33.3%	0.0%
地域から孤立		度数	12	6	0
		%	66.7%	33.3%	0.0%
頻繁な転居		度数	7	4	2
		%	53.8%	30.8%	15.4%
劣悪な住環境		度数	19	5	2
		%	73.1%	19.2%	7.7%
その他		度数	17	4	3
		%	70.8%	16.7%	12.5%
あてはまるものはない		度数	5	14	1
		%	25.0%	70.0%	5.0%
わからない		度数	4	3	0
		%	57.1%	42.9%	0.0%
無回答		度数	6	1	0
		%	85.7%	14.3%	0.0%
合計		度数	157	82	26
					265



26) 児童の性別×児童ポルノ撮影のきっかけ

◆撮影のきっかけと撮影状況では女児と男児で違いが見られる。撮影のきっかけは、男児で最も多いものは「その他」(46.2%)である一方、女児は「性犯罪被害」(30.5%)である。男児のその他記載にはSNSでのやりとりや興味などが挙がっていた。

表2-3-41 被害児童の性別×児童ポルノ撮影のきっかけクロス集計表(N=108)

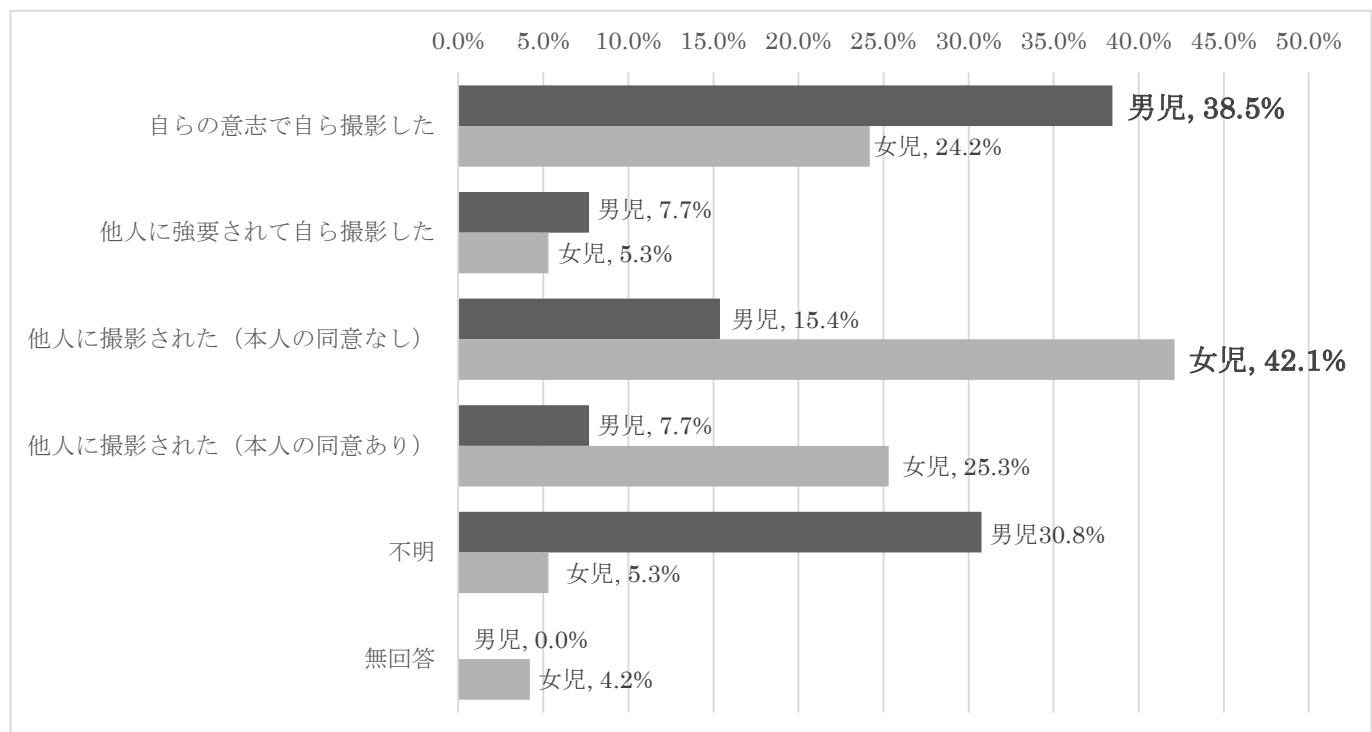


27) 児童の性別×児童ポルノ撮影の状況

◆撮影状況は、男児で最も多いものは「自らの意思」(38.5%)である一方、女児は「他人が撮影（同意なし）」(42.1%)であった。

表 2-3-42 児童の性別×児童ポルノ撮影状況のクロス集計表(N=108)

		児童ポルノ撮影の状況						N	
男児	度数	他人に撮影された		他人に撮影された		不明	無回答		
		自らの意志で自ら撮影した	他人に強要されて自ら撮影した	(本人の同意なし)	(本人の同意あり)				
男児	度数	5	1	2	1	4	0	13	
	%	38.5%	7.7%	15.4%	7.7%	30.8%	0.0%		
女児	度数	23	5	40	24	5	4	95	
	%	24.2%	5.3%	42.1%	25.3%	5.3%	4.2%		
	度数	28	6	42	25	9	4	108	

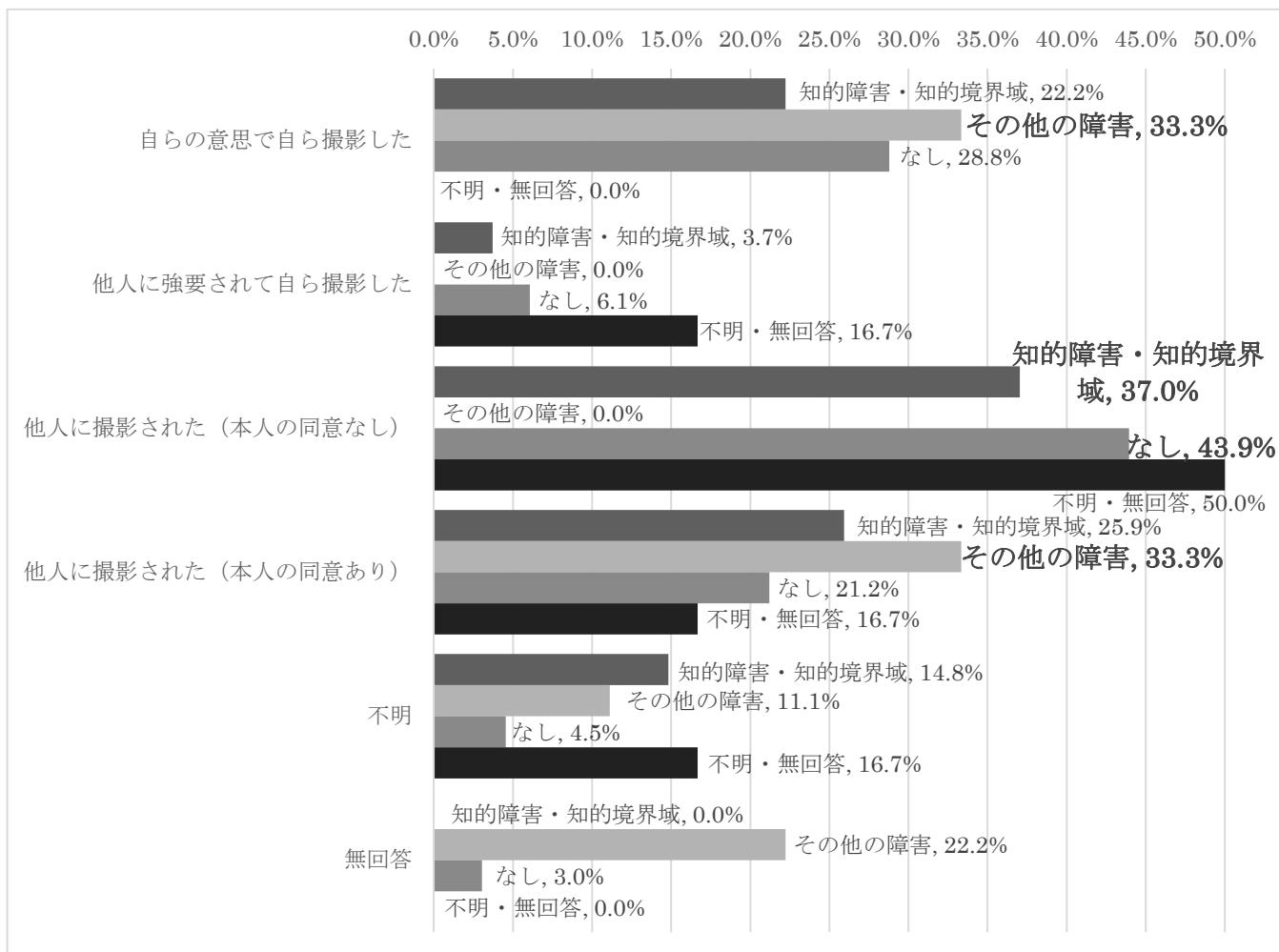


28) 障害の有無×児童ポルノ撮影の状況

◆撮影の状況に関しては、「知的障害・知的境界域」²⁾と障害が「なし」の児童は、「他人に撮影された（本人の同意なし）」が最も多いため、「その他の障害」のある児童では「自らの意思で自ら撮影した」「他人に撮影された（本人の同意あり）」（33.3%）が最も多かった。

表 2-3-43 児童の障害の有無×児童ポルノ撮影の状況のクロス集計表(N=108)

障害の有無			撮影の状況						N	
			自らの意思で自ら撮影した	他に強要されて自ら撮影した	他人に撮影された		不明	無回答		
					(本人の同意なし)	(本人の同意あり)				
知的障害・知的境界域	度数	%	6	1	10	7	4	0	27	
その他	度数	%	3	0	0	3	1	2	9	
なし	度数	%	19	4	29	14	3	2	66	
不明・無回答	度数	%	0	1	3	1	1	0	6	
合計	度数		28	6	42	25	9	4	108	

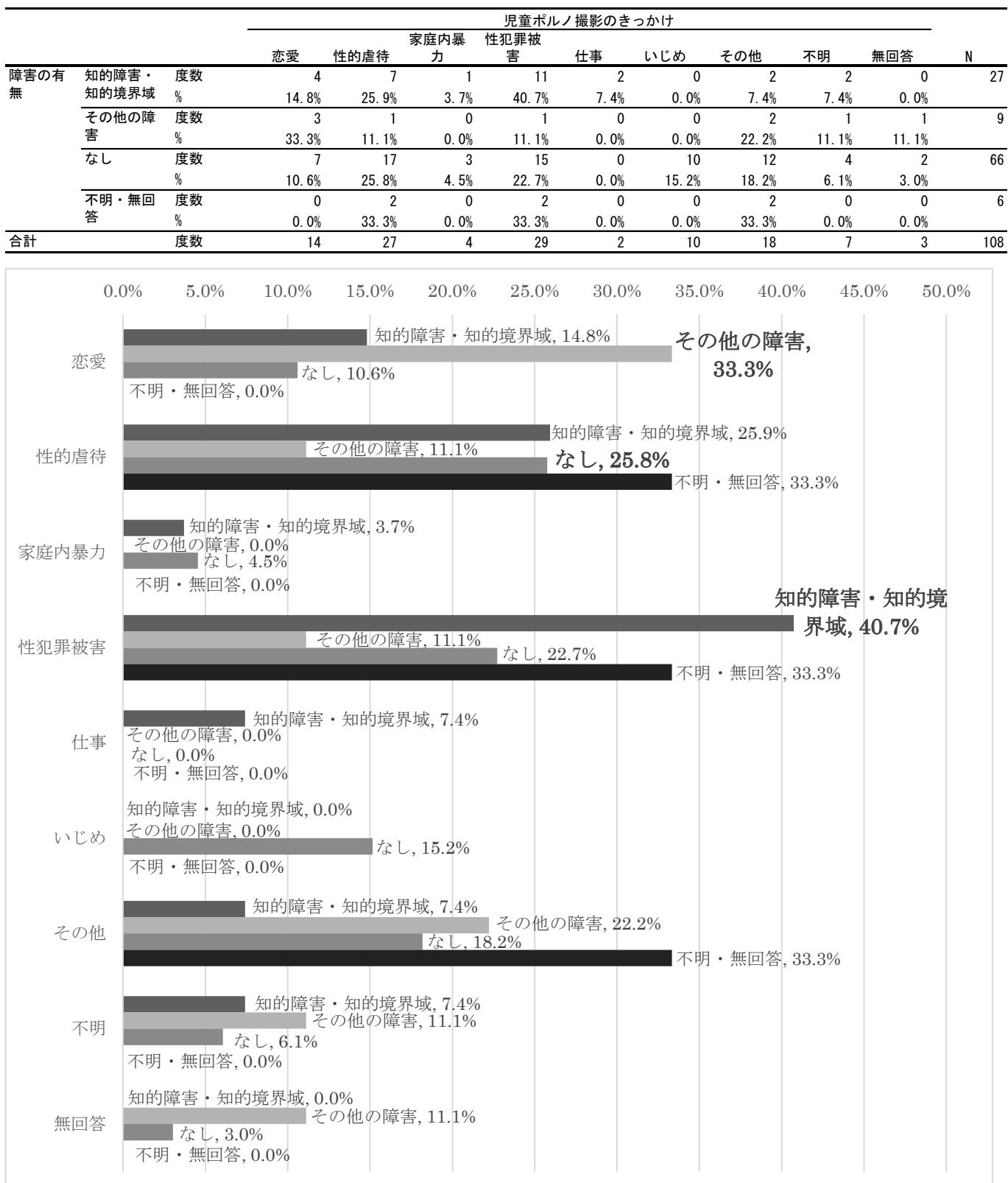


2) 注1同様、「発達障がい」と「知的に境界域」重複の児童が4名、「発達障がい」と「知的障がい」重複の児童が4名、「知的障がい」と「身体障がい」重複の児童1名は、「知的障害・知的境界域」に含めている。

29) 障害の有無×児童ポルノ撮影のきっかけ

◆児童ポルノ撮影のきっかけは、障害の有無³⁾によって違う傾向が見られた。知的障害・知的境界域は、最も多いきっかけとして「性犯罪被害」があがっていた。一方、障害がない場合は「性的虐待」が最も多く、その他の障害の場合は「恋愛」が複数ケースのきっかけとしてあがっていた。

表 2-3-44 児童の障害の有無×児童ポルノ撮影のきっかけクロス集計表(N=108)



3) 注1同様、「発達障がい」と「知的に境界域」重複の児童が4名、「発達障がい」と「知的障がい」重複の児童が4名、「知的障がい」と「身体障がい」重複の児童1名は、「知的障害・知的境界域」に含めている。

30) 被害形態×児童相談所の対応

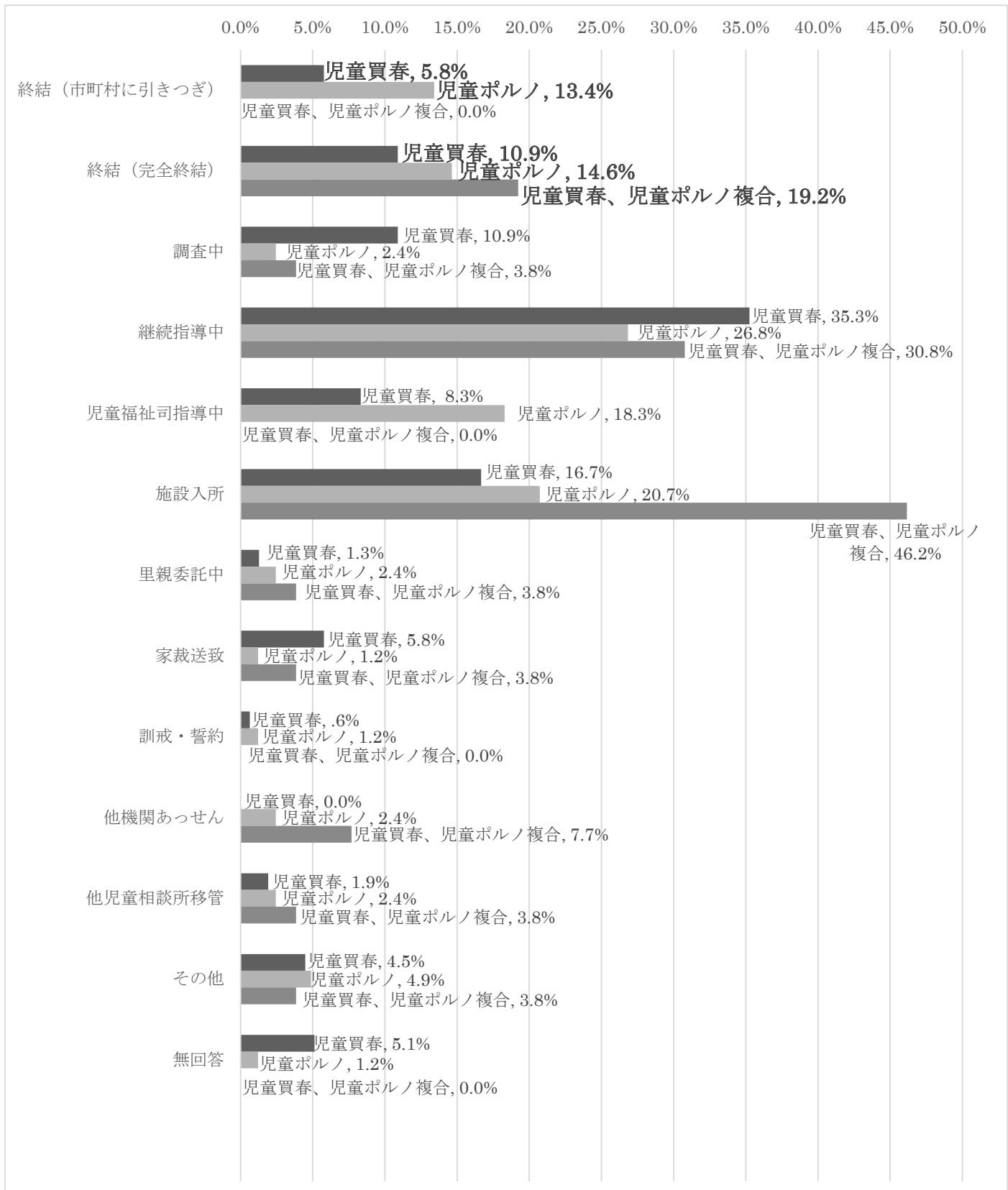
◆児童相談所の対応と、被害種別、児童の学力、障害の有無、生活課題、つないだ機関でクロス集計を行ったところ、被害種別、障害の有無、生活課題、つないだ機関では違う傾向が見られなかった。

◆児童ポルノ、児童買春・児童ポルノ複合は児童買春に比べて「終結（完全に相談終了）」が多かった。児童買春の場合は10人に1人が終結しているが、児童ポルノは7人に1人程度が終結を迎えることになる。また、被害数は少なくなるが、児童買春、児童ポルノ複合の被害は、約5人に1人終結を迎えていた。

表 2-3-45 被害形態×児童相談所の対応クロス集計表(被害形態無回答を除く)

被害形態		児童相談所の対応						
		終結（市町村 に引き継いで 終了）		終結（完全に 相談終了）		調査中（取り 扱い中）		児童福祉司指 導中
		度数	%	度数	%	度数	%	
児童買春	度数	9	5.8%	17	10.9%	17	10.9%	55
児童買春	%							13
児童ポルノ	度数	11	13.4%	12	14.6%	2	2.4%	22
児童ポルノ	%							15
児童買春、 児童ポルノ 複合	度数	0	0.0%	5	19.2%	1	3.8%	8
児童買春、 児童ポルノ 複合	%							0
合計	度数	20		34		20		85
								28
								55
								5

被害形態		児童相談所の対応							合計	
		家裁送致		訓戒・誓約		他機関斡旋		他の児童相談所 に移管		
		度数	%	度数	%	度数	%			
児童買春	度数	9	5.8%	1	.6%	0	0.0%	3	7	
児童買春	%							1.9%	4.5%	
児童ポルノ	度数	1	1.2%	1	1.2%	2	2.4%	2	4	
児童ポルノ	%							2.4%	4.9%	
児童買春、 児童ポルノ 複合	度数	1	3.8%	0	0.0%	2	7.7%	1	1	
児童買春、 児童ポルノ 複合	%							3.8%	3.8%	
合計	度数	11		2		4		6	12	
									9	
									264	

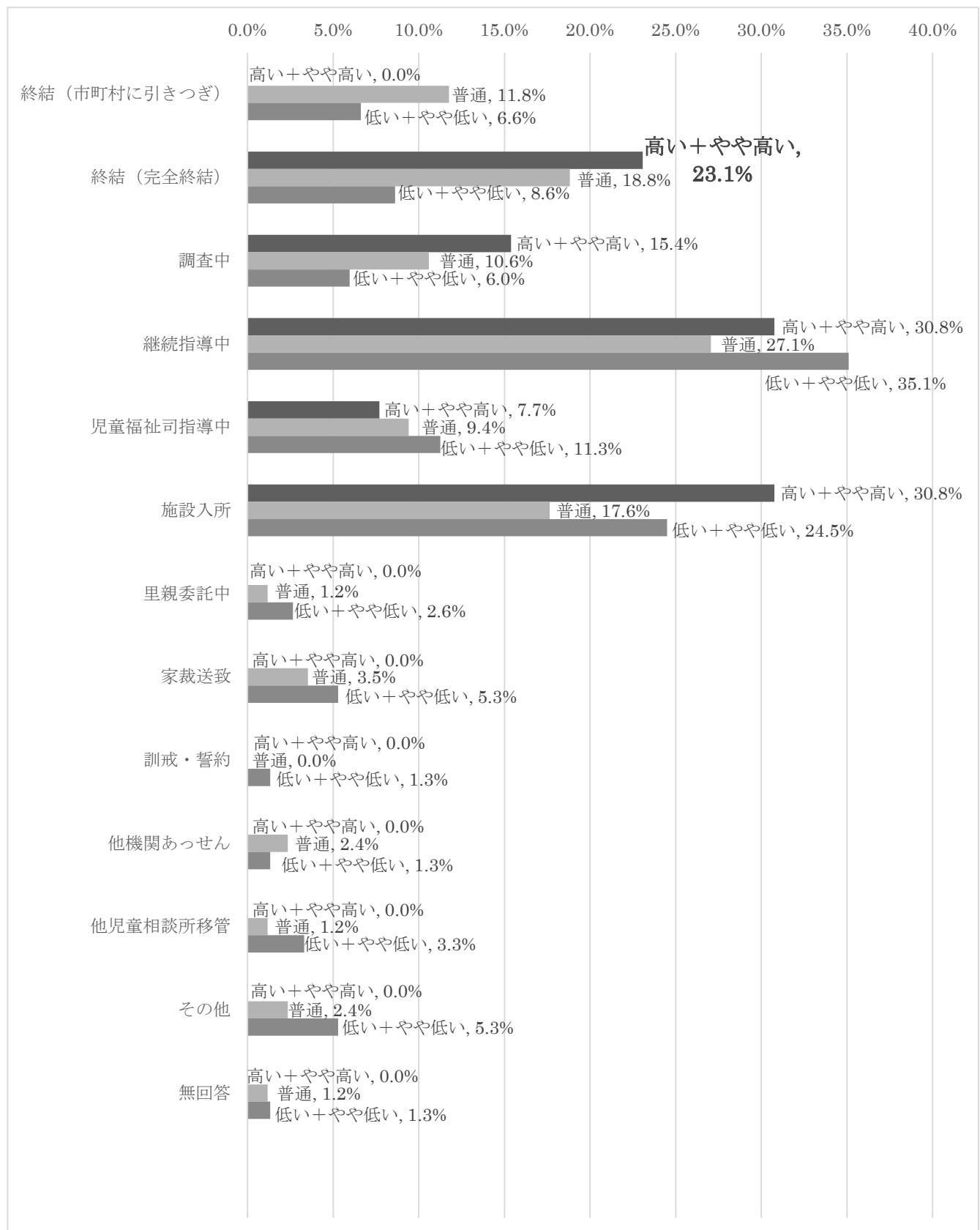


31) 児童の学力×児童相談所の対応

◆児童相談所の対応は、児童の学力によって違った傾向が見られた。

表 2-3-46 児童の学力×児童相談所の対応クロス集計表(学力無回答を除く)

児童相談所の対応							
	終結（市町村 に引き継いで 終了）	終結（完全に 相談終了）	調査中（取り 扱い中）	継続指導中	児童福祉司指 導中	施設入所中	里親委託中
高い+やや高 い	度数 %	0 0.0%	3 23.1%	2 15.4%	4 30.8%	1 7.7%	4 30.8%
普通	度数 %	10 11.8%	16 18.8%	9 10.6%	23 27.1%	8 9.4%	15 17.6%
低い+やや低 い	度数 %	10 6.6%	13 8.6%	9 6.0%	53 35.1%	17 11.3%	37 24.5%
	度数	20	32	20	80	26	56
児童相談所の対応							
	家裁送致	訓戒・誓約	他機関斡旋	他の児童相談 所に移管	その他	無回答	合計
高い+やや高 い	度数 %	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14
普通	度数 %	3 3.5%	0 0.0%	2 2.4%	1 1.2%	2 2.4%	85 1.2%
低い+やや低 い	度数 %	8 5.3%	2 1.3%	2 1.3%	5 3.3%	8 5.3%	151 1.3%
	度数	11	2	4	6	10	3 249



第4節 アンケート調査からいえること

◆全体の件数について

- ・児童相談所において、児童買春被害、児童ポルノ被害が含まれている事例の把握数は、半年間で266件であった。福祉行政報告例で報告された35件の7.6倍となっている。

◆回答者について

- ・男性の回答者より女性の回答者の方が、事例を把握していた。しかし児童買春、児童ポルノ被害が含まれる恐れのある事例の把握では差が見られなかった。
- ・研修会に参加している回答者の方が、参加していない回答者より、含まれている事例、含まれている恐れのある事例とも把握していた。

◆児童買春、児童ポルノ被害について

- ・児童買春、児童ポルノ被害で分けると、7割が児童買春被害であった。
- ・男児の被害数は少なく1割程度であるが、その8割は児童ポルノ被害であった。
- ・被害児童の4人に1人が「知的障害・知的境界域」にいる児童であった(25.2%)。
- ・児童をとりまく環境のうち「あてはまるものはない」を見ると、その選択肢を選んだ70.0%は児童ポルノ被害のケースであった。また、生活課題の「あてはまらない」を見ると、その選択肢を選んだうちの87.5%が児童ポルノ被害であり、児童ポルノ被害は特に目だった課題がなくても被害を受けている、ということが言えるのではないかと考えられる。

◆生活課題と児童を取りまく環境について

- ・他に生活課題を抱えている場合が多く、64.7%が「親子関係不調」を、43.6%が「家出・無断外泊」、39.8%が「低い自己肯定感」の課題を抱えていた。1人の児童につき平均で3つ程度の生活課題があった。
- ・児童の保護者の生活にも課題があることがうかがわれる。被害児童をとりまく環境では、「ひとり親家庭」(36.1%)、「保護者の心身の不安定状態」(27.1%)、「保護者の無関心」(26.7%)、「経済的な困難」(24.4%)が多くあがっていた。これらは保護者の生活の苛酷さを表すものととらえることができ、保護者へのサポートの必要性が示唆される。

◆つないだ機関について

- ・被害児童を児童相談所につないだ機関は、「警察」(53.4%)と「学校」(20.3%)をあわせて7割を超える。2人に1人が警察によって児童相談所につながっていることが明らかになった。

◆対応と支援について

- ・児童相談所の対応としては、「継続指導中」(32.1%)が最も多く、次に「施設入所中」(21.1%)が多かった。また、「終結（完全に相談終了）」も12.8%あった。
- ・児童ポルノ、児童買春・児童ポルノ複合は児童買春に比べて「終結（完全に相談終了）」が多かった。児童買春の場合は10人に1人が終結しているが、児童ポルノは7人に1人程度が終結していた。また、被害数は少なくなるが、児童買春、児童ポルノ複合の被害は、約5人に1人が終結していた。
- ・学力に関係なく「継続指導中」は最も多かったが、次いで多いものには違いがあり、「低い+やや低い」児童では「施設入所中」が多く、「普通」「高い+やや高い」児童は「終結（完全に相談終了）」が多かった。
- ・児童相談所で行った支援は、「来所してもらい個別面接」(65.8%)、「一時保護・一時保護委託」(55.3%)、「家庭訪問による面接」(36.1%)が多かった。平均して1人2.7つの支援が行われていた。
- ・「その他」の記載では学校への援助依頼もあげられており、支援の過程においての連携がうかがわれる。
- ・ケースの刑事事件化は37.6%がした、と答えており、3件に1件が刑事事件化していることがわかる。

◆対応時の困難と必要な社会資源について

- ・対応時の困難は、「保護者が問題に向き合わない」(27.1%)に次いで、「その他」(22.2%)が多かった。「その他」の記載に多かったものが、「児童本人に問題意識・被害意識なし」と、「警察との連携困難」であった。これらは調査開始段階では明らかになっていなかった課題であり、今後深めていく必要がある。
- ・必要な社会資源については、「性被害を受けた児童のためのカウンセリング（性教育含む）」(60.5%)が最も多く、次いで「児童買春、児童ポルノ被害に関する身近な相談機関」(36.1%)が挙げられていた。カウンセリングと性教育を分けなかったためにはっきりしないが、心理士のケア、あるいは性教育のいずれかを、多くの児童相談所が必要としていることがうかがわれる。

第3章 質的分析

赤嶺恵理・田中元基・武子 愛

本章では、ヒアリング調査で収集されたデータの分析結果を報告する。

第1節では、プロセス分析の結果を取りあげる。プロセス分析では、児童が被害にあってから児童相談所へ把握されるまで、そして、児童相談所でどのような対応を行っていったかという一連のプロセスを報告する。つづく第2節では、内容分析の結果を取りあげる。内容分析では、ヒアリング対象が語った①児童買春、児童ポルノ被害対応時に感じた困難感、②児童買春、児童ポルノ被害対応時に必要だと思われた社会資源について報告する。

ヒアリング調査は、半構造化面接の形式で実施した。半構造化面接では、①児童買春、児童ポルノ被害にあった児童が、児童相談所につながるまでのプロセス、②児童が、児童買春、児童ポルノとの関わりをもつたときの状況やその被害、③児童相談所が、児童へどのような対応を行ったかについて質問を行った。

第1節 プロセス分析

第1項 分析手続き

ヒアリング調査で収集したデータ（16事例）に基づいて、逐語録を作成した¹⁾、²⁾。プロセス分析では、逐語録を繰り返し読み込み、事例の詳細について把握したうえで、逐語録を意味のまとまりごとに区切り、コード化を行った。コード化したデータは、特に出来事に関するコードに着目し、各コードを時間軸上に並べていった。コードの内容によっては、事例の特定に結びつく危険性が考えられたため、コードの意味を損ねない範囲で抽象度を高める作業を必要に応じて行った。また、ヒアリング対象が推測して述べたと考えられる発話は取り上げず、実際に起こった出来事のコードに基づいて分析を行った。最終的な分析結果は、希望のあった児童相談所に対応した事例の結果を示し、一部表現を修正することもあった。

第2項 プロセス分析の結果

プロセス分析の結果³⁾を以下に示す（図3-1-1から図3-1-16まで）。各事例を見ると、“過去に児童相談所との関わりのある事例”と“過去に児童相談所との関わりのない事例”との2つに大別できるため、この2つに分けて結果を示していく。また、プロセスの中に含めることはできないものの、事例に対する理解の資料になると考えられる事項について表に示した（表3-1-1から表3-1-16まで）。各事例の番号は分析時の暫定的な番号であったが、本報告書で事例がずれることを避けるために番号をそのまま用いている。

¹⁾ ヒアリングは17事例を対象に実施されたが、そのうち1件（事例6）は、きょうだいとして一度にまとめて語られ、きょうだいのどちらか区別が困難であった。そこで意味を損ねない範囲で1つの事例として分析を行った。

²⁾ ヒアリング調査で収集したデータは、「児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律」で児童買春、児童ポルノの定義に該当しない性被害、性非行の事例が含まれていた。本調査では、それらが児童買春に類似した事例であることと、児童福祉司が「児童買春等被害」と判断し福祉行政報告例で報告をしていたことをふまえ、調査対象とした。

³⁾ 各事例のプロセス図の対応は、ヒアリングで語られた対応であり、「プロセス図に挙がっていない=対応していない」ではない点に注意が必要である。

1. 過去に児童相談所との関係のある事例

1) 事例1：人身取引

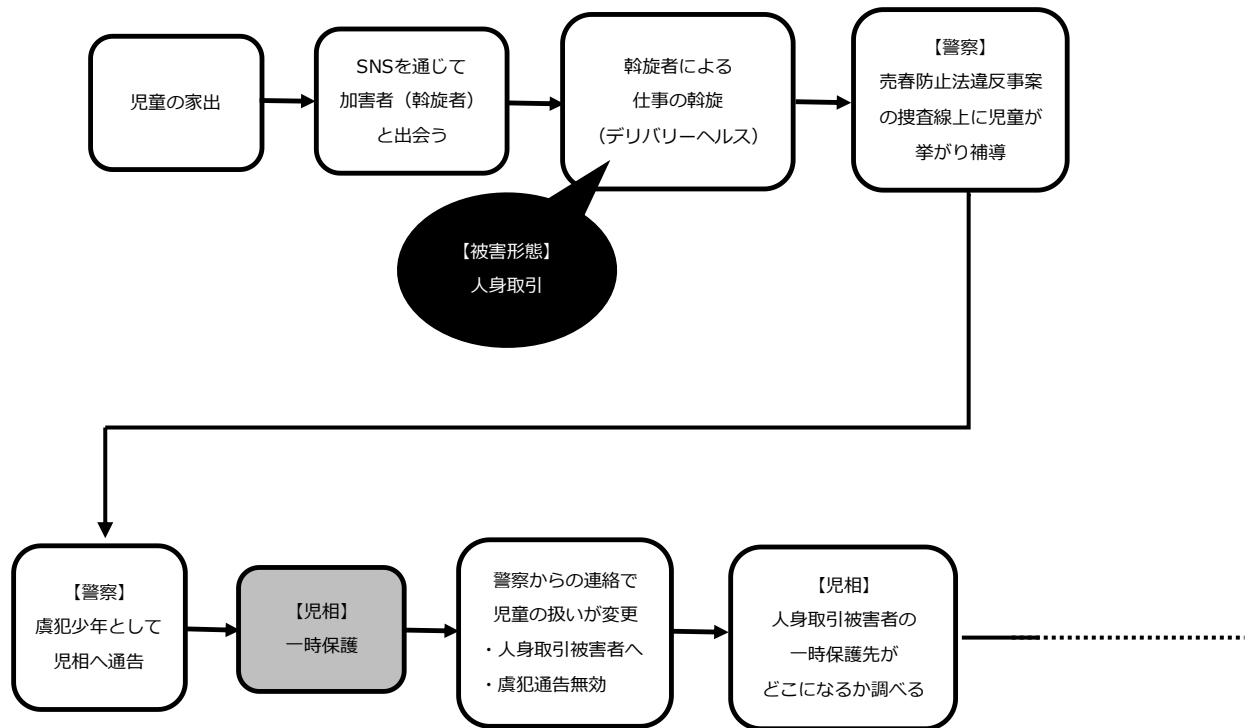
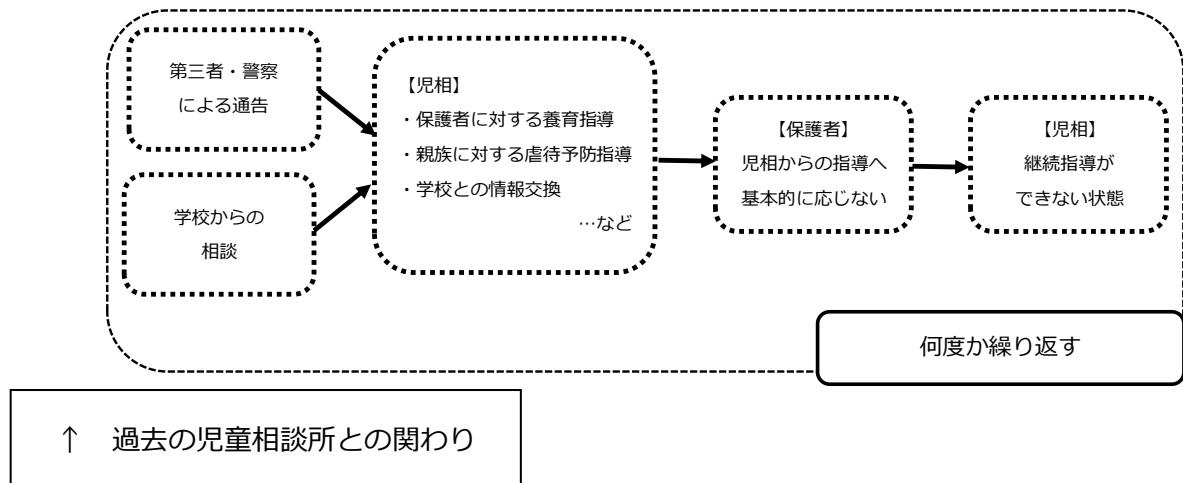


図 3-1-1 事例 1 のプロセス図

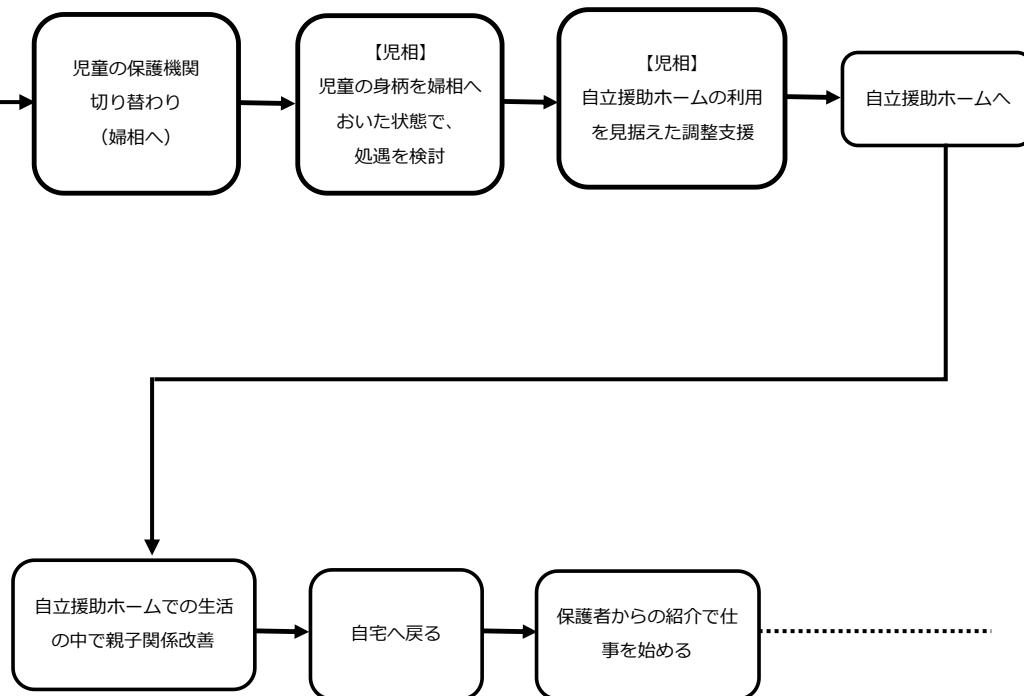


表 3-1-1 事例 1 の追加資料

児童賣春・児童ポルノ等に関わる背景

担当児童福祉司は、児童は家出中で生活費が必要だと推察している。

家庭環境及び児童の状況

ひとり親家庭。保護者は、仕事中心の生活。警察に身柄を保護されたとき、児童は保護者との関係悪化から家出中。

児童の就学・就労の状況

就学している（不登校）。

できなかつた／しなかつた支援

- ・一時保護。
- ・生活支援を通じて虞犯行動に対する指導や買春被害に対する心理的ケア、児童自立支援施設への入所措置。

できなかつた／しなかつた背景

- ・一時保護／この被害の児童を他の児童と一緒にすることに抵抗があった。
- ・生活支援を通じて虞犯行動に対する指導や買春被害に対する心理的ケア、児童自立支援施設への入所措置／人身取引の被害者認定をされたため、一時婦人相談所の支援に切り替えられた。

2) 事例2：児童買春・児童ポルノ

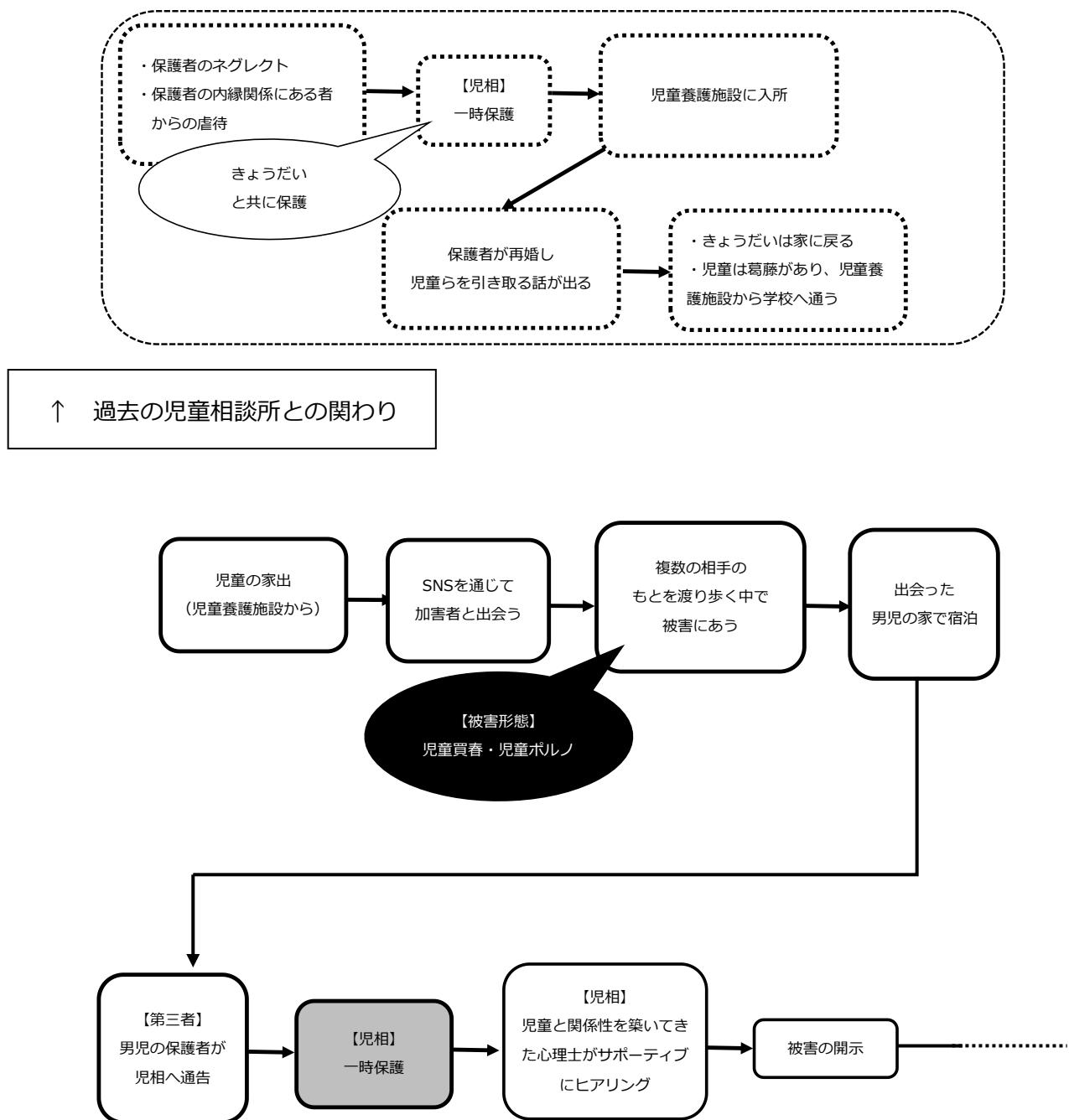


図 3-1-2 事例 2 のプロセス図

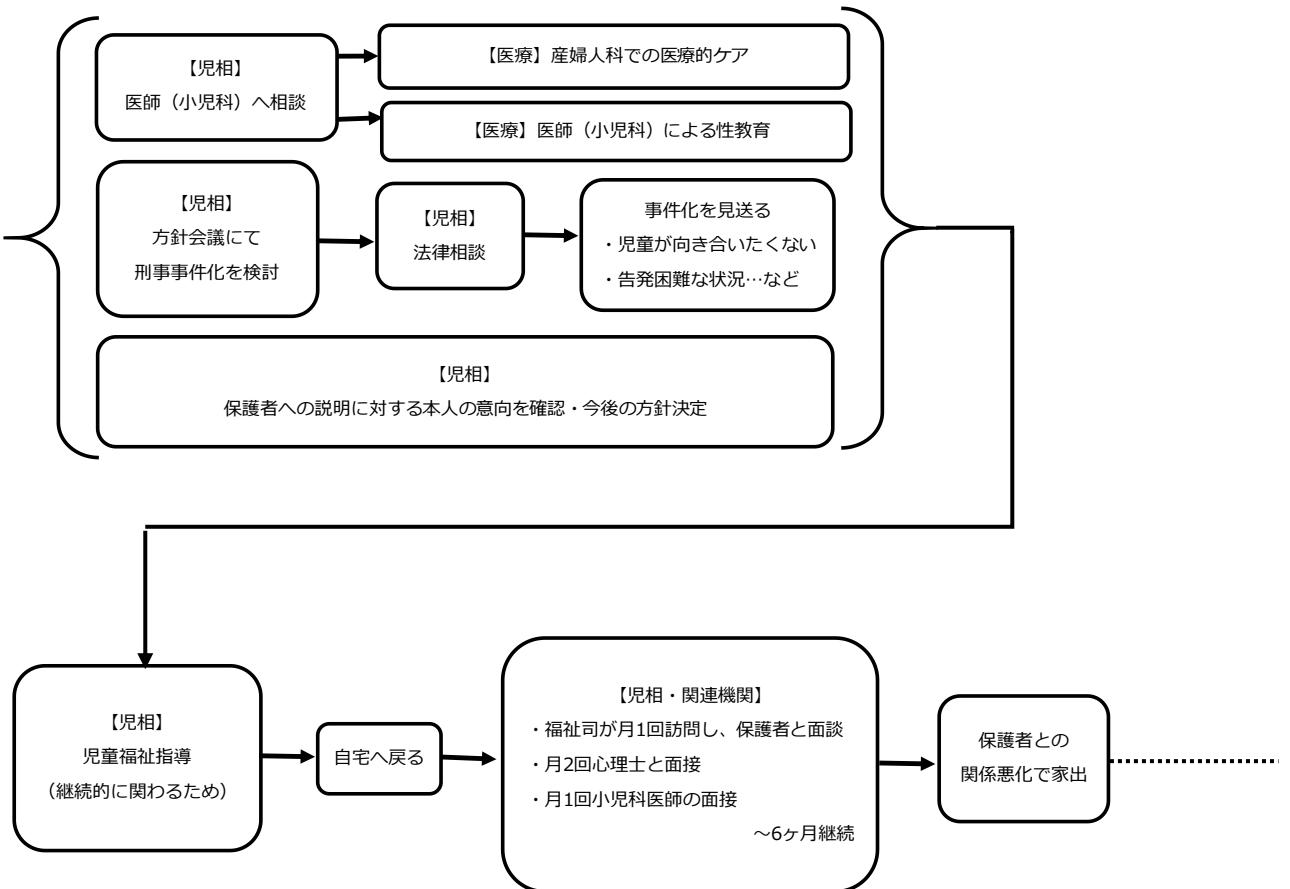


表 3-1-2 事例 2 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関わる背景

家出中に宿泊場所を得る目的.

家庭環境及び児童の状況

保護者からの虐待のために児童養護施設入所中。児童は、保護者と関係不調。性被害にあったとき、児童は家出中。

児童の就学・就労の状況

就学している。

できなかつた／しなかつた支援

加害者の告訴.

できなかつた／しなかつた背景

相手の住所が不明であり、再度被害を人に話す精神的負担感から児童本人も望まなかつた。

3) 事例3：児童買春

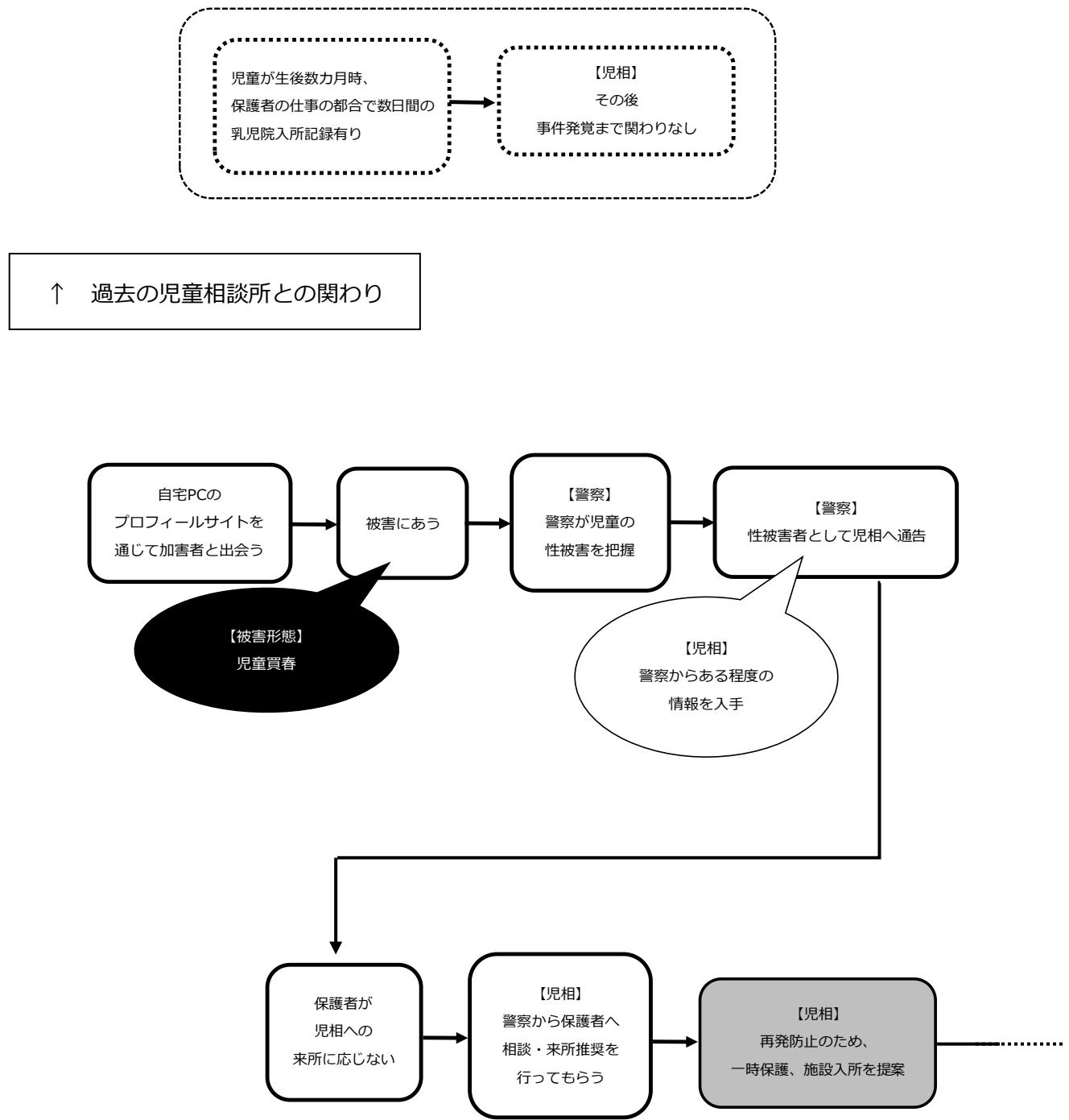


図 3-1-3 事例3のプロセス図

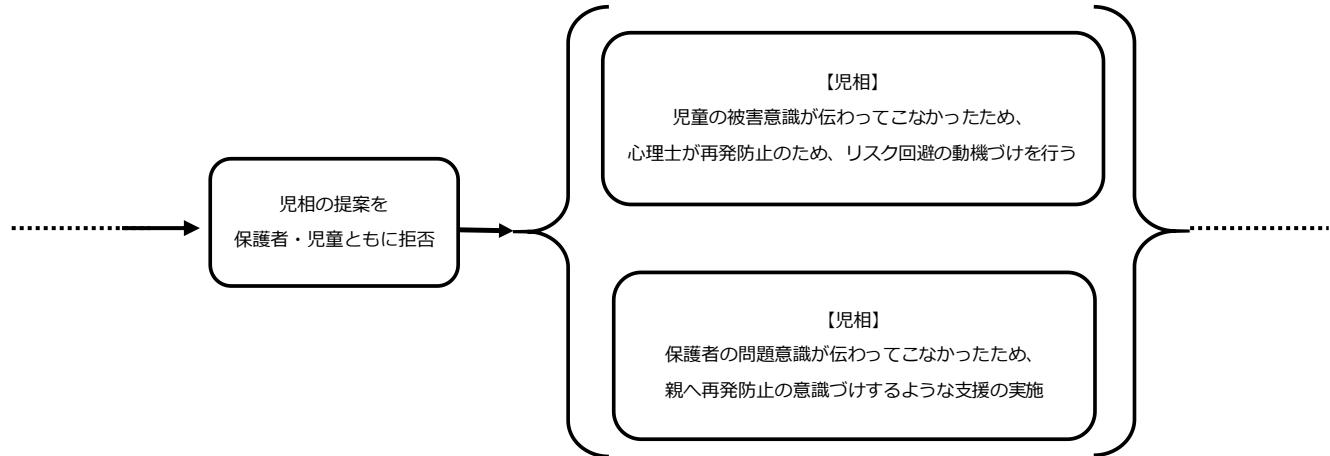


表 3-1-3 事例 3 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関わる背景

交際費を得る目的.

家庭環境及び児童の状況

ひとり親家庭. 保護者は夜勤のある不規則勤務. 保護者との関係は不調ではない.

児童の就学・就労の状況

就学している.

できなかつた／しなかつた支援

本人の環境として買春被害の再発の懸念があつたため、情報統制ができるところでの育ち直しを行いたかった.

できなかつた／しなかつた背景

児童が拒否.

4) 事例 6 : 児童ポルノ、性被害⁴⁾

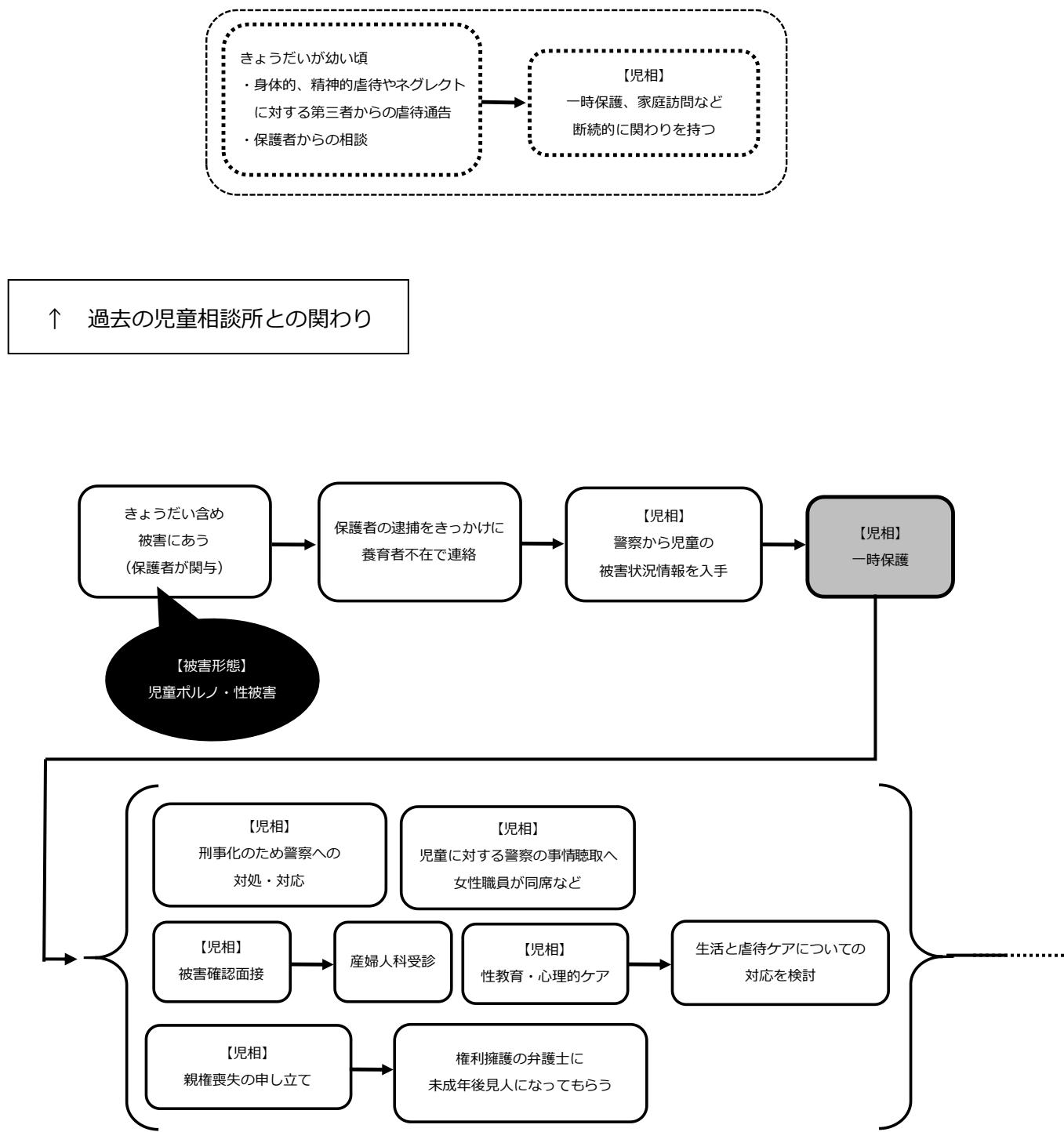


図 3-1-4 事例 6 のプロセス図

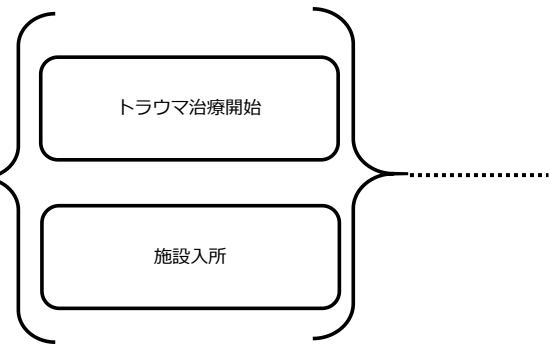


表 3-1-4 事例 6 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関する背景

経済的困窮による家族の斡旋.

家庭環境及び児童の状況

ひとり親家庭. 乳児期からネグレクト状態. 生活保護受給, 経済的困窮状態.

児童の就学・就労の状況

児童①就学している.

児童②就学・就労ともにしていない.

できなかった／しなかった支援

聞き取りデータなし.

できなかった／しなかった背景

聞き取りデータなし.

⁴⁾ 事例 6 は、きょうだいで被害にあった事例であり、1回のヒアリング調査の中で2件分の内容が語られた。逐語録の中からは、どちらの児童をさして述べたものか判断することの困難な発話が多くった。そこで事例の意味を損ねない範囲で1つの事例として統合したプロセス図を結果として示した。

5) 事例9：性非行、児童ポルノ

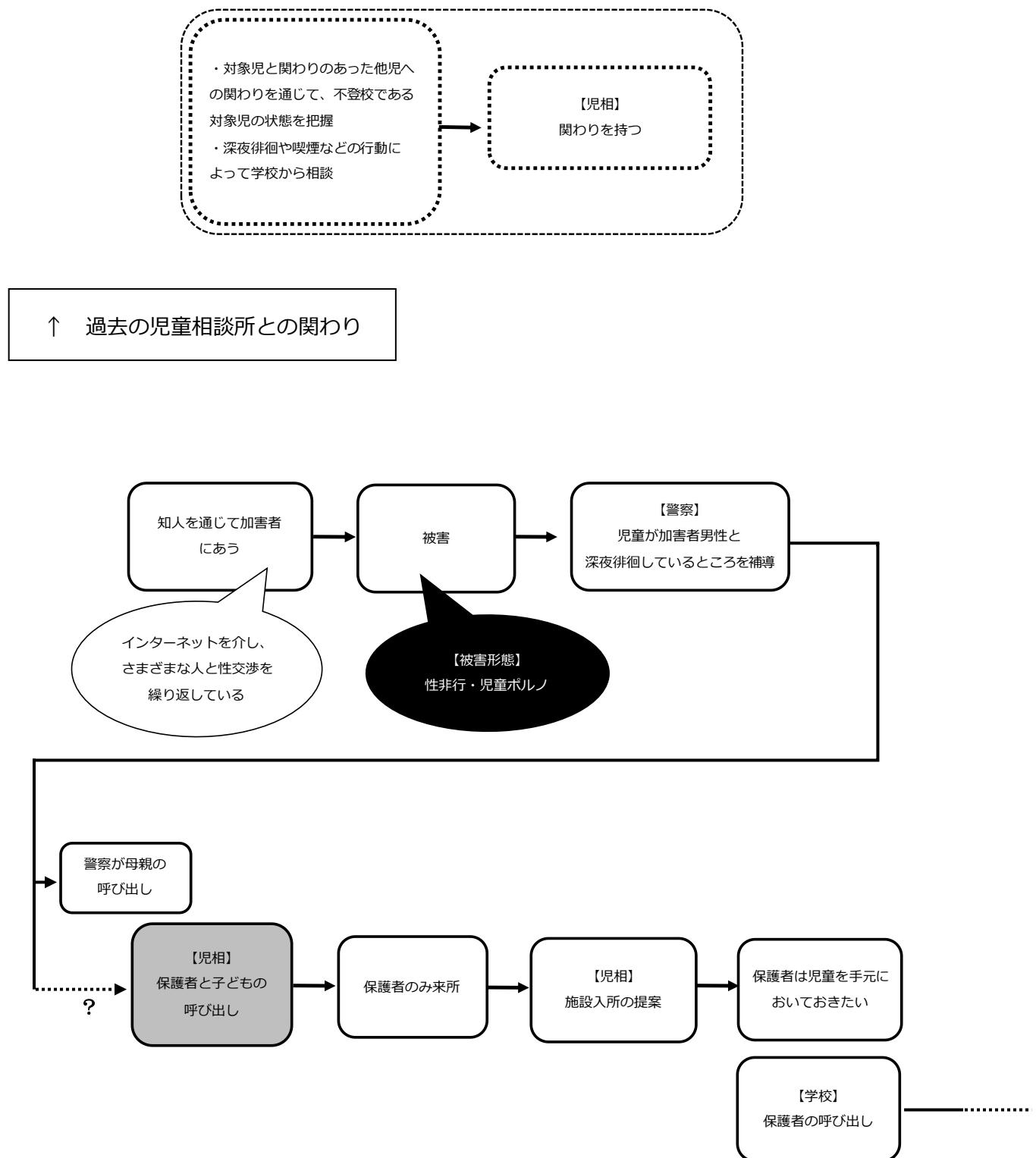


図 3-1-5 事例9のプロセス図

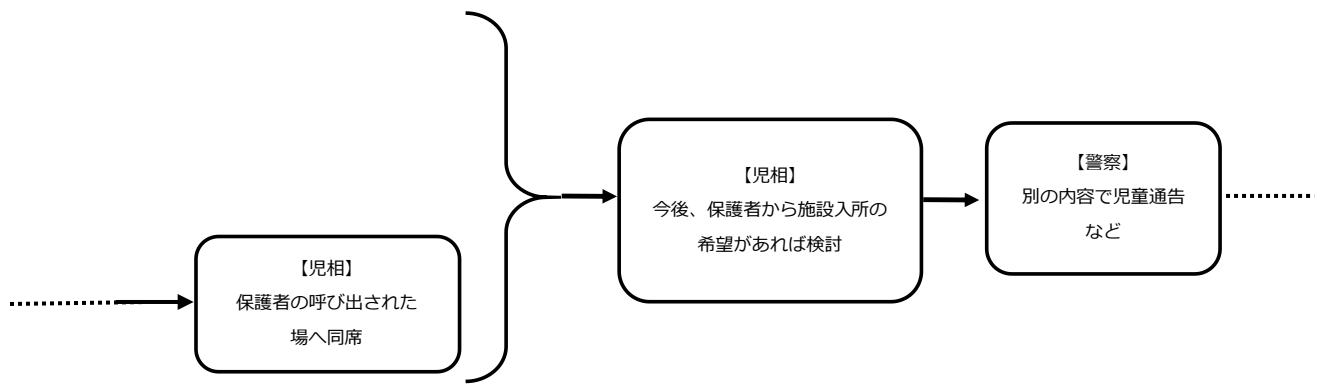


表 3-1-5 事例 9 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関わる背景

知人に紹介された異性と性行為をした際に撮影された。

家庭環境及び児童の状況

ひとり親家庭。保護者は、仕事で時間的余裕がなかった。きょうだいとの関係不調、被害前、深夜徘徊等の問題行動で、学校からの相談履歴あり。

児童の就学・就労の状況

就学している（不登校）。

できなかつた／しなかつた支援

保護者に物理的な時間がないこともあり、児相では児童自立支援施設へ入所を検討。

できなかつた／しなかつた背景

家族の心の整理がつかずそのまま在宅。

6) 事例 1 1 : 性被害

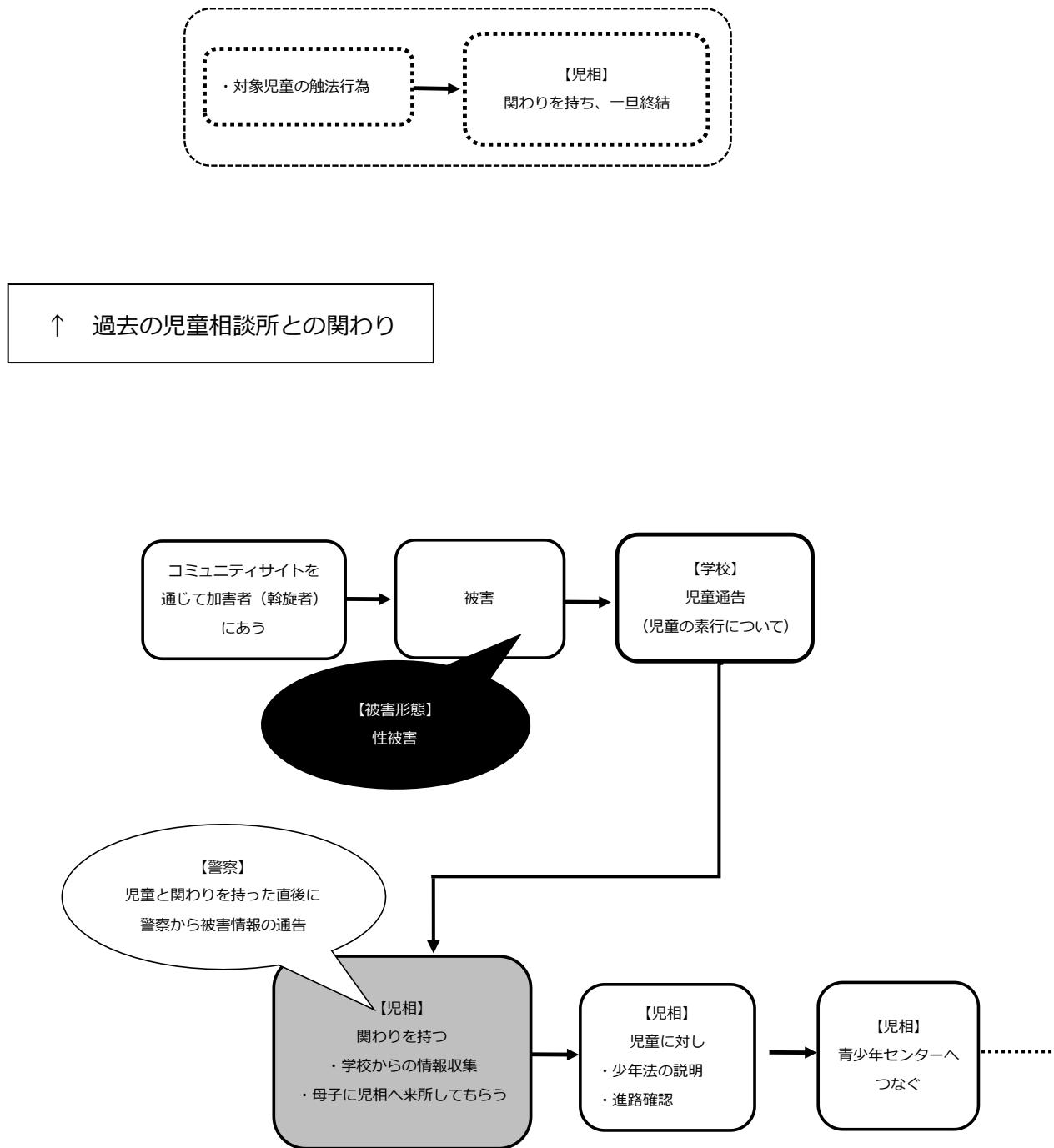


図 3-1-6 事例 1 1 のプロセス図

表 3-1-6 事例 1 1 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関する背景

仕事を紹介してもらう目的で風俗店従業員にあった際に被害.

家庭環境及び児童の状況

ひとり親家庭. 保護者が仕事で夜に不在にすることが多く, 児童は家で一人で過ごすことが多い. 児童が無断外泊等をしているため指導してほしいと学校から通告があった.

児童の就学・就労の状況

就学している（不登校）.

できなかった／しなかった支援

学校での児童との面接.

できなかった／しなかった背景

児童が家出していた.

7) 事例 1 2 : 児童買春の疑い

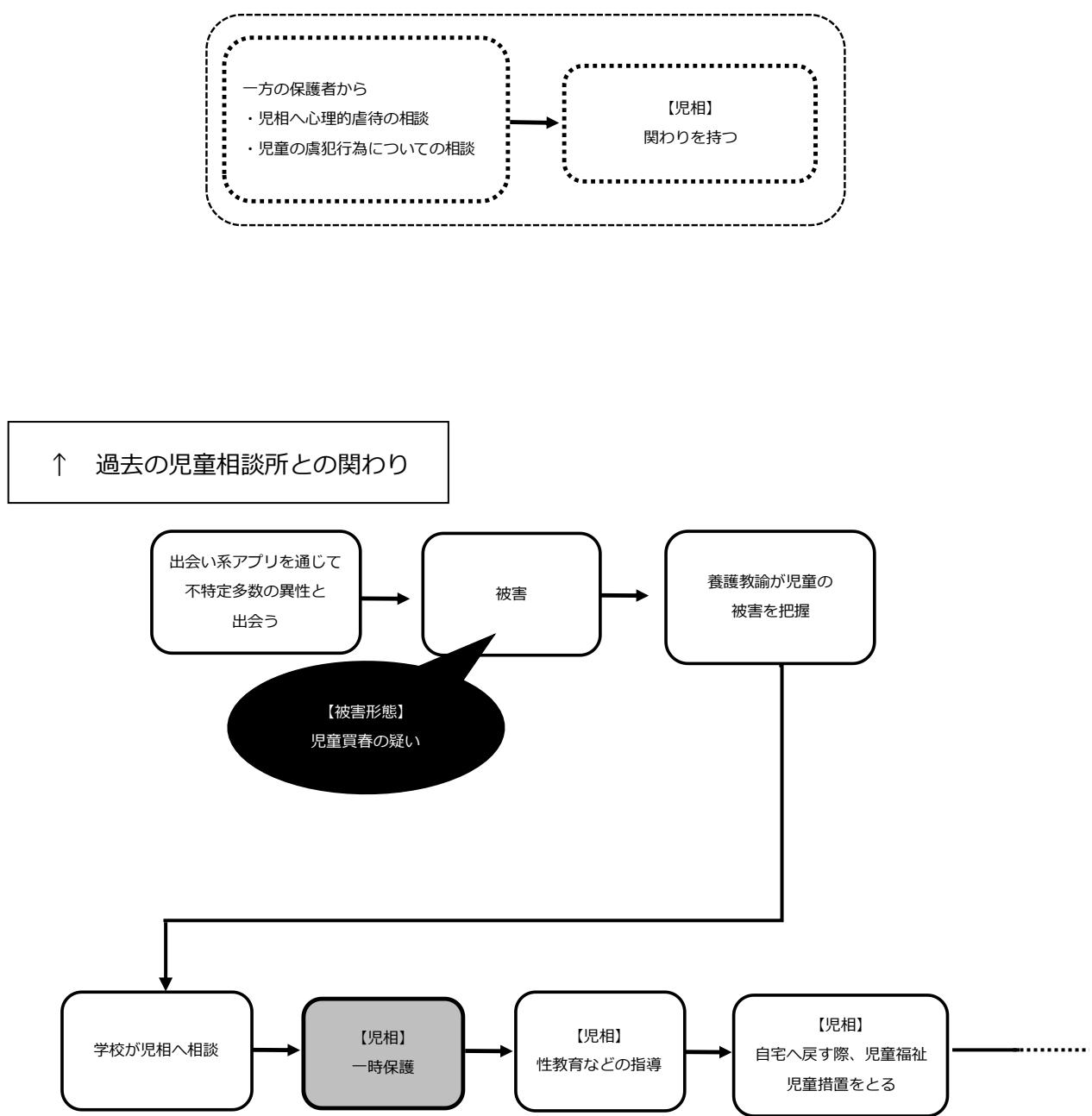


図 3-1-7 事例 1 2 のプロセス図

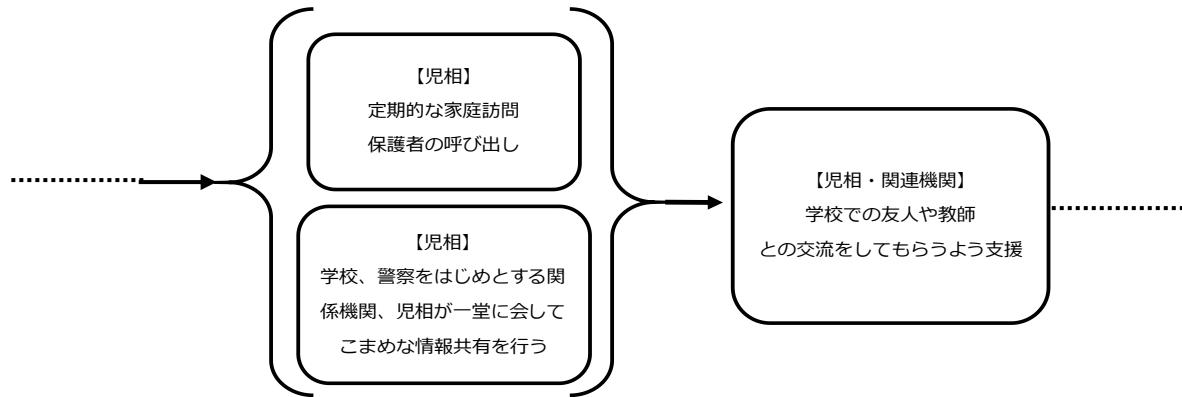


表 3-1-7 事例 1 2 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関わる背景

産婦人科受診料として金錢を要求した

家庭環境及び児童の状況

ひとり親家庭、生活保護受給中、保護者は非正規就労、多子家庭、保護者のDVを児童が目撃している。

児童の就学・就労の状況

就学している（不登校）

できなかつた／しなかつた支援

スマートフォンの解約

できなかつた／しなかつた背景

SNSが心のよりどころとなっており、それを取り上げることにためらいがある。

8) 事例 1-4 : 児童買春

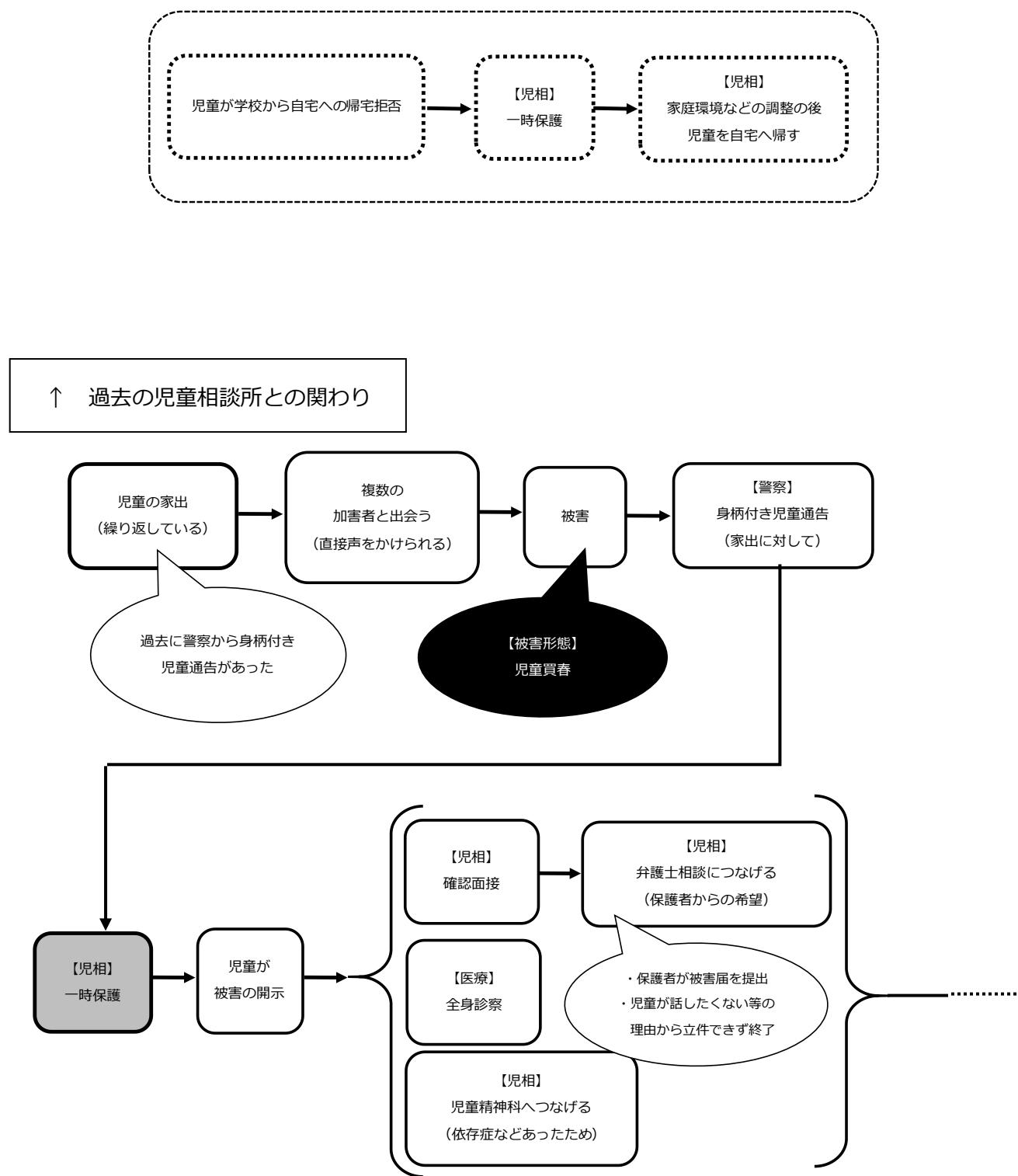


図 3-1-8 事例 1-4 のプロセス図

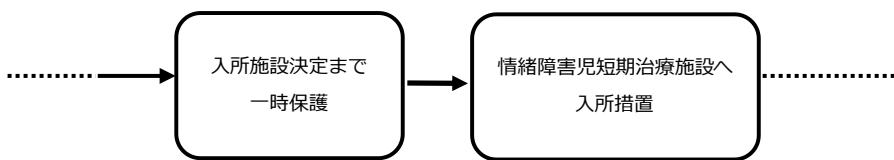


表 3-1-8 事例 1 4 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関わる背景

近所で男性に声をかけられ家に行き被害。その後、一人で家出を繰り返し男性から声をかけられるのを待つようになった。

家庭環境及び児童の状況

ひとり親家庭。保護者は夜勤で勤務、経済的に余裕がない。児童と保護者は関係不調。児童は家出を繰り返す。

児童の就学・就労の状況

就学している（保健室登校）。

できなかつた／しなかつた支援

- ・一時保護所から施設入所に早期に移行。
- ・立件。

できなかつた／しなかつた背景

- ・施設入所／施設が満床だったため。

(児童養護施設への入所が難しい児童だったため、情緒障害児短期治療施設に入所措置した)

- ・立件／被害確認面接で、児童が事件について話せなかったので、立件は見送られた。

9) 事例 1 5 : 児童買春

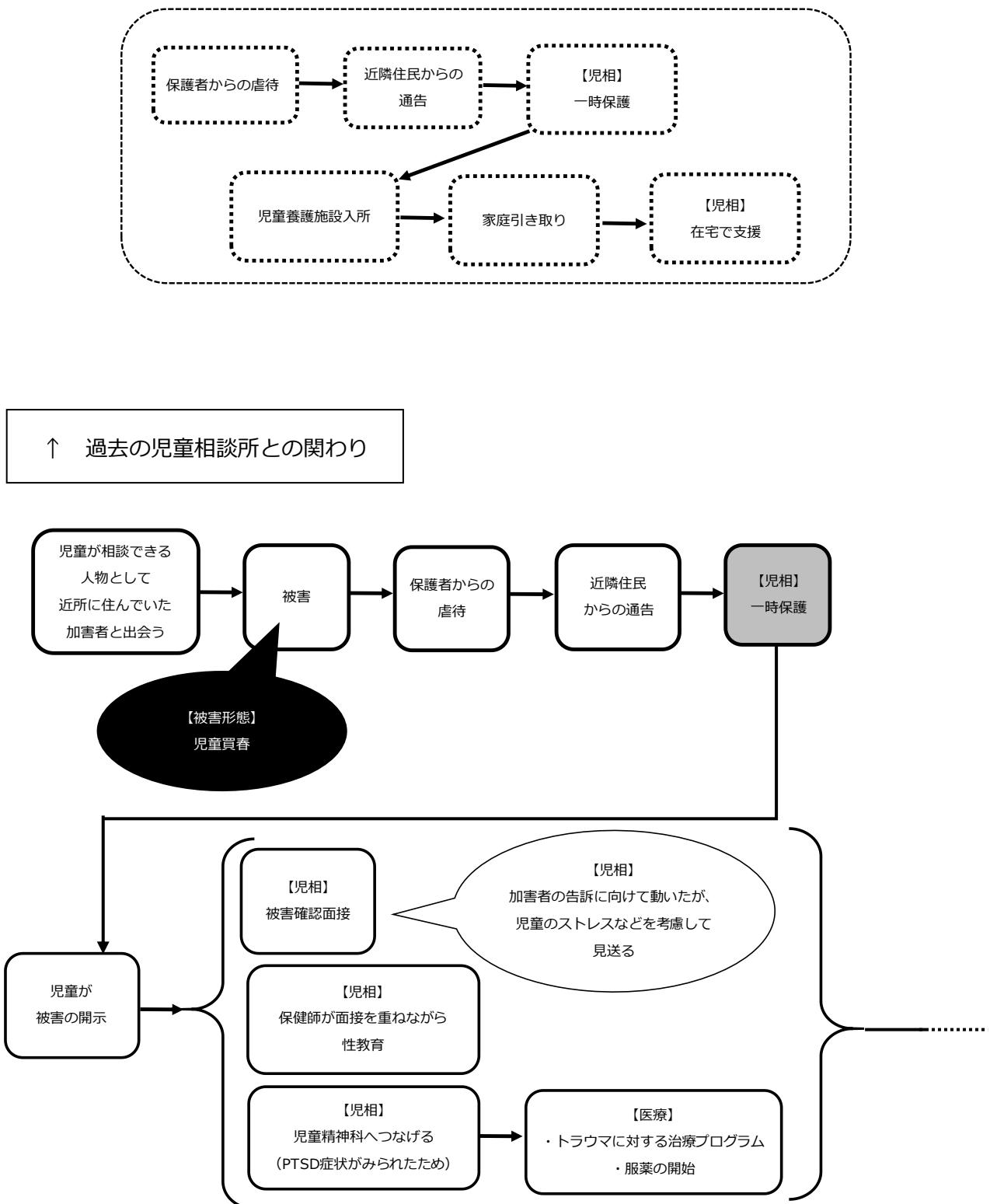


図 3-1-9 事例 1 5 のプロセス図



表 3-1-9 事例 1 5 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関わる背景

交際費を得る目的.

家庭環境及び児童の状況

生活保護受給中. 保護者からの身体的虐待, ネグレクト.

児童の就学・就労の状況

就学している.

できなかつた／しなかつた支援

- ・加害者の告発.
- ・家事支援を中心としたヘルパー派遣.

できなかつた／しなかつた背景

- ・加害者の告発／児童のストレスを考慮し, 見送った.
- ・家事支援を中心としたヘルパー派遣／他の人に家に入られたくないと言う保護者の意向で見送った.

・“過去に児童相談所との関わりのある事例”のまとめ

これまで挙げてきた 9 事例が, “過去に児童相談所との関わりのある事例”であった. これらの事例は, すべてに共通した特徴は見受けられないものの, 次の傾向が見受けられる. ①児童相談所へつながる際に直接的・間接的に警察の関わりがある傾向 (9 事例中 6 事例 (事例 1, 3, 6, 9, 11, 14)), ②被害を児童が受けた後の児童相談所の対応として, 医療的な介入へつなげる傾向 (9 事例中 4 事例 (事例 2, 6, 14, 15)), ③児童相談所は, 児童や保護者への教育・指導を行う傾向 (9 事例中 4 事例 (事例 3, 6, 12, 15)).

次に, “過去に児童相談所との関わりのない事例”を取りあげていく.

2. 過去に児童相談所との関係のない事例

10) 事例 4 : 児童買春疑い

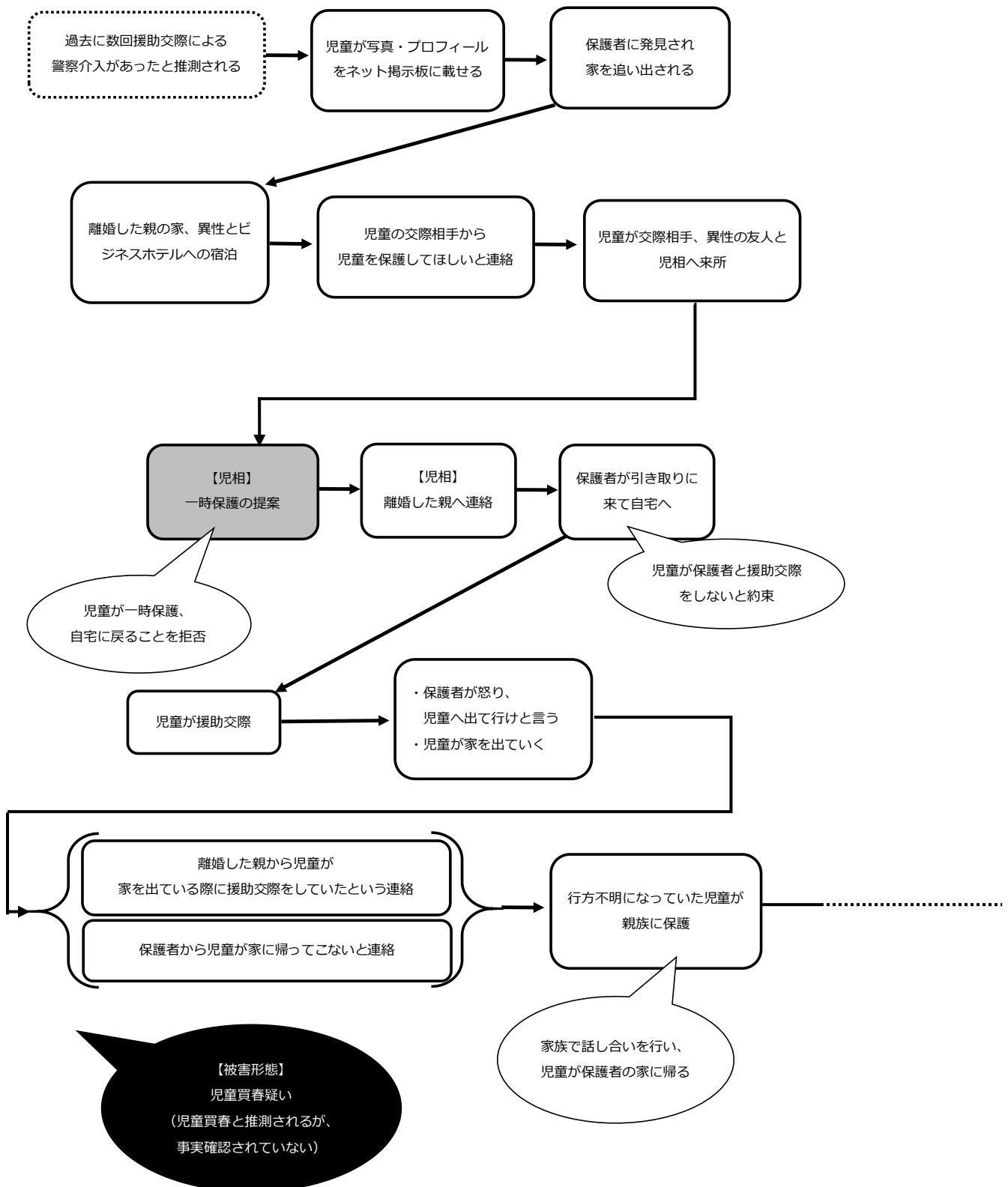


図 3-1-10 事例 4 のプロセス図

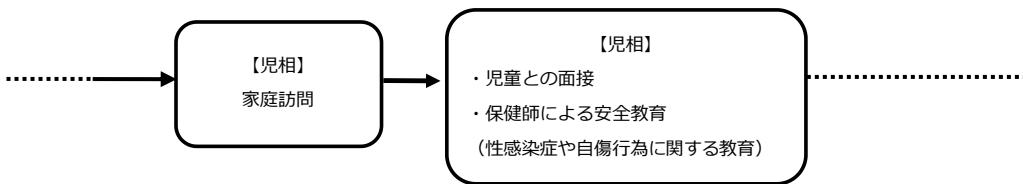


表 3-1-10 事例 4 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関わる背景

家庭環境の変化により寂しかったからと話している。

家庭環境及び児童の状況

ひとり親家庭。保護者は仕事のために児童を気にかける余裕がなかった様子。きょうだいと関係不調。

児童の就学・就労の状況

就学している（不登校）。

できなかつた／しなかつた支援

- ・一時保護。
 - ・警察との情報交換。
- （保護者が警察とやりとり）

できなかつた／しなかつた背景

- ・一時保護／本人が拒否
 - ・警察との情報交換／児相からは問い合わせても情報の開示が困難と推測されるため。
-

11) 事例 5 : 援助交際（下着販売）未遂

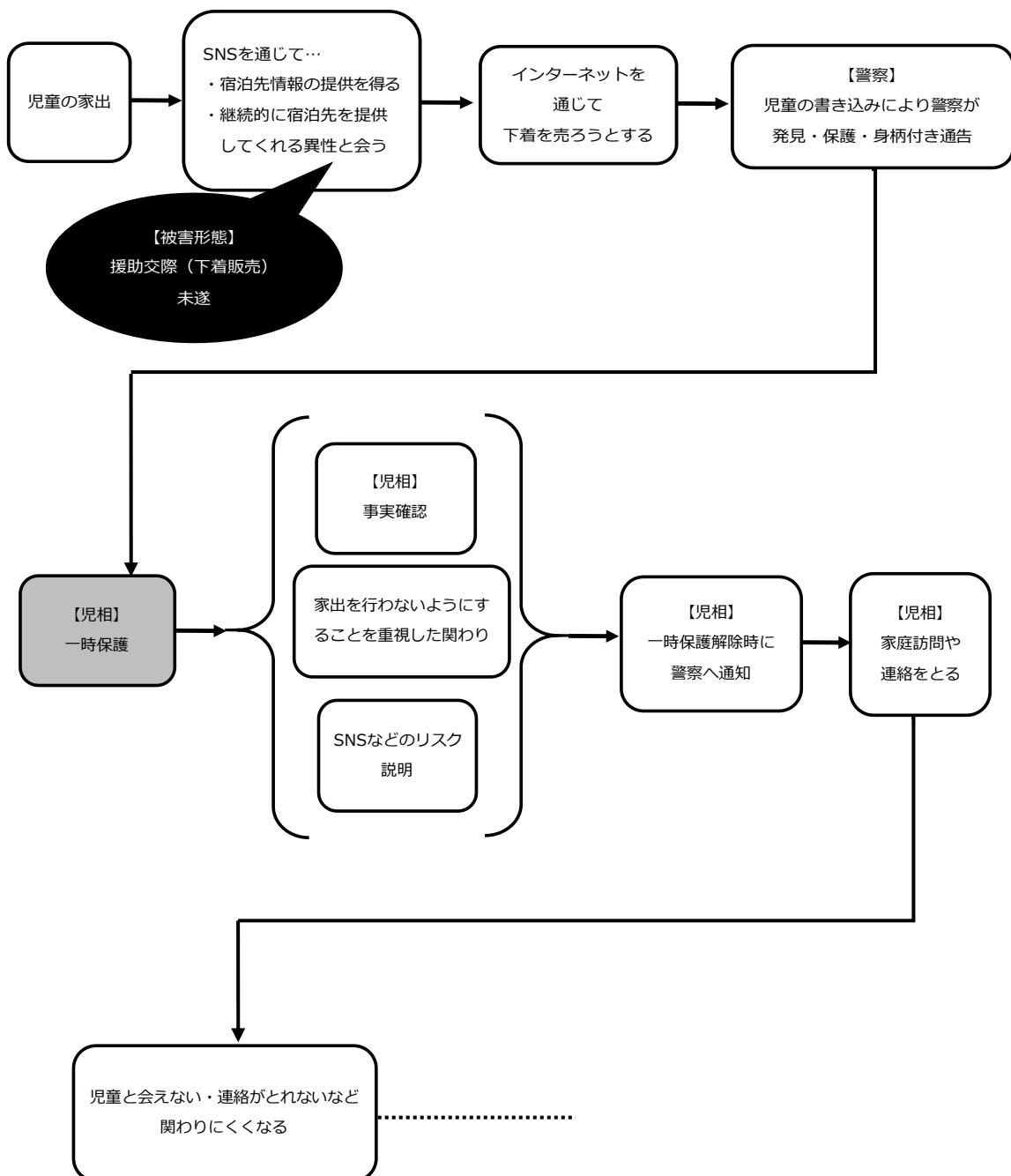


図 3-1-11 事例 5 のプロセス図

表 3-1-11 事例 5 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関する背景

家出中にお金が必要になったため.

家庭環境及び児童の状況

保護者と関係希薄、身体的・心理的虐待の可能性あり。警察に保護された際、児童は家出中。

児童の就学・就労の状況

就学・就労ともにしていない。

できなかった／しなかった支援

一時保護後、2度目以降の児童の所在確認。

できなかった／しなかった背景

児童が就学も就労もしていないため、所在確認をする方法が家庭訪問と電話連絡のみ。

徐々に保護者とも連絡が取れなくなった。

12) 事例 7 : 児童買春

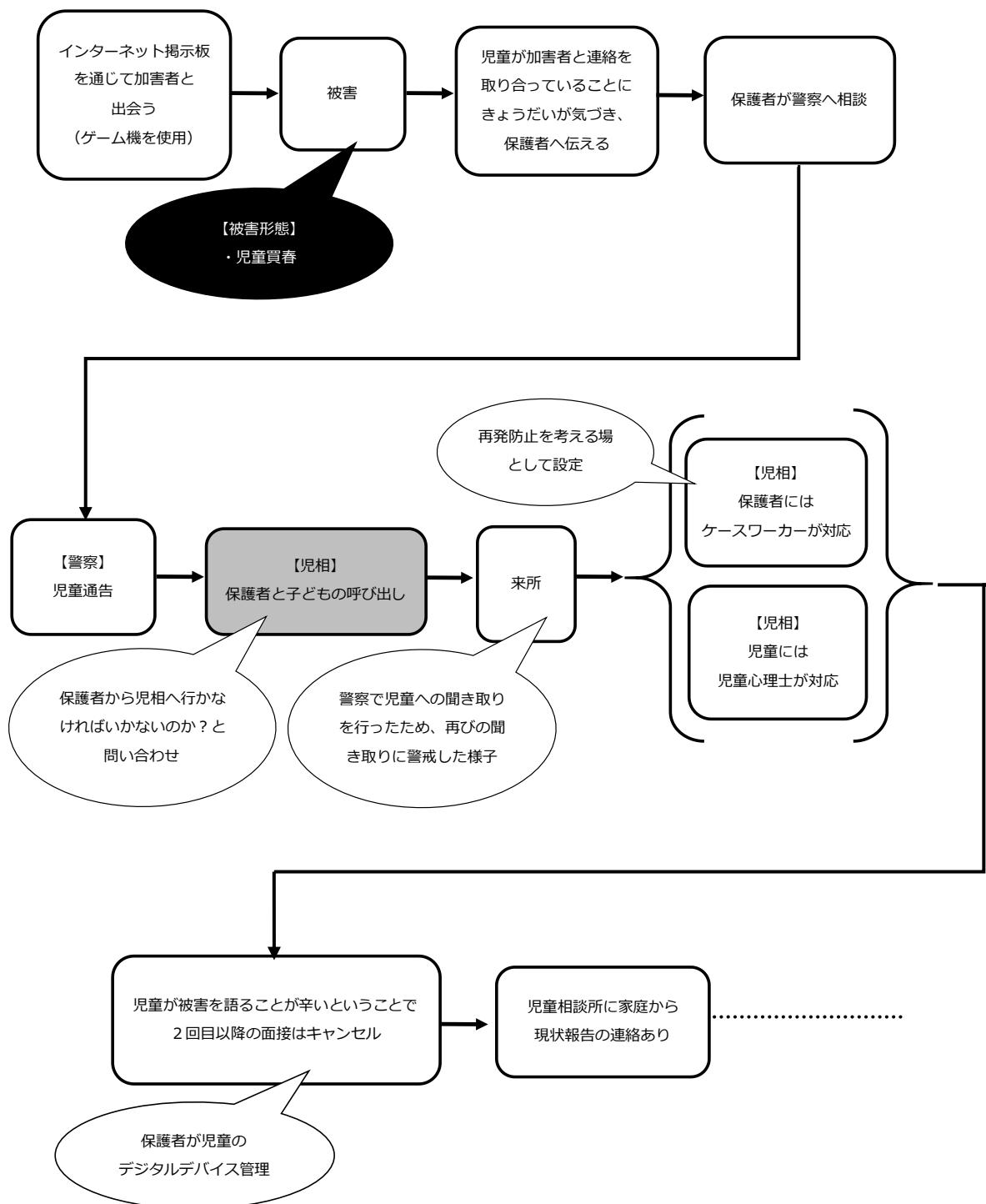


図 3-1-12 事例 7 のプロセス図

表 3-1-12 事例 7 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関わる背景

児童がインターネット上で話し相手を探す内容の投稿を行った。

家庭環境及び児童の状況

保護者間の関係不調。

児童の就学・就労の状況

就学している。

できなかつた／しなかつた支援

支援の継続。

できなかつた／しなかつた背景

何度も聞き取ることが本人の負担となっており、自宅で見守りたいという意志が保護者にあった。

13) 事例8：児童買春

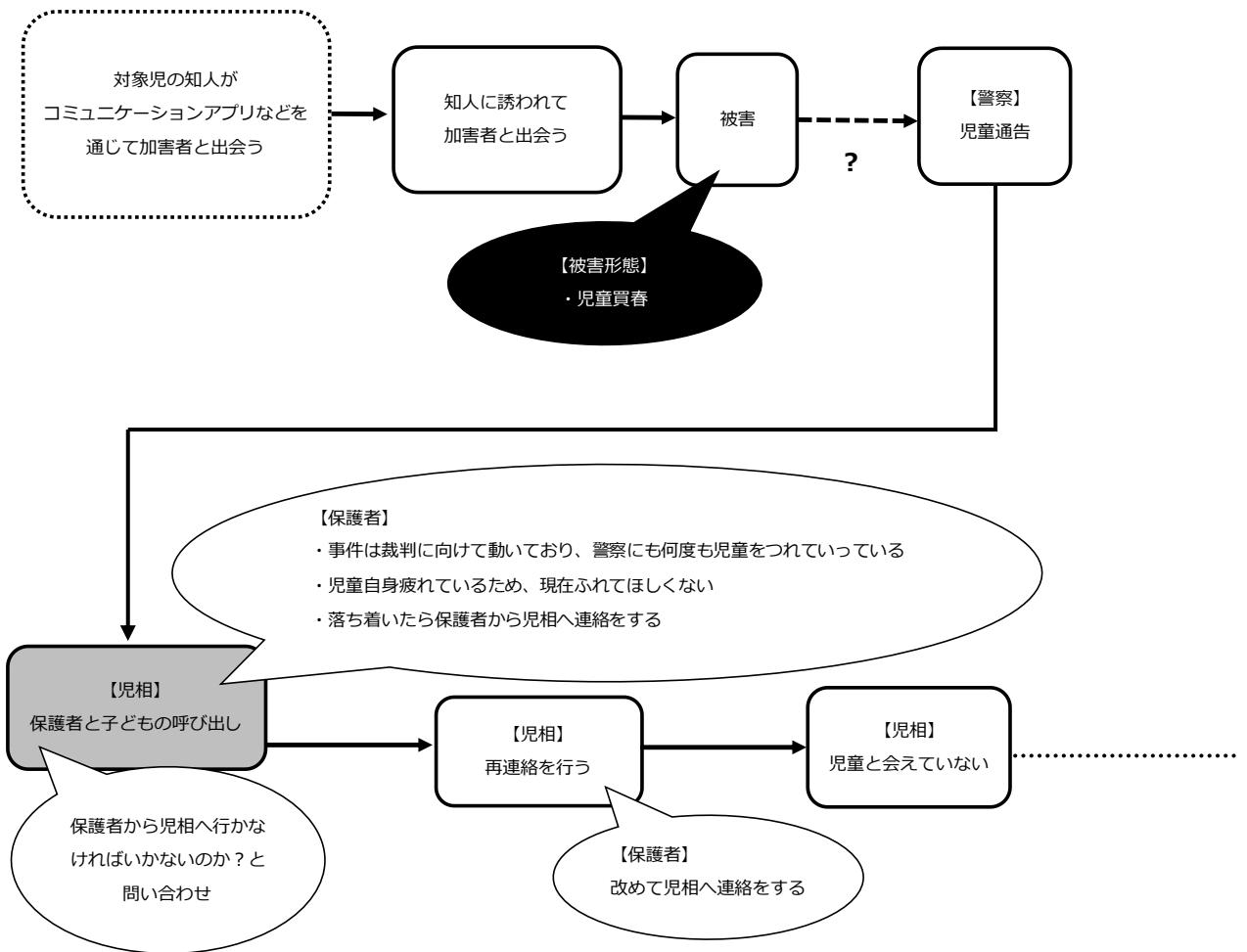


図 3-1-13 事例8のプロセス図

表 3-1-13 事例 8 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関わる背景

知人からの誘い.

家庭環境及び児童の状況

詳細不明. ひとり親家庭.

児童の就学・就労の状況

詳細不明.

できなかつた／しなかつた支援

児童との接触.

できなかつた／しなかつた背景

事件後警察の聞き取りが繰り返し行われたため、児童に負担がかかっているとのことで、援助を見送った.

14) 事例 10 : 性被害

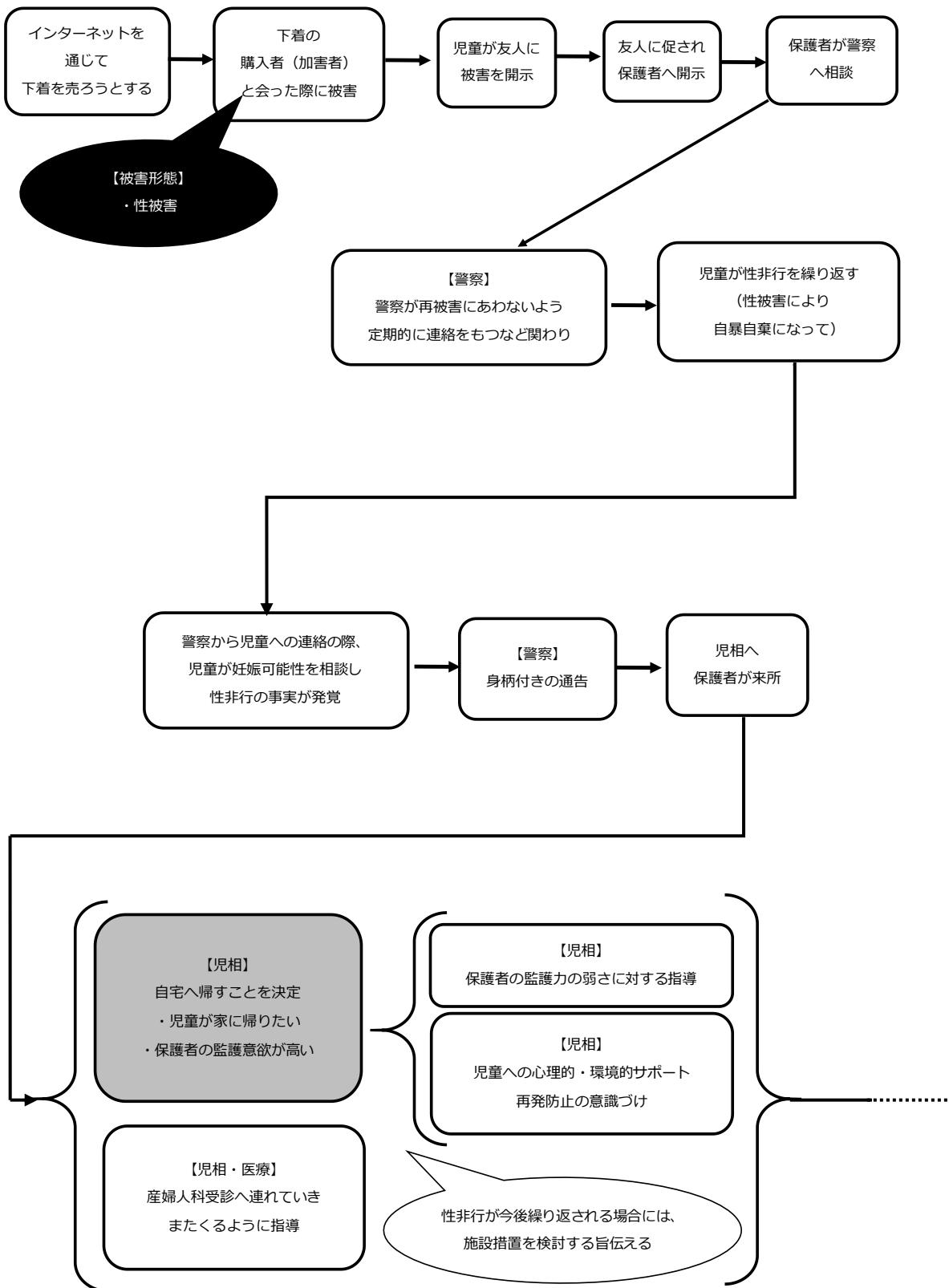


図 3-1-14 事例 10 のプロセス図

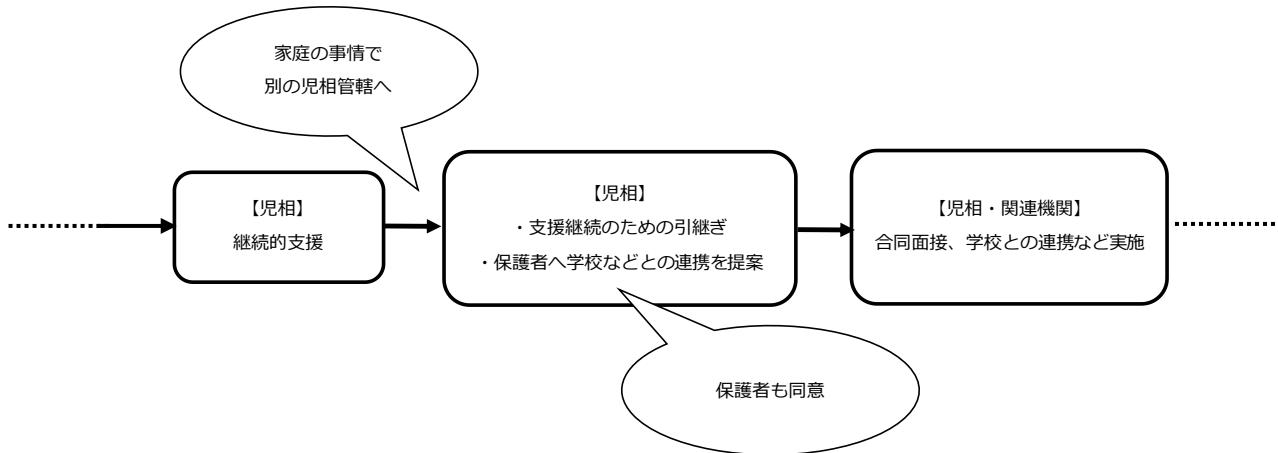


表 3-1-14 事例 10 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関わる背景

家計を助けるために下着を売ろうとした際に結果的に性行為をすることとなった。 (金銭の授受は確認できない)。

家庭環境及び児童の状況

保護者は働きながら、内縁者から経済的援助を受けている。児童と保護者は関係希薄。

児童の就学・就労の状況

就学している（不登校）。

できなかつた／しなかつた支援

- ・一時保護。
- ・児童相談所の介入後も性非行が収まらないようであれば家裁への虞犯送致と児童自立支援施設への入所措置。

できなかつた／しなかつた背景

- ・一時保護／保護者の監護したい意志が強かったため在宅になった。
- ・家裁への虞犯送致と児童自立支援施設への入所措置／再犯をしてないため必要がなかった。

15) 事例 1 3 : 児童買春

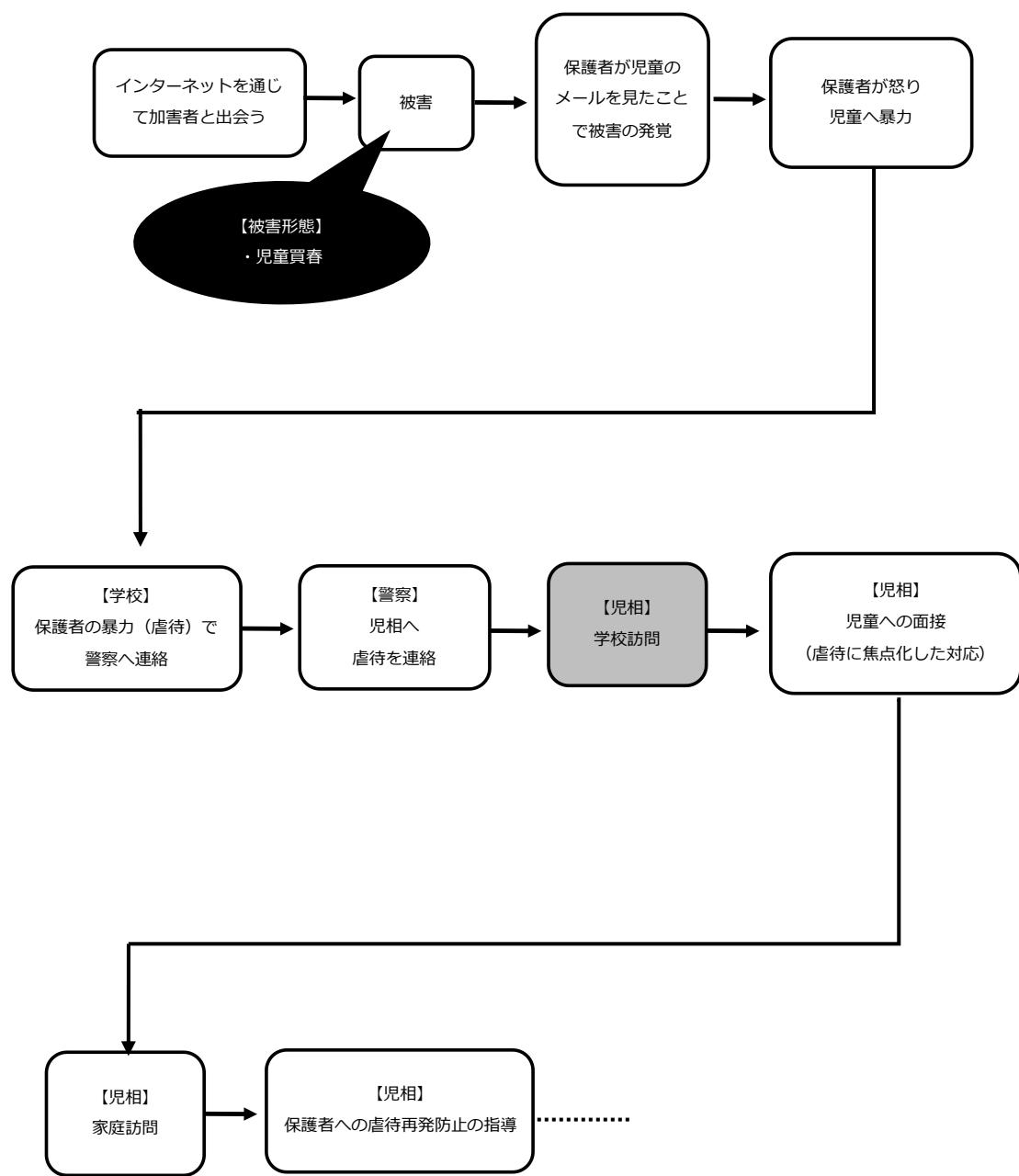


図 3-1-15 事例 1 3 のプロセス図

表 3-1-15 事例 1 3 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関する背景

詳細不明.

家庭環境及び児童の状況

生活保護受給中. 保護者が非正規就労. 保護者の身体的虐待.

児童の就学・就労の状況

就学している.

できなかつた／しなかつた支援

虐待に関する対応であり、買春被害に対する対応は行っていない.

できなかつた／しなかつた背景

虐待に関する対応であり、買春被害に対する対応は行っていない.

16) 事例 1 6 : 児童買春, 性非行

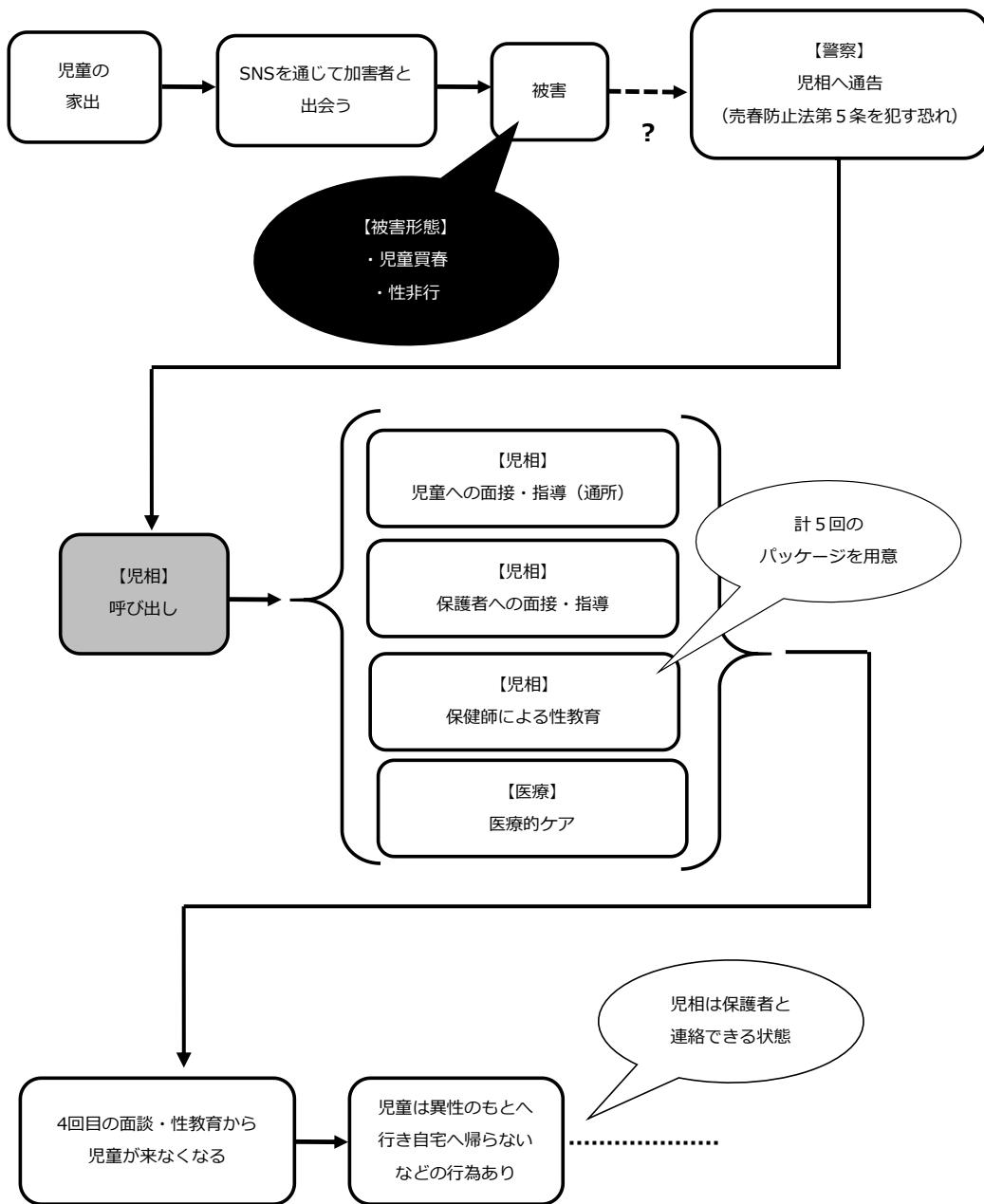


図 3-1-16 事例 1 6 のプロセス図

表 3-1-16 事例 16 の追加資料

児童買春・児童ポルノ等に関わる背景

詳細不明.

家庭環境及び児童の状況

ひとり親家庭. 保護者は夜勤・休日が不規則な仕事. 保護者に時間がないため, 結果的に児童は放置状態. 被害時, 児童は家出中.

児童の就学・就労の状況

就学している（不登校）.

できなかつた／しなかつた支援

計5回の面接と保健師による性教育. 4回目から来なくなる.

できなかつた／しなかつた背景

理由は不明. 児童の環境が変わり, 意欲が低下した様子.

・“過去に児童相談所との関わりのない事例”まとめ

“過去に児童相談所との関わりのない事例”は7事例あった. これらの事例は, “過去に児童相談所との関わりのある事例”と同様に, すべてに共通した特徴は見受けられないものの, 次の傾向が見受けられる. ①児童相談所へつながる際に直接的・間接的に警察の関わりがある傾向（7事例中6事例（事例5, 7, 8, 10, 13, 16）), ②児童相談所は, 児童や保護者への教育・指導を行う傾向（7事例中5事例（事例5, 7, 10, 13, 15）). 特に, 過去に児童相談所との関わりのない事例では, 児童相談所が関わりを持つ以前に, 警察が何らかの形で関わっていた事例が6事例あり, より警察の関わる傾向が強いと考えられる.

3. プロセス分析のまとめ

・児童相談所が関わりはじめる前

大半の事例において, 児童相談所の関わりはじめる前に警察が直接的・間接的に関わっていた. このことから初期対応機関として警察が重要であると考えられる. また, 警察が児童と関わりはじめるまでもいくつかの傾向があるといえる. 本節では, 警察の捜査していた事件をきっかけに児童が把握されることもあれば, 保護者が被害を把握した場合に警察に相談するなどの事例があった. 保護者が, まず警察へ相談することなど, 本節で取り上げた事例は警察で扱うような“事件”として認識される傾向もうかがえる.

・児童相談所の対応

本節で取り上げた事例全体からは, すべてに共通した特徴は見受けられなかった. この, 共通した特徴が見受けられないということは, 事例ごとに様々な対応がとられていると言い換えることができる. 各事例の被害形態は, 児童買春, 児童ポルノをはじめ, 性被害, 性非行など様々であった. これらに対して児童相談所が対応を変えていると捉えられる. 比較的共通する傾向としては, 再発防止をはじめとする教育・指導を行う傾向があった. また, 児童への性的な被害が明らかな場合には, 医療的な介入へつなげる傾向もあった.

第2節 内容分析

本節では、内容分析の結果について示していく。内容分析は、プロセス分析同様ヒアリング調査で収集されたデータの逐語録に基づいて分析をおこなったものである。前節のプロセス分析では、過去から現在までに実際に生じた出来事を重点的に取り上げた。逐語録を読むと、ヒアリング対象が必要と感じたさまざまな社会資源や対応時の困難感などが印象的な形で述べられていた。しかしながら、プロセス分析では、このような困難感や社会資源について十分に扱うことが困難であった。そこで、内容分析を用いて、今後の対応などの基礎資料として期待できる困難感や必要と考えられる社会資源について分析を行った。

第1項 分析手続き

内容分析は、プロセス分析と並行して行ったため、コード化までの手続きは同様のものであった。内容分析では、カテゴリー化分析⁵⁾を参考に、特に困難感と必要と考えた社会資源のコードからカテゴリー化を行った。具体的には、①コード化したデータをプリントアウトし、②数名の研究者で協議しながら類似したコードをまとめ、③コードが何らかのまとまりの中に含まれるまでカテゴリー化を行った。最終的に、各コードは何らかのカテゴリーに含まれた。

第2項 児童買春・児童ポルノ等被害児童を支援する際に感じた困難

児童福祉司に対するヒアリング調査の語りのデータを切片化し、「児童買春・児童ポルノ等被害児童を支援する際に感じた困難」に関して抽出し、63 コードが得られた。これらのコードで類似性をもつものをカテゴリー化した結果、4 カテゴリー、11 サブカテゴリーに分類された（表 3-2-1）。以下、カテゴリーは【】、サブカテゴリーを＜＞で示す。

カテゴリーは、【対応施設や機関の不足】、【児童の被害に対するケアの困難】、【既存機関機能の充実】、【社会制度・支援環境の未整備】であった。

【対応施設や機関の不足】は、＜児童に身近な相談窓口がない＞＜所属がない児童との関わりが難しい＞の 2 つのサブカテゴリー、【児童の被害に対するケアの困難】は＜児童の被害が把握できない＞＜支援者と児童の意識のかい離がある＞＜児童が支援の必要性を感じていない＞＜支援者の専門知識が不足している＞＜家庭への支援が難しい＞＜再発を防止できない＞の 6 つのサブカテゴリー、【既存機関機能の不足】は＜児童相談所内における被害児童対応のための体制が不十分＞＜関係機関との連携が難しい＞の 2 つのサブカテゴリー、【社会制度・支援環境の未整備】は＜児童相談所の権限に限界がある＞の 1 つのサブカテゴリーが生成された。

⁵⁾Flick, U. (2010). 質的研究入門—“人間の科学” のための方法論[新版] (小田博志・山本則子・春日常・宮地尚子, 訳). 東京: 春秋社. (Flick, U. (2007). *Qualitative Sozialforschung*. Hamburg: Rowohlt Taschenbuch Verlag GmbH.)

表 3-2-1 児童買春・児童ポルノ等被害児童を支援する際に感じた困難

n=63

カテゴリー	サブカテゴリー	コード	切片数
対応施設や機関の不足	児童に身近な相談窓口がない	児童相談所以外に丁寧に関われる機関がなかった	1
		同年代の相談できる相手が必要だが、孤立している	3
	所属がない児童との関わりが難しい	卒業で児童の所属がなくなってしまうと関わりが途絶えてしまう	4
	児童の被害が把握できない	その他の生活課題がありすぎて引き出せなかった	2
		児童が被害を言い出せないので、被害を把握できない	2
		児童本人の痛みを理解するのに限界があった	1
	支援者と児童の意識のかい離がある	大人への不信感で、児童が本当のことを言ってくれない	1
		児童が呼び出しに応じない	2
		支援者側と児童が求める支援が異なる	1
児童の被害に対するケアの困難	児童が支援の必要性を感じていない	児童の被害に対する認識により支援困難	6
		児童のニーズを引き出せないと	5
		支援が継続困難	
	支援者の専門知識が不足している	具体的な支援がわからない	1
		支援の効果があったのかわからない	1
		支援者側がSNS、ネットに精通していない	3
		職員全員が性被害のケアに関する知識を学んでいない	1
	家庭への支援が難しい	家族が加害者となった場合の対応が困難	1
		保護者の協力が得られない	1
		家庭への介入に対する抵抗感があり	
		支援が難しい	5
	再発を防止できない	不安定な家庭により性教育が伝わりづらい	1
		性教育で年齢に応じて何を話すかが難しい	1
		大人が児童のインターネット使用を感じできない	2
既存機関機能の不足	児童相談所内における被害児童対応のための体制が不十分	女児の場合、男性が対応すると児童が被害について言い出せない	1
		支援者の異動による担当の変更で、継続的な支援ができるか心配	1
	関係機関との連携が難しい	どこと連携したらよいかわからない	1
		関係機関が性教育への認識が薄い	1
		児童相談所と警察で何度も被害について話すことが児童にとって負担になる	3
社会制度・支援環境の未整備	児童相談所の権限に限界がある	児相の権限に強制力がないため、介入が困難	8
		法律の問題で支援しにくくなつた	3

第3項 児童買春・児童ポルノ等被害児童を支援する際に必要だと感じた社会資源

児童福祉司に対するヒアリング調査の語りのデータを切片化し、「児童買春・児童ポルノ等被害児童を支援する際に必要だと感じた社会資源」に関して抽出し、62 コードが得られた。これらのコードで類似性をもつものをカテゴリー化した結果、4 カテゴリー、13 サブカテゴリーに分類された（表 3-2-2）。以下、カテゴリーは【】、サブカテゴリーを＜＞で示す。

カテゴリーは、【対応施設や機関の充実】、【児童の性被害に対するケアの充実】、【既存機関機能の充実】、【社会制度・支援環境の充実】であった。

【対応施設や機関の充実】は、＜児童の居場所づくり＞＜身近な相談窓口の設置＞＜被害後の生活支援＞の 3 つのサブカテゴリー、【児童の性被害に対するケアの充実】は＜児童の性被害予防教育＞＜性被害児童対応ができる機関の設置＞＜被害児童に対するケア＞＜再発防止のための支援＞の 4 つのサブカテゴリー、【既存機関機能の充実】は＜児童相談所内における被害児童対応のための体制整備＞、＜関係機関との連携強化＞の 2 つのサブカテゴリー、【社会制度・支援環境の充実】は＜インターネットに関する対策の強化＞＜国による意識啓発＞＜児童相談所の一時保護の権限の強化＞＜被害児童支援に関する研究＞の 4 つのサブカテゴリーが生成された。

表 3-2-2 児童買春・児童ポルノ等被害児童を支援する際に必要だと感じた社会資源

n=62

カテゴリー	サブカテゴリー	コード	切片数
対応施設や機関の充実	児童の居場所作り	非行傾向のある子どもの居場所作り	3
	身近な相談窓口の設置	被害前から生活課題を抱える児童を発見・見守りができる場 児童が困っていることを相談できる大人・場	3 5
	被害後の生活支援	障がい児に対応できる施設の充実化 被害児童の生活全体に対して密に関わり続ける機関	1 4
児童の性被害に対するケアの充実	児童の性被害予防教育	ネットの危険性に関する教育 児童への性教育	4 8
	性被害児童対応ができる機関の設置	性被害について対応できる機関・ワンストップセンター	4
	被害児童に対するケア	心理的な回復をするプログラム 児童に被害理解を促す支援 児童・支援者向けの被害理解に関する教育的冊子 セルフヘルプグループ	2 2 1 1
既存機関機能の充実	再発防止のための支援	善悪の判断についての教育 規則正しい生活へ立て直す支援	4 2
	児童相談所内における被害児童対応のための体制整備	専門的な知識を持った相談員の配置 法的な相談ができるスーパーバイザーの配置 被害対応ができる女性職員 職員全員を対象にした研修	2 1 1 1
	関係機関との連携強化	一度で被害確認ができる関係機関との連携体制	4
社会制度・支援環境の充実	インターネットに関する対策の強化	アプリの利用制限の強化 国によるインターネットに関する犯罪対策の強化	1 4
	国による意識啓発	性被害対応の必要性について警鐘を鳴らす	2
	児童相談所の一時保護の権限の強化	警察からの書類通告の際の一時保護を視野に入れた支援の枠組み	1
被害児童支援に関する研究		日本における子どもの支援・ケアにつながる性虐待・児童買春の研究	1

第4項 内容分析まとめ

- ・「児童買春・児童ポルノ等被害に対応するうえで感じた困難」

【児童の被害に対するケアの困難】がもっとも項目が多かった。社会資源の不足や関係機関との連携よりも、児童相談所によるケアの困難が多く挙げられた。その中でも児童相談所が介入の必要があると判断しても、<児童の被害が把握できない>、<支援者と児童の意識にかい離がある>、<児童が支援の必要性を感じていない>、<家庭への支援が難しい>、これらの理由により「支援ができない」もしくは「支援の継続ができない」という状況があり、支援につなげることに困難を感じていることが把握された。これは、特に切片数が多かつた【児童相談所の権限に限界がある】とも深く関連しており、児童福祉司が支援を行いたくても、児童や保護者のニーズがなければ支援を行えない状況がうかがえる。<支援者の専門知識が不足している><再発を防止できない>という困難も挙げられたが、被害児童に対する支援の方法や中身が充実しても、それらの支援を実施することが難しいことが推察される。

- ・「児童買春・児童ポルノ等被害児童を支援する際に必要だと感じた社会資源」

【児童の性被害に対するケアの充実】の項目が最も多かった。児童買春・児童ポルノ等被害に対応するためには、多様なプログラムが必要とされていることが把握できた。特に<児童の性被害予防／再発防止のための教育>の切片数が多く、性被害に関する教育の必要性が高いことが明らかとなった。<性被害児童対応ができる機関の設置>が挙げられているが、児童相談所内における児童買春・児童ポルノ等被害対応の専門性を高めることも重要な課題である。また、<児童の居場所作り><身近な相談窓口の設置><被害後の生活支援>の3つのサブカテゴリーについては、児童相談所のみではなく多様な施設や機関によって大人の目の届く場所で児童を見守る仕組みを設けることの必要性が示唆された。

第3節 調査結果まとめ

本節では、アンケート結果・ヒアリング調査を踏まえて、本調査の目的である児童買春・児童ポルノ被害児童が児童相談所の支援につながるまでのプロセス、児童相談所における被害児童への対応について焦点をあてて現状を整理する。

- ・アンケート調査の結果では、回答者が平成27年4月～9月まで把握している児童買春・児童ポルノ被害が含まれる事例は266件であった（表2-3-1）。平成27年度上半期の間に、平成26年度の「（再掲）児童買春等被害相談」の7.6倍の件数が把握された。アンケート調査で把握された児童買春・児童ポルノ被害児童は「女児」が9割で、圧倒的に女児が多い。女児の被害形態は、「児童買春」60.9%、「児童ポルノ」28.8%、「児童買春、児童ポルノ複合」10.3%となった。一方、男児の被害形態は、「児童ポルノ」80.0%、「児童買春」13.3%、「児童買春、児童ポルノ複合」6.7%となり、男児の被害形態の8割が「児童ポルノ」であった（表2-3-36）。聞き取り調査対象の16事例については、「児童買春（疑われるケース含む）」9事例、「児童買春・児童ポルノ（疑われるケース含む）」2事例、「児童ポルノ」1事例が含まれていた。それ以外については、人身取引、性非行、性被害が含まれていた。被害児童は全員女児であった。
- ・ヒアリング調査ではポルノ被害の事例が少なかったために、十分な分析ができなかつた。アンケート調査でもはつきりした傾向を示しておらず、今後事例研究の蓄積の必要性が示唆される。
- ・アンケート調査の「児童自身の課題」で最も多かった「親子関係不調」（64.7%、表2-3-23）は、ヒアリング調査の16事例のうち3事例があてはまる。それ以外の13事例のうち10事例は、虐待、親子関係希薄もしくは仕事で忙しく親に余裕がない状態があてはまる。また、ヒアリング調査の16事例のうち10事例は「ひとり親家庭」であり、経済的な困窮を抱えていたり、保護者が非正規雇用・不規則勤務で働いていたりするという状況もみられた。ヒアリング調査のほとんどの事例で保護者自身が複合的に困難を抱えていることが把握された。
- ・アンケート調査の「児童自身の課題」で2番目に多かった「家出・無断外泊」（43.6%、表2-3-23）は、ヒアリング調査の16事例のうち6事例（事例1, 2, 5, 11, 14, 16）が該当していた。うち3件については、家出中に金銭や宿泊場所を得るために買春者とつながっている。
- ・アンケート調査で児童相談所に「過去に相談歴あり」に該当したケースは（43.2%、表2-3-19）であった。ヒアリング調査では、16事例中9事例（事例1, 2, 3, 6, 9, 11, 12, 14, 15）の半数以上が以前から児童相談所との関わりがあったことが分かった。ヒアリング調査の事例については、いずれも主訴は児童買春・児童ポルノではなく、虐待等の事例でつながったケースであった。一方で、聞き取り調査のプロセス分析の結果から、過去に児童相談所との関わりのない事例では、児童買春・児童ポルノ被害で児童相談所が関わりを持つ以前に、警察が何らかの形で関わっていた事例が7事例中6事例（事例5, 7, 8, 10, 13, 16）あり、より警察の関わる傾向が強いことが把握された。
- ・アンケート調査では5割以上、2人に1人が警察によって児童相談所につながっていた（表2-3-21）。ヒアリング調査においても「警察」からの通告が16事例中9事例（事例1, 3, 5, 7, 8, 9, 10, 13, 16）であり過半数であった。ヒアリング調査の事例で被害児童が警察につながるきっかけは、警察の捜査で児童が被害者として発見されたケースや深夜徘徊等で児童を補導したケース、学校や保護者から児童について相談があつ

たケース等がみられた。必ずしも児童買春・児童ポルノ被害の発覚をきっかけとしてつながっているわけではなく、虐待や虞犯行為が端緒となり、その後警察もしくは児童相談所で本人からの開示によって児童買春・児童ポルノ等被害が把握されたケースもあることが分かった。

また、ヒアリング調査において警察との具体的な連携まで踏み込んで具体的な状況を把握できたケースはほとんどなかった。児童相談所と警察の連携が、スムーズに行っている様子をうかがうことはできない。アンケート調査・ヒアリング調査の双方から児童買春・児童ポルノ被害児童の支援に関する困難として「警察との連携」に関わるものが散見された。特にアンケート調査の「その他」の自由記述では、「児童本人に問題意識・被害意識なし」に次いで「警察との連携困難」に分類される項目が記述された（表2-3-33）。その具体的な内容として、児童相談所と警察の聞き取りによる児童への負担、警察との情報共有の難しさなどが挙げられている。ヒアリング調査の内容分析でも同様に児童からの聞き取りに関する課題が挙げられている。ヒアリング調査のケースでは、児童への負担を考慮し立件を見送るケースもみられた。

- ・「児童相談所が行った援助」について、アンケート調査では「来所して個別面接」「一時保護・一時保護委託」「家庭訪問による面接」の順で多かった（表2-3-29）。ヒアリング調査では、「親への指導」「一時保護」「個別心理療法」となっている。16事例中7事例（事例1, 2, 5, 6, 12, 14, 15）で「一時保護」を行っているが、「一時保護」が行われていない事例のうち6事例（事例3, 7, 9, 10, 13, 16）では「親への指導」が行われている。また、「一時保護」が行われている事例の方がされていない事例よりも行われた援助プログラムが多い傾向にある（図3-1-1～図3-1-16）。

- ・ヒアリング調査より、各事例の被害形態（児童買春、児童ポルノ、性被害、性非行など）によって児童相談所が対応を変えていることが捉えられた。共通する傾向として、再発防止をはじめとする教育・指導を行う傾向があった。また、児童への性的な被害が明らかな場合には、医療的な介入へつなげる傾向があり、16事例のうち6事例（事例2、6、10、14、15、16）があてはまる。

- ・ヒアリング調査の内容分析において、「被害児童が支援の必要性を感じていない」場合があり、被害児童の被害への認識が支援の困難につながっていることが明らかになった。アンケート調査においても、被害児童を対応した際の困難について問う質問に対し、選択肢を選ばずに「その他」を選択し自由記述で「児童に被害意識・罪悪感なし」という主旨の回答をする回答者が少なくなかった（表2-3-33）。アンケート設計時に行われた選択肢作成のための児童相談所児童福祉司グループインタビューでも挙がってこなかつたため設計段階では予想していなかった結果であった。ヒアリング調査では児童の被害への認識が再発防止への糸口となる可能性が示唆されており、今後よりよい支援につなげるためにも児童の被害意識に対する理解についてさらに深めていく必要性があると考えられる。

- ・ヒアリング調査のプロセス分析で「被害児童にできなかつた／しなかつた支援」を整理したところ、一時保護、施設入所、加害者の告訴などが挙げられた。「できなかつた／しなかつた背景」は多様だが、児童相談所が介入できたとしても、児童の抵抗感や負担等の状況に応じて、支援の方法を選ぶ必要性があることが示唆された。

- ・被害児童対応時に必要だと考えられる社会資源について、アンケート調査では「性被害を受けた児童のためのカウンセリング（性教育含む）」が必要という回答が62.6%得られた（表2-3-34）。「カウンセリング」については、ヒアリング調査では心理的介入が16事例中7事例（事例2, 3, 6, 7, 10, 14, 15）で行われており、アンケート調査においては「個別心理療法」が21%，「精神科医療」が13.2%にとどまることが明らか

になった（表2-3-29）。被害児童の被害そのものへのケアとしてカウンセリングは、被害児童へのよりよい支援を考える際には重要な鍵となると考えられる。本調査では触れられなかつたが、今後の課題である。また、ヒアリング調査の内容分析では、「児童への性教育」の切片数が最も多かつた。アンケート調査では「児童相談所で行った援助」の中の項目として「性教育」を挙げていなかつたので、被害児童に対する性教育の実施状況については把握できなかつた。しかしながら、「その他」で保健師による性教育が1件確認されている（表2-3-30）。また、ヒアリング調査の事例で性教育が行われたのは16事例中5事例（事例2, 3, 6, 7, 10）のみであり、児童福祉司が性教育を必要であると感じている実態とかい離がある。この背景については、本調査では把握できていない。ヒアリング調査では保健師による性教育、小児科医による性教育が行われていたことが把握できたが（図3-1-2, 図3-1-9, 図3-1-16），それぞれ多少異なる視点になることが推察され、被害児童にとってどのような性教育が必要か、どの職種が行うのか検討が必要であることが示唆された。

・「被害児童の対応時に感じた困難」で児童の被害に関する認知による支援の困難が挙げられた。ヒアリング調査の中では、被害意識・問題意識がみられない児童だけではなく、悪いことをしてしまったと感じている児童もいる（表3-3-1）⁶⁾。今回の調査では、児童の被害に関する認知については、何が影響しているかは把握できなかつたが、支援を行う際に支援内容や継続的な関わりができるかどうかに関わる項目であることが分かつた。

⁶⁾ 表3-3-1のデータは、プロセス分析、内容分析と同じ方法でコード化を行つた。

表 3-3-1 児童買春・児童ポルノ等被害児童の被害に関する認知

コード	児童の被害に関する認知
自分が悪いことをしたと感じている	<p>児童は、加害者が悪いというよりも自分が悪いことをした、自分が汚れたと感じている。自分はやってはいけないことをしたという認識をしており、なかなか言い出すことができなかつたと話している。</p> <p>児童は自分が保護者から暴力を振るわれたことについて、「変なことをしてしまったから」と話しており、「援助交際」が良くないと認識はしている様子。</p> <p>児童、保護者ともに悪いことをした認識があることが推測される。</p> <p>性被害に遭った後に自分が汚れたと感じ自暴自棄になり、悪いことであるとわかつっていたが自分では止められなかつたと話している。</p> <p>心理士との面談の際に、興味があり、また欲しいものがあり応じたということを児童が話している。一方で、面談後、時々子どもがかなり不安定になった。</p>
被害を認知している	<p>児相が支援を開始した当初は、被害の認知をしている様子があつた。</p> <p>性被害に関しては気持ち悪いと思って逃げたと話している。風俗店で働くことに対しては抵抗がない様子。</p> <p>警察に身柄を確保された際に、ほつとしたと語った。「被害者」の立場になり、警察や児童相談所等の対応が変わると、児童の態度に変化がみられるようになった。</p>
被害者意識は感じていない	<p>児童、保護者ともに被害意識が薄い。児童、保護者ともに援助に応じなかつた。</p> <p>児童にリスクに対する危機感や困り感がみられなかつた。</p> <p>被害者意識も罪悪感もみられなかつた。</p> <p>児童本人の状況理解の難しさも関係していると考えられるが、被害者意識も罪悪感も特にみられなかつた。</p> <p>家庭環境から売春に抵抗がなかつた。強制されたのではなく、自己決定したと捉えており、被害者意識は薄かつた。</p>
加害者に好意を抱いている	<p>悪いことであると認識していたが、止められなかつた様子。また、買春者に対して、好意を抱いていた様子。</p> <p>交際の一環と認識している。</p>
不明	児童相談所は、児童と接触することができなかつたため不明。

考察・提言

第4章 考察

第1節 児童買春、児童ポルノ被害の実態と児童の生活環境

湯澤 直美

本節では、児童相談所における相談事例のうち「児童買春、児童ポルノ」被害が含まれていることが把握された事例に焦点をあて、その被害の実態と児童の生活環境を検討する。おもにアンケート調査結果をもとに考察し、必要に応じてヒアリング調査結果を参照する。

第1項 児童買春、児童ポルノ被害件数の動向

はじめに、政府統計により把握されている動向を概観する。警察庁生活安全局少年課『児童虐待及び福祉犯の検挙状況』によると、2015（平成27）年における児童買春、児童ポルノ禁止法違反による送致件数・送致人員は、児童買春728件・630人、児童ポルノ1938件・1483人である（表4-1-1）。また、送致事件に係り把握されている被害児童数は、児童買春事件518名、児童ポルノ事件905名である（表4-1-2・表4-1-3）。送致された事件以外にも児童買春、児童ポルノ事案は潜在しているため、実際に被害を受けている児童数はより多いとみられる。

次に、児童相談所における相談のなかで把握されている被害児童数をみたものが、児童買春等被害相談の表である（表4-1-4・図4-1-1・図4-1-2）。これらの図表は、厚生労働省「福祉行政報告例」の最新データである2014年から10年間遡って整理したものである。福祉行政報告例では、既存の相談分類の再掲として「児童買春等被害相談」が計上されており、最小値17件（2014年度）～最高値69件（2005年）の幅で推移している。警察庁統計による被害児童数からみると、児童相談所につながっているケース数は少ない。

実際には、児童買春、児童ポルノ被害を主訴とする相談ばかりでなく、養護相談等の相談事例の背後に被害が潜在していると考えられ、そのような被害状況は児童が言語化するか援助者や近親者等が察知しないかぎり顕在化しない。そこで、本研究のアンケート調査では、全国の児童相談所に勤務する全児童福祉司2934名に対し、「児童買春被害・児童ポルノ被害が含まれているケース」があったかどうか尋ねることによって、潜在している被害状況と求められる支援や連携体制を探った。

アンケート調査の結果、2297名（配布数の78.3%）の児童福祉司からの回答が寄せられた。質問票では、2015（平成27）年度上半期（4月1日から9月30日）に相談を受理した事例（再受理を含む）のうち、相談種別に関わらず「児童買春、児童ポルノ被害」が含まれていることを把握している事例の件数を尋ねている。その結果、223名の児童福祉司がそのような事例を把握していると回答した。これは、回答者の1割弱にあたる。また、「児童買春、児童ポルノ被害が含まれている恐れのある事例」を把握しているかどうかを併せて確認したところ、187名（8.1%）の児童福祉司が把握していた。そこで、「含まれている事例」「恐れのある事例」のいずれかを把握している児童福祉司の数をみたところ354名となり、回答者の15.4%に相当した。

更に、アンケート調査では、「児童買春被害・児童ポルノ被害が含まれている事例」が1件以上ある児童福祉司に対し、事例の概要や援助についてケースごとに記載してもらっている。その結果、収集した事例数は266ケースとなり、福祉行政報告例によるこれまでの年度ごとの把握数をはるかに上回っている。このような数値を低いとみると高いとみると綿密な議論を要するが、児童買春、児童ポルノ被害に敏感な相談をめざすならば、より多くの被害が発見されると推察される。あるいは、関係機関が被害児童の要支援性に敏感なアプローチをめざせば、相談機関につながる件数は更に増えると想定される。

そこで、266件のデータとヒアリング結果から示唆を得ることは、相談過程において児童買春、児童ポルノ被害にどのような視座からアプローチする必要があるのかを検討する基礎資料となろう。

表 4-1-1

児童買春、児童ポルノ禁止法違反の送致状況

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	増減数	増減率
送致件数(件)	2,229	1,914	1,732	2,030	2,296	2,297	2,291	2,353	2,489	2,666	177	7.1
児童買春	1,613	1,347	1,056	1,095	954	842	695	709	661	728	67	10.1
児童ポルノ	616	567	676	935	1,342	1,455	1,596	1,644	1,828	1,938	110	6.0
うちファイル共有ソフト利用	—	—	—	54	156	368	519	507	577	385	▲ 192	▲ 33.3
送致人員(人)	1,490	1,361	1,272	1,515	1,627	1,678	1,847	1,893	1,967	2,113	146	7.4
児童買春	1,140	984	860	865	701	662	579	641	587	630	43	7.3
児童ポルノ	350	377	412	650	926	1,016	1,268	1,252	1,380	1,483	103	7.5

出典：『児童虐待及び福祉犯の検挙状況（平成27年1～12月）』警察庁生活安全局少年課、2016年。

表 4-1-2

児童買春事件の送致事件に係る被害児童

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	増減数	増減率
総 数	1,325	1,144	846	889	741	619	471	462	466	518	52	11.2
未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
小学生	7	2	0	2	1	1	1	2	3	1	▲ 2	▲ 66.7
中学生	478	378	323	319	280	222	177	178	178	164	▲ 14	▲ 7.9
高校生	460	460	343	331	324	276	190	225	200	272	72	36.0
その他の学生	4	5	1	5	3	1	0	2	1	1	0	0.0
有職少年	49	50	23	34	13	15	12	5	12	11	▲ 1	▲ 8.3
無職少年	327	249	156	198	120	104	91	50	72	69	▲ 3	▲ 4.2

出典：『児童虐待及び福祉犯の検挙状況（平成27年1～12月）』警察庁生活安全局少年課、2016年。

表 4-1-3 児童ポルノ事件の送致事件に係る被害児童

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	増減数	増減率
総 数	253	275	338	405	614	600	531	646	746	905	159	21.3
未就学	12	6	6	9	33	20	16	12	31	31	0	0.0
小学生	26	24	33	53	93	81	57	80	107	113	6	5.6
中学生	126	105	126	157	223	233	200	272	284	359	75	26.4
高校生	74	122	147	161	228	228	233	256	296	374	78	26.4
その他の学生	2	0	0	0	1	3	2	1	1	0	▲ 1	▲ 100.0
有職少年	3	6	7	3	9	6	7	9	5	11	6	120.0
無職少年	10	12	19	22	27	29	16	16	22	17	▲ 5	▲ 22.7

注) 上記は、各年に新たに特定された被害児童数のみ計上しているが、これ以外に、被害児童を特定できない画像について年齢鑑定を実施して立件する場合もある。

出典：『児童虐待及び福祉犯の検挙状況（平成27年1～12月）』警察庁生活安全局少年課、2016年。

表 4-1-4

児童買春等被害相談（年齢別推移）

年度	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
0歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3歳	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
4歳	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1
5歳	-	-	-	-	1	1	-	2	2	-
6歳	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
7歳	-	-	-	1	-	1	3	-	1	-
8歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9歳	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
10歳	1	-	-	1	-	3	3	-	3	1
11歳	-	-	-	-	1	2	2	1	2	1
12歳	-	1	1	-	1	6	1	2	2	-
13歳	7	12	6	6	8	6	4	3	6	3
14歳	25	7	10	6	14	9	10	8	16	4
15歳	17	10	13	4	17	9	8	13	13	4
16歳	10	2	6	3	5	4	8	8	8	2
17歳	7	1	4	1	4	7	5	8	2	1
18歳以上	2	1	-	2	1	-	-	-	-	-
総 数	69	34	40	24	53	50	44	47	55	17

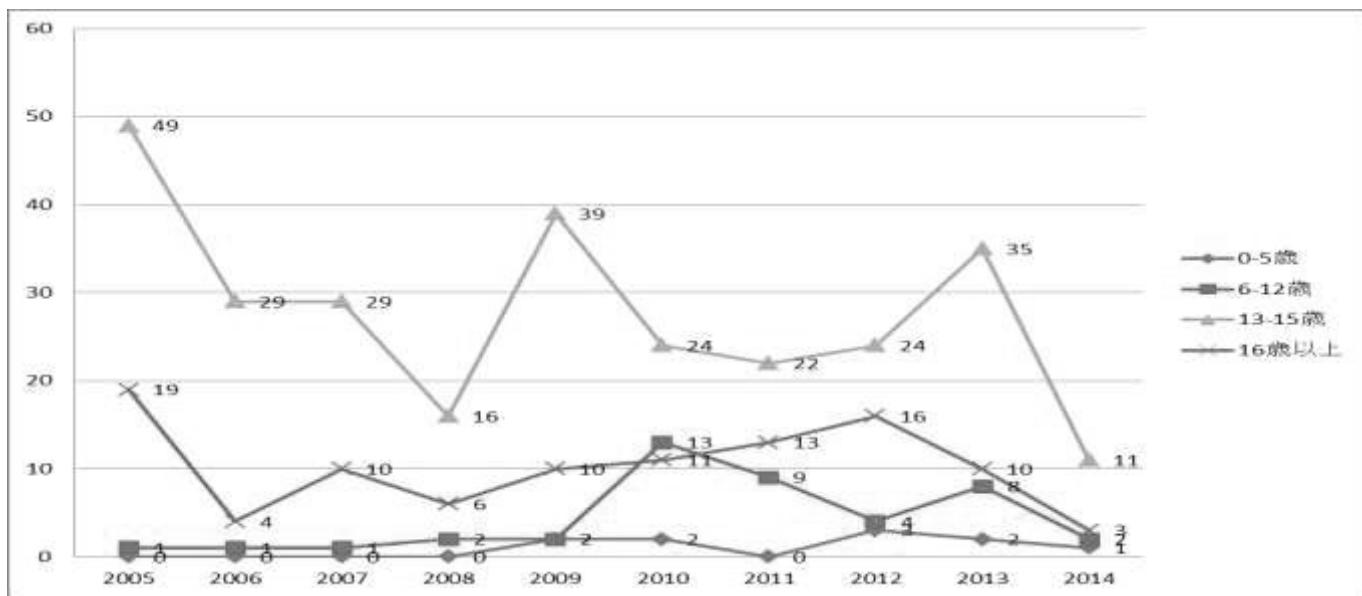


図 4-1-1

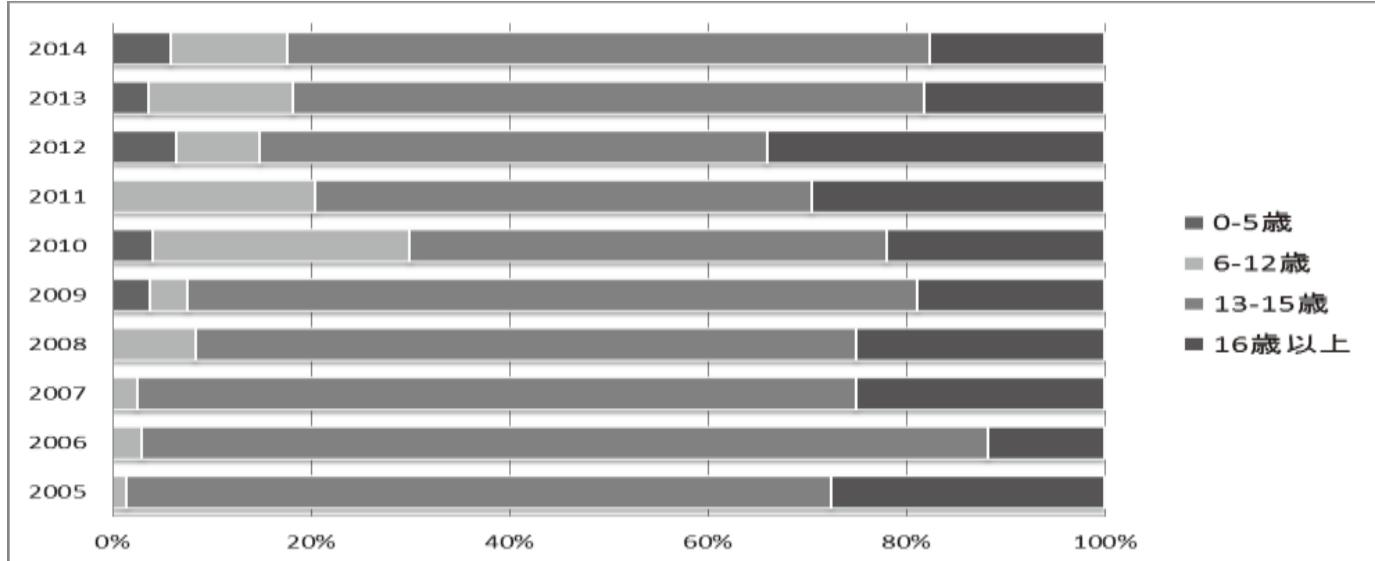


図 4-1-2

表 4-1-4・図 4-1-1・図 4-1-2：いずれも「福祉行政報告例」(厚生労働省)各年度より作成

第2項 被害児童のプロフィール

(1) 性別・年齢・就学状況

アンケート調査で把握された被害児童 266 名の性別は、男児は 15 名 (5.6%) と少なく 5、女児は 244 名で 9 割強にのぼっている。児童買春、児童ポルノによる被害者は、子どもにおいても圧倒的に女性（女児）に偏っており、ジェンダーを基底にした被害という様相がみてとれる。しかしながら、男児が被害者になるケースも一定数あり、この点を認識する必要が改めて確認された。

アンケート調査では、被害児童の年齢は「相談を受理した際の年齢」で把握している。「13-15 歳」が最も多く 43.6%、ついで「16-18 歳」が 33.5%であり、中学生・高校生に該当する年齢層で 8 割弱を占めている。送致事件に係る被害児童の年齢層も、中学生・高校生で 8 割強（警察庁・2015 年）であり、ほぼ同様の傾向である。一方、本調査では、「6-12 歳」が 18.0%、「1-5 歳」が 2.3%おり、低年齢層の被害が 2 割程度存在している。送致事件に係る被害児童では、児童ポルノ被害において「未就学」「小学生」数が増加傾向にあり（表 4-1-3）、2015 年には総数の 15.9%である。このような性の商品化のターゲットが低年齢化している様相は、相談の現場にも表れていることが確認された。

(2) 世帯類型

児童買春、児童ポルノに児童が関与した時に同居していた家族を尋ねた設問から、世帯類型を把握した（表 4-2-1）。ふたり親世帯は計 131 世帯（49.2%）で 5 割に満たず、母子世帯 64 世帯・父子世帯 23 世帯を合せると 3 割強（32.7%）がひとり親世帯である。また、ふたり親世帯のうち、いずれかが継父母・養父母等である世帯は 38 世帯あり、これをステップファミリーとして区分すると 14.3%になる。また、「その他の世帯」とは、祖父母に養育されている世帯、里親に養育されている世帯のほか、児童養護施設等に入所している児童、家出により単身で暮らしている児童など、多様である。

ステップファミリーやその他の世帯に属する児童も、実父母のいずれかとの離別を経験していると考えると、半数を超える児童が生育過程で保護者の変動を経験していると推測される。

表 4-2-1

世帯類型	度数	パーセント
ふたり親世帯	93	35.0
ふたり親世帯（ステップファミリー）	38	14.3
母子世帯	64	24.1
父子世帯	23	8.6
その他の世帯	48	18.0
合計	266	100.0

第3項 被害の態様

(1) 被害の種別

266 名について被害の態様をみると、「児童買春」被害が 59.0%、「児童ポルノ被害」が 30.8%、「児童買春、児童ポルノ複合」被害が 9.8%であった。政府統計では複合した被害を受けているかどうか把握できなかったため、本調査で約 10 名に 1 名が複合した被害を受けていることが把握できた点は重要である。

複合的な被害を受けている児童 26 名は、その 65.4%が過去にも相談を受けた経験がある（表 4-3-1）。また、年齢層は、「6-12 歳」が 6 名、「13-15 歳」が 12 名、「16-18 歳」が 8 名であり、乳幼児以外の各年齢層に複合的被害がみられる。性別をみると、26 名のうち 1 名は男児であり、25 名が女児である。また、性別による被害の特徴をみると、男児では約 8 割が児童ポルノ被害であった。

ヒアリング調査においては、10 代前半の女児が複数名の加害者から買春被害にあった事例もみられた。

表 4-3-1 被害の態様と相談受理経験

	相談受理		合計
	今回が初めて	過去に相談歴あり	
児童買春	68	77	145
	46.9%	53.1%	100.0%
児童ポルノ	61	20	81
	75.3%	24.7%	100.0%
児童買春、児童ポルノ複合	9	17	26
	34.6%	65.4%	100.0%

(2) 児童買春、児童ポルノの加害者・接触のきっかけ

児童買春被害が確認された 184 名につき買春者と接触したきっかけをみると（複数回答）、「SNS・アプリ等ネットを通じて」が 108 件（58.7%）と最も多い。また、「その他」のなかには街中での勧誘が 8 件みられた。児童にとって身近であるインターネット等の媒体や街中での勧誘などによって、見知らぬ者からの被害が広がっている様相が把握された。一方、「交際相手・知人・友人による斡旋」が 28 件（15.2%）、「家族による斡旋」が 11 件（6.0%）のほか、「その他」のなかには、実父・母の恋人等、家族関係に関する記述が 7 件みられた。このように、顔見知りや家族等の身近な人を通して被害を受ける状況も 2 割程度みられる。

次に、児童ポルノ被害が確認された 108 名につき撮影者をみると（複数回答）、「家族」が最も多く 31 件（28.7%）であり、家族が関与した被害が 3 割弱に及ぶことが把握された。撮影のきっかけをみると（複数回答）、「交際相手・保護者・監護者・きょうだい・親戚以外による性犯罪被害」が 29 件（26.6%）、「保護者・監護者による性的虐待」が 27 件（24.8%）であり、他の選択肢よりも高くなっている。これを性別でみると、児童ポルノのきっかけとして「性犯罪被害」がある児童はすべて女児である（表 4-3-2）。

表 4-3-2

児童ポルノ撮影のきっかけ									N	
	恋愛	性的虐待	家庭内暴力	性犯罪被害	仕事	いじめ	その他	不明		
男児	度数	1	2	0	0	0	2	6	2	13
	%	7.7%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	46.2%	15.4%	
女児	度数	13	25	4	29	2	8	12	5	96
	%	13.5%	26.0%	4.2%	30.2%	2.1%	8.3%	12.5%	5.2%	
計	度数	14	27	4	29	2	10	18	7	109
	%	12.8%	24.8%	3.7%	26.6%	1.8%	9.2%	16.5%	6.4%	
									100.0%	

また、見知らぬ者からの被害がある一方、家族に関連する被害も多いことから、世帯類型とクロス集計したものが表 4-3-3 である。撮影者が「家族」である 31 名のうちステップファミリーが約 3 割、性的虐待がある 27 名ではステップファミリーが約 4 割を占めている。母集団が小さいため解釈には留意が必要だが、複雑な家族構成の場合、相談過程では性被害等へのより敏感なまなざしが求められているといえよう。

表 4-3-3

	世帯類型					合計
	ふたり親世帯	ふたり親世帯（ステップファミリー）	母子世帯	父子世帯	その他の世帯	
児童ポルノ撮影者が「家族」	9	10	7	1	4	31
	29.0%	32.3%	22.6%	3.2%	12.9%	100.0%
児童ポルノ撮影者が「家族以外」	40	9	14	6	9	78
	51.3%	11.5%	17.9%	7.7%	11.5%	100.0%
児童ポルノのきっかけ「性的虐待」	7	11	7	0	2	27
	25.9%	40.7%	25.9%	0.0%	7.4%	100.0%
児童ポルノのきっかけ「性的虐待以外」	42	8	14	7	11	82
	51.2%	9.8%	17.1%	8.5%	13.4%	100.0%

第4項 児童を取りまく生活環境

(1) 児童を取りまく環境

アンケート調査では、児童自身が置かれている生活環境を多面的に捉えるため、「児童自身の課題」「児童を取りまく環境」という2つの設問を設け、前者は22項目、後者は18項目の選択肢を置き、複数回答で回答を求めた。

「児童自身の課題」(児童が抱えていた生活課題)の設問は、一人の児童につき平均3つ以上の項目が選択されたことになり、「あてはまるものはない」は9.0%にとどまっている。また、「児童を取りまく環境」の設問でも「あてはまるものはない」は7.5%にとどまっている。被害児童が複合的な課題や困難を抱えている状況が可視化された点は、アンケート調査の重要な知見である。

とりわけ、「親子関係の不調」が172名(64.7%)と6割強に及んでおり、家庭における養育環境への何らかの支援を要するケースが多いと考えられる。そこで、保護者自身の状況に焦点をあて多い順に概観すると、「保護者の心身の不安定状態」が27.1%、「保護者の無関心」が26.7%、「保護者との分離体験」「夫婦間不和」がそれぞれ21.8%である。また、「夫婦間不和以外の家族間の不和」が11.7%、「保護者のDV」が10.2%など、家族成員間の課題も10件に1件程度みられている。

更に、「経済的困難」が24.4%、「保護者の不安定就労」が11.3%、「劣悪な居住環境」が9.8%など、生活基盤自体が脆弱な児童も一定数存在している。ヒアリング調査では、10代前半の女児が家計を助けるために、下着を売る目的で出会い系サイトを利用した事例がみられた。

このようにみると、児童買春、児童ポルノ被害は児童本人の個人的な課題としてアプローチするには限界があり、養育環境や生活環境の困難状況のなかでいかに被害に巻き込まれていくのか、そのプロセスについて児童を取りまく諸環境との関連から理解すること肝心である。

(2) 家出・無断外泊と被害経験

被害児童の行動の特性として注目すべき事項として、「家出・無断外泊」があげられる。「家出・無断外泊経験」がある児童は116人(43.6%)であり、4割強に及んでいる。性別でみると、「男児」15名のうち「家出・無断外泊」がある者は1名(6.7%)のみであるのに対し、「女児」では114名(46.7%)に及んでいる(表4-4-1)。そもそも今回のアンケート調査で把握した被害児童のうち男児は少ない点に留意が必要であるものの、「家出・無断外泊」は女児において顕著な傾向がみてとれる。

表4-4-1

	家出・無断外泊		合計
	なし	あり	
男児	14	1	15
	93.3%	6.7%	100.0%
女児	130	114	244
	53.3%	46.7%	100.0%
不明	0	1	1
	0.0%	100.0%	100.0%
合計	144	116	260
	55.4%	44.6%	100.0%

※性別「無回答」6を除く

また、「児童自身の生活課題」を抱えていない24名の児童は、全員「家出・無断外泊経験」はなく、「児童を取りまく環境」上の問題を抱えていない20名のうち、18名(90.0%)は「家出・無断外泊経験」がなく、ある者はわずか2名である。そもそも、アンケートで把握された被害児童のうち、児童自身が生活や環境に

なんらかの諸課題や困難を抱えていない者のほうが多い。複合的な課題や困難がある児童ほど「家出・無断外泊」の比率が高くなり、その結果、「家出・無断外泊」によって更なるリスクを負う事態になると推察される（表4-4-2）。ヒアリング調査においては、10代前半の女児が、家出中にSNSを介して性産業に斡旋する男性と知り合い、その男性の家で生活しながら性産業に従事していたケースがみられた。また、10代後半の女児が入所していた施設から脱走し、宿泊場所を得る目的でSNSを利用したことから買春被害にあい、買春者から児童ポルノを撮影された事例もみられた。

ちなみに、表4-4-3は、「福祉犯被害少年における家出少年の推移」を法令別にみた警察庁のデータである。総数でみると「家出」は減少傾向にあるように見えるものの、平成23年以降では若干増加の兆しがみられる。また、表4-4-4は、アンケート調査の結果から被害の態様別に傾向をみたものである。これによると、「児童ポルノ」被害よりも、「児童買春」被害及び複合被害の場合のほうが、「家出・無断外泊」経験率が高くなっていることもわかる。

表4-4-2

		家出・無断外泊		合計			家出・無断外泊		合計
		なし	あり				なし	あり	
児童自身の生活課題	あてはまるものがある	126	116	242			132	114	246
		52.1%	47.9%	100.0%			53.7%	46.3%	100.0%
	あてはまるものはない	24	0	24			18	2	20
		100.0%	0.0%	100.0%			90.0%	10.0%	100.0%
合計		150	116	266			150	116	266
		56.4%	43.6%	100.0%			56.4%	43.6%	100.0%

表4-4-3 福祉犯被害少年（法令別）における家出少年の推移（平成17年から平成26年）

区分	年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
総数(人)	716	654	639	499	441	388	325	345	390	390	390
総数に占める割合(%)	9.4	9.0	8.7	7.1	6.2	5.3	4.4	5.1	6.1	6.2	6.2
風営適正化法	58	48	41	32	23	19	15	9	20	20	8
総数に占める割合(%)	5.2	4.1	3.7	3.6	3.3	2.9	2.1	1.3	2.8	1.1	1.1
売春防止法	12	14	19	7	5	1	4	2	2	2	9
総数に占める割合(%)	5.0	14.7	14.1	9.9	7.9	2.5	10.5	3.6	6.5	20.5	20.5
児童福祉法	144	91	70	80	65	43	37	59	56	48	48
総数に占める割合(%)	19.1	14.8	11.8	15.0	15.9	11.4	9.4	17.6	15.6	14.5	14.5
児童買春・児童ポルノ禁止法	172	151	131	77	78	63	44	47	65	78	78
総数に占める割合(%)	9.8	9.6	9.2	6.5	6.0	4.6	3.6	4.7	5.9	6.4	6.4
労働基準法	4	0	1	4	4	1	3	1	1	1	2
総数に占める割合(%)	2.2	0.0	0.5	3.1	5.3	1.6	4.8	0.7	0.7	0.7	2.0
職業安定法	17	13	11	15	3	3	6	2	3	4	4
総数に占める割合(%)	18.1	15.3	21.2	22.1	7.7	16.7	11.5	7.4	9.4	18.2	18.2
毒物及び劇物取締法	2	7	5	1	3	1	0	1	0	0	0
総数に占める割合(%)	0.5	2.6	2.4	0.8	2.3	1.3	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0
覚せい剤取締法	36	26	19	14	18	5	16	8	6	6	6
総数に占める割合(%)	16.5	15.6	15.3	16.5	16.2	7.6	23.2	14.3	20.0	25.0	25.0
青少年保護育成条例	268	303	340	267	238	244	199	215	232	232	232
総数に占める割合(%)	11.0	11.7	11.1	8.3	7.5	7.3	6.4	7.5	8.7	8.9	8.9
その他の特別法	3	1	2	2	4	8	1	1	5	3	3
総数に占める割合(%)	0.7	0.2	0.4	0.3	0.3	0.6	0.1	0.1	0.4	0.2	0.2

(注) 総数に占める割合とは、総数及び法令別の福祉犯被害少年（2-2-3表参照）に占める家出少年の割合をいう。

出典：「平成26年中における少年の補導及び保護の概況」警察庁生活安全局少年課 より引用

表 4-4-4

	家出・無断外泊		合計
	なし	あり	
児童買春	63	94	157
	40.1%	59.9%	100.0%
児童ボルノ	69	13	82
	84.1%	15.9%	100.0%
児童買春、 児童ボルノ複合	17	9	26
	65.4%	34.6%	100.0%
合計	149	116	265
	56.2%	43.8%	100.0%

第5項 児童の心身の状況

(1) 障害を抱える児童の態様

266名について障害の有無を「知的に境界域」を含め尋ねたところ、該当する障害「なし」は154名(57.9%)であった。不明15名・無回答7名を除くと、90名になんらかの障害があることが把握された。これは、全体の33.8%にあたり、約3人に1人の児童がなんらかの障害を抱えていることになり、非常に高い数値である。「知的に境界域」のみの児童が32名いることから、これを除いても58名(21.8%)が障害を抱えていることになり、全体の4.5人に1人が該当している。

90名について障害の内訳をみると（複数回答）、「知的に境界域」が36件（障害がある90名の40%）と最も多く、ついで「知的障害」が31件(34.4%)、「発達障害」が28件(31.1%)、「精神障害」が3件(3.3%)、「身体障害」が1件(1.1%)となっている。このうち9名の児童は重複した障害を抱えており、障害を抱える児童の10人に1人に該当する。その内訳は「発達障害+知的に境界域」が4名、「発達障害+知的障害」が4名、「知的障害+身体障害」が1名であった。

なんらかの障害を抱える（境界域を含む）児童、とりわけ知的障害やその境界域、発達障害を抱える子どもたちが児童買春、児童ボルノ被害に密接である現実の一端が把握された。また、本報告書第2章の表2-3-44にあるように、性犯罪被害に遭遇していることが把握されている児童は、障害がない児童よりも「知的障害・知的境界域」の児童のほうが高い比率になっており、犯罪被害に巻き込まれるリスクも抱えているといえよう。

(2) 児童の心身の状況

「被害児童の生活課題」「被害児童を取りまく環境」の設問から、児童の心身の状況を把握できる項目を拾い上げてみると、次のようになる。

◆学校関係：不登校73件(27.4%)、保健室登校7件(2.6%)、いじめ被害23件(8.6%)

◆心理面：感情不安定58件(21.8%)、自傷行為39件(14.7%)、自殺念慮13件(4.9%)、解離11件(41%)、

睡眠障害10件(3.8%)、PTSD10件(3.8%)、うつ状態4件(1.5%)、パニック3件(1.1%)

◆人間関係面：インターネット上の人間関係への依存56件(21.1%)、友人から孤立40件(15.0%)、親族から孤立21件(7.9%)、地域からの孤立18件(6.8%)、頻繁な孤立14件(5.3%)

これらは、あくまでも児童福祉司が把握している数値であり、実際にはこれ以上の課題や困難があると推察される。複合的な生活課題を抱え、かつ、性に関わる被害経験を有する児童が、心身に様々な症状を呈し、人間関係や学校生活の維持に関わる困難を抱えている状況の一端が浮かび上がっている。

また、児童相談所での対応をみると、「児童買春、児童ポルノ複合」の児童の場合には、26名中9名(34.6%)が「精神科医療」「個別心理療法」による援助を受けていることが把握された(表4-5-1)。

表4-5-1

	精神科医療		合計	個別心理療法		合計
	なし	あり		なし	あり	
児童買春	142	15	157	126	31	157
	90.4%	9.6%	100.0%	80.3%	19.7%	100.0%
児童ポルノ	71	11	82	66	16	82
	86.6%	13.4%	100.0%	80.5%	19.5%	100.0%
児童買春、 児童ポルノ複合	17	9	26	17	9	26
	65.4%	34.6%	100.0%	65.4%	34.6%	100.0%
合計	230	35	265	209	56	265
	86.8%	13.2%	100.0%	78.9%	21.1%	100.0%

(3) 自己肯定感

アンケート調査から把握された児童自身が直面する課題として、該当する件数が高かったもののひとつに「低い自己肯定感」がある。266名中106名(39.8%)が該当しており、自己肯定感を奪われる状況にある児童が少なくとも4割にのぼることが明らかになった。相談履歴でみると、「今回が初めて」の児童では「低い自己肯定感」に該当する比率は44.3%であるのに対し、「過去に相談歴がある」児童は52.8%とやや高くなっている(表4-5-2)

表4-5-3から表4-5-6は、自己肯定感が低い児童の傾向をみるためにクロス集計をした結果の一部である。「低い自己肯定感に該当する」児童では、「知的障害」「知的境界域」の比率が若干高く、「学校の成績」は低い方で比率が高くなっている。また、「親子関係の不調」「保護者との分離体験」「夫婦間不和」「経済的困難」「保護者若年出産」など、保護者との関係や家庭生活上の課題を抱えている比率も、自己肯定感が低い方が高い傾向がみられる。児童の行動上の特性として、「家出・無断外泊」は「自己肯定感が低い」に該当しない児童が36.3%であるのに対し、該当する児童では54.7%となり半数を超える。また、「異性への依存」をみると、該当していない児童が18.8%であるのに対し、該当する児童では35.8%となり、2倍弱が相当している。

表4-5-2 相談履歴と自己肯定感

	今回がはじめて	過去に相談歴あり	無回答	合計
低い自己肯定感 「該当する」	47	56	3	106
	44.3%	52.8%	2.8%	100.0%
低い自己肯定感 「該当しない」	91	59	10	160
	56.9%	36.9%	6.3%	100.0%

表4-5-3 障害と自己肯定感

	なし	発達障がい	知的障がい	精神障がい	身体	知的に境界域	不明	無回答	N
低い自己肯定感 「該当する」	56	13	16	1	0	21	2	1	106
	52.8%	12.3%	15.1%	0.9%	0.0%	19.8%	1.9%	0.9%	
低い自己肯定感 「該当しない」	98	15	15	2	1	15	13	6	160
	61.3%	9.4%	9.4%	1.3%	0.6%	9.4%	8.1%	3.8%	

表 4-5-4 学校の成績と自己肯定案

	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	不明	無回答	合計
低い自己肯定感 「該当する」	37	42	19	5	2	1	0	106
	34.9%	39.6%	17.9%	4.7%	1.9%	0.9%	0.0%	100.0%
低い自己肯定感 「該当しない」	24	48	66	5	2	8	7	160
	15.0%	30.0%	41.3%	3.1%	1.3%	5.0%	4.4%	100.0%

表 4-5-5 生活課題と自己肯定感（1）

	親子関係不調	感情不安定	うつ状態	睡眠障害	自傷行為	自殺念慮	PTSD	N
低い自己肯定感 「該当する」	85	34	2	5	25	10	7	106
	80.2%	32.1%	1.9%	4.7%	23.6%	9.4%	6.6%	
低い自己肯定感 「該当しない」	87	24	2	5	14	3	3	160
	54.4%	15.0%	1.3%	3.1%	8.8%	1.9%	1.9%	

生活課題と自己肯定感（2）

	いじめ被害	異性への依存	異性への嫌悪感	インターネット上人間関係依存	家出・無断外泊	不安定な就労	その他	あてはまらない	わからない	無回答	N
低い自己肯定感 「該当する」	13	38	5	27	58	6	7	0	0	0	106
	12.3%	35.8%	4.7%	25.5%	54.7%	5.7%	6.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
低い自己肯定感 「該当しない」	10	30	0	29	58	5	21	24	4	7	160
	6.3%	18.8%	0.0%	18.1%	36.3%	3.1%	13.1%	15.0%	2.5%	4.4%	

表 4-5-6 児童を取りまく環境と自己肯定感

	保護者若年出産	保護者との分離体験	経済的困難	保護者不安定就労	ひとり親家庭	ステップファミリー	保護者DV	夫婦間不和	夫婦間以外の家族間不和	保護者心身不安定	保護者無関心	親族から孤立	N
低い自己肯定感 「該当する」	17	37	35	17	46	13	16	32	17	36	34	13	106
	16.0%	34.9%	33.0%	16.0%	43.4%	12.3%	15.1%	30.2%	16.0%	34.0%	32.1%	12.3%	
低い自己肯定感 「該当しない」	3	21	30	13	50	19	11	26	14	36	37	8	160
	1.9%	13.1%	18.8%	8.1%	31.3%	11.9%	6.9%	16.3%	8.8%	22.5%	23.1%	5.0%	

第6項 小括

アンケート調査で把握された「児童買春、児童ポルノ」被害児童 266 名の被害の態様は、児童買春事例が約 6 割、児童ポルノ事例が約 3 割把握されたほか、複合被害を受けている児童が約 1 割であった。約 10 人に 1 人の割合で複合的な被害を受けている現状は、極めて深刻な事態である。インターネット媒体を介して見知らぬ者から被害を受ける児童や性犯罪被害に害に巻き込まれている児童が一定数いることが確認され、性の商品化や性犯罪のターゲットとして児童が標的にされている事実の一端が本調査では明らかになっていく。また、児童ポルノ被害児童のうち、撮影者が家族であるケースが 3 割弱あるなど、家族による児童への性的暴力や性的侵害もみられ、公的領域と私的領域を通底して児童の安全が脅かされている実態が把握された。

また、266 名の児童の特徴として、家族関係の不安定性や生活基盤の脆弱性が確認された。児童が属する世帯の構成をみると、3 割強がひとり親世帯である。ステップファミリーやその他の世帯に属する児童も、実父母のいずれかとの離別を経験していると考えると、半数を超える児童が生育過程で保護者の変動を経験していると推測される。夫婦間の不和や DV、経済的困窮などのほか、心身が不安定な保護者も一定数みられた。そのようななかで、親子関係の不調や分離体験等による愛着形成上の課題を抱えたり、暴力被害等により他者や自己への信頼感を奪われたりしながら、学業や安定的な人間関係の確保に困難をきたしている児

童期に、児童買春、児童ポルノ被害に見舞われている。

本調査では、家出・無断外泊のある児童が4割強にのぼっており、家出は児童のSOS行動のひとつと捉えられる。しかし、家出によって様々なリスクに晒され、さらなるSOSが生み出されることを鑑みると、家出や無断外泊をせざるをえない状況下にある児童・青少年を発見するアウトリーチ機能と緊急対応による保護・支援機能をセットで用意する必要があろう。

更に、障害を抱える児童の比率の高さは看過できない事実である。婦人保護事業の現場においては、成年女性のなかでも知的障害や知的障害の境界域にある女性たちが性暴力のリスクが高く、性産業のターゲットとされやすい現実が報告されている。このような事態は児童においても発生していることが、本調査からは把握された。しかしながら、高齢・障害・児童等の分野ごとに類型化された既存の社会福祉の体系では、性暴力や性的侵害への視点が極めて希薄である。性暴力禁止法がいまだ制定されていない日本の土壤のなかで、子ども期からの被害の防止と支援体制をジェンダーの視点をもって構築する必要があろう。

加えて、児童福祉の現場においては、①養護相談や虐待相談などを通して児童買春、児童ポルノ被害を発見する機能を高めると同時に、②関係諸機関との連携強化を通して主訴としての児童買春、児童ポルノ被害への支援機能を高める方策が求められる。

第2節 児童相談所における児童買春、児童ポルノ事例への対応の実態

川松 亮

本節では、児童買春、児童ポルノ関連事例に対して児童相談所がどのような対応をしているのか、その実情について考察し、今後のあり方への提言につなげたい。

1. 児童相談所の関与のきっかけ

児童相談所が児童買春、児童ポルノ事例に関与するきっかけは、大きく分けて二つに分けられるだろう。一つは、児童相談所が他の主訴での相談により関与を始めた事例について、調査や支援をする中で、児童買春、児童ポルノの事実が判明した場合である（これをAタイプとする）。Aタイプの場合、相談内容は、非行相談のほか、虐待通告があつて関与した事例、不登校や性格行動に関する相談があつた事例などが考えられよう。

もう一つのタイプは、警察が児童買春、児童ポルノの事実を把握して、その後に児童相談所の関与を求めた場合である（これをBタイプとする）。Bタイプの場合は児童相談所に事前の情報がなく、警察からの情報をもとに関与が始まる。本調査におけるインタビュー調査で、警察からの連絡によって関与が始まった事例は、16事例中の9事例と過半数を占めていた。また、アンケート調査で集まった266事例中で、警察から児童相談所につながった事例は142事例（53.4%）とやはり過半数を占めていた。

警察からの相談が契機となっている場合、警察から提供された情報がどの程度のものであるかによって、その後の支援が左右されると考えられる。なお、警察以外の相談経路としては、学校からつながった事例が20.3%，保護者からが10.9%，親族からが9.0%であった。これらの事例においても、学校や保護者・親族とどう情報共有できているのかが課題となる。

2. 児童相談所の対応件数

今回のアンケート調査は2015年度の上半期に受理した事例を対象としている。この期間に児童相談所が把握した児童買春、児童ポルノ事例は266事例であった。1年に換算すると532事例となる。

ところで本調査は、全国のすべての児童福祉司から回答を求めており、回収された児童福祉司票は2297件であり、2015年4月1日現在の全国の児童福祉司数2934人に対しては78.3%となる。そこで先の532事例を全国の児童福祉司数に換算すると、全国の児童買春、児童ポルノ事例は通年で682件と推定される¹⁾。

一方、警察庁が2016年3月24日に公表した、2015年の児童ポルノ事件摘発件数は（警察庁の統計は年度ではなく年である）1938件で、被害児童は905人であった。本アンケート調査では、児童ポルノ事例及び児童買春、児童ポルノ複合事例を合わせると108事例であり、上記と同様の方法で通年の全国の数値に換算すると277事例となる。警察庁の統計とは対象期間が異なるが、警察が把握した件数よりも児童相談所が関与した事例数のほうが少なくなっている。

児童相談所が関与する場合は、子どもの心理的な問題等で支援が必要と思われる場合、あるいは非行の問題があり児童相談所の関与が必要な場合、さらに施設入所が必要と考えられる場合などが考えられ、そういう事例で警察・学校や保護者等から相談があるものと思われる。その他の多くの事例は児童相談所の関与までは必要ないと判断され、警察での対応で終結しているか、あるいは警察関連の機関（少年サポートセンター等）でケアを受けている場合もあるのだろうと推測される。

¹⁾ 2015年度に全国の児童相談所が対応した相談の件数は未集計だが、参考として、2014年度の全国の児童相談所相談対応件数総数は420128件であった。（厚生労働省福祉行政報告例2014年度から）

従って、日本における児童買春、児童ポルノ事例の実態を把握するためには、警察が関与した事例の調査が必要と思われる。本調査は、児童相談所の関与が必要と判断されてつながった事例について、児童相談所側から見た結果であるという限界があるだろう。もちろん、すべての事例に児童相談所が関与する必要があるわけではない。

なお、児童相談所の対応件数について付言すると、国の統計である福祉行政報告例の記入要領では、児童買春、児童ポルノ事例の定義が簡略なものとなっている。正確な計上を求めるためには、本アンケート調査で使用した定義のように詳細な記載が必要であると考える。

3. 事例への気づきと職員の専門性

被害を受けた子どもを把握して支援につなげるためには、前述のAタイプの事例で、児童買春、児童ポルノ被害がなかったかどうかに気づく力が児童相談所職員に求められる。ここでは児童相談所職員の専門性と事例の発見との関係について、アンケート調査のデータから関連する項目を見てみたい。

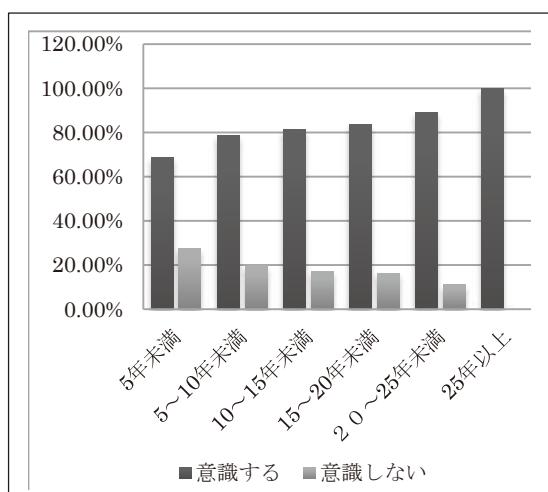


図 4-2-1 児童福祉司の経験年数と児童買春への意識との関連

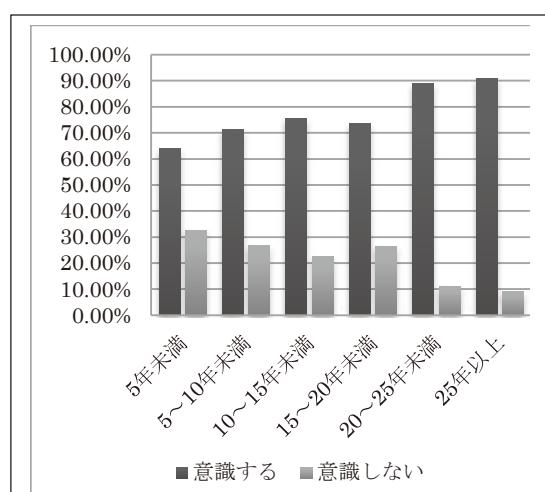


図 4-2-2 児童福祉司の経験年数と児童ポルノ問題への意識との関連²⁾

図 4-2-1 と図 4-2-2 は、「児童福祉司の経験年数」と「日常業務の中で児童買春、児童ポルノの問題を意識するかどうか」との関連を示したものである。職員の経験年数が長くなるにつれて、児童買春、児童ポルノ問題について意識する職員の割合が高くなっていることがわかる。

次に、研修受講との関連はどうかを見てみたい。

²⁾ 図 4-2-1、4-2-2 ともに、意識するは「いつも意識する」と「年齢や性別によって意識する」を合わせた割合。意識しないは「あまり意識することはない」と「ほとんど意識しない」を合わせた割合。

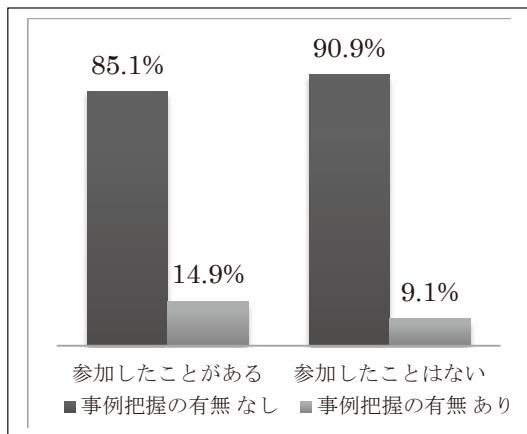


図 4-2-3 研修会参加経験と児童買春事例把握の有無との関連

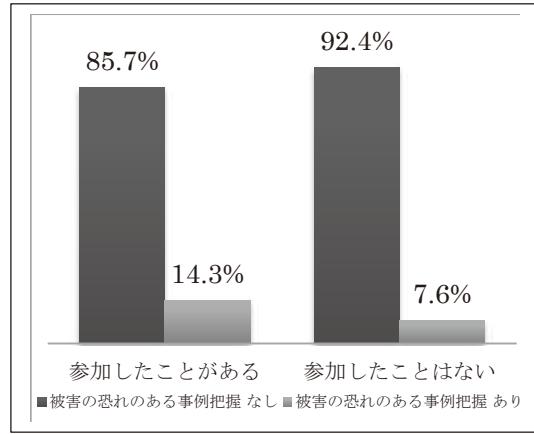


図 4-2-4 研修会参加経験と児童ポルノ事例把握の有無との関連

図 4-2-3 と図 4-2-4 に見るようく、児童買春や児童ポルノ問題に関する研修に参加したことがある場合には、事例把握の有無「あり」とする比率が高くなっている。特に児童ポルノに関しては、その比率の差が大きくなっていた。

以上に見るように、児童相談所職員の経験年数の長さと研修受講の有無は、児童買春、児童ポルノ問題への意識や事例把握に影響を与えていたことがわかった。ただ調査結果では、実際の事例把握数は、経験年数が短い職員の方が多いという結果となっていた。これは、経験年数が長い職員は、職場で係長・課長といったスーパーバイザー的なポジションについていることが多い、実際の事例対応をしていないことと関連しているかもしれない。そうであっても、チームの中に問題を発見する目を持っている職員がいることの意味は大きいだろう。従って、職員の長期継続勤務と研修の実施が必要であると考える。

研修内容に関してであるが、インタビュー調査の中では支援者の専門知識不足が多く語られていた。特に、SNS やネットの情報に精通していないことが課題としてあげられた。インタビュー調査事例の多くは SNS をきっかけに被害につながっていたため、児童相談所職員が、ネットの実情や被害につながる過程に関する知識を持つことが肝要であろう。

4. 児童相談所における調査について

児童相談所が関与を求める調査を進めるに当たり、課題となる点がいくつか見出されたので触れてみたい。まず 1 点目は、子どもの被害認識の乏しさという点である。これはアンケート調査の支援の困難感のうち、その他の回答として多くみられた。「子ども本人に拒否感や抵抗感がない」、「子ども本人に問題認識が薄く性教育や心理ケアにつなぎにくい、繰り返す」などの回答として出されていたものである。また、インタビュー調査でも「子どもの被害に対する認識により支援困難」というカテゴリーでの語りが多く認められた。こうした事情があるため、子どもに相談ニーズがなく、支援につながりにくいという結果につながっている。さらに、相談関係が継続せずに中断することにもつながる。

子どもの被害意識が乏しい背景に何があるかは本調査からは不明である。ただ、アンケート調査からは、家族背景に不利を抱えている事例が多いことがうかがえた。「児童を取りまく環境」や「児童が抱えていた生活課題」の結果に見る通りである。「児童を取りまく環境」で「あてはまるものはない」という回答はわずかに 7.5% であり、「児童が抱えていた生活課題」で「あてはまるものはない」という回答もわずかに 9.0% であった。インタビュー調査の中でも、過去に施設入所などの経験があったり、相談歴がない事例でも家庭背景に不利を抱えている状況が見られる場合が多かった。ほとんどの事例は「要保護児童」といっても過言ではないだろう。

とりわけアンケート調査の中では、「低い自己肯定感」が39.8%あったことに注目したい。生育歴の中で十分な監護を受けることができていなかつたり、自分を大切と思えない環境で養育されてきた中で、性的な接触を問題と認識できなくされている可能性が指摘できると思う。こうした傾向を防ぐためには、子どもが受け止められ認められる体験をすることがまずは必要となるだろう。その一方で、小さい時からの「生と性の学び」を深め、自らの体と他者をいたわる気持ちを育てることが求められる。社会全体で意識的に性教育に取り組む必要性があることを強調したい。

課題の2点目は、聞き取りに対する保護者や子どもの抵抗感である。インタビュー調査では、警察を含めた複数回の聞き取りが精神的に負担になるとして、子ども本人または保護者が相談継続を望まなかつた事例が見られた。児童相談所内での聞き取りの工夫は言うまでもないが、警察との重複した聴き取りは子どもの精神的な負担を増してしまう。厚生労働省からは「子どもの心理的負担等に配慮した面接の取組に向けた警察・検察との更なる連携強化について」(平成27年10月28日雇児総発1028第1号)という通知が発出されており、関係機関が連携協働して、子どもの負担ができる限り少なくする共同の面接手法を取り入れるよう検討が必要である。また、関係機関同士が十分に情報共有しあえるような仕組みも求められている。

課題の3点目として、インタビュー調査の中では児童相談所の権限の限界について、多く触れられていたことを取り上げたい。つまり児童相談所には児童買春、児童ポルノ事例に関して調査するための強制力がないという指摘であった。例えば虐待相談であれば、児童虐待防止法に規定されている様々な法的権限があるが、それ以外の相談では基本的に任意の相談関係となる。従って、個人情報の壁を越えて情報提供を受けたり、子どもや保護者が援助を求める場合に関与を継続することができないという限界がある。

とりわけ警察との関係について、警察が捜査に入っている場合にその情報がなかなか得られず、支援を組み立てにくいという指摘があった。警察との情報の共有については、スムーズにできるような仕組みの構築が必要であろう。

5. 児童相談所における対応について

「児童相談所が行った援助」の内容としては、一時保護・一時保護委託が55.3%と高い比率を占めていた。参考に、2013年度の虐待相談件数に占める一時保護件数の割合をみると21.0%であった。³⁾非常に高い比率で一時保護がとられていることがわかる。さらに施設入所と里親委託を合わせて23.0%あり、2013年度虐待相談の施設入所等割合が6.0%である⁴⁾のと比べても著しく高い比率となっている。家庭分離による支援が必要な事例が多かつたことがわかる。家庭での監護が適切に行われるならば、家庭から分離する必要性は少ないはずである。にもかかわらず分離が多い点を見ると、家庭での養育環境が適切ではない事例が多いためであると考えられる。

前述のように本調査結果からは、児童買春、児童ポルノ被害を受けた子どもの背景として、「要保護児童」といってよいような複雑な養育環境やそれに起因する親子関係不調などの課題が見られた。そこで、支援の内容としては家族全体をとらえた、養育環境改善のための支援が必要となるだろう。

³⁾ 「厚生労働省による行政説明資料」(2015年4月21日児童相談所長研修資料), 子どもの虹情報研修センターホームページに掲載。

⁴⁾ 同上資料から

ところでアンケート調査では、行った援助として、個別心理療法が 21.1%，精神科医療が 13.2%を占めていた。比較の材料として、2013 年に全国児童相談所長会が実施した虐待相談ケースの悉皆調査を挙げると、子どもに対して行った援助のうち、個別心理療法は 4.0%，精神科医療は 2.8%となっていた。⁵⁾に比べて、児童買春、児童ポルノ事例での実施率は高くなっている。精神心理的な支援が必要な事例が多いことの表れであろう。

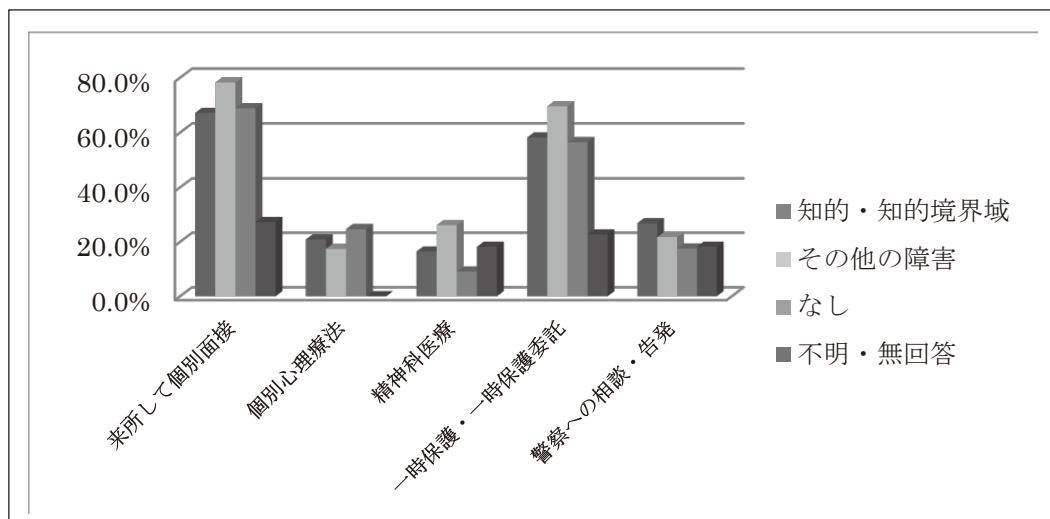


図 4-2-5 障害の有無と児童相談所の援助との関連

図 4-2-5 を見ると、「他の障害」での精神科医療の実施率が高いことが目につく。「他の障害」に含まれるのはほとんどが発達障害である。本調査では知的障害あるいは知的に境界域の事例が 4 分の 1 を占めていたが、一方で発達障害を持つ子どもの場合は重層的な支援が必要になっていると考えられる。同様に図 4-3-6 を見ると、学力と援助の関係では、学力が高い事例において個別心理療法や精神科医療の実施率が高くなっていた。本調査では学力が低い及びやや低い事例が過半数を占めており、それらの事例は一時保護率が高い傾向がみられたのだが、一方で学力が高い事例における精神心理的な支援の必要性が高いことがわかる。

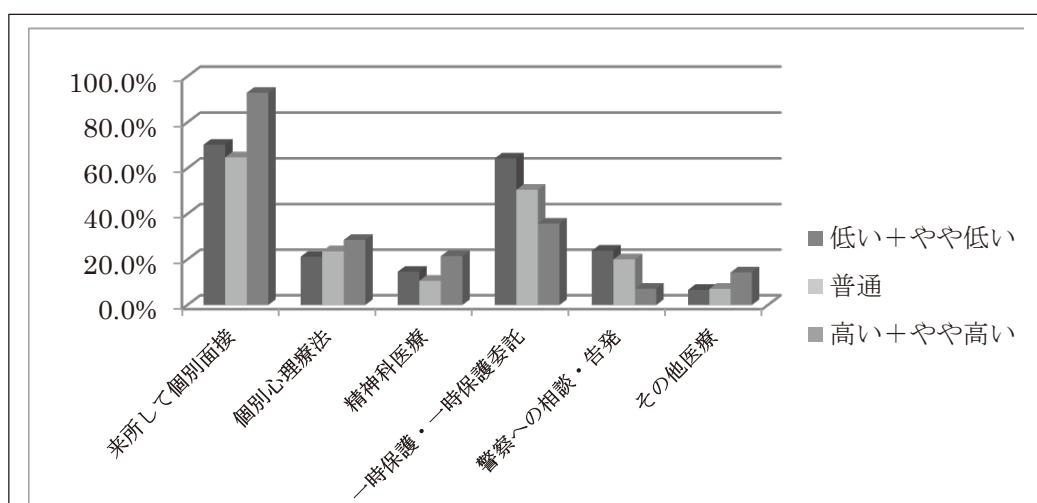


図 4-2-6 学力と児童相談所の援助との関連

⁵⁾ 平成 25 年度児童関連サービス調査研究事業報告書「児童虐待相談のケース分析等に関する調査研究」結果報告書（主任研究者：全国児童相談所長会会长桜山豊夫，2014 年 3 月）

アンケート調査で対応の困難感について聞いた設問では、「保護者が問題と向き合わない」ことが最も多く挙げられていた。また、「児童本人に十分な判断能力がなく、事態を把握できない」も多く、これは特に知的障害または知的境界域の事例で多かった。さらに、「児童を被害者として対応するか指導対象として対応するかという混乱が生じる」という回答が困難感として多く挙げられていた。児童相談所が支援のスタンスを確定しかねている状況が見て取れる。

児童買春、児童ポルノ問題で対応する場合、子どもの非行傾向が強くなっていたり、子ども自身が被害感を持っていなかつたりして、児童相談所の関与に拒否的になり、支援がなかなか入れられないのが実情であろう。しかし行動化が激しかったり問題認識が乏しくても、もともとは養育環境が不十分な中で生育してきた場合が多い被害児であることを基本に据えて、養育支援と子どもの自尊心を育てるためのかかわりを組み合わせながら、子ども自身が主体的に前向きな生活を送れるように促していくかかわりが必要となると考える。

6. 機関連携のあり方

図 4-2-7 として、試みに児童買春、児童ポルノ事例への対応フロー図を作成した。児童相談所につなげた機関と児童相談所の対応は、アンケート調査の中で回答率の高かった主な機関と対応を記載している。

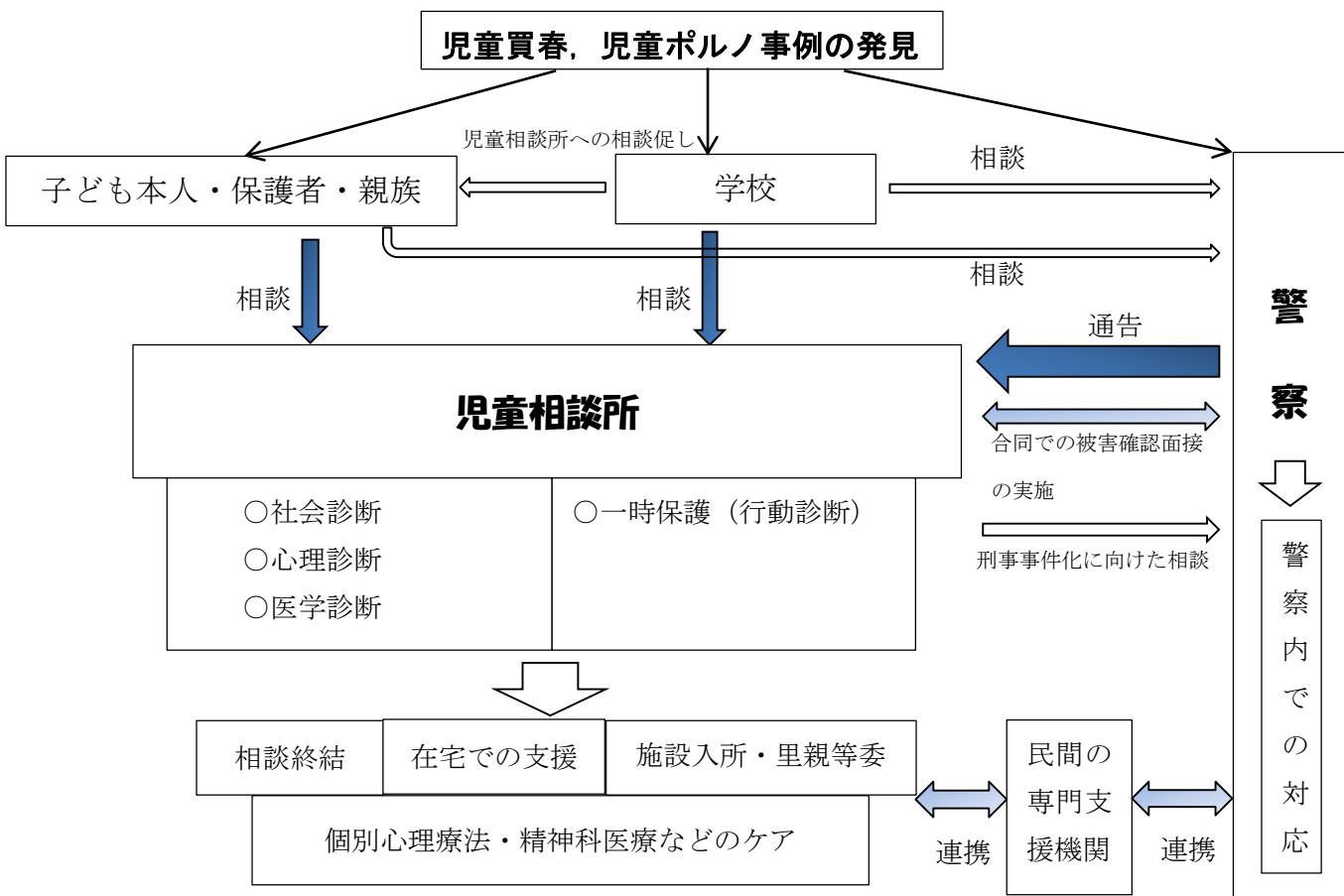


図 4-2-7 児童買春、児童ポルノ問題への対応フロー図

児童相談所につながる経路としては警察が最も多い。次いで学校、保護者となる。警察で対応した事例は必要に応じて児童相談所に通告されるため、警察内の対応で終結している事例が相当数あると思われる。その中には、少年サポートセンターや被害者支援機関のケアにつながっている事例もあるだろう。警察が対応した中でも要保護性が高く、施設入所も必要と判断されるような事例が児童相談所に通告されてきていると

考える。

児童相談所は独自の調査に基づき診断を行う。その際に警察から情報が十分に提供されるかどうかはその後の支援に影響を及ぼすため、情報共有の仕組みを構築する必要がある。また、児童相談所や警察での複数回の聞き取りを避けるため、合同での専門的な被害確認面接の実施体制を早急に構築することが必要である。

児童相談所の課題としては、子どもに問題認識が乏しい場合や保護者が向き合わない場合に支援が継続しないことである。警察からつながった場合には、警察からも促しをしてもらうなどの協力関係構築が必要となる。また、子どもや保護者の認識を深め、支援を継続できるように、ソーシャルワーク手法を高めることが必要となるだろう。

児童相談所の対応としては、在宅での支援や施設入所をする一方で、子どもの心理的な安定を図るためのケアが必要となる。アンケート調査では足りない社会資源として、性被害を受けた子どものためのカウンセリング（性教育を含む）を6割を超える回答者が挙げた。また、身近な相談機関や性被害に対応できるクリニックの必要性を挙げる回答も多かった。インタビュー調査では、医療機関で性教育を実施した事例があつたものの、その他の民間機関との連携事例は見られなかつた。現状では、児童相談所で児童買春、児童ポルノ事例へのカウンセリング手法を準備できておらず、専門的な支援ができる機関が求められているといえよう。今後は児童相談所の医師や児童心理司の研修が必要であることに加えて、民間の専門機関との協力関係を模索することが必要となっていると考える。

以上、本調査から見られた児童相談所の対応の実態について考察を行つた。現状では児童相談所が対応している事例は少なく、対応の手法も十分用意されてはいない。今後は警察での発見が進むにつれて、児童相談所に通告される事例が増える可能性がある。児童相談所での気づく目を育成するための研修実施や、警察・検察との情報共有と合同面接の仕組みを構築すること、子どもの支援手法の習熟と民間支援機関との連携の模索などが必要となっていると言えよう。

第5章 提言

藤原 志帆子

第1節 民間団体からの提言

私が所属するNPO法人人身取引被害者サポートセンター ライトハウスの活動では、児童買春や児童ポルノ被害などの性的搾取被害にあう児童と出会う。現在進行形で被害にあう児童だけでなく、過去に被害を経験した児童や若者、被害経験はないが被害に巻き込まれる可能性が高い環境にいる児童などもSNSや電話を通して緩やかにつながる。そのつながりから、ときに児童の方から「昨日、援助交際の相手に車で連れて行かれ、危ない目に遭わせられそうになった」、深夜にSNSで「家出した、終電でXX駅まで下りついてこれからどうしようか悩んでる」といった連絡が来る。対応はケースバイケースだが、深夜にスタッフが駆けつけ児童を安全を確認することもある。

対応に苦慮することも多い。SNSでの相談や、電話窓口を設けていることで、ときに一人の児童からの連絡や無言電話などが集中することもある。またSNSでの児童との会話は、時には本当かどうか判断でき兼ねるような事象も含む発言もある。それでもライトハウスを少しは信頼し、何かあつたら報告してくれたり、困ったときに相談をしてくれる児童がいる。彼らが危険な状況に陥ったり、SOSを求めてきた時、当団体は児童相談所や警察を含める機関と連携し繋げてきた。公的機関との連携は、児童にとっても我々にとっても、積極的にしているところだが、児童を繋げることにちょっとした制約や戸惑いを感じるところもある。性的搾取の被害児童を見ていると、親や家庭とのつながりが少なかった子も多い。彼らにとって携帯電話は社会と繋がるたったひとつのツールであることもあるから、児童相談所の介入の際は、携帯電話利用と折り合いをつけた保護・支援はないものかとも、常々考えてしまう。

本調査は児童買春、児童ポルノ被害の現状を、児童相談所という切り口から見たもので、民間団体として相談窓口を設ける私たちがみる児童買春・ポルノ被害との比較は非常に興味深かった。本報告によると、児童相談所で把握しているケースは、警察が被害を発見・把握していたり、学校で被害を認知したりというケースが大多数だった。今回の報告は、児童相談所というところを窓口とした、大きな子どもたちへの被害の実態の一片の姿であるということを意識しながら、以下の点を今後の課題として挙げ、提言したい。

1) 児童買春、児童ポルノ それぞれの被害に応じた対応の必要性

アンケート調査の、被害児童の置かれた「生活課題」や「とりまく環境」を考察する。明らかに生活課題や児童の取り巻く環境の深刻さが各ケースに見られる児童買春に対して、児童ポルノ被害児童のもつ背景は見えにくい。児童ポルノ被害児はとりたてて生活課題が見られなかつたと議論するかは、本調査だけでは足りない。しかしライトハウスの活動からも、児童ポルノ被害の当事者については、家族背景や児童の抱える課題に、これといった傾向がないと感じている。自ら自画撮りをし、加害者に渡してしまう児童や、援助交際をしている際に買春者に動画を撮られてしまった・・などの相談を多く受けたが、児童自身の複数の生活課題や、家庭環境が非常に複雑な状況にある児童もいれば、逆に課題がほとんど見られなかつた子、進学意欲もあり家族関係も良好な児童も多かつた。児童ポルノ被害児童に「児童自身の課題」や「児童を取りまく環境」にあてはまるものが多いうことから、本調査の傾向も合わせてみると、どのような環境下で育つた子でも、誰でも被害者になり得るのが児童ポルノ犯罪

と言えるのではないか。

児童買春に関しては、本調査で見えてくる児童の背景は、我々の出会ってきた買春被害児の傾向とも広く重なる部分が多いと感じた。同時に、本調査で児童相談所が把握している買春被害児童の背景は、我々民間団体が日々接してきた児童や若者と比べても低年齢であったり、家庭環境の課題などを考えても深刻度が高いように見受けられる。当団体と援助交際の渦中にいる子どもたちとのSNS上の会話のやりとりの中で見えてくるのは、過去の暴力被害などを経験した後、自傷行為の一環としての買春に自ら身を投じる児童などだが、本人の抵抗感により、なかなか児童相談所や警察へ繋がらない。児童相談所の他にも、学校や民間団体の支援、カウンセリング機関などが利用しやすい形で子どもたちの生活のそばで寄り添えるような環境が整備されることが望ましい。

さらに、児童買春という性的搾取被害にあう子どもたちに対しては、「児童自身の課題」や「児童をとりまく生活」の傾向を把握したことにより、今後児童買春被害が発生しやすい家庭へターゲットを絞った対応などの防止活動ができるだろう。児童ポルノに関しては、どのような環境下で育つ児童も、経験値の長けている加害者の手によって被害者になり得る。国を挙げての啓発、被害児童のための相談・支援先の充実と周知、違法業者や、次々と形を変えて出没する出会い系アプリや画像共有アプリ等を根本から規制するような対策や児童への啓発が必要になるのではないか。

2) 児童相談所という窓口の周知を

児童相談所には、家庭支援から調査、それに基づいた要保護児童の保護まで多くの役割が課されているが、暴力・虐待から児童を守るという重要な責任を負う児童相談所が実際どのようなところなのか、一時保護中はどのような生活環境になるのかも含めて、子どもたちだけでなく我々のような児童の相談にも乗るような民間団体の間でもあまり認知されてないと感じている。子どもたちの「児童相談所ってどんなところなの?」という質問に、私たちはどれだけ答えられるか、と考える。我々が支援し、児童相談所に最終的に介入してもらったある児童は、深刻なネグレクト家庭だったが、それまで一度も家庭に児童相談所の介入がなかった。そのせいか、日々生きるためとも言えるサバイバル的な児童買春を続けていた児童本人も、素直に児童相談所につながることができた。しかし、他事例を見ると、過去に児童相談所が関わった児童や、たまたま児童相談所での経験にいい思い出がない児童、友人に「児童相談所の施設で他児童との間ですごく嫌な経験をした」と情報を受けた児童は、かたくなに児童相談所とのつながりを拒むこともあった。また、児童相談所に行くと親に連絡が行く可能性がある、と児童相談所の関与を避ける傾向は出会ってきた児童全体にある。児童相談所自体の取り組みが児童だけでなく民間団体等の関係者には不明瞭、または肯定的に伝えられていない可能性がある。これに関しては児童相談所の家庭に介入ができるという独立性や児童を保護する為の安全性・秘匿性も大切にしながら、児童相談所の意義や役割を、広く知つもらう啓発が必要ではないか。子どもを支援団体としては、事前に児童相談所とつながりを作り、相談があったときに正確な情報を伝えたい。事前に児童相談所の支援を児童が知ることで、その後の不適応を起こさない可能性も高くなるのではないか。

3) 児童相談所と他機関の顔の見える関係を

今回のヒアリング調査では、児童の大人への不信感自体が支援の継続に支障をきたしたり、呼び出しに応じなかつたり、児童自身が支援を受けるニーズを感じていない等、児童相談所と児童の間に意識の

かい離が見られた。児童買春、児童ポルノ被害児童に必要な支援と児童相談所という立ち位置でできる支援にはかなりギャップがあるのではないか。

買春被害児童自身の声を共有させて貰えば、「警察が事件、児童相談所の人にもあって色々聞かれたり話したりしたよ。そのあとも2回ほど児童相談所に行って人と会ったよ。で、終わり。」彼女は、児童相談所でカウンセリングなどのケアを数回受けたが、その後家庭に戻され、以降は性的逸脱行動や深夜徘徊を繰り返し、自傷行為もあった。当団体は年に数回だが定期的に児童に会い、恋愛相談や性教育のような話などをご飯を食べながら続けている。他には、他団体と繋げ、就学支援などをしてきた児童もいる。小さな団体が相談を受けたすべての児童に長期的にできることは本当に限られるが、それでもSNSなどで細く繋がり「久しぶり、どうしている?」「最近元気?」と言ったような関係の中で、新たな性暴力やパートナーからのDV、性風俗産業での搾取などの問題の発見につながっている。児童相談所の支援を離れた児童への継続した支援が必要と考えるし、特に初期に相談を受け警察や行政につないだ我々のような民間団体は、児童とすでに信頼関係を築き上げている場合もある為、そのつながりが切れないような協力関係を可能にしたい。

4) 児童相談所と外部組織の有機的な連携体制を

民間団体として児童を警察や児童相談所につなげたあと、我々の方にはなかなか児童の安否を含め情報が入らない。ライトハウスと児童の信頼関係が築かれつつあった子もいる。安全上の問題もあるのだろうが、その後子どもとのつながりが切れてしまうことがほとんどのケースである。その子どものこれからにおいて糧になる関係性でもあり得る為、できる限りこのつながりを切ることは避けたい。「今どうしている?」という長期的な関わりは非常に重要ではないか。彼・彼女の被害や犯罪に巻き込まれた経緯を含めた情報を知っている大人が一人でもいることで、児童をその後のリスクから守るかもしれない。

成人女性への支援・母子の支援では、当団体の経験からも、緊急一時保護の段階から、民間団体等の社会資源が婦人保護事業ではある程度は受け入れられている傾向があると感じる。一方、児童福祉の場合はそのような環境はまだないように感じる。しかし、本調査でも明らかなのは、児童福祉司の方が被害予防からその後の再発防止までの多くの外の社会資源が児童に必要だと感じていることだ。「児童への性被害予防教育(性教育や権利の教育含め)」、「身近な相談窓口」の必要性は特に回答が多かった。そのためにも是非児童相談所にはカウンセリングや学習の場などを提供する民間団体も社会資源の一つとして生かしてほしい。また逆に、身近な相談窓口からの情報提供の受け入れ態勢が児童相談所側にないと、我々としても児童のケースをつなげにくくなってしまう。そのためにも、もっと顔が見える情報交換の機会をいただきたいと考える。具体的な提案としては、地域の学習支援団体(例:高卒認定を取りたい当事者が学習支援を受けられる無料・低額塾等)や若者支援をする民間団体(ピアカウンセリング・性教育や相談窓口運営等)などと定期的に情報交換をし、各団体の活動や領域を知り、信頼関係を築くことが考えられる。また、児童相談所内に、児童の性的搾取被害に応じるための専門の研修を受けた部署や職員を配置することを提案したい。本調査のヒアリング調査でも、児童相談所の中で、児童買春やポルノ被害事例の専門相談員がいたらという意見が見られた。児童相談所と連携できる社会資源との窓口として、また性の問題や性的搾取被害があった時のために児童相談所内でのリソースパーソンとして活躍していただきたい。

5) 性的搾取の被害児童への支援の構築を

被害児童の支援の際に感じた困難感で、ひときわ印象的であったのが、児童相談所の権限に限界があるということであった。介入して支援を始めたい、または支援をこれからも続ける必要があると考えるケースでも、児童相談所は強制力を持っていないため難しいということだ。これは非常に難しい問題である。また、社会資源に関する調査結果では、児童のケアに対する具体的な支援プログラム（心理的な回復をするプログラム、児童に被害理解を促す支援、セルフヘルプグループなど）の必要性が挙げられていた。

これらの現状を踏まえて海外の興味深い取り組みを共有したい。まず、昨年米国の買春を経験した児童のための施設を訪問した。この施設には学校があり様々な課外活動があり、一見全寮制の私立学校のような場所であるが、心理職などの専門スタッフの数も多い。施設のプログラムは、共同生活をしながら様々なスキルを学び、教育を受け、外部講師からの性教育やデートDVに関するワークショップなどを受けるというものだった。設備も素晴らしいのだが、子ども支援に関わる者として複雑な感情を抱くのは、この施設が買春を経験した児童が、裁判所の決定により義務として入所することだった。共同生活をしながらライフスキルを学ぶということを目的にしていると考えられるが、長い間暴力を受けてきたり、困難な状況におかれた少女たちが多くみられるなかで、半ば義務として規律を求めるような集団生活をさせることについて、私自身は非常に複雑な気持ちになった。今回の調査にあるように、「ケアをしたいが（権限がないために）続けられない」という日本の児童相談所関係者の困難感が各所に見られた結果を見ながらも、この施設のようないわば強制的なプログラムは犯罪被害児童には相応しくないのではとも考える。一方、同じく米国ミネソタ州では、買春を経験した児童のための緊急一時保護からトラウマ治療、就学・進学支援まで様々な支援を自分で選び受けられる仕組みになっていて、この州の児童支援は実績もあり効果も認められ、国のモデルケースとなっているそうだ。ちなみに隣の韓国では、買春経験をした児童は犯罪被害児として日本同様保護の対象だが、検察の判断で治療とリハビリのトレーニングプログラムを被害児童に受けさせるという。こちらも児童に義務として課すものだが、期間は6日間と短期集中である。児童と支援者が5泊6日の間、成長キャンプというのに参加し、一緒に宿泊しながらカウンセリング、性教育、進路カウンセリング、自尊心の向上のためのワークショップ、買春を経験した当事者リーダーとのワークショップなどに参加するという。キャンプ後は、そこで時間を過ごした支援者により、一年間のアフターケア事業が実施されるという。2006年にパイロット事業が実施された後、2012年には全国的に11箇所で指定されたセンターによって運営されているという¹⁾。最後に海外の取り組みで特筆したいのは、米国の民間団体が行うピアメンタープログラムだった。数年前の話になるのだが、私も参加させてもらったセッションでは、14歳から19歳ぐらいまでの少女たちが自分を売春させていた加害者（多くの少女にとっては恋人・保護者とも言える関係性にあった加害者）へのまだ残る複雑な恋愛感情や、引き離された家族のこと、買春時の生活のことを赤裸々に語るので。彼女たち一人一人からの言葉を引き出すファシリテーターは、自身も強制売春の被害児童であった女性のソーシャルワーカーだった。安心して語れる環境だからか、様々な困難を乗り越えたからのか、少女たちはおどろくほど自分の気持ちを開示し、他の少女の話に深く傾いたり、反応していた。日本ではそ

1) Ryoo Ji-Woong “A study on the connection between legal action against adolescent prostitutes and the youth shelter” The Journal of Police Policies(June, 2012), pp.73-81

のようなピアセッションの場所はほとんど見られないので、このような場をつくることを目標にしたい。海外の取り組みは、司法の課題が大きい米国を含め、被害児童への権限が強すぎると感じることもあつたが、その代わり支援のかたちも（地域差はあるが）、予算もあり手厚い支援が行われている。性的搾取を受けた児童のための専門的なカリキュラムがあり、その設備があるということは、その国の児童のための支援を重要課題とする国の強い意志が感じられる。

さて、日本の今回の調査では、性的搾取被害児童のために児童相談所側が提供するケアに関する課題も多いことが分かった。性教育やネットリテラシーなどの予防教育などの必要性を共有する職員がアンケート調査でも多いが、それは児童相談所だけでは難しいだろう。このような中で、児童相談所の介入や支援の権限を強化するだけでは、よりよい支援の提供にはならないだろう。性被害とは、魂の犯罪とも形容される。児童買春や児童ポルノ被害児童は性犯罪の中でも、性の商品化の被害を経験し、くぐり抜けたサバイバーである。児童相談所としての被害後の支援の現状や限界が本調査では明らかになった。児童相談所に児童への介入の権限を付与して変えていくのか、児童相談所と連携できる社会資源を増やしたり掘り起こしたりすることで、児童に届く形できめ細やかに提供するのか、様々な方向性が考えられる。被害児童に真に寄り添うような支援の形を生み出したいものだ。個人的には家族のような、慈愛に満ちた関係での支援を形にできないだろうかと考える。米国の児童福祉関係者によると、性的搾取被害児童が経験したトラウマは深いものであるし、彼らへの支援は、児童虐待の児童へのものよりも、より複雑でしかも長期にわたるものが必要という²⁾。そのための資金はそれなりに用意しないといけないということだ。

2016年現在、児童相談所は職員の不足や役割の多さの課題が報道され、ちょうど児童相談所の体制や権限の強化について見直される時期でもある。その上にこのような提言は、新たな重荷になるが、今回の報告を踏まえて、児童相談所が児童の性的搾取の支援を抱え込まないしくみを作らなければいけないのではないか。

児童買春・ポルノ被害が増え続ける今、性的搾取にあう児童にあった適切な支援体制は児童相談所でも、民間団体でも築き上げられていないと言える。被害児童の支援について海外の取り組みからも、学んでいきたい。また、本調査は全国の児童相談所が切り口であり、性的搾取児童の被害の実態を紐解く画期的な調査だが、これを機に今後は、児童養護施設や自立援助ホーム、警察、学校などを切り口とした調査をし、児童へのこの暴力被害の全容をより具体的に把握し、支援の充実を図る必要があるといえる。

2) Elliott Gluck and Rricha Mathur “Sex Trafficking and the Child Welfare System” *State Policy Advocacy and Reform Center* (July, 2014), pp. 7

今回の調査研究は、二つの調査から構成されている。第一は、平成26年度「福祉行政報告例」の「(再掲)児童買春等被害相談」部分で、1ケース以上有りと報告された児童相談所のケース担当児童福祉司への面接による聞き取り調査である。第二は、全国の児童相談所において児童福祉司として発令が行われている2934人に対するアンケートによる調査である。本節では、二つの調査から見えてきた課題のいくつかを取り上げながら、それら課題の解決に資すると思われる提言をしてみたい。

(1) 「福祉行政報告例」の見直しを

全国の児童相談所児童福祉司に対する今回のアンケート調査では、「平成27年4月1日～9月30日まで相談を受理した事例（再受理を含む）のうち、相談種別に関わらず「児童買春、児童ポルノ被害」が含まれていることを把握している事例は何件ありましたか」との質問に対して、件数の回答と共に、件数毎にアンケートへの回答が求められ、266件の回答が寄せられている。これは半年間の調査であり、平成26年度の「福祉行政報告例」において報告されている「児童買春等被害相談」の相談件数35件とは、年度や期間を考慮しても、大きな違いがある。

現状では被害総数を把握できていない理由として、①他の主訴で相談を受理している場合、支援の過程で児童買春、児童ポルノ被害への対応を行っても、その状況を抽出しづらい、②各児童相談所での記入や集計の際に「児童買春等被害相談」を再掲して報告するという認識が薄い、といった点が考えられる。本調査では「福祉行政報告例」を上回るケースが把握されているが、「福祉行政報告例」は、児童相談所における相談内容の各年度毎の動向を正確に反映すべきものである。今後より実態に沿った件数を把握することが、児童福祉の領域で児童買春、児童ポルノ被害児童に対応する枠組みの必要性を示すことにつながることからも、全国的に統一された記載方法（手引き）をより徹底し、現実の相談内容を反映した記載内容とすべきである。

(2) 児童福祉司の資質向上のための体制作りを

次に、児童買春、児童ポルノ被害児童の対応で、児童相談所児童福祉司がどのような困難を抱えているかを見てみよう。アンケート調査の結果を「児童本人の問題」「保護者等の問題」「回答者側の問題」に大きく分類してみると、「児童本人の問題」に含まれる4項目（「判断能力が無くて事態を把握できない」「問題行動であると認識して被害について語らない」「保護者から見捨てられる不安を持つ」「加害者との関係不和を恐れて語らない」）の回答を合計すると61.3%になる。

この結果は、児童福祉司たちが児童買春、児童ポルノ被害児童の対応で、如何に多様な困難を抱えているかを示すものもある。「その他」として記述された具体的な内容を見ると、「児童本人がポルノ被害だと思わない」「被害として受け取っていない」「児童本人に問題意識がない」「援助交際すること自体に抵抗感や被害感がない」等「児童本人の問題」の中でも「本人の意識」に関する指摘が多い。聞き取り調査でも、「児童の被害に対する認識により支援が困難」「児童のニーズを引き出せないと支援の継続が困難」等、児童が支援の必要性を感じていないことがケアを困難にしているとの指摘が多く見られる。確かに、結果として重大な性的被害を招いているにも関わらず、児童の被害意識が薄い場合には、児童自身の相談意欲も低くなりがちであり、一定期間継続的な働きかけを行い、状況改善を図っていくことは難しい面がある。被害児童の中に被害意識の希薄なものがいるという問題は、児童買春・児童ポルノ被害での一つの特徴を表しているとも考えられる。

それは、買（売）春やポルノに付随する大きな問題でもあり、「性の商品化」に内包される問題でもある。「性を商品化することが、どうして良くないことなのか」「どうして自分たちが被害者とされるのか」「自らの意志で関与したのであって誰にも迷惑をかけていない」といった問い合わせには、性を買う大人を内包させてい

る社会の在り様、大人と子どもの関係、女性と男性の関係等の問題が深く関わってくることを認識する必要があろう。こうした児童の置かれている背景や心理状態を理解し、適切かつ効果的な助言を行っていくうえで、時にスーパーバイザーを交えながら同僚の児童福祉司たちと共に、児童に示しうる価値について、日頃から吟味検討し合うことが有効であろう。関係する「研修会」等への参加を通して、多様な視点に触れることも効果的である。

しかし今回の調査で、関連の研修会等へ参加したことがあると回答したものは全体の 11.7%と少ない。日頃の業務に追われて「研修会」等への参加の余裕が無いとするなら猶更、「研修会」等への参加を容易にし、日常的に自己研鑽できるような組織の体制を構築していくことが早急に求められる。「児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律」では、「・・・これらの児童の保護を行う者の資質の向上、・・・等必要な体制の整備に努めるものとする」(第 16 条)と規定されているが、現状において十分な体制が整えられているとは思われない。今後、被害児童対応の実践の共有、蓄積への取組を進めながら、児童買春・児童ポルノ被害児童に対する援助プログラムの枠組みの確立を行う必要があるのではないか。児童福祉司に求められる専門的資質向上のための体制作りこそ、緊急課題と言えよう。

(3) 関係諸機関との連携を

児童福祉司が児童買春、児童ポルノ被害児童の対応で苦慮している問題として、関係諸機関との連携に関連した指摘も多く見られる。特に警察は、児童相談所へつないだ機関として今回の調査で最も多く指摘されている(53.4%)機関であるが、児童相談所と警察との連携については、様々な意見が見られた。

抱えている困難に関する設問で「その他」として示された自由記述を見ると、「警察で聴取されたであろう内容を再度聴取すべきか判断が難しい」「児童が警察で何度も話しをすることを拒否する」「警察が捜査に入ると情報が児相へは入らなくなる」「警察の捜査(事情聴取)に児童が耐えられない」「警察の事情聴取と並行して、児相が児童にどの程度まで聞き取りを行うか不明確」等の指摘が見られる。

聞き取り調査においても、「児相と警察で何度も繰り返し被害について話すことが児童に心理的な負担となっている」「地元警察と警察本部とで被害児童の処遇をめぐっての判断にタイムラグが見られ、児相が振り回されてしまった」等、ここでも児童の負担や情報伝達に関する問題が指摘される。特に警察と児童相談所で何度も事情聴取されることによって、児童に大きな心理的負担がかかっているとの問題は見逃すことができない。児童の心理的負担を軽減させるために必要な手立てが、一層講じられるべきである。性的加害者の立件に向けた捜査情報を得ることは難しいにせよ、要保護児童対策地域協議会の枠組みを活用した情報交換や、平成 27 年度より取り組みが開始されている子どもの心理的負担に配慮した警察、検察との連携強化など、警察等と児童相談所の役割や機能の違いを再認識した上で相互にその情報をスムーズに提供できる道筋を構築する必要があろう。児童買春、児童ポルノ被害児童についても、被害事実確認面接の手法に基づく協同面接の実施を図り、児童の負担軽減に取り組むべきである。

警察の他に、児童相談所と関わりの深い機関は学校であるが、援助の実施状況として「学校訪問による面接」がなされることは少ない(14.0%)。性的被害に関して、学校に知られることで児童の不利益につながると考える保護者や児童に対しては配慮を要するが、児童の生活の場として果たしうる学校の機能や、児童に対する教育力を発揮しうる場としての機能をふまえ、単に学校での様子を情報として聞き取るだけでなく、学校と連携する中で、児童の将来の生活設計を共に検討しあうことが、被害児童との対応でも効果を発揮するであろう。

さらに、児童買春、児童ポルノ被害児童の背景には、インターネットの進展と共に登場した LINE、Twitter 等の様々な SNS や出会い系サイト、コミュニティサイト、そしてそれらアプリケーションの操作を容易にするスマートフォンの普及といった、ネット社会特有の現象が存在している。これらのネット社会の進展に適切に対応するためには、資質向上のための研修の充実及び容易に参加できるような体制作りが強く望まれる。

なお、児童買春、児童ポルノ被害を防ぎ、再発させないためにも、多様で複雑な様相を示すインターネット

社会に生きる子供たち自身のネットリテラシー力を早くから高めていく必要がある。この点について学校の果たす役割は大きい。また、すでに行われている地域での関係機関による連絡会議等の活用により、様々な視点からの課題の検討が行われるべきである。

こうした状況を踏まえ、児童相談所は、児童に関わる関係機関との情報交換、対応事例の共有を図りながら、各機関の役割を明確にし、より効果的な支援の枠組みを確立する必要がある。関係機関の連携により、児童への援助にさらなる効果が期待できる。今後、児童買春、児童ポルノ被害対応時に必要な情報が何であるかの検討がなされ、関係機関との情報共有がなされるシステムの確立が望ましい。

(4) 生活指導と表裏一体となった「性教育」の啓蒙と展開を

児童買春、児童ポルノ被害児童に対応する際に必要だと思われる社会資源として「性教育」の重要性が、「SNSの危険性に関する教育」「善悪の判断についての教育」と共に多く指摘されている。ここで重要とされる「性教育」を、どのように考えたらよいのだろうか。

今回の調査において、児童買春や児童ポルノ被害児童の中で、境界域を含めて知的な障害を持つとされた児童は全体の25.2%，生活課題として不登校が指摘された児童は27.4%と、およそ4人に1人の割合を占めている。また、児童買春や児童ポルノの被害児童の中には、それまでの交友関係や家族関係を通して、偏った価値観や生活態度を身に着けてしまったものもいる。こうした児童らが被害に遭わないための対策や、再被害を防止するための対策は明確化されていない。予防の観点からも、学校での「性教育」は必須であるが、それだけでは児童買春、児童ポルノ被害の再被害を防ぐことにはならない。児童買春、児童ポルノ被害児童にとってどのような「性教育」も含めた生活上の課題への支援や指導が必要であるか、どの専門職が行うか、整理検討がまだ十分にされていないため、今後、被害児童の保護に携わる関係機関において、支援の内容と役割分担に関する検討が望まれる。

生活指導と表裏一体となった「性教育」こそ、児童買春や児童ポルノ被害の再発や新たな被害を生み出さないためにも、児童に関わる全ての人が意識して展開すべきものであろう。その時期は、早過ぎることもないし、遅過ぎることもない。気づいた段階で直ぐに始めるべきものである。学校や特定の専門家だけに委ねるべきものでもない。国や地方自治体は、個人の尊厳を保って成長する児童の権利の擁護を確認し、生活指導と表裏一体となった「性教育」の啓蒙・実践に力を注ぐ必要がある。

(5) 保護者への支援の手立てを

次に、児童買春や児童ポルノ被害児童と保護者との関係を見てみよう。アンケート調査の「児童を取りまく環境」で多く指摘されていたのは、「ひとり親家庭」(36.1%)、「保護者の心身の不安定状態」(27.1%)、「保護者の無関心」(26.7%)、「経済的な困難」(24.4%)等、保護者（親）に関する項目が多い。聞き取り調査においても、「仕事中心の生活で子供を見る余裕がない」「夜勤のある不規則な勤務」「仕事で時間的余裕がない」等々の理由で親が物理的に忙しく子どもに時間がかけられない様子や、両親が揃っていても夫婦関係不調といった保護者側の問題で子どもをかまうことがなくなっている様子が多く語られている。

こうした保護者の状態を改善させる社会資源について十分であると言えるだろうか。保護者が手をかけ愛情を注ぐ時間的、物理的条件が改善されない限り、実現は程遠い。子どもの状況を改善させるためには、保護者の状況を改善させるための経済的、精神的、身体的、物理的な支援の手立てを、社会全体で構築していく必要があろう。児童を監護する立場にある保護者が困難を抱えている場合には、社会福祉の他の領域にスムーズにつなげ、保護者自身の福祉を図れる体制づくりが望まれている。

(6) 指導に発達的視点を

保護者との関係において見逃されやすい視点の一つは、子どもの発達的視点である。特に児童買春・児童ポルノ被害児童に関しては、家庭環境に原因の一端を見出しながら、保護者の愛情の希薄さや親子の絆の弱さを

何とかして修復させようとする努力が展開されることが少なくない。それ自体何ら問題ではないが、子どもは、いつまでも同じ状態の子どものままであり続ける訳ではないため、保護者との関係形成にどの程度重点を置くかについては、個々のケースに応じた適切な判断が求められる。特に思春期は、子どもから大人へ移行する過渡期として、様々な特徴を示す時期でもある。第二次性徴に代弁される性的成熟や性意識の高まり、思考様式（認知機能）の発達、自我意識（アイデンティティ）の確立等と相まって、自立を求めるあまり、この時期に反抗的な態度を示すことで保護者の束縛から離脱しようと試みることも多々見られる。

思春期の子どもにとって親は社会や大人の代弁者でもあり、親への反抗は社会に対する反抗にも通じる。この時期に反社会的行動が多く見られる所以もある。

その際に、親子の親密な関係を修復させ、子どもを親へ帰結させようとしても効果的でない場合がある点については留意が必要であり、親に子どもの管理を委ねることで子どもを矯正させようとしても、逆効果となることもありうる。アンケート調査では、「親子関係不調」(64.7%) が児童自身の課題として最も多く指摘されているが、特にこうした児童への対応に際して、以上のような発達的視点を加味してみると時に必要と思われる。

おわりに

本調査研究事業を遂行するにあたっては、ヒアリング調査及びアンケート調査において、全国の児童相談所にご協力をいただいた。アンケート調査では、多くの児童福祉司の方々から業務ご多忙のなか多くの回答を寄せいただき、有効な知見を得ることができた。また、厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課児童福祉専門官の神村育男氏には、調査計画から分析に至るまで有意義なご助言をいただいた。報告書を刊行するにあたり、改めてご協力いただいた皆様に心より感謝を申し上げたい。

性の商品化の進行により性暴力・性的搾取による被害はより一層深刻化している。被害の低年齢化は、子ども期の安心・安全を脅かすばかりか、複合的な被害をもたらし、若者期・成人期以降の人生をも脅かしている。子どもの権利擁護と基本的人権の保障において、児童買春、児童ポルノ被害の根絶は急務である。本報告書の知見が、被害の実態の可視化と支援方法の開発の一助となるよう、今後もこのテーマに取り組んでいく所存である。

「児童相談所における児童買春・児童ポルノ被害児童
への対応状況に関する調査研究事業研究会」代表

湯澤直美（立教大学）

資料編

1)アンケート調査

単純集計表

クロス集計表

調査票

2)インタビュー調査

事前調査票

■単純集計表

児童相談所における「児童買春」「児童ポルノ」への対応状況に関するアンケート調査

数字は実数(())内は%)

回答者ご自身について、お答えください。

(n=2297)

問 1-1. あなたの性別をお答えください。

1. 男性 1098 (47.8%)	2. 女性 1168 (50.9%)	3. その他 1 (0%)	無回答 30 (1.3%)
--------------------	--------------------	---------------	---------------

問 1-2. あなたの年齢をお答えください。

20 歳～24 歳 65 (2.8%)	25 歳～29 歳 375 (16.3%)	30 歳～34 歳 353 (15.4%)
35 歳～39 歳 323 (14.1%)	40 歳～44 歳 363 (15.8%)	45 歳～49 歳 335 (14.6%)
50 歳～54 歳 243 (10.6%)	55 歳～59 歳 156 (6.8%)	60 歳以上 57 (2.5%)
無回答 27 (1.2%)		

問 1-3. あなたが児童福祉司になってからの通算経験年数をお答えください。

5 年未満 1419 (61.8%)	5～10 年未満 570 (24.8%)	10～15 年未満 177 (7.7%)
15～20 年未満 49 (2.1%)	20～25 年未満 18 (0.8%)	25 年以降 11 (0.5%)
無回答 53 (2.3%)		

問 1-4. あなたはアセスメントの際に児童買春の問題をどの程度意識していますか。

1. いつも意識する 178 (7.8%)	2. 年齢や性別によって意識する 1478 (64.3%)
3. あまり意識することはない 433 (18.9%)	4. ほとんど意識しない 116 (5.1%)
5. わからない 54 (2.4%)	無回答 38 (1.7%)

問 1-5. あなたはアセスメントの際に児童ポルノの問題をどの程度意識していますか。

1. いつも意識する 201 (8.8%)	2. 年齢や性別によって意識する 1326 (57.7%)
3. あまり意識することはない 558 (24.3%)	4. ほとんど意識しない 125 (5.4%)
5. わからない 53 (2.3%)	無回答 34 (1.5%)

問 1-6. あなたは児童買春、児童ポルノに関する研修会、勉強会、シンポジウム等に参加したことがありますか。

1. 参加したことがある 269 (11.7%)	2. 参加したことがない 1996 (86.9%)	無回答 32 (1.4%)
--------------------------	---------------------------	---------------

問2. 平成 27 年 4 月 1 日～9 月 30 日まで相談を受理した事例(再受理を含む)のうち、相談種別に関わらず「児童買春、児童ポルノ被害」が含まれていることを把握している事例は何件ありましたか。あるいは含まれている恐れのある事例は何件ありましたか(同年度中に受けた被害に限らずお答えください。)

問 2-1. 児童買春、児童ポルノ被害が含まれていることを把握している事例

1. なし 2047 (89.1%)	2. 1 件 191 (8.3%)	3. 2 件 25 (1.1%)
4. 3 件 5 (0.2%)	5. それ以上 2 (0.1%)	無回答 27 (1.2%)

問 2-2 児童買春、児童ポルノ被害が含まれている恐れのある事例

1. なし 2044 (89%)	2. 1 件 143 (6.2%)	3. 2 件 36 (1.6%)
4. 3 件 4 (0.2%)	5. それ以上 4 (0.2%)	無回答 66 (2.9%)

<案件>

問 3-1. まず初めに把握されている事例は「児童買春」にかかるものか、「児童ポルノ」にかかるものかをお選びください。

n=266

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 児童買春 | 157 (59%) |
| 2. 児童ポルノ | 82 (30.8%) |
| 3. 児童ポルノ、児童買春複合 | 26 (9.8%) |
| 無回答 | 1 (0.5%) |

【児童買春】

問 3-2 以下の(a)(b)(c)(d)の各項目について当てはまるものすべてに○をつけてください。

(a) 買春した者

n=183

- | | | | |
|--------------|-------------------|---------------------|--------------------|
| 1. 家族 | 11 (6%) | 2. 18 歳以上の個人(家族を除く) | 136 (74.3%) |
| 3. 18 歳未満の児童 | 19 (10.4%) | 4. その他 | 6 (3.3%) |
| 5. 不明 | 13 (7.1%) | 無回答 | 4 (2.2%) |

(b) 買春者と接触したきっかけ

n=183

- | | | | |
|--------------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| 1. SNS、アプリ等ネットを通じて | 108 (59%) | 2. JC・JK ビジネス | 6 (3.3%) |
| 3. 家族による斡旋 | 11 (6%) | 4. 交際相手・知人・友人による斡旋 | 28 (15.3%) |
| 5. その他 | 30 (16.4%) | 6. 不明 | 10 (5.5%) |
| | | 無回答 | 3 (1.6%) |

(c) 買春の対償

n=183

- | | | | | | |
|--------|-------------------|-------|------------------|-------|--------------------|
| 1. 食事 | 38 (20.8%) | 2. 宿泊 | 44 (24%) | 3. 金品 | 124 (67.8%) |
| 4. その他 | 14 (7.7%) | 5. 不明 | 15 (8.2%) | 無回答 | 8 (4.4%) |

(d) 行動

n=183

- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------|------------------|--------------------|
| 1. 性交、性交類似行為 | 153 (83.6%) | 2. 相手方が児童の身体をさわる | 121 (66.1%) |
| 3. 相手方が自己の身体を触らせる | 102 (55.7%) | 4. 下着を売る | 1 (0.5%) |
| 5. 性的な接触は確認されないが、金品と引き換えにデートやお茶をしている | | 6. 不明 | 9 (4.9%) |
| 6. その他 | 0 (0%) | 7. 不明 | 6 (3.3%) |
| | | 無回答 | 4 (2.2%) |

「1. 性交、性交類似行為」の対象

- | | | | | | | |
|-------|----|-------------------|-----|-----------------|---|-------------------|
| n=153 | 口 | 41 (26.8%) | 肛門 | 6 (3.9%) | 膣 | 97 (63.4%) |
| | 不明 | 38 (24.8%) | 無回答 | 5 (3.3%) | | |

「2. 相手方が児童の身体をさわる」の対象

- | | | | | | | | | |
|-------|----|-------------------|-----|-------------------|----|-------------------|-----|-----------------|
| n=121 | 胸 | 45 (37.2%) | 乳首 | 26 (21.5%) | 臀部 | 21 (17.4%) | 肛門 | 7 (5.8%) |
| | 性器 | 46 (38%) | 大腿部 | 17 (14%) | 手 | 18 (14.9%) | その他 | 2 (1.7%) |
| | 不明 | 66 (54.5%) | 無回答 | 2 (1.7%) | | | | |

「3. 相手方が自己の身体を触らせる」の対象

- | | | | | | | | | |
|-------|----|-------------------|-----|-----------------|----|-----------------|-----|---------------|
| n=102 | 胸 | 5 (4.9%) | 乳首 | 5 (4.9%) | 臀部 | 2 (2%) | 肛門 | 2 (2%) |
| | 性器 | 31 (30.4%) | 大腿部 | 3 (2.9%) | 手 | 4 (3.9%) | その他 | 1 (1%) |
| | 不明 | 69 (67.6%) | 無回答 | 1 (1%) | | | | |

※【児童買春】のみが該当する場合には、「問 3-4」へお進みください。

【児童ポルノ】　問3-1で2もしくは3と答えた方は、こちらの質問にお答えください
問3-3. 以下の(a)(b)(c)(d)の各項目について当てはまるものすべてに○をつけてください。

(a) 撮影を行った者

n=108	1. 本人 26 (24.1%)	2. 交際相手(18歳未満) 3 (2.8%)	3. 交際相手(18歳以上) 8 (7.4%)
	4. 家族 31 (28.7%)	5. 買春者 10 (9.3%)	6. 法人 0 (0%)
	7. 18歳未満の児童(交際相手・家族・買春者除く) 18 (16.7%)		
	8. 18歳以上の個人(交際相手・家族・買春者除く) 15 (13.9%)		
	9. その他 5 (4.6%)	10. 不明 2 (1.9%)	無回答 4 (3.7%)

(b) きっかけ

n=108	1. 恋愛(交際中に撮影される) 14 (13%)		
	2. 性的虐待(保護者・監護者による) 27 (25%)		
	3. 家庭内性暴力(きょうたい)、親戚による) 4 (3.7%)		
	4. 性犯罪被害(交際相手・保護者・監護者・きょうだい・親戚以外による) 29 (26.9%)		
	5. 仕事(モデル、ジュニアアイドル) 2 (1.9%)		
	6. いじめ 10 (9.3%)		
	7. その他 18 (16.7%)	8. 不明 7 (6.5%)	無回答 4 (3.7%)

(c) 撮影された状況

n=108	1. 自らの意志で自ら撮影した 28 (25.9%)	2. 他人に強要されて自ら撮影した 6 (5.6%)
	3. 他人に撮影された(本人の同意なし) 42 (38.9%)	
	4. 他人に撮影された(本人の同意あり) 25 (23.1%)	
	5. 不明 9 (8.3%)	無回答 5 (4.6%)

(d) 記録媒体の頒布の有無

n=108	1. SNS,メール,LINE や DVDなどの媒体で,第三者が簡単にみられる状態にする(本人の同意なし) 24 (22.2%)		
	2. SNS,メール,LINE や DVDなどの媒体で,第三者が簡単にみられる状態にする(本人の同意あり) 16 (14.8%)		
	3. 単純所持される 41 (38%)		
	4. その他 5 (4.6%)	5. 不明 21 (19.4%)	無回答 4 (3.7%)

[以下は、児童買春、児童ポルノ共通の設問となります]

問3-4. ケースの詳細についておうかがいします。

問3-4-1. 児童の性別をお答えください。

n=266	1. 男児 15 (5.6%)	2. 女児 244 (91.7%)	3. 不明 1 (0.4%)	無回答 6 (2.3%)
-------	-----------------	-------------------	----------------	--------------

問3-4-2. 児童の児童相談所での相談受理は

n=266	1. 今回がはじめて 138 (51.9%)	2. 過去に相談歴あり 115 (43.2%)	無回答 13 (4.9%)
-------	------------------------	-------------------------	---------------

問3-4-3. 相談受理をした際の児童の年齢をお答えください。

n=266	1-5歳 6 (2.3%)	6-12歳 48 (18%)	13-15歳 116 (43.6%)
	16-18歳 89 (33.5%)	無回答 7 (2.6%)	

問3-4-4. 児童には、障がいがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

n=266	1. なし 154 (57.9%)	2. 発達障がい 28 (10.5%)	3. 知的障がい 31 (11.7%)
	4. 精神障がい 3 (1.1%)	5. 身体障がい 1 (0.4%)	6. 知的に境界域 36 (13.5%)
	7. 不明 15 (5.6%)	無回答 7 (2.6%)	

問3-4-5. 児童の学力はおおむねどの程度だと思われますか。

n=266	1. 低い 61 (22.9%)	2. やや低い 90 (33.8%)	3. 普通 85 (32%)	4. やや高い 10 (3.8%)
	5. 高い 4 (1.5%)	6. 不明 9 (3.4%)	無回答 7 (2.6%)	

問 3-4-6. 児童買春、児童ポルノに関わりをもっていたとき、児童は主に就学していましたか、就労していましたか。就労していた場合はその形態もお答えください。 266 (%)

n=266	1. 主に就学している 220 (82.7%)	2. 就労している 13 (4.9%)	3. 就学も就労もしていない 25 (9.4%)
	4. 不明 2 (0.8%)	無回答 6 (2.3%)	

「1. 主に就学している」→就労の有無

n=220	1. 就労していない 166 (75.5%)	2. アルバイトをしている 18 (8.2%)
	3. その他 1 (0.5%)	無回答 35 (15.9%)

「2. 就労している」→就労形態

n=13	1. 正規 1 (0.4%)	2. 非正規 1 (0.4%)	3. アルバイト 8 (3%)
	4. その他 3 (1.1%)	無回答 0 (0%)	

問 3-4-7. 児童買春、児童ポルノに関与したときに同居していた家族の構成員をすべてお答えください。

n=266

1. 実父 118 (44.4%)	2. 実母 193 (72.6%)	3. 継父 11 (4.1%)
4. 継母 1 (0.4%)	5. 養父 16 (6%)	6. 養母 2 (0.8%)
7. 実兄 45 (16.9%)	8. 実弟 56 (21.1%)	9. 実姉 43 (16.2%)
10. 実妹 66 (24.8%)	11. 義兄 4 (1.5%)	12. 義弟 10 (3.8%)
13. 義姉 3 (1.1%)	14. 義妹 7 (2.6%)	15. 祖父 17 (6.4%)
16. 祖母 28 (10.5%)	17. おじ 2 (0.8%)	18. おば 2 (0.8%)
19. その他親戚(いとこ等) 2 (0.8%)		20. 親の内縁の夫 11 (4.1%)
21. 親の内縁の妻 0 (0%)	22. 里父 2 (0.8%)	23. 里母 2 (0.8%)
24. その他同居人 22 (8.3%)		無回答 15 (5.6%)

問 3-4-8. 当該ケースを児童相談所とつないだのは以下のどの組織あるいは個人ですか。(あてはまるものすべてに○)

n=266

1. 警察 142 (53.4%)	2. 学校 54 (20.3%)
3. 幼稚園・保育園 1 (0.4%)	4. 福祉事務所 4 (1.5%)
5. 市町村の児童相談担当部署 18 (6.8%)	6. 保健所・保健センター 1 (0.4%)
7. 病院 3 (1.1%)	8. 都道府県設置の権利擁護センター 0 (0%)
9. 民間支援機関 2 (0.8%)	10. 児童本人 16 (6%)
11. 当該児童の保護者 29 (10.9%)	12. 親族 24 (9%)
13. 近隣・知人(同級生の保護者除く) 1 (0.4%)	14. 同級生の保護者 0 (0%)
15. 弁護士 2 (0.8%)	16. 施設職員 9 (3.4%)
17. その他 13 (4.9%)	無回答 8 (3%)

問 3-4-9. 児童が抱えていた生活課題を選んでください。

問 3-4-9-1. 児童自身の課題(あてはまるものすべてに○)

n=266	1. 親子関係不調 172 (64.7%)	2. 低い自己評価(自信のなさ) 106 (39.8%)
	3. 感情不安定 58 (21.8%)	4. うつ状態 4 (1.5%)
	5. 睡眠障害 10 (3.8%)	6. 自傷行為 39 (14.7%)
	7. 自殺念慮 13 (4.9%)	8. PTSD 10 (3.8%)
	9. 解離 11 (4.1%)	10. パニック 3 (1.1%)
	11. 不登校 73 (27.4%)	12. 保健室登校 7 (2.6%)
	13. 友人から孤立 40 (15%)	14. いじめ被害を受けていた 23 (8.6%)
	15. 異性への依存 68 (25.6%)	16. 異性への極端な嫌悪感 5 (1.9%)
	17. インターネット上の人間関係への依存 56 (21.1%)	
	18. 家出・無断外泊 116 (43.6%)	19. 本児の不安定な就労 11 (4.1%)
	20. その他 28 (10.5%)	21. あてはまるものはない 24 (9%)
	22. わからない 4 (1.5%)	無回答 7 (2.6%)

問 3-4-9-2. 児童を取りまく環境(あてはまるものすべてに○)

n=266

1. 保護者の若年出産	20 (7.5%)	2. 保護者との分離体験	58 (21.8%)
3. 経済的な困難	65 (24.4%)	4. 保護者の不安定な就労	30 (11.3%)
5. ひとり親家庭	96 (36.1%)	6. ステップファミリー	32 (12%)
7. 保護者のDV	27 (10.2%)	8. 夫婦間不和	58 (21.8%)
9. 夫婦間以外の家族間の不和	31 (11.7%)	10. 保護者の心身の不安定状態	72 (27.1%)
11. 保護者の無関心	71 (26.7%)	12. 親族から孤立	21 (7.9%)
13. 地域から孤立	18 (6.8%)	14. 頻繁な転居	14 (5.3%)
15. 狹いまたは劣悪な住環境	26 (9.8%)	16. その他	24 (9%)
17. あてはまるものはない	20 (7.5%)	18. わからない	7 (2.6%)
無回答	7 (2.6%)		

問 3-4-10. 当該ケースにおいて、児童に具体的にどのような対応を行いましたか。

問 3-4-10-1. 当該ケースの取り扱い状況(あてはまるものすべてに○)

n=266

1 終結(市区町村等に引き継いで終了)	20 (7.5%)	2. 終結(完全に相談終了)	34 (12.8%)
3. 調査中(取り扱い中)	20 (7.5%)	4. 継続指導中	85 (32%)
5. 児童福祉司指導中	28 (10.5%)	6. 施設入所中	56 (21.1%)
7. 里親委託中	5 (1.9%)	8. 家裁送致	11 (4.1%)
9. 訓戒・誓約	2 (0.8%)	10. 他機関斡旋[機関種別]	4 (1.5%)
11. 他の児童相談所に移管	6 (2.3%)	12. その他	12 (4.5%)
無回答	9 (3.4%)		

問 3-4-10-2. 児童と家族に行った援助の実施状況(あてはまるものすべてに○)

n=266

1. 来所してもらい個別面接	175 (65.8%)	2. 家庭訪問による面接	96 (36.1%)
3. 施設に訪問しての面接	52 (19.5%)	4. 個別心理療法	56 (21.1%)
5. グループ療法	1 (0.4%)	6. 精神科医療	35 (13.2%)
7. 学校訪問による面接	37 (13.9%)	8. 司法面接	17 (6.4%)
9. 一時保護・一時保護委託	147 (55.3%)	10. 警察への相談・告発	54 (20.3%)
11. その他医療	18 (6.8%)	12. その他	27 (10.2%)
無回答	11 (4.1%)		

問 3-4-10-3. 当該ケースは刑事事件化していますか。

n=266

1. 刑事事件化した	100 (37.6%)
2. 刑事事件化していない	128 (48.1%)
3. その他	24 (9%)
無回答	14 (5.3%)

問 3-4-11. 当該ケースにおける児童買春もしくは児童ポルノ被害問題に対応するうえで、どのようなことに困難を感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

n=266

1. 児童本人が加害側との関係不和を恐れて被害について語らない 26 (9.8%)
 2. 児童本人が問題行動であると認識し、被害について語らない 46 (17.3%)
 3. 問題が発覚することで保護者から見捨てられる不安を児童が持つ 33 (12.4%)
 4. 児童本人に十分な判断能力がなく、事態を把握できない 58 (21.8%)
 5. 保護者が被害を隠蔽する 23 (8.6%)
 6. 問題発覚すると、保護者が児童に忌避感を持つ 18 (6.8%)
 7. 保護者が問題に向き合わない 72 (27.1%)
 8. 保護者や家族の間で意見が合わない 29 (10.9%)
 9. 児童を被害者として対応するか指導対象として対応するかという混乱が生じる 56 (21.1%)
 10. 何を児童買春被害もしくは児童ポルノ被害とするかのガイドラインが所内にない 7 (2.6%)
 11. 児童福祉司自身が何を見童買春、児童ポルノ被害とするのかわからない 6 (2.3%)
 12. 児童から被害を聞き取る適切な方法がわからない 24 (9%)
 13. その他 59 (22.2%)
 14. 困難を感じたことはなかった 11 (4.1%)
 15. わからない 10 (3.8%)
- 無回答 10 (3.8%)

問 3-4-12. 当該ケースにおける児童買春もしくは児童ポルノ被害問題に対応するうえで、どのような社会資源が必要と考えられましたか。(あてはまるものすべてに○)

n=266

1. 児童ポルノ流出後、画像消去する協力機関 49 (18.4%)
 2. 児童買春・児童ポルノ被害に関する身近な相談機関 96 (36.1%)
 3. 法的に認められたシェルター 33 (12.4%)
 4. 性被害に対応できる病院・クリニック 89 (33.5%)
 5. 性被害を受けた児童のためのカウンセリング(性教育含む) 161 (60.5%)
 6. 妊娠した児童を一時保護できる協力機関 32 (12%)
 7. 児童買春・児童ポルノ被害対応ガイドライン 76 (28.6%)
 8. その他 17 (6.4%)
 9. 必要と考える社会資源はない 4 (1.5%)
 10. わからない 13 (4.9%)
- 無回答 9 (3.4%)

■ クロス集計表

<回答者自身について>

問1-1. あなたの性別

問1-2. あなたの年齢をお答えください。

		合計	男性	女性	その他	無回答	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳以上	無回答
合計	実数 % [100%]	2297 47.8%	1098 50.9%	1168 0.0%	1 0.0%	30 1.3%	65 2.8%	375 16.3%	353 15.4%	323 14.1%	363 15.8%	335 14.6%	243 10.6%	156 6.8%	57 2.5%	27 1.2%
性別	男性	1098 [100%]	1098 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 1.2%	128 11.7%	166 15.1%	177 16.1%	191 17.4%	178 16.2%	132 12.0%	78 7.1%	34 3.1%	1 0.1%
	女性	1168 [100%]	0 0.0%	1168 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	52 4.5%	246 21.1%	187 16.0%	145 12.4%	171 14.6%	157 13.4%	110 9.4%	76 6.5%	23 2.0%	1 0.1%
	その他	1 [100%]	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%	0 0.0%
	無回答	30 [100%]	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	30 100.0%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%	1 3.3%	1 3.3%	0 0.0%	1 3.3%	1 3.3%	0 0.0%	25 83.3%
年齢	20歳～24歳	65 [100%]	13 20.0%	52 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	65 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	25歳～29歳	375 [100%]	128 34.1%	246 65.6%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	375 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳～34歳	353 [100%]	166 47.0%	187 53.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	353 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	35歳～39歳	323 [100%]	177 54.8%	145 44.9%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	323 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳～44歳	363 [100%]	191 52.6%	171 47.1%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	363 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	45歳～49歳	335 [100%]	178 53.1%	157 46.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	335 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	50歳～54歳	243 [100%]	132 54.3%	110 45.3%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	243 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	55歳～59歳	156 [100%]	78 50.0%	76 48.7%	1 0.6%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	156 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60歳以上	57 [100%]	34 59.7%	23 40.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	57 100.0%	0 0.0%
経験年数	無回答	27 [100%]	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	25 92.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	27 100.0%
	5年未満	1419 [100%]	682 48.1%	734 51.7%	0 0.0%	3 0.2%	63 4.4%	328 23.1%	261 18.4%	193 13.6%	214 15.1%	170 12.0%	112 7.9%	64 4.5%	13 0.9%	1 0.1%
	5～10年未満	570 [100%]	284 49.8%	283 49.7%	1 0.2%	2 0.4%	0 0.0%	41 7.2%	81 14.2%	96 16.8%	106 18.6%	99 17.4%	79 13.9%	48 8.4%	20 3.5%	0 0.0%
	10～15年未満	177 [100%]	78 44.1%	99 55.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 3.4%	6 17.0%	30 18.1%	32 24.3%	43 17.0%	30 13.0%	23 6.8%	0 0.0%
	15～20年未満	49 [100%]	26 53.1%	23 46.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 2.0%	1 16.3%	8 34.7%	17 22.5%	11 12.2%	6 6.2%	0 0.0%
	20～25年未満	18 [100%]	10 55.6%	8 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 16.7%	3 27.8%	5 33.3%	4 22.2%	0 0.0%
	25年以降	11 [100%]	3 27.3%	8 72.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 27.3%	6 54.6%	2 18.2%	0 0.0%
	無回答	53 [100%]	15 28.3%	13 24.5%	0 0.0%	25 47.2%	1 1.9%	6 11.3%	5 9.4%	3 5.7%	3 5.7%	3 5.7%	3 5.7%	3 5.7%	0 0.0%	26 49.1%

<回答者自身について>

問1-3. 児童福祉司になつてからの通算経験年数

問1-4. アセスメントの際に児童買春の問題をどの程度意識していますか。

		合計	5年未満	5~10年未満	10~15年未満	15~20年未満	20~25年未満	25年以降	無回答	いつも意識する	年齢や性別によつて意識	あまり意識することはない	ほとんど意識しない	わからない	無回答
合計	実数 % [100%]	2297 61.8%	1419 24.8%	570 7.7%	177 2.1%	49 0.8%	18 0.5%	11 2.3%	53 1.7%	178 7.8%	1478 64.3%	433 18.9%	116 5.1%	54 2.4%	38 1.7%
性別	男性	1098 [100%]	682 62.1%	284 25.9%	78 7.1%	26 2.4%	10 0.9%	3 0.3%	15 1.4%	79 7.2%	703 64.0%	215 19.6%	75 6.8%	25 2.3%	1 0.1%
	女性	1168 [100%]	734 62.8%	283 24.2%	99 8.5%	23 2.0%	8 0.7%	8 0.7%	13 1.1%	97 8.3%	773 66.2%	217 18.6%	40 3.4%	29 2.5%	12 1.0%
	その他	1 [100%]	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	30 [100%]	3 10.0%	2 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 83.3%	1 3.3%	2 6.7%	1 3.3%	1 3.3%	0 0.0%	25 83.3%
年齢	20歳~24歳	65 [100%]	63 96.9%	0 0.0%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	2 3.1%	40 61.5%	14 21.5%	5 7.7%	3 4.6%	1 1.5%
	25歳~29歳	375 [100%]	328 87.5%	41 10.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 1.6%	27 7.2%	237 63.2%	77 20.5%	18 4.8%	14 3.7%	2 0.5%
	30歳~34歳	353 [100%]	261 73.9%	81 23.0%	6 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 1.4%	21 6.0%	239 67.7%	62 17.6%	22 6.2%	8 2.3%	1 0.3%
	35歳~39歳	323 [100%]	193 59.8%	96 29.7%	30 9.3%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.9%	31 9.6%	222 68.7%	55 17.0%	11 3.4%	4 1.2%	0 0.0%
	40歳~44歳	363 [100%]	214 59.0%	106 29.2%	32 8.8%	8 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.8%	21 5.8%	242 66.7%	73 20.1%	18 5.0%	5 1.4%	4 1.1%
	45歳~49歳	335 [100%]	170 50.8%	99 29.6%	43 12.8%	17 5.1%	3 0.9%	0 0.0%	3 0.9%	24 7.2%	219 65.4%	66 19.7%	15 4.5%	9 2.7%	2 0.6%
	50歳~54歳	243 [100%]	112 46.1%	79 32.5%	30 12.4%	11 4.5%	5 2.1%	3 1.2%	3 1.2%	20 8.2%	149 61.3%	50 20.6%	16 6.6%	5 2.1%	3 1.2%
	55歳~59歳	156 [100%]	64 41.0%	48 30.8%	23 14.7%	6 3.9%	6 3.9%	6 3.9%	3 1.9%	24 15.4%	95 60.9%	27 17.3%	7 4.5%	3 1.9%	0 0.0%
	60歳以上	57 [100%]	13 22.8%	20 35.1%	12 21.1%	6 10.5%	4 7.0%	2 3.5%	0 0.0%	8 14.0%	35 61.4%	9 15.8%	4 7.0%	1 1.8%	0 0.0%
	無回答	27 [100%]	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	26 96.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.0%	25 7.4%	25 92.6%
経験年数	5年未満	1419 [100%]	1419 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	92 6.5%	883 62.2%	310 21.9%	80 5.6%	46 3.2%	8 0.6%
	5~10年未満	570 [100%]	0 0.0%	570 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	49 8.6%	399 70.0%	86 15.1%	27 4.7%	4 0.7%	5 0.9%
	10~15年未満	177 [100%]	0 0.0%	0 0.0%	177 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	21 11.9%	123 69.5%	26 14.7%	4 2.3%	3 1.7%	0 0.0%
	15~20年未満	49 [100%]	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	49 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 14.3%	34 69.4%	7 14.3%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20~25年未満	18 [100%]	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.1%	14 77.8%	1 5.6%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%
	25年以降	11 [100%]	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%	0 0.0%	6 54.6%	5 45.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	53 [100%]	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	53 100.0%	1 1.9%	20 37.7%	3 5.7%	3 5.7%	1 1.9%	25 47.2%

<回答者自身について>

問1-5. アセスメントの際に児童ボルノの問題をどの程度意識していますか。

問1-6. 児童買春、児童ボルノ研修会、勉強会等への参加

	合計	いつも意識する	年齢や性別によつて意識	あまり意識することはない	ほとんど意識しない	わからない	無回答	参加したことがある	参加したことがない	無回答
合計	実数 [100%]	2297 8.8%	201 57.7%	1326 24.3%	558 5.4%	125 2.3%	53 1.5%	269 11.7%	1996 86.9%	32 1.4%
性別	男性	1098 [100%]	87 7.9%	644 58.7%	266 24.2%	77 7.0%	21 1.9%	3 0.3%	129 11.8%	968 88.2%
	女性	1168 [100%]	113 9.7%	679 58.1%	291 24.9%	47 4.0%	32 2.7%	6 0.5%	138 11.8%	1024 87.7%
	その他	1 [100%]	0 0.0%	100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%	0 0.0%
	無回答	30 [100%]	1 3.3%	6.7%	1 3.3%	1 3.3%	0 0.0%	25 83.3%	1 3.3%	4 13.3%
年齢	20歳～24歳	65 [100%]	3 4.6%	40 61.5%	13 20.0%	7 10.8%	2 3.1%	0 0.0%	4 6.2%	61 93.9%
	25歳～29歳	375 [100%]	30 8.0%	214 57.1%	95 25.3%	19 5.1%	15 4.0%	2 0.5%	35 9.3%	338 90.1%
	30歳～34歳	353 [100%]	26 7.4%	216 61.2%	77 21.8%	25 7.1%	7 2.0%	2 0.6%	47 13.3%	306 86.7%
	35歳～39歳	323 [100%]	34 10.5%	200 61.9%	73 22.6%	11 3.4%	5 1.6%	0 0.0%	30 9.3%	291 90.1%
	40歳～44歳	363 [100%]	25 6.9%	204 56.2%	106 29.2%	19 5.2%	7 1.9%	2 0.6%	45 12.4%	318 87.6%
	45歳～49歳	335 [100%]	30 9.0%	196 58.5%	86 25.7%	14 4.2%	8 2.4%	1 0.3%	40 11.9%	294 87.8%
	50歳～54歳	243 [100%]	22 9.1%	138 56.8%	57 23.5%	19 7.8%	6 2.5%	1 0.4%	27 11.1%	215 88.5%
	55歳～59歳	156 [100%]	21 13.5%	90 57.7%	37 23.7%	6 3.9%	1 0.6%	1 0.6%	34 21.8%	122 78.2%
	60歳以上	57 [100%]	10 17.5%	28 49.1%	14 24.6%	4 7.0%	1 1.8%	0 0.0%	7 12.3%	50 87.7%
	無回答	27 [100%]	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	25 92.6%	0 0.0%	1 3.7%
経験年数	5年未満	1419 [100%]	104 7.3%	803 56.6%	375 26.4%	89 6.3%	42 3.0%	6 0.4%	139 9.8%	1278 90.1%
	5～10年未満	570 [100%]	57 10.0%	350 61.4%	128 22.5%	25 4.4%	7 1.2%	3 0.5%	81 14.2%	487 85.4%
	10～15年未満	177 [100%]	23 13.0%	111 62.7%	36 20.3%	4 2.3%	3 1.7%	0 0.0%	23 13.0%	153 86.4%
	15～20年未満	49 [100%]	7 14.3%	29 59.2%	12 24.5%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 18.4%	39 79.6%
	20～25年未満	18 [100%]	3 16.7%	13 72.2%	5 5.6%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	9 50.0%	9 50.0%
	25年以降	11 [100%]	6 54.6%	4 36.4%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 45.5%	6 54.6%
	無回答	53 [100%]	1 1.9%	16 30.2%	5 9.4%	5 9.4%	1 1.9%	25 47.2%	3 5.7%	24 45.3%

<回答者自身について>

問2-1 平成27年4月1日～9月30日まで受理した児童 買春、児童ポルノ被害が含まれる事例

問2-2 平成27年4月1日～9月30日まで受理した児童 買春、児童ポルノ被害が含まれる恐れのある事例

		合計	なし	1件	2件	3件	それ以上	無回答	なし	1件	2件	3件	それ以上	無回答
合計	実数 % [100%]	2297 89.1%	2047 8.3%	191 1.1%	25 0.2%	5 0.1%	2 1.2%	27 89.0%	2044 6.2%	143 1.6%	36 0.2%	4 0.2%	4 2.9%	66
性別	男性	1098 [100%] 92.2%	1012 92.2%	68 6.2%	14 1.3%	0 0.0%	2 0.2%	2 0.2%	992 90.4%	64 5.8%	20 1.8%	2 0.2%	3 0.3%	17 1.6%
	女性	1168 [100%] 87.9%	1027 87.9%	122 10.5%	11 0.9%	5 0.4%	0 0.0%	3 0.3%	1044 89.4%	79 6.8%	16 1.4%	2 0.2%	1 0.1%	26 2.2%
	その他	1 [100%] 100.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	100.0%	0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	30 [100%] 23.3%	7 3.3%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	73.3%	22 23.3%	7 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	23 76.7%
年齢	20歳～24歳	65 [100%] 92.3%	60 6.2%	4 1.5%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 92.3%	60 6.2%	4 1.5%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	25歳～29歳	375 [100%] 88.3%	331 9.3%	35 1.3%	5 0.3%	1 0.3%	1 0.5%	2 88.0%	330 9.1%	34 1.6%	6 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 1.3%
	30歳～34歳	353 [100%] 86.7%	306 11.3%	40 1.4%	5 0.0%	1 0.3%	1 0.3%	1 88.4%	312 6.8%	24 2.0%	7 0.6%	2 0.3%	1 2.0%	7
	35歳～39歳	323 [100%] 88.9%	287 9.9%	32 0.6%	2 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 89.8%	290 6.8%	22 1.9%	6 1.3%	1 0.3%	1 0.3%	3 0.9%
	40歳～44歳	363 [100%] 91.2%	331 8.3%	30 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.3%	1 92.0%	334 5.2%	19 1.1%	4 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 1.7%
	45歳～49歳	335 [100%] 91.9%	308 6.6%	22 0.9%	3 0.6%	2 0.0%	0 0.0%	0 89.3%	299 6.0%	20 1.8%	6 0.3%	1 0.3%	1 0.3%	8 2.4%
	50歳～54歳	243 [100%] 92.2%	224 4.9%	12 2.5%	6 0.0%	0 0.0%	0 0.4%	1 93.0%	226 3.7%	9 1.2%	3 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 2.1%
	55歳～59歳	156 [100%] 91.0%	142 8.3%	13 0.6%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 89.7%	140 4.5%	7 0.6%	1 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	7 4.5%
	60歳以上	57 [100%] 93.0%	53 5.3%	3 1.8%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 86.0%	49 7.0%	4 3.5%	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.5%
	無回答	27 [100%] 18.5%	5 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	81.5%	22 14.8%	4 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	23 85.2%
経験年数	5年未満	1419 [100%] 89.2%	1265 9.3%	132 1.1%	15 0.1%	1 0.1%	2 0.3%	4 89.6%	1272 6.6%	93 1.6%	23 0.1%	2 0.2%	3 1.8%	26
	5～10年未満	570 [100%] 91.1%	519 7.4%	42 1.2%	7 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 90.4%	515 6.1%	35 1.8%	0 0.0%	1 0.2%	1 1.6%	9
	10～15年未満	177 [100%] 92.7%	164 4.5%	8 1.1%	2 1.1%	0 0.0%	0 0.6%	1 91.0%	161 4.5%	8 1.1%	2 1.1%	0 0.0%	0 2.3%	4
	15～20年未満	49 [100%] 95.9%	47 2.0%	1 2.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 93.9%	46 2.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.1%
	20～25年未満	18 [100%] 94.4%	17 5.6%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 88.9%	16 5.6%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%
	25年以降	11 [100%] 72.7%	8 27.3%	3 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 72.7%	8 27.3%	3 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	53 [100%] 50.9%	27 7.6%	4 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	41.5%	22 49.1%	26 3.8%	2 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	24 45.3%

<案件>

問3-1. 把握事例

【児童買春】

問3-2 (a) 買春した者

	合計	児童買春	児童ポルノ	合	児童ポルノ、児童買春複	無回答	児童買春該当数	家族	18歳以上個人（家族）	18歳未満の児童	その他	不明	無回答	
合計	実数 % 266 100.0%	157 59.0%	82 30.8%	26 9.8%	1 0.4%	183 100.0%	11 6.0%	136 74.3%	19 10.4%	6 3.3%	13 7.1%	4 2.2%		
事例	児童買春	157 100.0%	157 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	157 100.0%	7 4.5%	121 77.1%	16 10.2%	4 2.5%	12 7.6%	1 0.6%	
	児童ポルノ	82 100.0%	0 0.0%	82 100.0%	0 0.0%	0 0.0%								
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	0 0.0%	26 0.0%	0 100.0%	0 0.0%	26 100.0%	4 15.4%	15 57.7%	3 11.5%	2 7.7%	1 3.8%	2 7.7%	
	不明	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%	100.0%								
性別	男	15 100.0%	2 13.3%	12 80.0%	1 6.7%	0 0.0%	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	女	244 100.0%	148 60.7%	70 28.7%	25 10.2%	1 0.4%	173 100.0%	9 5.2%	131 75.7%	17 9.8%	5 2.9%	12 6.9%	4 2.3%	
	不明・無回答	7 100.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	1 14.3%	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	6~12歳	48 100.0%	13 27.1%	29 60.4%	6 12.5%	0 0.0%	19 100.0%	1 5.3%	11 57.9%	2 10.5%	2 10.5%	2 10.5%	1 5.3%	
	13~15歳	116 100.0%	70 60.3%	33 28.4%	12 10.3%	1 0.9%	82 100.0%	6 7.3%	63 76.8%	10 12.2%	1 1.2%	5 6.1%	1 1.2%	
	16~18歳	89 100.0%	65 73.0%	16 18.0%	8 9.0%	0 0.0%	73 100.0%	2 2.7%	58 79.5%	6 8.2%	2 2.7%	5 6.8%	2 2.7%	
	不明・無回答	7 100.0%	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	1 16.7%	1 33.3%	2 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	103 68.2%	35 23.2%	13 8.6%	0 0.0%	116 100.0%	5 4.3%	96 82.8%	12 10.3%	1 0.9%	5 4.3%	1 0.9%	
	ふつう	85 100.0%	38 44.7%	37 43.5%	10 11.8%	0 0.0%	48 100.0%	4 8.3%	29 60.4%	5 10.4%	4 8.3%	5 10.4%	2 4.2%	
	やや高い+高い	14 100.0%	7 50.0%	3 21.4%	3 21.4%	1 7.1%	10 100.0%	1 10.0%	8 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	
	不明・無回答	16 100.0%	9 56.3%	7 43.8%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%	1 11.1%	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	
障害	障害なし	154 100.0%	87 56.5%	50 32.5%	16 10.4%	1 0.6%	103 100.0%	6 5.8%	77 74.8%	11 10.7%	4 3.9%	7 6.8%	2 1.9%	
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	40 59.7%	20 29.9%	7 10.4%	0 0.0%	47 100.0%	3 6.4%	37 78.7%	5 10.6%	0 0.0%	2 4.3%	1 2.1%	
	知的以外の障害	23 100.0%	14 60.9%	6 26.1%	3 13.0%	0 0.0%	17 100.0%	1 5.9%	12 70.6%	2 11.8%	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	
	不明・無回答	22 100.0%	16 72.7%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%	1 6.3%	10 62.5%	1 6.3%	1 6.3%	3 18.8%	0 0.0%	
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	9 45.0%	9 45.0%	2 10.0%	0 0.0%	11 100.0%	1 9.1%	9 81.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	35 47.9%	28 38.4%	10 13.7%	0 0.0%	45 100.0%	4 8.9%	35 77.8%	4 8.9%	0 0.0%	2 4.4%	1 2.2%	
	実母のみ	17 100.0%	12 70.6%	4 23.5%	0 0.0%	1 5.9%	12 100.0%	0 0.0%	8 66.7%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	
	実母とその他家族	83 100.0%	49 59.0%	25 30.1%	9 10.8%	0 0.0%	58 100.0%	2 3.4%	47 81.0%	6 10.3%	2 3.4%	2 3.4%	2 3.4%	
	実父のみ	9 100.0%	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%	0 0.0%	5 62.5%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	
	実父とその他の家族	16 100.0%	9 56.3%	4 25.0%	3 18.8%	0 0.0%	12 100.0%	3 25.0%	6 50.0%	2 16.7%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	
	その他の家族形態	33 100.0%	22 66.7%	9 27.3%	2 6.1%	0 0.0%	24 100.0%	0 0.0%	19 79.2%	0 0.0%	2 8.3%	3 12.5%	0 0.0%	
	無回答	15 100.0%	13 86.7%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	13 100.0%	1 7.7%	7 53.8%	2 15.4%	1 7.7%	2 15.4%	0 0.0%	

<案件>

【児童買春】

問3-2 (b) 買春者と接触したきっかけ

【児童買春】

問3-2 (c) 買春の対償

	児童買春該当数	SNSを通じてアピーリ等ネット	JC・JKビジネス	家族による斡旋	交際相手・知人・友人によるあつせん	その他	不明	無回答	児童買春該当数	食事	宿泊	金品	その他	不明	無回答	
合計	実数 183 100.0%	108 59.0%	6 3.3%	11 6.0%	28 15.3%	30 16.4%	10 5.5%	3 1.6%	183 100.0%	38 20.8%	44 24.0%	124 67.8%	14 7.7%	15 8.2%	8 4.4%	
事例	児童買春	157 100.0%	95 60.5%	6 3.8%	5 3.2%	25 15.9%	27 17.2%	10 6.4%	0 0.0%	157 100.0%	31 19.7%	38 24.2%	109 69.4%	11 7.0%	12 7.6%	4 2.5%
	児童ポルノ															
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	13 50.0%	0 0.0%	6 23.1%	3 11.5%	3 11.5%	0 0.0%	2 7.7%	26 100.0%	7 26.9%	6 23.1%	15 57.7%	3 11.5%	3 11.5%	3 11.5%
	不明															
性別	男	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
	女	173 100.0%	104 60.1%	6 3.5%	9 5.2%	26 15.0%	29 16.8%	9 5.2%	3 1.7%	173 100.0%	37 21.4%	42 24.3%	120 69.4%	12 6.9%	13 7.5%	8 4.6%
	不明・無回答	7 100.0%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	7 100.0%	1 14.3%	2 28.6%	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%
年齢4分	1~5歳	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
	6~12歳	19 100.0%	4 21.1%	1 5.3%	3 15.8%	2 10.5%	10 52.6%	0 0.0%	1 5.3%	19 100.0%	4 21.1%	3 15.8%	9 47.4%	6 31.6%	0 0.0%	2 10.5%
	13~15歳	82 100.0%	56 68.3%	0 0.0%	6 7.3%	12 14.6%	11 13.4%	3 3.7%	1 1.2%	82 100.0%	18 22.0%	20 24.4%	58 70.7%	5 6.1%	7 8.5%	1 1.2%
	16~18歳	73 100.0%	44 60.3%	5 6.8%	1 1.4%	12 16.4%	7 9.6%	6 8.2%	1 1.4%	73 100.0%	15 20.5%	19 26.0%	53 72.6%	2 2.7%	6 8.2%	5 6.8%
	不明・無回答	6 100.0%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	6 100.0%	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
学力3分類	低い+やや	116 100.0%	72 62.1%	4 3.4%	5 4.3%	20 17.2%	23 19.8%	4 3.4%	0 0.0%	116 100.0%	29 25.0%	32 27.6%	84 72.4%	7 6.0%	8 6.9%	3 2.6%
	ふつう	48 100.0%	23 47.9%	2 4.2%	4 8.3%	6 12.5%	7 14.6%	4 8.3%	2 4.2%	48 100.0%	6 12.5%	10 20.8%	28 58.3%	5 10.4%	4 8.3%	4 8.3%
	やや高い+高い	10 100.0%	9 90.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	10 100.0%	1 10.0%	1 0.0%	7 70.0%	2 20.0%	2 20.0%	1 10.0%
	不明・無回答	9 100.0%	4 44.4%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	9 100.0%	2 22.2%	2 22.2%	5 55.6%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%
障害	障害なし	103 100.0%	61 59.2%	3 2.9%	7 6.8%	16 15.5%	14 13.6%	6 5.8%	2 1.9%	103 100.0%	19 18.4%	23 22.3%	68 66.0%	9 8.7%	8 7.8%	6 5.8%
	知的+知的境界域を含む障害	47 100.0%	31 66.0%	2 4.3%	2 4.3%	6 12.8%	11 23.4%	1 2.1%	0 0.0%	47 100.0%	11 23.4%	11 23.4%	36 76.6%	1 2.1%	4 8.5%	1 2.1%
	知的以外の障害	17 100.0%	9 52.9%	1 5.9%	1 5.9%	4 23.5%	11 11.8%	0 0.0%	1 5.9%	17 100.0%	5 29.4%	5 29.4%	12 70.6%	3 17.6%	1 5.9%	1 5.9%
	不明・無回答	16 100.0%	7 43.8%	0 0.0%	1 6.3%	2 12.5%	18 18.8%	3 18.8%	0 0.0%	16 100.0%	3 18.8%	5 31.3%	8 50.0%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%
家族の形態	実母と実父のみ	11 100.0%	7 63.6%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%	1 9.1%	1 27.3%	3 27.3%	3 27.3%	3 27.3%	1 9.1%
	実母と実父、その他家族	45 100.0%	30 66.7%	1 2.2%	2 4.4%	5 11.1%	3 6.7%	5 11.1%	1 2.2%	45 100.0%	10 22.2%	10 22.2%	31 68.9%	4 8.9%	4 8.9%	2 4.4%
	実母のみ	12 100.0%	7 58.3%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	3 25.0%	0 0.0%	8.3%	12 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	8 58.3%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%
	実母とその他家族	58 100.0%	34 58.6%	1 1.7%	5 8.6%	12 20.7%	11 19.0%	1 1.7%	1 1.7%	58 100.0%	13 22.4%	13 22.4%	41 70.7%	3 5.2%	3 5.2%	3 5.2%
	実父のみ	8 100.0%	5 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 100.0%	0 0.0%	2 25.0%	7 87.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実父とその他の家族	12 100.0%	8 66.7%	0 0.0%	1 8.3%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	12 100.0%	3 25.0%	5 41.7%	8 66.7%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%
	その他の家族形態	24 100.0%	8 33.3%	3 12.5%	0 0.0%	5 20.8%	7 29.2%	3 12.5%	0 0.0%	24 100.0%	6 25.0%	3 12.5%	17 70.8%	2 8.3%	2 8.3%	1 4.2%
	無回答	13 100.0%	9 69.2%	0 0.0%	1 7.7%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	13 100.0%	1 7.7%	4 30.8%	10 76.9%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%

<案件>

【児童買春】

問3-2 (d) 行動

	児童買春該当数	性交、性交類似行為	相手方が児童をさわる	相手方が自己をさわらせる	下着を売る	金品とお茶を引き換えていたりトや	その他	不明	無回答
合計	実数 183	153	121	102	1	9	0	6	4
事例	% 100.0%	83.6%	66.1%	55.7%	0.5%	4.9%	0.0%	3.3%	2.2%
	児童買春	157 100.0%	132 84.1%	101 64.3%	83 52.9%	1 0.6%	9 5.7%	0 0.0%	6 3.8%
	児童ポルノ								
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	21 80.8%	20 76.9%	19 73.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 11.5%
性別	不明								
	男	3 100.0%	3 100.0%	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	女	173 100.0%	145 83.8%	113 65.3%	95 54.9%	1 0.6%	9 5.2%	0 0.0%	5 2.9%
	不明・無回答	7 100.0%	5 71.4%	5 71.4%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%
年齢4分	1~5歳	3 100.0%	2 66.7%	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	6~12歳	19 100.0%	9 47.4%	15 78.9%	12 63.2%	0 0.0%	3 15.8%	0 0.0%	0 0.0%
	13~15歳	82 100.0%	74 90.2%	51 62.2%	42 51.2%	0 0.0%	5 6.1%	0 0.0%	1 1.2%
	16~18歳	73 100.0%	63 86.3%	48 65.8%	42 57.5%	1 1.4%	1 1.4%	0 0.0%	4 5.5%
	不明・無回答	6 100.0%	5 83.3%	4 66.7%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
学力3分類	低い+やや	116 100.0%	102 87.9%	79 68.1%	67 57.8%	0 0.0%	7 6.0%	0 0.0%	1 0.9%
	ふつう	48 100.0%	37 77.1%	29 60.4%	23 47.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.3%
	やや高い+高い	10 100.0%	7 70.0%	7 70.0%	6 60.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	2 20.0%
	不明・無回答	9 100.0%	7 77.8%	6 66.7%	6 66.7%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%
障害	障害なし	103 100.0%	82 79.6%	68 66.0%	54 52.4%	1 1.0%	5 4.9%	0 0.0%	4 3.9%
	知的+知的境界域を含む障害	47 100.0%	43 91.5%	31 66.0%	28 59.6%	0 0.0%	3 6.4%	0 0.0%	0 0.0%
	知的以外の障害	17 100.0%	14 82.4%	11 64.7%	9 52.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%
	不明・無回答	16 100.0%	14 87.5%	11 68.8%	11 68.8%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 6.3%
家族の形態	実母と実父のみ	11 100.0%	8 72.7%	7 63.6%	6 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%
	実母と実父、その他家族	45 100.0%	40 88.9%	28 62.2%	24 53.3%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	2 4.4%
	実母のみ	12 100.0%	7 58.3%	8 66.7%	5 41.7%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
	実母とその他家族	58 100.0%	48 82.8%	39 67.2%	35 60.3%	0 0.0%	4 6.9%	0 0.0%	1 1.7%
	実父のみ	8 100.0%	7 87.5%	4 50.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実父とその他の家族	12 100.0%	11 91.7%	8 66.7%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他の家族形態	24 100.0%	20 83.3%	16 66.7%	14 58.3%	0 0.0%	4 16.7%	0 0.0%	1 4.2%
	無回答	13 100.0%	12 92.3%	11 84.6%	11 84.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 7.7%

<案件>

【児童ポルノ】
問3-3. (a) 撮影を行った者

	児童ポルノ計	本人	交際相手（18歳未満）	交際相手（18歳以上）	家族	買春者	法人	18歳未満の児童	相手1・8歳家族以上の個人（く交際）	その他	不明	無回答	
合計	実数 %	108 100.0%	26 24.1%	3 2.8%	8 7.4%	31 28.7%	10 9.3%	0 0.0%	18 16.7%	15 13.9%	5 4.6%	2 1.9%	4 3.7%
事例	児童買春												
	児童ポルノ	82 100.0%	17 20.7%	2 2.4%	6 7.3%	26 31.7%	1 1.2%	0 0.0%	18 22.0%	13 15.9%	4 4.9%	1 1.2%	1 1.2%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	9 34.6%	1 3.8%	2 7.7%	5 19.2%	9 34.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.7%	1 3.8%	1 3.8%	2 7.7%
	不明												
性別	男	13 100.0%	4 30.8%	1 7.7%	0 0.0%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 23.1%	0 0.0%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%
	女	95 100.0%	22 23.2%	2 2.1%	8 8.4%	28 29.5%	10 10.5%	0 0.0%	15 15.8%	15 15.8%	3 3.2%	1 1.1%	4 4.2%
	不明・無回答												
年齢4分	1~5歳	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	6~12歳	35 100.0%	3 8.6%	0 0.0%	1 2.9%	13 37.1%	4 11.4%	0 0.0%	8 22.9%	7 20.0%	2 5.7%	0 0.0%	1 2.9%
	13~15歳	45 100.0%	17 37.8%	2 4.4%	2 4.4%	8 17.8%	5 11.1%	0 0.0%	8 17.8%	4 8.9%	3 6.7%	0 0.0%	1 2.2%
	16~18歳	24 100.0%	6 25.0%	1 4.2%	5 20.8%	7 29.2%	1 4.2%	0 0.0%	2 8.3%	4 16.7%	0 0.0%	2 8.3%	1 4.2%
	不明・無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
学力3分類	低い+やや	48 100.0%	12 25.0%	0 0.0%	4 8.3%	14 29.2%	5 10.4%	0 0.0%	5 10.4%	9 18.8%	3 6.3%	1 2.1%	0 0.0%
	ふつう	47 100.0%	11 23.4%	3 6.4%	2 4.3%	14 29.8%	4 8.5%	0 0.0%	10 21.3%	5 10.6%	2 4.3%	0 0.0%	3 6.4%
	やや高い+高い	6 100.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
	不明・無回答	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%
障害	障害なし	66 100.0%	15 22.7%	3 4.5%	1 1.5%	20 30.3%	7 10.6%	0 0.0%	15 22.7%	7 10.6%	4 6.1%	0 0.0%	3 4.5%
	知的+知的境界域を含む障害	27 100.0%	6 22.2%	0 0.0%	2 7.4%	9 33.3%	3 11.1%	0 0.0%	1 3.7%	7 25.9%	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%
	知的以外の障害	9 100.0%	4 44.4%	0 0.0%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%
	不明・無回答	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
家族の形態	実母と実父のみ	11 100.0%	2 18.2%	1 9.1%	3 27.3%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%
	実母と実父、その他家族	38 100.0%	10 26.3%	1 2.6%	3 7.9%	8 21.1%	4 10.5%	0 0.0%	9 23.7%	3 7.9%	0 0.0%	1 2.6%	1 2.6%
	実母のみ	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
	実母とその他家族	34 100.0%	8 23.5%	1 2.9%	0 0.0%	17 50.0%	6 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	6 17.6%	3 8.8%	0 0.0%	1 2.9%
	実父のみ	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実父とその他の家族	7 100.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他の家族形態	11 100.0%	3 27.3%	0 0.0%	1 9.1%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%
	無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	50 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

<案件>

【児童ポルノ】
問3-3.(b) きっかけ

	児童ポルノ計	恋愛（交際中に撮影される）者、監護者による	性的虐待による（保護者による）うだ	家庭内親性暴力による（きょう）うだ	保護性者、罪親戚監被以護害外者（に、交際するよ相）う手だ、	仕事（モデル、ジユニア	いじめ	その他	不明	無回答
合計	実数 108 100.0%	14 13.0%	27 25.0%	4 3.7%	29 26.9%	2 1.9%	10 9.3%	18 16.7%	7 6.5%	4 3.7%
事例	児童買春									
	児童ポルノ	82 100.0%	5 6.1%	20 24.4%	4 4.9%	18 22.0%	2 2.4%	10 12.2%	17 20.7%	7 8.5%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	9 34.6%	7 26.9%	0 0.0%	11 42.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%
	不明									
性別	男	13 100.0%	1 7.7%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	6 46.2%	2 15.4%
	女	95 100.0%	13 13.7%	25 26.3%	4 4.2%	29 30.5%	2 2.1%	8 8.4%	12 12.6%	5 5.3%
	不明・無回答									
年齢4分	1~5歳	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
	6~12歳	35 100.0%	0 0.0%	10 28.6%	2 5.7%	8 22.9%	2 5.7%	8 22.9%	3 8.6%	1 8.6%
	13~15歳	45 100.0%	8 17.8%	8 17.8%	2 4.4%	13 28.9%	0 0.0%	2 4.4%	13 28.9%	1 2.2%
	16~18歳	24 100.0%	6 25.0%	6 25.0%	0 0.0%	8 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.3%	2 8.3%
	不明・無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
学力3分類	低い+やや	48 100.0%	7 14.6%	11 22.9%	1 2.1%	17 35.4%	2 4.2%	2 16.7%	8 6.3%	3 0.0%
	ふつう	47 100.0%	6 12.8%	12 25.5%	3 6.4%	9 19.1%	0 0.0%	7 14.9%	7 14.9%	3 6.4%
	やや高い+高い	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%
障害	障害なし	66 100.0%	7 10.6%	17 25.8%	3 4.5%	15 22.7%	0 0.0%	10 15.2%	12 18.2%	4 6.1%
	知的+知的境界域を含む障害	27 100.0%	4 14.8%	7 25.9%	1 3.7%	11 40.7%	2 7.4%	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%
	知的以外の障害	9 100.0%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%
	不明・無回答	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%
家族の形態	実母と実父のみ	11 100.0%	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	3 27.3%	2 18.2%	1 9.1%
	実母と実父、その他家族	38 100.0%	6 15.8%	6 15.8%	4 10.5%	7 18.4%	2 5.3%	5 13.2%	7 18.4%	1 2.6%
	実母のみ	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%
	実母とその他家族	34 100.0%	3 8.8%	18 52.9%	0 0.0%	10 29.4%	0 0.0%	0 0.0%	4 11.8%	1 2.9%
	実父のみ	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実父とその他の家族	7 100.0%	3 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	2 28.6%
	その他の家族形態	11 100.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	7 63.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	1 9.1%
	無回答	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

<案件>

【児童ポルノ】
問3-3. (c) 撮影された状況

【児童ポルノ】
問3-3. (d) 記録媒体の頒布の有無

	児童ポルノ計	自らの意志で自ら撮影	他人に強要されて自ら撮影	他人が撮影(本人の同意なし)	他人が撮影(本人の同意あり)	不明	無回答	児童ポルノ計	SNSが見られる(DVD等で第三者)	SNSが見られる(DVD等で第三者)	単純所持される	その他	不明	無回答	
合計	実数 108 100.0%	28 25.9%	6 5.6%	42 38.9%	25 23.1%	9 8.3%	5 4.6%	108 100.0%	24 22.2%	16 14.8%	41 38.0%	5 4.6%	21 19.4%	4 3.7%	
事例	児童買春														
	児童ポルノ	82 100.0%	17 20.7%	6 7.3%	36 43.9%	15 18.3%	8 9.8%	2 2.4%	82 100.0%	19 23.2%	13 15.9%	31 37.8%	4 4.9%	16 19.5%	1 1.2%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	11 42.3%	0 0.0%	6 23.1%	10 38.5%	1 3.8%	2 7.7%	26 100.0%	5 19.2%	3 11.5%	10 38.5%	1 3.8%	5 19.2%	2 7.7%
	不明														
性別	男	13 100.0%	5 38.5%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	4 30.8%	0 0.0%	13 100.0%	3 23.1%	3 23.1%	4 30.8%	1 7.7%	2 15.4%	0 0.0%
	女	95 100.0%	23 24.2%	5 5.3%	40 42.1%	24 25.3%	5 5.3%	5 5.3%	95 100.0%	21 22.1%	13 13.7%	37 38.9%	4 4.2%	19 20.0%	4 4.2%
	不明・無回答														
年齢4分	1~5歳	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
	6~12歳	35 100.0%	4 11.4%	0 0.0%	20 57.1%	8 22.9%	2 5.7%	1 2.9%	35 100.0%	8 22.9%	2 5.7%	14 40.0%	3 8.6%	7 20.0%	1 2.9%
	13~15歳	45 100.0%	18 40.0%	6 13.3%	12 26.7%	13 28.9%	1 2.2%	1 2.2%	45 100.0%	9 20.0%	12 26.7%	15 33.3%	1 2.2%	9 20.0%	1 2.2%
	16~18歳	24 100.0%	6 25.0%	0 0.0%	9 37.5%	4 16.7%	4 16.7%	2 8.3%	24 100.0%	7 29.2%	2 8.3%	10 41.7%	1 4.2%	4 16.7%	1 4.2%
	不明・無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
学力3分類	低い+やや	48 100.0%	13 27.1%	1 2.1%	15 31.3%	16 33.3%	4 8.3%	0 0.0%	48 100.0%	11 22.9%	9 18.8%	14 29.2%	2 4.2%	12 25.0%	0 0.0%
	ふつう	47 100.0%	11 23.4%	4 8.5%	22 46.8%	6 12.8%	2 4.3%	4 8.5%	47 100.0%	10 21.3%	5 10.6%	22 46.8%	3 6.4%	7 12.8%	3 6.4%
	やや高い+高い	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	100.0%	9 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%
	不明・無回答	7 100.0%	2 28.6%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%
障害	障害なし	66 100.0%	19 28.8%	4 6.1%	29 43.9%	14 21.2%	3 4.5%	3 4.5%	66 100.0%	18 27.3%	9 13.6%	26 39.4%	2 3.0%	10 15.2%	3 4.5%
	知的+知的境界域を含む障害	27 100.0%	6 22.2%	1 3.7%	10 37.0%	7 25.9%	4 14.8%	0 0.0%	27 100.0%	4 14.8%	6 22.2%	9 33.3%	2 7.4%	6 22.2%	0 0.0%
	知的以外の障害	9 100.0%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	9 100.0%	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%
	不明・無回答	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	16.7%	1 16.7%	0 0.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%
家族の形態	実母と実父のみ	11 100.0%	3 27.3%	0 0.0%	4 36.4%	2 18.2%	2 18.2%	0 0.0%	11 100.0%	3 27.3%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%	4 36.4%	0 0.0%
	実母と実父、その他家族	38 100.0%	7 18.4%	3 7.9%	16 42.1%	8 21.1%	3 7.9%	2 5.3%	38 100.0%	12 31.6%	3 7.9%	12 31.6%	3 7.9%	8 21.1%	1 2.6%
	実母のみ	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	100.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%
	実母とその他家族	34 100.0%	10 29.4%	0 0.0%	15 44.1%	7 20.6%	2 5.9%	1 2.9%	34 100.0%	2 5.9%	6 17.6%	21 61.8%	1 2.9%	4 11.8%	1 2.9%
	実父のみ	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実父とその他の家族	7 100.0%	3 42.9%	1 14.3%	2 28.6%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	100.0%	2 28.6%	1 14.3%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%
	その他の家族形態	11 100.0%	3 27.3%	1 9.1%	4 36.4%	3 36.4%	9.1%	0 0.0%	100.0%	3 27.3%	2 27.3%	3 18.2%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%
	無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0 0.0%	0 0.0%	50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4.-1. 児童の性別

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4.-3. 相談受理時の児童の年齢

	合計	男児	女児	不明	無回答	今回がはじめて	過去に相談歴あり	無回答	合計	1-5歳	6-12歳	13-15歳	16-18歳	無回答	
合計	266	15	244	1	6	138	115	13	266	6	48	116	89	7	
事例	実数	100.0%	5.6%	91.7%	0.4%	2.3%	51.9%	43.2%	4.9%	100.0%	2.3%	18.0%	43.6%	33.5%	2.6%
	児童買春	157	2	148	1	6	68	77	12	157	3	13	70	65	6
	児童ポルノ	82	12	70	0	0	61	20	1	82	3	29	33	16	1
	買春・ポルノ複合	26	1	25	0	0	9	17	0	26	0	6	12	8	0
性別	不明	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0
	男	15	15	0	0	0	9	6	0	15	1	4	7	3	0
	女	244	0	244	0	0	128	109	7	244	5	44	108	86	1
	不明・無回答	7	0	0	1	6	1	0	6	7	0	0	1	0	6
年齢4分	1-5歳	6	1	5	0	0	3	3	0	6	6	0	0	0	0
	6-12歳	48	4	44	0	0	27	18	3	48	0	48	0	0	0
	13-15歳	116	7	108	1	0	67	48	1	116	0	0	116	0	0
	16-18歳	89	3	86	0	0	40	46	3	89	0	0	89	0	0
	不明・無回答	7	0	1	0	6	1	0	6	7	0	0	0	0	7
学力3分類	低い+やや	151	5	145	1	0	67	78	6	151	4	24	76	47	0
	ふつう	85	8	77	0	0	53	31	1	85	1	21	27	35	1
	やや高い+高い	14	1	13	0	0	10	4	0	14	0	0	10	4	0
	不明・無回答	16	1	9	0	6	8	2	6	16	1	3	3	3	6
障害	障害なし	154	9	144	1	0	91	59	4	154	1	30	74	48	1
	知的+知的境界域を含む障害	67	3	64	0	0	31	35	1	67	4	10	29	24	0
	知的以外の障害	23	3	20	0	0	8	14	1	23	0	3	9	11	0
	不明・無回答	22	0	16	0	6	8	7	7	22	1	5	4	6	6
家族の形態	実母と実父のみ	20	5	15	0	0	13	5	2	20	1	6	8	5	0
	実母と実父、その他家族	73	5	68	0	0	50	23	0	73	2	12	34	25	0
	実母のみ	17	0	17	0	0	10	6	1	17	0	0	13	4	0
	実母とその他家族	83	4	78	1	0	41	39	3	83	1	20	35	27	0
	実父のみ	9	0	9	0	0	1	8	0	9	0	1	4	4	0
	実父とその他の家族	16	0	16	0	0	9	7	0	16	0	3	9	4	0
	その他の家族形態	33	1	32	0	0	13	20	0	33	1	5	11	16	0
	無回答	15	0	9	0	6	1	7	7	15	1	1	2	4	7

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4. ケースの詳細-4. 児童には、障がいがありましたか。(MA)

	合計	なし	発達障がい	知的障がい	精神障がい	身体	知的に境界域	不明	無回答
合計	実数 %	266 100.0%	154 57.9%	28 10.5%	31 11.7%	3 1.1%	1 0.4%	36 13.5%	15 5.6%
事例	児童買春	157 100.0%	87 55.4%	15 9.6%	16 10.2%	3 1.9%	0 0.0%	24 15.3%	9 5.7%
	児童ポルノ	82 100.0%	50 61.0%	8 9.8%	12 14.6%	0 0.0%	1 1.2%	8 9.8%	6 7.3%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	16 61.5%	5 19.2%	3 11.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 15.4%	0 0.0%
	不明	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別	男	15 100.0%	9 60.0%	4 26.7%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%
	女	244 100.0%	144 59.0%	24 9.8%	29 11.9%	3 1.2%	1 0.4%	35 14.3%	15 6.1%
	不明・無回答	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
	6~12歳	48 100.0%	30 62.5%	5 10.4%	7 14.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.3%	4 8.3%
	13~15歳	116 100.0%	74 63.8%	12 10.3%	10 8.6%	0 0.0%	0 0.0%	19 16.4%	4 3.4%
	16~18歳	89 100.0%	48 53.9%	10 11.2%	11 12.4%	3 3.4%	0 0.0%	13 14.6%	6 6.7%
	不明・無回答	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	64 42.4%	20 13.2%	29 19.2%	1 0.7%	1 23.8%	36 5.3%	8 0.0%
	ふつう	85 100.0%	73 85.9%	6 7.1%	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.5%
	やや高い+高い	14 100.0%	13 92.9%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明・無回答	16 100.0%	4 25.0%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 25.0%
障害	障害なし	154 100.0%	154 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	0 0.0%	8 11.9%	31 46.3%	0 0.0%	1 1.5%	36 53.7%	0 0.0%
	知的以外の障害	23 100.0%	0 0.0%	20 87.0%	0 0.0%	3 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明・無回答	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 68.2%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	10 50.0%	4 20.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	4 20.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	43 58.9%	6 8.2%	11 15.1%	0 0.0%	0 0.0%	11 15.1%	5 6.8%
	実母のみ	17 100.0%	11 64.7%	1 5.9%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%
	実母とその他家族	83 100.0%	54 65.1%	10 12.0%	6 7.2%	2 2.4%	1 1.2%	11 13.3%	2 2.4%
	実父のみ	9 100.0%	4 44.4%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%
	実父とその他の家族	16 100.0%	11 68.8%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	3 18.8%	0 0.0%
	その他の家族形態	33 100.0%	15 45.5%	4 12.1%	6 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	6 18.2%	3 9.1%
	無回答	15 100.0%	6 40.0%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	6 40.0%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-5. 児童の学力程度

問3-4-6. 児童買春、児童ポルノに
関わった時の就学、就労

	合計	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	不明	無回答	主に就学している	就労している	就学も就労もしていない	不明	無回答
合計	実数	266	61	90	85	10	4	9	7	220	13	25	2
事例	%	100.0%	22.9%	33.8%	32.0%	3.8%	1.5%	3.4%	2.6%	82.7%	4.9%	9.4%	0.8%
	児童買春	157	46	57	38	6	1	3	6	117	12	22	0
		100.0%	29.3%	36.3%	24.2%	3.8%	0.6%	1.9%	3.8%	74.5%	7.6%	14.0%	0.0%
	児童ポルノ	82	11	24	37	2	1	6	1	77	1	2	0
性別	買春・ポルノ複合	26	4	9	10	2	1	0	0	25	0	1	0
		100.0%	15.4%	34.6%	38.5%	7.7%	3.8%	0.0%	0.0%	96.2%	0.0%	3.8%	0.0%
	不明	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
年齢4分	男	15	1	4	8	1	0	1	0	13	0	1	1
		100.0%	6.7%	26.7%	53.3%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%	86.7%	0.0%	6.7%	0.0%
	女	244	60	85	77	9	4	8	1	206	13	24	1
		100.0%	24.6%	34.8%	31.6%	3.7%	1.6%	3.3%	0.4%	84.4%	5.3%	9.8%	0.4%
	不明・無回答	7	0	1	0	0	0	0	6	1	0	0	6
学力3分類		100.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	85.7%
	低い+やや	151	61	90	0	0	0	0	0	123	9	18	1
		100.0%	40.4%	59.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.5%	6.0%	11.9%	0.7%	0.0%
	ふつう	85	0	0	85	0	0	0	0	77	4	4	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.6%	4.7%	4.7%	0.0%	0.0%
障害	やや高い+高い	14	0	0	0	10	4	0	0	14	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不明・無回答	16	0	0	0	0	0	9	7	6	0	3	1
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	56.3%	43.8%	37.5%	0.0%	18.8%	6.3%	37.5%
	障害なし	154	14	50	73	9	4	3	1	139	6	9	0
家族の形態		100.0%	9.1%	32.5%	47.4%	5.8%	2.6%	1.9%	0.6%	90.3%	3.9%	5.8%	0.0%
	知的+知的境界域を含む障害	67	41	24	0	0	0	2	0	52	5	10	0
		100.0%	61.2%	35.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	77.6%	7.5%	14.9%	0.0%
	知的以外の障害	23	3	11	8	1	0	0	0	20	0	2	1
		100.0%	13.0%	47.8%	34.8%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	87.0%	0.0%	8.7%	4.3%
	不明・無回答	22	3	5	4	0	0	4	6	9	2	4	1
		100.0%	13.6%	22.7%	18.2%	0.0%	0.0%	18.2%	27.3%	40.9%	9.1%	18.2%	4.5%
	実母と実父のみ	20	1	8	7	1	1	2	0	14	0	4	2
		100.0%	5.0%	40.0%	35.0%	5.0%	5.0%	10.0%	0.0%	70.0%	0.0%	20.0%	10.0%
	実母と実父、その他家族	73	19	23	23	7	1	0	0	65	5	3	0
		100.0%	26.0%	31.5%	31.5%	9.6%	1.4%	0.0%	0.0%	89.0%	6.8%	4.1%	0.0%
	実母のみ	17	6	5	2	0	1	2	1	16	0	1	0
		100.0%	35.3%	29.4%	11.8%	0.0%	5.9%	11.8%	5.9%	94.1%	0.0%	5.9%	0.0%
	実母とその他家族	83	19	29	31	2	0	2	0	71	0	12	0
		100.0%	22.9%	34.9%	37.3%	2.4%	0.0%	2.4%	0.0%	85.5%	0.0%	14.5%	0.0%
	実父のみ	9	5	2	2	0	0	0	0	5	2	2	0
		100.0%	55.6%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	22.2%	22.2%	0.0%
	実父とその他の家族	16	1	6	9	0	0	0	0	16	0	0	0
		100.0%	6.3%	37.5%	56.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他の家族形態	33	7	13	9	0	1	3	0	28	3	2	0
		100.0%	21.2%	39.4%	27.3%	0.0%	3.0%	9.1%	0.0%	84.8%	9.1%	6.1%	0.0%
	無回答	15	3	4	2	0	0	0	6	5	3	1	0
		100.0%	20.0%	26.7%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	33.3%	20.0%	6.7%	40.0%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-6-1 主に就学者の就労有無
就学者就労の有無

問3-4-6-2. 就労している人の就労形態
就労者就労形態

	就学している計	就労していない	アルバイトをしている	その他	無回答	就労している計	正規	非正規	アルバイト	その他	無回答
合計	実数 %	220 100.0%	166 75.5%	18 8.2%	1 0.5%	35 15.9%	13 100.0%	1 0.4%	1 0.4%	8 3.0%	3 1.1%
事例	児童買春	117 100.0%	87 74.4%	10 8.5%	1 0.9%	19 16.2%	12 100.0%	1 0.6%	1 0.6%	7 4.5%	3 1.9%
	児童ポルノ	77 100.0%	63 81.8%	3 3.9%	0 0.0%	11 14.3%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%
	買春・ポルノ複合	25 100.0%	16 64.0%	5 20.0%	0 0.0%	4 16.0%	#DIV/0! #DIV/0!	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	#DIV/0! #DIV/0!	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別	男	13 100.0%	8 61.5%	1 7.7%	0 0.0%	4 30.8%	#DIV/0! #DIV/0!	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	女	206 100.0%	157 76.2%	17 8.3%	1 0.5%	31 15.0%	13 100.0%	1 0.4%	1 0.4%	8 3.3%	3 1.2%
	不明・無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	#DIV/0! #DIV/0!	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢4分	1~5歳	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
	6~12歳	45 100.0%	39 86.7%	1 2.2%	0 0.0%	5 11.1%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%
	13~15歳	112 100.0%	94 83.9%	2 1.8%	1 0.9%	15 13.4%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%
	16~18歳	59 100.0%	32 54.2%	15 25.4%	0 0.0%	12 20.3%	9 100.0%	1 1.1%	1 1.1%	5 5.6%	2 2.2%
	不明・無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	#DIV/0! #DIV/0!	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
学力3分類	低い+やや	123 100.0%	93 75.6%	9 7.3%	1 0.8%	20 16.3%	9 100.0%	1 0.7%	1 0.7%	5 3.3%	2 1.3%
	ふつう	77 100.0%	56 72.7%	8 10.4%	0 0.0%	13 16.9%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.5%	1 1.2%
	やや高い+高い	14 100.0%	11 78.6%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	#DIV/0! #DIV/0!	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明・無回答	6 100.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	#DIV/0! #DIV/0!	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
障害	障害なし	139 100.0%	105 75.5%	11 7.9%	1 0.7%	22 15.8%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 3.2%	1 0.6%
	知的+知的境界域を含む障害	52 100.0%	39 75.0%	4 7.7%	0 0.0%	9 17.3%	5 100.0%	1 1.5%	0 0.0%	2 3.0%	2 3.0%
	知的以外の障害	20 100.0%	14 70.0%	3 15.0%	0 0.0%	3 15.0%	#DIV/0! #DIV/0!	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明・無回答	9 100.0%	8 88.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 100.0%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%
家族の形態	実母と実父のみ	14 100.0%	10 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	4 28.6%	#DIV/0! #DIV/0!	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実母と実父、その他家族	65 100.0%	49 75.4%	5 7.7%	0 0.0%	11 16.9%	5 100.0%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.1%	1 1.4%
	実母のみ	16 100.0%	12 75.0%	1 6.3%	0 0.0%	3 18.8%	#DIV/0! #DIV/0!	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実母とその他家族	71 100.0%	57 80.3%	5 7.0%	1 1.4%	8 11.3%	#DIV/0! #DIV/0!	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実父のみ	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%
	実父とその他の家族	16 100.0%	11 68.8%	2 12.5%	0 0.0%	3 18.8%	#DIV/0! #DIV/0!	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他の家族形態	28 100.0%	20 71.4%	4 14.3%	0 0.0%	4 14.3%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	2 6.1%
	無回答	5 100.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	3 100.0%	1 6.7%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-7. 児童買春、児童ポルノに関与したときに同居していた家族の構成員

	合計	実父	実母	継父	継母	養父	養母	実兄	実弟	実姉	実妹	義兄	義弟	義姉
合計	266	118	193	11	1	16	2	45	56	43	66	4	10	3
事例	実数	100.0%	44.4%	72.6%	4.1%	0.4%	6.0%	0.8%	16.9%	21.1%	16.2%	24.8%	1.5%	3.8%
	児童買春	157	61	105	8	0	5	2	25	27	23	34	3	5
	児童ポルノ	82	42	66	2	0	11	0	15	20	17	22	1	3
	買春・ポルノ複合	26	15	21	1	1	0	0	5	9	3	10	0	2
性別	不明	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	男	15	10	14	0	0	0	0	1	3	2	4	0	0
	女	244	108	178	11	1	16	2	43	53	41	62	4	10
年齢4分	不明・無回答	7	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	1~5歳	6	3	4	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0
	6~12歳	48	22	38	3	0	2	0	7	9	10	13	1	3
	13~15歳	116	55	90	4	1	4	2	22	25	18	26	2	3
	16~18歳	89	38	61	4	0	9	0	15	22	14	26	1	4
学力3分類	不明・無回答	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	低い+やや	151	65	110	8	0	8	1	28	35	29	39	2	6
	ふつう	85	41	63	3	1	7	1	15	16	11	21	2	4
	やや高い+高い	14	10	13	0	0	1	0	2	5	2	6	0	0
障害	不明・無回答	16	2	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	障害なし	154	68	118	8	1	10	1	33	31	24	41	1	6
	知的+知的境界域を含む障害	67	30	46	2	0	6	0	6	17	14	17	1	3
	知的以外の障害	23	10	17	1	0	0	1	5	5	4	3	2	1
家族の形態	不明・無回答	22	10	12	0	0	0	0	1	3	1	5	0	0
	実母と実父のみ	20	20	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実母と実父、その他家族	73	73	73	0	0	0	0	22	34	15	32	1	0
	実母のみ	17	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実母とその他家族	83	0	83	11	0	14	0	20	19	20	28	0	9
	実父のみ	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実父とその他の家族	16	16	0	0	1	0	1	2	1	6	6	1	0
	その他の家族形態	33	0	0	0	0	0	2	1	1	2	0	2	0
	無回答	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-7. 児童買春、児童ポルノに関与したときに同居していた家族の構成員(続き)

	合計	義妹	祖父	祖母	おじ	おば	その他親戚	親の内縁の夫	親の内縁の妻	里父	里母	その他同居人	無回答
合計	実数 %	266 100.0%	7 2.6%	17 6.4%	28 10.5%	2 0.8%	2 0.8%	2 0.8%	11 4.1%	0 0.0%	2 0.8%	22 8.3%	15 5.6%
事例	児童買春	157 100.0%	4 2.5%	7 4.5%	10 6.4%	2 1.3%	2 1.3%	2 1.3%	5 3.2%	0 0.0%	2 1.3%	2 1.3%	13 8.3%
	児童ポルノ	82 100.0%	1 1.2%	4 4.9%	12 14.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 6.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 7.3%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	2 7.7%	6 23.1%	6 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 11.5%
	不明	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別	男	15 100.0%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%
	女	244 100.0%	7 2.9%	16 6.6%	27 11.1%	2 0.8%	2 0.8%	2 0.8%	10 4.1%	0 0.0%	2 0.8%	21 8.6%	9 3.7%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%
	6~12歳	48 100.0%	3 6.3%	3 6.3%	6 12.5%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	4 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.3%	1 2.1%
	13~15歳	116 100.0%	1 0.9%	6 5.2%	11 9.5%	1 0.9%	1 0.9%	1 0.9%	3 2.6%	0 0.0%	1 0.9%	1 0.9%	8 6.9%
	16~18歳	89 100.0%	3 3.4%	8 9.0%	11 12.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	4 4.5%	0 0.0%	1 1.1%	1 1.1%	10 11.2%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	4 2.6%	10 6.6%	12 7.9%	2 1.3%	2 1.3%	1 0.7%	3 2.0%	0 0.0%	1 0.7%	12 7.9%	7 4.6%
	ふつう	85 100.0%	3 3.5%	7 8.2%	15 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	7 8.2%	0 0.0%	1 1.2%	1 1.2%	2 8.2%
	やや高い+高い	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%
	不明・無回答	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6.3 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	6 37.5%
障害	障害なし	154 100.0%	6 3.9%	10 6.5%	16 10.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.6%	8 5.2%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	6 8.4%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	1 1.5%	4 6.0%	7 10.4%	2 3.0%	2 3.0%	0 0.0%	1 1.5%	0 0.0%	1 1.5%	1 1.5%	3 7.5%
	知的以外の障害	23 100.0%	0 0.0%	2 8.7%	3 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明・無回答	22 100.0%	0 0.0%	1 4.5%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4.5 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.6%	6 27.3%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	0 0.0%	5 6.8%	7 9.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.7%	0 0.0%
	実母のみ	17 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実母とその他家族	83 100.0%	6 7.2%	6 7.2%	10 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	11 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.8%	0 0.0%
	実父のみ	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実父とその他の家族	16 100.0%	1 6.3%	1 6.3%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他の家族形態	33 100.0%	0 0.0%	5 15.2%	8 24.2%	2 6.1%	2 6.1%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.1%	2 6.1%	16 48.5%
	無回答	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-7. 児童買春、児童ポルノに関与したときの同居家族(続き)
構成パターン

	合計	実母と実父のみ	実母と実父、その他家族	実母のみ	実母とその他の家族	実父のみ	実父とその他の家族	その他の家族形態	無回答
合計	266 100.0%	20 7.5%	73 27.4%	17 6.4%	83 31.2%	9 3.4%	16 6.0%	33 12.4%	15 5.6%
事例	児童買春	157 100.0%	9 5.7%	35 22.3%	12 7.6%	49 31.2%	8 5.1%	9 5.7%	22 14.0%
	児童ポルノ	82 100.0%	9 11.0%	28 34.1%	4 4.9%	25 30.5%	1 1.2%	4 4.9%	9 11.0%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	2 7.7%	10 38.5%	0 0.0%	9 34.6%	0 0.0%	3 11.5%	2 7.7%
	不明	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別	男	15 100.0%	5 33.3%	5 33.3%	0 0.0%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%
	女	244 100.0%	15 6.1%	68 27.9%	17 7.0%	78 32.0%	9 3.7%	16 6.6%	32 13.1%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
	6~12歳	48 100.0%	6 12.5%	12 25.0%	0 0.0%	20 41.7%	1 2.1%	3 6.3%	5 10.4%
	13~15歳	116 100.0%	8 6.9%	34 29.3%	13 11.2%	35 30.2%	4 3.4%	9 7.8%	11 9.5%
	16~18歳	89 100.0%	5 5.6%	25 28.1%	4 4.5%	27 30.3%	4 4.5%	4 4.5%	16 18.0%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	9 6.0%	42 27.8%	11 7.3%	48 31.8%	7 4.6%	7 4.6%	20 13.2%
	ふつう	85 100.0%	7 8.2%	23 27.1%	2 2.4%	31 36.5%	2 2.4%	9 10.6%	9 10.6%
	やや高い+高い	14 100.0%	2 14.3%	8 57.1%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%
	不明・無回答	16 100.0%	2 12.5%	0 0.0%	3 18.8%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	6 37.5%
障害	障害なし	154 100.0%	10 6.5%	43 27.9%	11 7.1%	54 35.1%	4 2.6%	11 7.1%	15 9.7%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	2 3.0%	22 32.8%	5 7.5%	17 25.4%	3 4.5%	3 4.5%	12 17.9%
	知的以外の障害	23 100.0%	4 17.4%	3 13.0%	1 4.3%	9 39.1%	1 4.3%	2 8.7%	3 13.0%
	不明・無回答	22 100.0%	4 18.2%	5 22.7%	0 0.0%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%	3 13.6%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	0 0.0%	73 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実母のみ	17 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実母とその他家族	83 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	83 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実父のみ	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 100.0%	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実父とその他の家族	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他の家族形態	33 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	33 100.0%	0 0.0%
	無回答	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-8. 当該ケースを児童相談所とつないだのは以下のどの組織あるいは個人ですか。(MA)

	合計	警察	学校	幼稚園・保育園	福祉事務所	市町村の児童相談担当部署	保健所・保健センター	病院	都道府県権利擁護センター	民間支援機関	児童本人	児童の保護者	親族	近隣・知人(除く)・同級生の保護	
合計	実数 100.0%	266 53.4%	142 20.3%	54 0.4%	1 1.5%	4 6.8%	18 0.4%	1 1.1%	3 0.0%	0 0.8%	2 6.0%	16 10.9%	29 9.0%	24 0.4%	
事例	児童買春	157 100.0%	91 58.0%	31 19.7%	1 0.6%	1 0.6%	8 5.1%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	2 1.3%	13 8.3%	11 7.0%	11 7.0%	1 0.6%
	児童ポルノ	82 100.0%	40 48.8%	20 24.4%	0 0.0%	2 2.4%	5 6.1%	1 1.2%	2 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	14 17.1%	5 6.1%	0 0.0%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	10 38.5%	3 11.5%	0 0.0%	1 3.8%	5 19.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 7.7%	4 15.4%	8 30.8%	0 0.0%
	不明	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別	男	15 100.0%	10 66.7%	6 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 20.0%	1 6.7%	0 0.0%
	女	244 100.0%	132 54.1%	47 19.3%	1 0.4%	1 1.6%	17 7.0%	1 0.4%	2 0.8%	0 0.0%	2 0.8%	16 6.6%	26 10.7%	23 9.4%	1 0.4%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 16.7%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	6~12歳	48 100.0%	22 45.8%	9 18.8%	0 0.0%	3 6.3%	6 12.5%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.2%	4 8.3%	5 10.4%	0 0.0%
	13~15歳	116 100.0%	68 58.6%	32 27.6%	0 0.0%	0 0.0%	11 9.5%	0 0.0%	2 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	5 4.3%	18 15.5%	9 7.8%	1 0.9%
	16~18歳	89 100.0%	51 57.3%	13 14.6%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.2%	9 10.1%	5 5.6%	10 11.2%	0 0.0%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	79 52.3%	36 23.8%	1 0.7%	3 2.0%	13 8.6%	1 0.7%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	11 7.3%	16 10.6%	17 11.3%	1 0.7%
	ふつう	85 100.0%	51 60.0%	11 12.9%	0 0.0%	1 1.2%	2 2.4%	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%	2 2.4%	5 5.9%	11 12.9%	6 7.1%	0 0.0%
	やや高い+高い	14 100.0%	5 35.7%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%
	不明・無回答	16 100.0%	7 43.8%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
障害	障害なし	154 100.0%	93 60.4%	35 22.7%	0 0.0%	3 1.9%	9 5.8%	0 0.0%	2 1.3%	0 0.0%	2 1.3%	7 4.5%	17 11.0%	8 5.2%	1 0.6%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	26 38.8%	14 20.9%	1 1.5%	1 1.5%	7 10.4%	1 1.5%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 9.0%	7 10.4%	9 13.4%	0 0.0%
	知的以外の障害	23 100.0%	12 52.2%	3 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	0 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.0%	5 21.7%	6 26.1%	0 0.0%
	不明・無回答	22 100.0%	11 50.0%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	12 60.0%	3 15.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.0%	2 10.0%	0 0.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	36 49.3%	15 20.5%	0 0.0%	2 2.7%	6 8.2%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	10 13.7%	8 11.0%	0 0.0%
	実母のみ	17 100.0%	9 52.9%	5 29.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	1 5.9%	0 0.0%
	実母とその他家族	83 100.0%	51 61.4%	16 19.3%	0 0.0%	2 2.4%	9 10.8%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.8%	13 15.7%	6 7.2%	1 1.2%
	実父のみ	9 100.0%	6 66.7%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%
	実父とその他の家族	16 100.0%	9 56.3%	5 31.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	1 6.3%	0 0.0%
	その他の家族形態	33 100.0%	18 54.5%	4 12.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	2 6.1%	0 0.0%	4 12.1%
	無回答	15 100.0%	1 6.7%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

つないだ組織・人(続き)

	合計	同級生の保護者	弁護士	施設職員	その他	無回答
合計	実数 266 %100.0%	0 0.0%	2 0.8%	9 3.4%	13 4.9%	8 3.0%
事例	児童買春	157 100.0%	0 0.0%	1 0.6%	5 3.2%	9 5.7%
	児童ポルノ	82 100.0%	0 0.0%	1 1.2%	1 1.2%	3 3.7%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 11.5%	1 3.8%
	不明	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別	男	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%
	女	244 100.0%	0 0.0%	2 0.8%	9 3.7%	11 4.5%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
	6~12歳	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 6.3%	1 2.1%
	13~15歳	116 100.0%	0 0.0%	1 0.9%	2 1.7%	3 2.6%
	16~18歳	89 100.0%	0 0.0%	1 1.1%	4 4.5%	8 9.0%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 4.6%	10 6.6%
	ふつう	85 100.0%	0 0.0%	2 2.4%	2 2.4%	1 1.2%
	やや高い+高い	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明・無回答	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%
障害	障害なし	154 100.0%	0 0.0%	2 1.3%	4 2.6%	4 2.6%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.5%	6 9.0%
	知的以外の障害	23 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	1 4.3%
	不明・無回答	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	2 9.1%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	3 4.1%
	実母のみ	17 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%
	実母とその他家族	83 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.4%	2 2.4%
	実父のみ	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実父とその他の家族	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%
	その他の家族形態	33 100.0%	0 0.0%	1 3.0%	5 15.2%	4 12.1%
	無回答	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	8 53.3%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-9-1. 児童自身の課題(あてはまるものすべてに○)

	合計	親子関係不調	低い自己評価(自信のなさ)	感情不安定	うつ状態	睡眠障害	自傷行為	自殺念慮	PTSD	乖離	パニック	不登校	保健室登校	友人から孤立	
合計	実数 266	172 100.0%	106 64.7%	58 39.8%	4 21.8%	10 1.5%	39 3.8%	13 4.9%	10 3.8%	11 4.1%	3 1.1%	73 27.4%	7 2.6%	40 15.0%	
事例	児童買春	157 100.0%	129 82.2%	77 49.0%	38 24.2%	2 1.3%	5 3.2%	27 17.2%	9 5.7%	7 4.5%	1 4.5%	1 0.6%	52 33.1%	6 3.8%	25 15.9%
	児童ポルノ	82 100.0%	24 29.3%	21 25.6%	13 15.9%	2 2.4%	5 6.1%	7 8.5%	3 3.7%	3 3.7%	1 1.2%	1 1.2%	12 14.6%	0 0.0%	7 8.5%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	18 69.2%	7 26.9%	7 26.9%	0 0.0%	0 0.0%	5 19.2%	1 3.8%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	9 34.6%	1 3.8%	7 26.9%
	不明	1 100.0%	1 100.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
性別	男	15 100.0%	3 20.0%	3 20.0%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
	女	244 100.0%	168 68.9%	103 42.2%	55 22.5%	4 1.6%	10 4.1%	38 15.6%	13 5.3%	10 4.1%	11 4.5%	3 1.2%	70 28.7%	7 2.9%	40 16.4%
	不明・無回答	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	3 50.0%	2 33.3%	2 16.7%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	6~12歳	48 100.0%	18 37.5%	13 27.1%	7 14.6%	0 0.0%	2 4.2%	0 0.0%	2 4.2%	2 4.2%	1 2.1%	1 2.1%	10 20.8%	1 2.1%	5 10.4%
	13~15歳	116 100.0%	86 74.1%	54 46.6%	26 22.4%	1 0.9%	5 4.3%	23 19.8%	4 3.4%	2 1.7%	4 3.4%	2 1.7%	42 36.2%	6 5.2%	30 25.9%
	16~18歳	89 100.0%	65 73.0%	37 41.6%	24 27.0%	3 3.4%	3 3.4%	16 18.0%	7 7.9%	6 6.7%	6 6.7%	0 0.0%	21 23.6%	0 0.0%	5 5.6%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	111 73.5%	79 52.3%	35 23.2%	1 0.7%	8 5.3%	26 17.2%	6 4.0%	7 4.6%	6 4.0%	2 1.3%	53 35.1%	6 4.0%	26 17.2%
	ふつう	85 100.0%	47 55.3%	19 22.4%	17 20.0%	2 2.4%	2 2.4%	8 9.4%	5 5.9%	3 3.5%	2 2.4%	0 0.0%	15 17.6%	1 1.2%	8 9.4%
	やや高い+高い	14 100.0%	11 78.6%	7 50.0%	6 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	4 28.6%	1 7.1%	0 0.0%	3 21.4%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	5 35.7%
	不明・無回答	16 100.0%	3 18.8%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 18.8%	0 0.0%	1 6.3%
障害	障害なし	154 100.0%	99 64.3%	56 36.4%	30 19.5%	1 0.6%	4 2.6%	21 13.6%	8 5.2%	5 3.2%	7 4.5%	2 1.3%	35 22.7%	4 2.6%	22 14.3%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	46 68.7%	37 55.2%	16 23.9%	2 3.0%	3 4.5%	14 20.9%	2 3.0%	4 6.0%	1 1.5%	1 1.5%	22 32.8%	1 1.5%	9 13.4%
	知的以外の障害	23 100.0%	16 69.6%	10 43.5%	11 47.8%	1 4.3%	2 8.7%	3 13.0%	3 13.0%	1 4.3%	2 8.7%	0 0.0%	10 43.5%	1 4.3%	5 21.7%
	不明・無回答	22 100.0%	11 50.0%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	6 27.3%	1 4.5%	4 18.2%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	9 45.0%	5 25.0%	3 15.0%	0 0.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.0%	1 5.0%	2 10.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	47 64.4%	28 38.4%	14 19.2%	0 0.0%	4 5.5%	9 12.3%	3 4.1%	2 2.7%	6 8.2%	2 2.7%	17 23.3%	2 2.7%	12 16.4%
	実母のみ	17 100.0%	14 82.4%	7 41.2%	2 11.8%	1 5.9%	0 0.0%	4 23.5%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	1 5.9%	5 29.4%	0 0.0%	2 11.8%
	実母とその他家族	83 100.0%	54 65.1%	33 39.8%	22 26.5%	2 2.4%	1 1.2%	11 13.3%	3 3.6%	1 1.2%	1 1.2%	0 0.0%	25 30.1%	0 0.0%	13 15.7%
	実父のみ	9 100.0%	8 88.9%	6 66.7%	4 44.4%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	2 22.2%	2 22.2%
	実父とその他の家族	16 100.0%	10 62.5%	5 31.3%	6 37.5%	0 0.0%	1 6.3%	3 18.8%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 18.8%	1 6.3%	4 25.0%
	その他の家族形態	33 100.0%	23 69.7%	17 51.5%	6 18.2%	3 3.0%	2 6.1%	7 21.2%	3 9.1%	5 15.2%	2 6.1%	0 0.0%	15 45.5%	1 3.0%	4 12.1%
	無回答	15 100.0%	7 46.7%	5 33.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	1 6.7%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-9-1. 児童自身の課題(あてはまるものすべてに○) (続き)

	合計	いじめ被害	異性への依存	異性への嫌悪感	インターネット依存	家出・無断外泊	不安定な就労	その他	あてはまらない	わからない	無回答
合計	実数 % 100.0%	266 8.6%	23 25.6%	68 1.9%	5 21.1%	56 43.6%	116 4.1%	11 10.5%	28 9.0%	4 1.5%	7 2.6%
事例	児童買春	157 100.0%	12 7.6%	47 29.9%	4 2.5%	36 22.9%	94 59.9%	9 5.7%	9 5.7%	2 1.3%	1 0.6%
	児童ポルノ	82 100.0%	5 6.1%	12 14.6%	1 1.2%	10 12.2%	13 15.9%	2 2.4%	14 17.1%	21 25.6%	3 3.7%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	5 19.2%	9 34.6%	0 0.0%	9 34.6%	9 34.6%	0 0.0%	5 19.2%	1 3.8%	0 0.0%
	不明	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別	男	15 100.0%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	3 20.0%	5 33.3%	0 0.0%
	女	244 100.0%	20 8.2%	68 27.9%	5 2.0%	54 22.1%	114 46.7%	10 4.1%	25 10.2%	19 7.8%	4 1.6%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%
	6~12歳	48 100.0%	7 14.6%	2 4.2%	2 4.2%	5 10.4%	6 12.5%	0 0.0%	4 8.3%	15 31.3%	1 2.1%
	13~15歳	116 100.0%	12 10.3%	39 33.6%	0 0.0%	30 25.9%	54 46.6%	1 0.9%	13 11.2%	4 3.4%	1 0.9%
	16~18歳	89 100.0%	4 4.5%	26 29.2%	3 3.4%	21 23.6%	54 60.7%	9 10.1%	9 10.1%	4 4.5%	1 1.1%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	17 11.3%	43 28.5%	5 3.3%	37 24.5%	76 50.3%	7 4.6%	11 7.3%	8 5.3%	1 0.7%
	ふつう	85 100.0%	4 4.7%	20 23.5%	0 0.0%	14 16.5%	32 37.6%	4 4.7%	11 12.9%	14 16.5%	1 1.2%
	やや高い+高い	14 100.0%	2 14.3%	4 28.6%	0 0.0%	5 35.7%	4 28.6%	0 0.0%	4 28.6%	2 14.3%	0 0.0%
	不明・無回答	16 100.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 25.0%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	6 37.5%
障害	障害なし	154 100.0%	8 5.2%	38 24.7%	2 1.3%	27 17.5%	66 42.9%	3 1.9%	17 11.0%	23 14.9%	2 1.3%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	11 16.4%	21 31.3%	2 3.0%	19 28.4%	31 46.3%	4 6.0%	5 7.5%	1 1.5%	0 0.0%
	知的以外の障害	23 100.0%	3 13.0%	7 30.4%	0 0.0%	7 30.4%	12 52.2%	2 8.7%	5 21.7%	0 0.0%	0 0.0%
	不明・無回答	22 100.0%	1 4.5%	2 9.1%	1 4.5%	3 13.6%	7 31.8%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	6 27.3%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	4 20.0%	5 25.0%	0 0.0%	5 25.0%	5 25.0%	2 10.0%	2 10.0%	4 20.0%	1 5.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	6 8.2%	12 16.4%	3 4.1%	15 20.5%	29 39.7%	3 4.1%	6 8.2%	9 12.3%	0 0.0%
	実母のみ	17 100.0%	5 29.4%	4 23.5%	0 0.0%	4 23.5%	11 64.7%	0 0.0%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%
	実母とその他家族	83 100.0%	2 2.4%	23 27.7%	0 0.0%	17 20.5%	36 43.4%	2 2.4%	11 13.3%	8 9.6%	3 3.6%
	実父のみ	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	22.2%	66.7%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実父とその他の家族	16 100.0%	1 6.3%	7 43.8%	0 0.0%	4 25.0%	8 50.0%	0 0.0%	2 12.5%	2 12.5%	0 0.0%
	その他の家族形態	33 100.0%	3 9.1%	12 36.4%	1 3.0%	7 21.2%	17 51.5%	3 9.1%	4 12.1%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	15 100.0%	1 6.7%	4 26.7%	0 0.0%	2 13.3%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	7 46.7%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-9-2. 児童を取りまく環境(あてはまるものすべてに○)

	合計	保護者若年出産	保護者との分離体験	経済的困難	保護者不安定就労	ひとり親家庭	ステップファミリー	保護者DV	夫婦間不和	夫婦間以外の家族間不和	保護者心身不安定	保護者無関心	親族から孤立	地域から孤立	
合計	実数 266	20 100.0%	58 7.5%	65 21.8%	30 24.4%	96 11.3%	32 12.0%	27 10.2%	58 21.8%	31 11.7%	72 27.1%	71 26.7%	21 7.9%	18 6.8%	
事例	児童買春	157 100.0%	14 8.9%	41 26.1%	42 26.8%	19 12.1%	66 42.0%	15 9.6%	20 12.7%	39 24.8%	21 13.4%	44 28.0%	50 31.8%	14 8.9%	12 7.6%
	児童ポルノ	82 100.0%	3 3.7%	9 11.0%	17 20.7%	7 8.5%	21 25.6%	14 17.1%	4 4.9%	12 14.6%	5 6.1%	19 23.2%	11 13.4%	7 8.5%	6 7.3%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	3 11.5%	8 30.8%	6 23.1%	4 15.4%	9 34.6%	3 11.5%	3 11.5%	7 26.9%	5 19.2%	8 30.8%	10 38.5%	0 0.0%	0 0.0%
	不明	1 100.0%	0 0.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%								
性別	男	15 100.0%	0 0.0%	2 13.3%	4 26.7%	3 20.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	3 20.0%	1 6.7%	3 20.0%	4 26.7%	3 20.0%	2 13.3%
	女	244 100.0%	20 8.2%	56 23.0%	60 24.6%	27 11.1%	95 38.9%	31 12.7%	26 10.7%	55 22.5%	30 12.3%	69 28.3%	66 27.0%	18 7.4%	16 6.6%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	1 33.3%	2 16.7%	1 33.3%	2 0.0%	0 0.0%	4 66.7%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%
	6~12歳	48 100.0%	5 10.4%	10 20.8%	18 37.5%	5 10.4%	15 31.3%	4 8.3%	3 6.3%	8 16.7%	6 12.5%	17 35.4%	11 22.9%	6 12.5%	4 8.3%
	13~15歳	116 100.0%	11 9.5%	26 22.4%	27 23.3%	10 8.6%	54 46.6%	14 12.1%	13 11.2%	27 23.3%	13 11.2%	30 25.9%	30 25.9%	7 6.0%	11 9.5%
	16~18歳	89 100.0%	4 4.5%	21 23.6%	17 19.1%	13 14.6%	26 29.2%	12 13.5%	10 11.2%	21 23.6%	12 13.5%	21 23.6%	28 31.5%	7 7.9%	2 2.2%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%									
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	19 12.6%	41 27.2%	52 34.4%	21 13.9%	66 43.7%	20 13.2%	21 13.9%	38 25.2%	21 13.9%	48 31.8%	48 31.8%	13 8.6%	15 9.9%
	ふつう	85 100.0%	1 1.2%	14 16.5%	11 12.9%	8 9.4%	25 29.4%	12 14.1%	4 4.7%	13 15.3%	9 10.6%	18 21.2%	18 21.2%	5 5.9%	1 1.2%
	やや高い+高い	14 100.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	2 14.3%	6 42.9%	1 7.1%	42.9 42.9%	28.6 28.6%	1 7.1%	0 0.0%
	不明・無回答	16 100.0%	0 0.0%	2 12.5%	2 12.5%	0 0.0%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	2 12.5%	2 12.5%
障害	障害なし	154 100.0%	12 7.8%	31 20.1%	29 18.8%	15 9.7%	57 37.0%	19 12.3%	20 13.0%	35 22.7%	19 12.3%	38 24.7%	44 28.6%	9 5.8%	7 4.5%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	7 10.4%	19 28.4%	23 34.3%	9 13.4%	24 35.8%	11 16.4%	4 6.0%	18 26.9%	4 6.0%	23 34.3%	17 25.4%	7 10.4%	9 13.4%
	知的以外の障害	23 100.0%	1 4.3%	6 26.1%	9 39.1%	4 17.4%	10 43.5%	2 8.7%	2 8.7%	3 13.0%	4 17.4%	9 39.1%	5 21.7%	2 8.7%	1 4.3%
	不明・無回答	22 100.0%	0 0.0%	2 9.1%	4 18.2%	2 9.1%	5 22.7%	0 0.0%	1 4.5%	2 9.1%	4 18.2%	2 9.1%	5 22.7%	3 13.6%	1 4.5%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.0%	0 0.0%	5 25.0%	3 15.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	3 4.1%	3 4.1%	10 13.7%	7 9.6%	1 1.4%	0 0.0%	4 5.5%	27 37.0%	9 12.3%	16 21.9%	21 28.8%	4 5.5%	4 5.5%
	実母のみ	17 100.0%	0 0.0%	6 35.3%	7 41.2%	2 11.8%	15 88.2%	0 0.0%	2 11.8%	5 29.4%	0 0.0%	5 29.4%	4 23.5%	1 5.9%	4 23.5%
	実母とその他家族	83 100.0%	11 13.3%	15 18.1%	26 31.3%	15 18.1%	45 54.2%	22 26.5%	10 12.0%	7 8.4%	10 12.0%	25 30.1%	27 32.5%	7 8.4%	7 8.4%
	実父のみ	9 100.0%	0 0.0%	3 33.3%	3 33.3%	0 0.0%	8 88.9%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	4 44.4%	4 44.4%	2 22.2%	1 11.1%
	実父とその他の家族	16 100.0%	0 0.0%	7 43.8%	5 31.3%	1 6.3%	13 81.3%	2 12.5%	3 18.8%	5 31.3%	2 12.5%	4 25.0%	4 6.3%	0 0.0%	0 0.0%
	その他の家族形態	33 100.0%	4 12.1%	19 57.6%	9 27.3%	4 12.1%	11 33.3%	6 18.2%	4 12.1%	7 21.2%	9 27.3%	10 30.3%	8 24.2%	7 21.2%	2 6.1%
	無回答	15 100.0%	2 13.3%	5 33.3%	3 20.0%	1 6.7%	2 13.3%	2 13.3%	2 20.0%	3 20.0%	1 6.7%	3 20.0%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-9-2. 児童を取りまく環境(続き)

	合計	頻繁な転居	狭いまたは劣悪な住環境	その他	あてはまるものはない	わからない	無回答
合計	実数 %	266 100.0%	14 5.3%	26 9.8%	24 9.0%	20 7.5%	7 2.6%
事例	児童買春	157 100.0%	7 4.5%	19 12.1%	17 10.8%	5 3.2%	4 2.5%
	児童ポルノ	82 100.0%	4 4.9%	5 6.1%	4 4.9%	14 17.1%	3 3.7%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	2 7.7%	2 7.7%	3 11.5%	1 3.8%	0 0.0%
	不明	1 100.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別	男	15 100.0%	0 0.0%	3 20.0%	2 13.3%	5 33.3%	0 0.0%
	女	244 100.0%	13 5.3%	23 9.4%	22 9.0%	15 6.1%	7 2.9%
	不明・無回答	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%
	6~12歳	48 100.0%	5 10.4%	7 14.6%	3 6.3%	8 16.7%	1 2.1%
	13~15歳	116 100.0%	8 6.9%	11 9.5%	11 9.5%	9 7.8%	2 1.7%
	16~18歳	89 100.0%	1 1.1%	8 9.0%	10 11.2%	3 3.4%	3 3.4%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	9 6.0%	22 14.6%	11 7.3%	7 4.6%	2 1.3%
	ふつう	85 100.0%	3 3.5%	3 3.5%	11 12.9%	11 12.9%	3 3.5%
	やや高い+高い	14 100.0%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%
	不明・無回答	16 100.0%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	2 12.5%
障害	障害なし	154 100.0%	10 6.5%	15 9.7%	16 10.4%	4 10.4%	1 2.6%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	3 4.5%	6 9.0%	5 7.5%	3 4.5%	1 1.5%
	知的以外の障害	23 100.0%	0 0.0%	2 8.7%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%
	不明・無回答	22 100.0%	1 4.5%	3 13.6%	1 4.5%	0 0.0%	6 27.3%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	7 35.0%	3 15.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	2 2.7%	6 8.2%	10 13.7%	11 15.1%	3 4.1%
	実母のみ	17 100.0%	2 11.8%	1 5.9%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%
	実母とその他家族	83 100.0%	6 7.2%	13 15.7%	6 7.2%	0 0.0%	1 1.2%
	実父のみ	9 100.0%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
	実父とその他の家族	16 100.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他の家族形態	33 100.0%	1 3.0%	4 12.1%	2 6.1%	2 6.1%	0 0.0%
	無回答	15 100.0%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	7 46.7%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-10-1. 当該ケースの取り扱い状況(あてはまるものすべてに○)

	合計	終結 (市町村等に引きつ き)	終結 (完全終結)	調査中 (取り扱い中)	継続指導中	児童福祉司指導中	施設入所	里親委託中	家裁送致	訓戒・誓約	他機関あっせん	他児童相談所へ移管	その他	無回答	
合計	実数 266 100.0%	20 7.5%	34 12.8%	20 7.5%	85 32.0%	28 10.5%	56 21.1%	5 1.9%	11 4.1%	2 0.8%	4 1.5%	6 2.3%	12 4.5%	9 3.4%	
事例	児童買春	157 100.0%	9 5.7%	17 10.8%	17 35.0%	13 8.3%	26 16.6%	2 1.3%	9 5.7%	1 0.6%	0 0.0%	3 1.9%	7 4.5%	8 5.1%	
	児童ポルノ	82 100.0%	11 13.4%	12 14.6%	2 2.4%	22 26.8%	15 18.3%	17 20.7%	2 2.4%	1 1.2%	1 1.2%	2 2.4%	2 4.9%	1 1.2%	
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	0 0.0%	5 19.2%	1 3.8%	8 30.8%	0 0.0%	12 46.2%	1 3.8%	1 3.8%	0 0.0%	2 7.7%	1 3.8%	0 0.0%	
	不明	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
性別	男	15 100.0%	0 0.0%	3 20.0%	1 6.7%	4 26.7%	4 26.7%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	女	244 100.0%	20 8.2%	31 12.7%	19 7.8%	80 32.8%	24 9.8%	52 21.3%	5 2.0%	10 4.1%	1 0.4%	3 1.2%	6 2.5%	12 4.9%	3 1.2%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%	
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	
	6~12歳	48 100.0%	9 18.8%	5 10.4%	2 4.2%	11 22.9%	5 10.4%	17 35.4%	0 0.0%	2 4.2%	0 0.0%	1 2.1%	1 2.1%	3 6.3%	1 2.1%
	13~15歳	116 100.0%	2 1.7%	9 7.8%	8 6.9%	43 37.1%	18 15.5%	31 26.7%	3 2.6%	4 3.4%	2 1.7%	2 1.7%	3 2.6%	3 0.0%	0 0.0%
	16~18歳	89 100.0%	9 10.1%	19 21.3%	10 11.2%	30 33.7%	3 3.4%	7 7.9%	2 2.2%	4 4.5%	0 0.0%	1 1.1%	2 2.2%	5 5.6%	1 1.1%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	10 6.6%	13 8.6%	9 6.0%	53 35.1%	17 11.3%	37 24.5%	4 2.6%	8 5.3%	2 1.3%	2 1.3%	5 3.3%	8 5.3%	2 1.3%
	ふつう	85 100.0%	10 11.8%	16 18.8%	9 10.6%	23 27.1%	8 9.4%	15 17.6%	1 1.2%	3 3.5%	0 0.0%	2 2.4%	1 1.2%	2 2.4%	1 1.2%
	やや高い+高い	14 100.0%	0 0.0%	3 21.4%	2 14.3%	4 28.6%	1 7.1%	4 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明・無回答	16 100.0%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	5 31.3%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	6 37.5%
障害	障害なし	154 100.0%	12 7.8%	19 12.3%	13 8.4%	49 31.8%	17 11.0%	32 20.8%	3 1.9%	6 3.9%	2 1.3%	1 0.6%	5 3.2%	3 1.9%	2 1.3%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	4 6.0%	8 11.9%	4 6.0%	24 35.8%	7 10.4%	17 25.4%	2 3.0%	2 3.0%	0 0.0%	2 3.0%	0 0.0%	7 10.4%	1 1.5%
	知的以外の障害	23 100.0%	1 4.3%	2 8.7%	1 4.3%	9 39.1%	4 17.4%	6 26.1%	0 0.0%	3 13.0%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	不明・無回答	22 100.0%	3 13.6%	5 22.7%	2 9.1%	3 13.6%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	2 9.1%	6 27.3%	6 27.3%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	2 10.0%	4 20.0%	4 20.0%	2 10.0%	3 15.0%	3 15.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	5 5.0%	1 5.0%	0 0.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	8 11.0%	14 19.2%	7 9.6%	27 37.0%	9 12.3%	9 12.3%	1 1.4%	1 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	4 5.5%	0 0.0%
	実母のみ	17 100.0%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%	7 41.2%	5 29.4%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	実母とその他家族	83 100.0%	5 6.0%	11 13.3%	5 6.0%	24 28.9%	6 7.2%	23 27.7%	1 1.2%	5 6.0%	1 1.2%	3 3.6%	2 2.4%	3 3.6%	2 2.4%
	実父のみ	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	1 44.4%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%
	実父とその他の家族	16 100.0%	2 12.5%	1 6.3%	3 18.8%	5 31.3%	3 18.8%	3 12.5%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%
	その他の家族形態	33 100.0%	2 6.1%	2 6.1%	0 0.0%	15 45.5%	0 0.0%	0 27.3%	3 9.1%	3 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.0%	2 6.1%	0 0.0%
	無回答	15 100.0%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	2 13.3%	1 6.7%	3 20.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	7 46.7%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-10-2. 児童と家族に行った援助の実施状況(あてはまるものすべてに○)

	合計	来所して個別面接	家庭訪問による面接	施設訪問による面接	個別心理療法	グループ療法	精神科医療	学校訪問による面接	司法面接	一時保護・一時保護委託	警察への相談・告発	その他医療	その他	無回答	
合計	実数 % 100.0%	266 65.8%	175 36.1%	96 19.5%	52 21.1%	56 0.4%	1 13.2%	35 13.9%	37 6.4%	17 55.3%	147 20.3%	54 6.8%	18 10.2%	27 4.1%	
事例	児童買春	157 100.0%	94 59.9%	59 37.6%	24 15.3%	31 19.7%	1 0.6%	15 9.6%	24 15.3%	7 4.5%	92 58.6%	21 13.4%	13 8.3%	17 10.8%	10 6.4%
	児童ポルノ	82 100.0%	57 69.5%	25 30.5%	17 20.7%	16 19.5%	0 0.0%	11 13.4%	11 13.4%	7 8.5%	38 46.3%	22 26.8%	2 2.4%	10 12.2%	1 1.2%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	23 88.5%	12 46.2%	11 42.3%	9 34.6%	0 0.0%	9 34.6%	2 7.7%	3 11.5%	16 61.5%	11 42.3%	3 11.5%	0 0.0%	0 0.0%
	不明	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別	男	15 100.0%	11 73.3%	4 26.7%	4 26.7%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 26.7%	1 6.7%	5 33.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	女	244 100.0%	163 66.8%	91 37.3%	48 19.7%	53 21.7%	1 0.4%	35 14.3%	32 13.1%	16 6.6%	141 57.8%	53 21.7%	18 7.4%	27 11.1%	5 2.0%
	不明・無回答	7 100.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	3 50.0%	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%
	6~12歳	48 100.0%	32 66.7%	13 27.1%	17 35.4%	13 27.1%	0 0.0%	8 16.7%	6 12.5%	7 14.6%	29 60.4%	20 41.7%	3 6.3%	4 8.3%	0 0.0%
	13~15歳	116 100.0%	83 71.6%	50 43.1%	21 18.1%	30 25.9%	1 0.9%	15 12.9%	23 19.8%	6 5.2%	73 62.9%	21 18.1%	8 6.9%	7 6.0%	3 2.6%
	16~18歳	89 100.0%	57 64.0%	31 34.8%	11 12.4%	12 13.5%	0 0.0%	12 13.5%	6 6.7%	4 4.5%	43 48.3%	12 13.5%	7 7.9%	13 14.6%	1 1.1%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	106 70.2%	60 39.7%	35 23.2%	32 21.2%	1 0.7%	22 14.6%	22 4.6%	7 64.2%	97 23.8%	36 6.6%	10 9.9%	15 0.7%	1 0.0%
	ふつう	85 100.0%	55 64.7%	27 31.8%	14 16.5%	20 23.5%	0 0.0%	9 10.6%	13 15.3%	8 9.4%	43 50.6%	17 20.0%	6 7.1%	6 8.2%	2 2.4%
	やや高い+高い	14 100.0%	13 92.9%	4 28.6%	3 21.4%	4 28.6%	0 0.0%	3 21.4%	1 7.1%	2 14.3%	5 35.7%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
	不明・無回答	16 100.0%	1 6.3%	5 31.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	5 31.3%	8 50.0%
障害	障害なし	154 100.0%	106 68.8%	56 36.4%	27 17.5%	38 24.7%	0 0.0%	14 9.1%	24 15.6%	11 7.1%	87 56.5%	27 17.5%	11 7.1%	15 9.7%	3 1.9%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	45 67.2%	26 38.8%	18 26.9%	14 20.9%	1 1.5%	11 16.4%	6 9.0%	3 4.5%	39 58.2%	18 26.9%	6 9.0%	6 9.0%	1 1.5%
	知的以外の障害	23 100.0%	18 78.3%	9 39.1%	5 21.7%	4 17.4%	0 0.0%	6 26.1%	6 26.1%	3 13.0%	16 69.6%	5 21.7%	1 4.3%	1 4.3%	0 0.0%
	不明・無回答	22 100.0%	6 27.3%	5 22.7%	2 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 18.2%	1 4.5%	0 0.0%	5 22.7%	4 18.2%	0 0.0%	5 22.7%	7 31.8%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	15 75.0%	6 30.0%	2 10.0%	4 20.0%	0 0.0%	3 15.0%	4 20.0%	2 10.0%	9 45.0%	3 15.0%	1 5.0%	3 15.0%	0 0.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	55 75.3%	17 23.3%	11 15.1%	12 16.4%	0 0.0%	12 16.4%	8 11.0%	4 5.5%	35 47.9%	12 16.4%	3 4.1%	6 8.2%	1 1.4%
	実母のみ	17 100.0%	13 76.5%	10 58.8%	2 11.8%	5 29.4%	0 0.0%	2 11.8%	4 23.5%	0 0.0%	10 58.8%	1 5.9%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%
	実母とその他家族	83 100.0%	55 66.3%	36 43.4%	19 22.9%	20 24.1%	0 0.0%	11 13.3%	12 14.5%	8 9.6%	51 61.4%	23 27.7%	8 9.6%	9 10.8%	1 1.2%
	実父のみ	9 100.0%	3 33.3%	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	7 77.8%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%
	実父とその他の家族	16 100.0%	13 81.3%	10 62.5%	2 12.5%	6 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	6 37.5%	1 6.3%	11 68.8%	0 0.0%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%
	その他の家族形態	33 100.0%	17 51.5%	11 33.3%	11 33.3%	6 18.2%	1 3.0%	5 15.2%	2 6.1%	1 3.0%	18 54.5%	1 33.3%	1 3.0%	5 15.2%	2 6.1%
	無回答	15 100.0%	4 26.7%	3 20.0%	3 20.0%	2 13.3%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	2 6.7%	6 40.0%	1 13.3%	0 0.0%	1 6.7%	7 46.7%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】
問3-4-10-3.刑事事件化

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-11. 当該ケースの児童買春・児童ポルノ被害問題に
対応するうえで、困難を感じましたこと。(MA)

	合計	刑事事件化していらない	刑事事件化した	その他	無回答	合計	係 不 児 童 を 恐 れ て 語 ら な い	と 認 童 本 語 し 人 ら が 被 害 側 に と つ の い 間	る 児 童 本 語 し 人 ら が 被 害 側 に と つ の い 間	護 者 問 題 か ら が 見 発 覚 す る こ と	力 が 児 童 本 人 に な 事 態 十 分 持 つ れ る こ と	保 護 者 が 被 害 を 隠 蔽 す る	が問題 児童に発 覚する 忌避感と、 保護者
合計	実数 % 100.0%	266 37.6%	100 48.1%	128 9.0%	24 5.3%	14 100.0%	266 9.8%	26 17.3%	46 12.4%	33 12.4%	58 21.8%	23 8.6%	18 6.8%
事例	児童買春	157 100.0%	54 34.4%	81 51.6%	11 7.0%	11 7.0%	157 100.0%	10 6.4%	32 20.4%	19 12.1%	35 22.3%	6 3.8%	9 5.7%
	児童ポルノ	82 100.0%	29 35.4%	37 45.1%	13 15.9%	3 3.7%	82 100.0%	12 14.6%	10 12.2%	9 11.0%	15 18.3%	12 14.6%	6 7.3%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	17 65.4%	9 34.6%	0 0.0%	0 0.0%	26 100.0%	4 15.4%	4 15.4%	5 19.2%	8 30.8%	4 15.4%	3 11.5%
	不明	1 100.0%	0 0.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
性別	男	15 100.0%	4 26.7%	9 60.0%	2 13.3%	0 0.0%	15 100.0%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%
	女	244 100.0%	96 39.3%	118 48.4%	22 9.0%	8 3.3%	244 100.0%	25 10.2%	45 18.4%	33 13.5%	56 23.0%	22 9.0%	18 7.4%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	6 85.7%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%
	6~12歳	48 100.0%	19 39.6%	17 35.4%	11 22.9%	2 2.1%	48 100.0%	6 12.5%	9 18.8%	5 10.4%	11 22.9%	10 20.8%	1 2.1%
	13~15歳	116 100.0%	46 39.7%	61 52.6%	6 5.2%	3 2.6%	116 100.0%	11 9.5%	21 18.1%	14 12.1%	31 26.7%	8 6.9%	10 8.6%
	16~18歳	89 100.0%	34 38.2%	45 50.6%	7 7.9%	3 3.4%	89 100.0%	8 9.0%	15 16.9%	14 15.7%	13 14.6%	3 3.4%	7 7.9%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	60 39.7%	78 51.7%	8 5.3%	5 3.3%	151 100.0%	17 11.3%	36 23.8%	17 11.3%	44 29.1%	14 9.3%	9 6.0%
	ふつう	85 100.0%	34 40.0%	35 41.2%	14 16.5%	2 2.4%	85 100.0%	8 9.4%	6 7.1%	13 15.3%	9 10.6%	5 5.9%	7 8.2%
	やや高い+高い	14 100.0%	3 21.4%	10 71.4%	1 7.1%	0 0.0%	14 100.0%	1 7.1%	3 21.4%	3 21.4%	2 14.3%	2 14.3%	1 7.1%
	不明・無回答	16 100.0%	3 18.8%	5 31.3%	1 6.3%	43.8% 100.0%	16 100.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	3 18.8%	2 12.5%	1 6.3%
障害	障害なし	154 100.0%	56 36.4%	77 50.0%	17 11.0%	4 2.6%	154 100.0%	15 9.7%	28 18.2%	23 14.9%	24 15.6%	13 8.4%	10 6.5%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	30 44.8%	32 47.8%	2 3.0%	3 4.5%	67 100.0%	8 11.9%	12 17.9%	8 11.9%	24 35.8%	6 9.0%	5 7.5%
	知的以外の障害	23 100.0%	8 34.8%	12 52.2%	3 13.0%	0 0.0%	23 100.0%	2 8.7%	5 21.7%	5 8.7%	5 21.7%	3 13.0%	2 8.7%
	不明・無回答	22 100.0%	6 27.3%	7 31.8%	2 9.1%	7 31.8%	22 100.0%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	5 22.7%	1 4.5%	1 4.5%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	7 35.0%	8 40.0%	4 20.0%	1 5.0%	20 100.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%	3 15.0%	2 10.0%	1 5.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	27 37.0%	34 46.6%	10 13.7%	2 2.7%	73 100.0%	10 13.7%	9 12.3%	12 16.4%	18 24.7%	6 8.2%	7 9.6%
	実母のみ	17 100.0%	3 17.6%	13 76.5%	1 5.9%	0 0.0%	17 100.0%	2 11.8%	1 5.9%	1 5.9%	2 11.8%	2 23.5%	0 0.0%
	実母とその他家族	83 100.0%	38 45.8%	37 44.6%	5 6.0%	3 3.6%	83 100.0%	6 7.2%	15 18.1%	14 16.9%	17 20.5%	7 8.4%	6 7.2%
	実父のみ	9 100.0%	4 44.4%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	実父とその他の家族	16 100.0%	6 37.5%	9 56.3%	1 6.3%	0 0.0%	16 100.0%	1 6.3%	3 18.8%	1 6.3%	3 18.8%	3 18.8%	0 0.0%
	その他の家族形態	33 100.0%	13 39.4%	17 51.5%	2 6.1%	1 3.0%	33 100.0%	6 18.2%	13 39.4%	2 6.1%	10 30.3%	1 3.0%	3 9.1%
	無回答	15 100.0%	2 13.3%	6 40.0%	0 0.0%	7 46.7%	15 100.0%	1 6.7%	4 26.7%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	7 6.7%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

困難 <続き>

	合計	保護者が問題に向き合わない場合や、わが家族の間で意見	する児童かかどい指を被う対害者混象者とし生じて対応する	のはガイ童ドラノイノン被春所と内するしなく	童買春、福祉司自身が害被所内するわからぬ	児童から被害を聞き取る適切な方法がわからぬ	その他	困難を感じたことはな	わからない	無回答
合計	実数 266	72 100.0%	29 27.1%	56 10.9%	7 21.1%	6 2.6%	24 2.3%	59 9.0%	11 22.2%	10 4.1%
事例	児童買春	157 100.0%	45 28.7%	19 12.1%	43 27.4%	3 1.9%	5 3.2%	12 7.6%	34 21.7%	3 1.9%
	児童ポルノ	82 100.0%	23 28.0%	7 8.5%	8 9.8%	2 2.4%	0 0.0%	9 11.0%	19 23.2%	7 8.5%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	3 11.5%	3 11.5%	5 19.2%	2 7.7%	1 3.8%	3 11.5%	6 23.1%	1 3.8%
	不明	1 100.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別	男	15 100.0%	2 13.3%	1 6.7%	2 13.3%	1 6.7%	0 0.0%	3 20.0%	4 26.7%	1 6.7%
	女	244 100.0%	70 28.7%	28 11.5%	54 22.1%	6 2.5%	6 2.5%	21 8.6%	55 22.5%	10 4.1%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%
	6~12歳	48 100.0%	13 27.1%	5 10.4%	6 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 8.3%	9 18.8%	3 6.3%
	13~15歳	116 100.0%	38 32.8%	15 12.9%	23 19.8%	4 3.4%	2 1.7%	14 12.1%	24 20.7%	5 4.3%
	16~18歳	89 100.0%	19 21.3%	8 9.0%	26 29.2%	3 3.4%	3 3.4%	6 6.7%	24 27.0%	3 3.4%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	46 30.5%	21 13.9%	34 22.5%	4 2.6%	4 2.6%	12 7.9%	38 25.2%	2 1.3%
	ふつう	85 100.0%	19 22.4%	6 7.1%	17 20.0%	3 3.5%	2 2.4%	10 11.8%	14 16.5%	9 10.6%
	やや高い+高い	14 100.0%	3 21.4%	2 14.3%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	5 35.7%	0 0.0%
	不明・無回答	16 100.0%	4 25.0%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%
障害	障害なし	154 100.0%	47 30.5%	17 11.0%	31 20.1%	6 3.9%	4 2.6%	13 8.4%	31 20.1%	9 7.1%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	17 25.4%	9 13.4%	14 20.9%	0 0.0%	1 1.5%	4 6.0%	20 29.9%	0 0.0%
	知的以外の障害	23 100.0%	5 21.7%	2 8.7%	5 21.7%	1 4.3%	0 0.0%	5 21.7%	5 21.7%	0 0.0%
	不明・無回答	22 100.0%	3 13.6%	1 4.5%	6 27.3%	0 0.0%	1 4.5%	2 9.1%	3 13.6%	0 0.0%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 30.0%	1 5.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	20 27.4%	12 16.4%	11 15.1%	3 4.1%	2 2.7%	10 13.7%	15 20.5%	3 4.1%
	実母のみ	17 100.0%	8 47.1%	2 11.8%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 17.6%	2 11.8%
	実母とその他家族	83 100.0%	28 33.7%	9 10.8%	18 21.7%	3 3.6%	3 3.6%	7 8.4%	19 22.9%	5 6.0%
	実父のみ	9 100.0%	4 44.4%	1 11.1%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%
	実父とその他の家族	16 100.0%	4 25.0%	1 6.3%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	3 18.8%	0 0.0%
	その他の家族形態	33 100.0%	5 15.2%	3 9.1%	13 39.4%	0 0.0%	0 0.0%	5 15.2%	9 27.3%	0 0.0%
	無回答	15 100.0%	3 20.0%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	7 46.7%

<案件>

【児童買春・児童ポルノ被害問題に必要な社会資源(MA)

	合計	児童ポルノ去する協力機関、画像消	児童買春・児童ポルノ被害に関する身近な相談機関	法的に定められたシエル	性被害に遭った児童	の性暴力被害を受ける児童(性の教育ため)	妊娠した児童を一時保護で	児童買春ガ・児童ポルノ被害	その他	必要と考える社会資源はない	わからない	無回答
合計	実数 % 100.0%	266 18.4%	49 36.1%	96 12.4%	33 33.5%	89 60.5%	161 12.0%	32 28.6%	76 6.4%	17 1.5%	4 4.9%	9 3.4%
事例	児童買春	157 100.0%	11 7.0%	49 31.2%	22 14.0%	51 32.5%	99 63.1%	20 12.7%	33 21.0%	10 6.4%	3 1.9%	7 4.5%
	児童ポルノ	82 100.0%	26 31.7%	34 41.5%	8 9.8%	26 31.7%	45 54.9%	9 11.0%	33 40.2%	5 6.1%	1 1.2%	6 7.3%
	買春・ポルノ複合	26 100.0%	11 42.3%	12 46.2%	3 11.5%	12 46.2%	65.4% 65.4%	17 11.5%	3 38.5%	10 7.7%	0 0.0%	0 0.0%
	不明	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
性別	男	15 100.0%	8 53.3%	6 40.0%	3 20.0%	6 40.0%	9 60.0%	3 20.0%	6 40.0%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%
	女	244 100.0%	41 16.8%	90 36.9%	30 12.3%	83 34.0%	151 61.9%	29 11.9%	69 28.3%	16 6.6%	4 1.6%	12 4.9%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%
年齢4分	1~5歳	6 100.0%	3 50.0%	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	6~12歳	48 100.0%	11 22.9%	16 33.3%	5 10.4%	15 31.3%	23 47.9%	10 10.4%	19 39.6%	3 6.3%	0 0.0%	3 6.3%
	13~15歳	116 100.0%	27 23.3%	47 40.5%	10 8.6%	44 37.9%	83 71.6%	11 9.5%	36 31.0%	6 5.2%	3 2.6%	4 3.4%
	16~18歳	89 100.0%	8 9.0%	29 32.6%	17 19.1%	29 32.6%	53 59.6%	14 15.7%	19 21.3%	8 9.0%	1 1.1%	6 6.7%
	不明・無回答	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
学力3分類	低い+やや	151 100.0%	25 16.6%	59 39.1%	22 14.6%	50 33.1%	97 64.2%	19 12.6%	43 28.5%	11 7.3%	1 0.7%	9 6.0%
	ふつう	85 100.0%	13 15.3%	27 31.8%	9 10.6%	27 31.8%	48 56.5%	9 10.6%	23 27.1%	5 5.9%	3 3.5%	3 3.5%
	やや高い+高い	14 100.0%	8 57.1%	7 50.0%	1 7.1%	7 50.0%	9 64.3%	2 14.3%	6 42.9%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%
	不明・無回答	16 100.0%	3 18.8%	3 18.8%	1 6.3%	5 31.3%	7 43.8%	2 12.5%	4 25.0%	0 0.0%	1 6.3%	6 37.5%
障害	障害なし	154 100.0%	33 21.4%	55 35.7%	19 12.3%	54 35.1%	95 61.7%	18 11.7%	50 32.5%	12 7.8%	3 1.9%	7 4.5%
	知的+知的境界域を含む障害	67 100.0%	13 19.4%	29 43.3%	10 14.9%	22 32.8%	42 62.7%	7 10.4%	15 22.4%	2 3.0%	1 1.5%	2 3.0%
	知的以外の障害	23 100.0%	1 4.3%	7 30.4%	1 4.3%	7 30.4%	15 65.2%	3 13.0%	3 13.0%	2 8.7%	0 0.0%	1 13.0%
	不明・無回答	22 100.0%	2 9.1%	5 22.7%	3 13.6%	6 27.3%	9 40.9%	4 18.2%	8 36.4%	1 4.5%	0 0.0%	6 27.3%
家族の形態	実母と実父のみ	20 100.0%	6 30.0%	6 30.0%	1 5.0%	6 30.0%	12 60.0%	1 5.0%	7 35.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%
	実母と実父、その他家族	73 100.0%	20 27.4%	29 39.7%	9 12.3%	31 42.5%	46 63.0%	10 13.7%	28 38.4%	5 6.8%	0 0.0%	1 1.4%
	実母のみ	17 100.0%	3 17.6%	5 29.4%	2 11.8%	4 23.5%	9 52.9%	1 5.9%	2 11.8%	1 5.9%	2 11.8%	0 0.0%
	実母とその他家族	83 100.0%	12 14.5%	26 31.3%	11 13.3%	28 33.7%	52 62.7%	10 12.0%	19 22.9%	6 7.2%	2 2.4%	7 8.4%
	実父のみ	9 100.0%	2 22.2%	5 55.6%	1 11.1%	4 44.4%	7 77.8%	1 11.1%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	0 11.1%
	実父とその他の家族	16 100.0%	1 6.3%	9 56.3%	0 0.0%	3 18.8%	7 43.8%	7 6.3%	10 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%
	その他の家族形態	33 100.0%	5 15.2%	15 45.5%	8 24.2%	11 33.3%	22 66.7%	22 21.2%	10 30.3%	3 9.1%	0 0.0%	1 3.0%
	無回答	15 100.0%	0 0.0%	0 6.7%	1 6.7%	1 13.3%	2 40.0%	6 6.7%	3 20.0%	1 6.7%	0 0.0%	7 6.7%

<案件>

問3-1. 把握事例

【児童買春】

問3-2 (a) 買春した者

	合計	児童買春	児童ボルノ	合 児童ボルノ、児童買春複	無回答	児童買春該当数	家族	18歳以上 の個人 (家族)	18歳未満の児童	その他	不明	無回答
合計 実数 %	266 100.0%	157 59.0%	82 30.8%	26 9.8%	1 0.4%	183 100.0%	11 6.0%	136 74.3%	19 10.4%	6 3.3%	13 7.1%	4 2.2%
つないだ機関_警察	142 100.0%	91 64.1%	40 28.2%	10 7.0%	1 0.7%	101 100.0%	3 3.0%	77 76.2%	11 10.9%	1 1.0%	10 9.9%	2 2.0%
非該当	124 100.0%	66 53.2%	42 33.9%	16 12.9%	0 0.0%	82 100.0%	8 9.8%	59 72.0%	8 9.8%	5 6.1%	3 3.7%	2 2.4%
つないだ機関_学校	54 100.0%	31 57.4%	20 37.0%	3 5.6%	0 0.0%	34 100.0%	2 5.9%	28 82.4%	2 5.9%	0 0.0%	3 8.8%	0 0.0%
非該当	212 100.0%	126 59.4%	62 29.2%	23 10.8%	1 0.5%	149 100.0%	9 6.0%	108 72.5%	17 11.4%	6 4.0%	10 6.7%	4 2.7%
生活課題_親子関係不調	172 100.0%	129 75.0%	24 14.0%	18 10.5%	1 0.6%	147 100.0%	6 4.1%	112 76.2%	18 12.2%	4 2.7%	9 6.1%	4 2.7%
非該当	94 100.0%	28 29.8%	58 61.7%	8 8.5%	0 0.0%	36 100.0%	5 13.9%	24 66.7%	1 2.8%	2 5.6%	4 11.1%	0 0.0%
生活課題_低い自己肯定感評価	106 100.0%	77 72.6%	21 19.8%	7 6.6%	1 0.9%	84 100.0%	2 2.4%	69 82.1%	6 7.1%	2 2.4%	5 6.0%	2 2.4%
非該当	160 100.0%	80 50.0%	61 38.1%	19 11.9%	0 0.0%	99 100.0%	9 9.1%	67 67.7%	13 13.1%	4 4.0%	8 8.1%	2 2.0%
生活課題_感情不安定	58 100.0%	38 65.5%	13 22.4%	7 12.1%	0 0.0%	45 100.0%	2 4.4%	36 80.0%	5 11.1%	1 2.2%	3 6.7%	0 0.0%
非該当	208 100.0%	119 57.2%	69 33.2%	19 9.1%	1 0.5%	138 100.0%	9 6.5%	100 72.5%	14 10.1%	5 3.6%	10 7.2%	4 2.9%
生活課題_不登校	73 100.0%	52 71.2%	12 16.4%	9 12.3%	0 0.0%	61 100.0%	1 1.6%	49 80.3%	8 13.1%	1 1.6%	4 6.6%	1 1.6%
非該当	193 100.0%	105 54.4%	70 36.3%	17 8.8%	1 0.5%	122 100.0%	10 8.2%	87 71.3%	11 9.0%	5 4.1%	9 7.4%	3 2.5%
生活課題_異性への依存	68 100.0%	47 69.1%	12 17.6%	9 13.2%	0 0.0%	56 100.0%	1 1.8%	47 83.9%	6 10.7%	1 1.8%	3 5.4%	1 1.8%
非該当	198 100.0%	110 55.6%	70 35.4%	17 8.6%	1 0.5%	127 100.0%	10 7.9%	89 70.1%	13 10.2%	5 3.9%	10 7.9%	3 2.4%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56 100.0%	36 64.3%	10 17.9%	9 16.1%	1 1.8%	45 100.0%	1 2.2%	40 88.9%	4 8.9%	0 0.0%	2 4.4%	1 2.2%
非該当	210 100.0%	121 57.6%	72 34.3%	17 8.1%	0 0.0%	138 100.0%	10 7.2%	96 69.6%	15 10.9%	6 4.3%	11 8.0%	3 2.2%
生活課題_家出・無断外泊	116 100.0%	94 81.0%	13 11.2%	9 7.8%	0 0.0%	103 100.0%	0 0.0%	82 79.6%	10 9.7%	3 2.9%	10 9.7%	2 1.9%
非該当	150 100.0%	63 42.0%	69 46.0%	17 11.3%	1 0.7%	80 100.0%	11 13.8%	54 67.5%	9 11.3%	3 3.8%	3 3.8%	2 2.5%
児童環境_保護者分離体験	58 100.0%	41 70.7%	9 15.5%	8 13.8%	0 0.0%	49 100.0%	3 6.1%	32 65.3%	9 18.4%	1 2.0%	4 8.2%	1 2.0%
非該当	208 100.0%	116 55.8%	73 35.1%	18 8.7%	1 0.5%	134 100.0%	8 6.0%	104 77.6%	10 7.5%	3 3.7%	9 6.7%	3 2.2%
児童環境_経済的困難	65 100.0%	42 64.6%	17 26.2%	6 9.2%	0 0.0%	48 100.0%	3 6.3%	34 70.8%	5 10.4%	3 6.3%	3 6.3%	1 2.1%
非該当	201 100.0%	115 57.2%	65 32.3%	20 10.0%	1 0.5%	135 100.0%	8 5.9%	102 75.6%	14 10.4%	3 2.2%	10 7.4%	3 2.2%
児童環境_ひとり親家庭	96 100.0%	66 68.8%	21 21.9%	9 9.4%	0 0.0%	75 100.0%	3 4.0%	57 76.0%	10 13.3%	3 4.0%	5 6.7%	1 1.3%
非該当	170 100.0%	91 53.5%	61 35.9%	17 10.0%	1 0.6%	108 100.0%	8 7.4%	79 73.1%	9 8.3%	3 2.8%	8 7.4%	3 2.8%
児童環境_夫婦間不和	58 100.0%	39 67.2%	12 20.7%	7 12.1%	0 0.0%	46 100.0%	4 8.7%	35 76.1%	6 13.0%	1 2.2%	4 8.7%	0 0.0%
非該当	208 100.0%	118 56.7%	70 33.7%	19 9.1%	1 0.5%	137 100.0%	7 5.1%	101 73.7%	13 9.5%	5 3.6%	9 6.6%	4 2.9%
児童環境_保護者心身不安定	72 100.0%	44 61.1%	19 26.4%	8 11.1%	1 1.4%	52 100.0%	2 3.8%	41 78.8%	5 9.6%	1 1.9%	3 5.8%	2 3.8%
非該当	194 100.0%	113 58.2%	63 32.5%	18 9.3%	0 0.0%	131 100.0%	9 6.9%	95 72.5%	14 10.7%	5 3.8%	10 7.6%	2 1.5%
児童環境_保護者無関心	71 100.0%	50 70.4%	11 15.5%	10 14.1%	0 0.0%	60 100.0%	1 1.7%	48 80.0%	6 10.0%	1 1.7%	4 6.7%	2 3.3%
非該当	195 100.0%	107 54.9%	71 36.4%	16 8.2%	1 0.5%	123 100.0%	10 8.1%	88 71.5%	13 10.6%	5 4.1%	9 7.3%	2 1.6%

<案件>

【児童買春】

問3-2 (b) 買春者と接触したきっかけ

【児童買春】

問3-2 (c) 買春の対償

児童買春該当数	SNS を通じてアピ リ等ネット	J C ・ J K ビジネス	家族による斡旋	交際相手・知人・友人によ るあつせん	その他	不明	無回答	児童買春該当数	食事	宿泊	金品	その他	不明	無回答		
合計 実数 %	183 100.0%	108 59.0%	6 3.3%	11 6.0%	28 15.3%	30 16.4%	10 5.5%	3 1.6%	183 100.0%	38 20.8%	44 24.0%	124 67.8%	14 7.7%	15 8.2%	8 4.4%	
つないだ機関_警察	101 100.0%	66 65.3%	6 5.9%	2 2.0%	18 17.8%	11 10.9%	5 5.0%	2 2.0%	101 100.0%	21 20.8%	31 30.7%	75 74.3%	2 2.0%	4 4.0%	5 5.0%	
非該当	82 100.0%	42 51.2%	0 0.0%	9 11.0%	10 12.2%	19 23.2%	5 6.1%	1 1.2%	82 100.0%	17 20.7%	13 15.9%	49 59.8%	12 14.6%	11 13.4%	3 3.7%	
つないだ機関_学校	34 100.0%	18 52.9%	0 0.0%	1 2.9%	6 17.6%	11 32.4%	1 2.9%	0 0.0%	34 100.0%	5 14.7%	6 17.6%	25 73.5%	3 8.8%	5 14.7%	0 0.0%	
非該当	149 100.0%	90 60.4%	6 4.0%	6 6.7%	10 14.8%	22 12.8%	9 6.0%	3 2.0%	149 100.0%	33 22.1%	38 25.5%	99 66.4%	11 7.4%	10 6.7%	8 5.4%	
生活課題_親子関係不調	147 100.0%	92 62.6%	4 2.7%	6 4.1%	21 14.3%	25 17.0%	7 4.8%	3 2.0%	147 100.0%	27 18.4%	36 24.5%	107 72.8%	7 4.8%	12 8.2%	6 4.1%	
非該当	36 100.0%	16 44.4%	2 5.6%	5 13.9%	7 19.4%	5 13.9%	3 8.3%	0 0.0%	36 100.0%	11 30.6%	8 22.2%	17 47.2%	7 19.4%	3 8.3%	2 5.6%	
生活課題_低い自己肯定感評価	84 100.0%	55 65.5%	3 3.6%	3 3.6%	11 13.1%	14 16.7%	2 2.4%	1 1.2%	84 100.0%	22 26.2%	20 23.8%	68 81.0%	4 4.8%	4 4.8%	2 2.4%	
非該当	99 100.0%	53 53.5%	3 3.0%	8 8.1%	17 17.2%	16 16.2%	8 8.1%	2 2.0%	99 100.0%	16 16.2%	24 24.2%	56 56.6%	10 10.1%	11 11.1%	6 6.1%	
生活課題_感情不安定	45 100.0%	26 57.8%	1 2.2%	1 2.2%	10 22.2%	8 17.8%	2 4.4%	0 0.0%	45 100.0%	10 22.2%	14 31.1%	32 71.1%	4 8.9%	6 13.3%	0 0.0%	
非該当	138 100.0%	82 59.4%	5 3.6%	10 7.2%	18 13.0%	22 15.9%	8 5.8%	3 2.2%	138 100.0%	28 20.3%	30 21.7%	92 66.7%	10 7.2%	9 6.5%	8 5.8%	
生活課題_不登校	61 100.0%	38 62.3%	0 0.0%	1 1.6%	10 16.4%	14 23.0%	3 4.9%	1 1.6%	61 100.0%	17 27.9%	17 27.9%	44 72.1%	4 6.6%	3 4.9%	1 1.6%	
非該当	122 100.0%	70 57.4%	6 4.9%	10 8.2%	18 14.8%	16 13.1%	7 5.7%	2 1.6%	122 100.0%	21 17.2%	27 22.1%	80 65.6%	10 8.2%	12 9.8%	7 5.7%	
生活課題_異性への依存	56 100.0%	39 69.6%	1 1.8%	1 1.8%	10 17.9%	7 12.5%	4 7.1%	0 0.0%	56 100.0%	14 25.0%	15 26.8%	39 69.6%	2 3.6%	8 14.3%	1 1.8%	
非該当	127 100.0%	69 54.3%	5 3.9%	10 7.9%	18 14.2%	23 18.1%	6 4.7%	3 2.4%	127 100.0%	24 18.9%	29 22.8%	85 66.9%	12 9.4%	7 5.5%	7 5.5%	
生活課題_インターネット上 人間関係依存	45 100.0%	43 95.6%	2 4.4%	0 0.0%	4 8.9%	2 4.4%	0 0.0%	2 2.2%	45 100.0%	18 40.0%	20 44.4%	32 71.1%	0 0.0%	2 4.4%	2 4.4%	
非該当	138 100.0%	65 47.1%	4 2.9%	11 8.0%	24 17.4%	28 20.3%	10 7.2%	2 1.4%	138 100.0%	20 14.5%	24 17.4%	92 66.7%	14 10.1%	13 9.4%	6 4.3%	
生活課題_家出・無断外泊	103 100.0%	63 61.2%	6 5.8%	2 1.9%	21 20.4%	12 11.7%	8 7.8%	1 1.0%	103 100.0%	22 100.0%	29 21.4%	73 28.2%	2 1.9%	10 9.7%	3 2.9%	
非該当	80 100.0%	45 56.3%	0 0.0%	9 11.3%	7 8.8%	18 22.5%	2 2.5%	2 2.5%	80 100.0%	16 20.0%	15 18.8%	51 63.8%	12 15.0%	5 6.3%	5 6.3%	
児童環境_保護者分離体験	49 100.0%	27 55.1%	3 6.1%	4 8.2%	5 10.2%	11 22.4%	2 4.1%	0 0.0%	49 100.0%	0 100.0%	4 22.4%	42 20.4%	4 85.7%	3 8.2%	3 6.1%	0 0.0%
非該当	134 100.0%	81 60.4%	3 2.2%	7 5.2%	23 17.2%	19 14.2%	8 6.0%	3 2.2%	134 100.0%	27 20.1%	34 25.4%	82 61.2%	10 7.5%	12 9.0%	8 6.0%	
児童環境_経済的困難	48 100.0%	23 47.9%	0 0.0%	5 10.4%	7 14.6%	16 33.3%	0 0.0%	1 2.1%	48 100.0%	10 20.8%	11 22.9%	35 72.9%	3 6.3%	2 4.2%	3 6.3%	
非該当	135 100.0%	85 63.0%	6 4.4%	6 4.4%	21 15.6%	14 10.4%	10 7.4%	2 1.5%	135 100.0%	28 20.7%	33 24.4%	89 65.9%	11 8.1%	13 9.6%	5 3.7%	
児童環境_ひとり親家庭	75 100.0%	41 54.7%	1 1.3%	5 6.7%	10 13.3%	20 26.7%	1 1.3%	1 1.3%	75 100.0%	20 26.7%	18 24.0%	49 65.3%	6 8.0%	4 5.3%	2 2.7%	
非該当	108 100.0%	67 62.0%	5 4.6%	6 5.6%	18 16.7%	10 9.3%	9 8.3%	2 1.9%	108 100.0%	18 16.7%	26 24.1%	75 69.4%	8 7.4%	11 10.2%	6 5.6%	
児童環境_夫婦間不和	46 100.0%	27 58.7%	3 6.5%	2 4.3%	5 10.9%	8 17.4%	2 4.3%	0 0.0%	46 100.0%	0 100.0%	12 26.1%	13 28.3%	33 71.7%	3 6.5%	4 8.7%	1 2.2%
非該当	137 100.0%	81 59.1%	3 2.2%	9 6.6%	23 16.8%	22 16.1%	8 5.8%	3 2.2%	137 100.0%	26 19.0%	31 22.6%	91 66.4%	11 8.0%	11 8.0%	7 5.1%	
児童環境_保護者心身不安定	52 100.0%	30 57.7%	3 5.8%	2 3.8%	10 19.2%	10 19.2%	1 1.9%	2 3.8%	52 100.0%	8 15.4%	8 15.4%	40 76.9%	5 9.6%	5 5.8%	4 7.7%	
非該当	131 100.0%	78 59.5%	3 2.3%	9 6.9%	18 13.7%	20 15.3%	9 6.9%	1 0.8%	131 100.0%	30 22.9%	36 27.5%	84 64.1%	9 6.9%	12 9.2%	4 3.1%	
児童環境_保護者無関心	60 100.0%	36 60.0%	1 1.7%	3 5.0%	10 16.7%	12 20.0%	3 5.0%	1 1.7%	60 100.0%	6 10.0%	6 10.0%	41 68.3%	5 8.3%	6 10.0%	4 6.7%	
非該当	123 100.0%	72 58.5%	5 4.1%	8 6.5%	18 14.6%	18 14.6%	7 5.7%	2 1.6%	123 100.0%	32 26.0%	38 30.9%	83 67.5%	9 7.3%	9 7.3%	4 3.3%	

<案件>

【児童買春】
問3-2 (d) 行動

児童買春該当数	性交、性交類似行為	相手方が児童をさわる	相手方が自己をさわらせる	下着を売る	金品と引き換えに茶をしているデータや	その他	不明	無回答
合計 実数 % 183 100.0%	153 83.6%	121 66.1%	102 55.7%	1 0.5%	9 4.9%	0 0.0%	6 3.3%	4 2.2%
つないだ機関_警察 非該当	101 100.0%	89 88.1%	66 65.3%	57 56.4%	1 1.0%	5 5.0%	0 0.0%	2 2.0%
	82 100.0%	64 78.0%	55 67.1%	45 54.9%	0 0.0%	4 4.9%	0 0.0%	4 4.9%
つないだ機関_学校 非該当	34 100.0%	25 73.5%	22 64.7%	13 38.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.9%
	149 100.0%	128 85.9%	99 66.4%	89 59.7%	1 0.7%	9 6.0%	0 0.0%	4 2.7%
生活課題_親子関係不調 非該当	147 100.0%	123 83.7%	96 65.3%	78 53.1%	1 0.7%	6 4.1%	0 0.0%	4 2.7%
	36 100.0%	30 83.3%	25 69.4%	24 66.7%	0 0.0%	3 8.3%	0 0.0%	2 5.6%
生活課題_低い自己肯定感評価 非該当	84 100.0%	74 88.1%	58 69.0%	49 58.3%	0 0.0%	6 7.1%	0 0.0%	2 2.4%
	99 100.0%	79 79.8%	63 63.6%	53 53.5%	1 1.0%	3 3.0%	0 0.0%	4 4.0%
生活課題_感情不安定 非該当	45 100.0%	39 86.7%	33 73.3%	24 53.3%	0 0.0%	2 4.4%	0 0.0%	1 2.2%
	138 100.0%	114 82.6%	88 63.8%	78 56.5%	1 0.7%	7 5.1%	0 0.0%	5 3.6%
生活課題_不登校 非該当	61 100.0%	54 88.5%	42 68.9%	39 63.9%	0 0.0%	7 11.5%	0 0.0%	1 1.6%
	122 100.0%	99 81.1%	79 64.8%	63 51.6%	1 0.8%	2 1.6%	0 0.0%	5 4.1%
生活課題_異性への依存 非該当	56 100.0%	50 89.3%	37 66.1%	33 58.9%	0 0.0%	2 3.6%	0 0.0%	3 5.4%
	127 100.0%	103 81.1%	84 66.1%	69 54.3%	1 0.8%	7 5.5%	0 0.0%	3 2.4%
生活課題_インターネット上人間関係依存 非該当	45 100.0%	42 93.3%	34 75.6%	30 66.7%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%
	138 100.0%	111 80.4%	87 63.0%	72 52.2%	1 0.7%	8 5.8%	0 0.0%	6 4.3%
生活課題_家出・無断外泊 非該当	103 100.0%	87 84.5%	65 63.1%	56 54.4%	1 1.0%	6 5.8%	0 0.0%	4 3.9%
	80 100.0%	66 82.5%	56 70.0%	46 57.5%	0 0.0%	3 3.8%	0 0.0%	2 2.5%
児童環境_保護者分離体験 非該当	49 100.0%	39 79.6%	36 73.5%	28 57.1%	1 2.0%	4 8.2%	0 0.0%	1 2.0%
	134 100.0%	114 85.1%	85 63.4%	74 55.2%	0 0.0%	5 3.7%	0 0.0%	4 3.0%
児童環境_経済的困難 非該当	48 100.0%	35 72.9%	40 83.3%	29 60.4%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%
	135 100.0%	118 87.4%	81 60.0%	73 54.1%	1 0.7%	8 5.9%	0 0.0%	6 4.4%
児童環境_ひとり親家庭 非該当	75 100.0%	60 80.0%	52 69.3%	41 54.7%	0 0.0%	4 5.3%	0 0.0%	1 1.3%
	108 100.0%	93 86.1%	69 63.9%	61 56.5%	1 0.9%	5 4.6%	0 0.0%	3 4.6%
児童環境_夫婦間不和 非該当	46 100.0%	37 80.4%	32 69.6%	25 54.3%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.3%
	137 100.0%	116 84.7%	89 65.0%	77 56.2%	0 0.0%	9 6.6%	0 0.0%	3 2.2%
児童環境_保護者心身不安定 非該当	52 100.0%	42 80.8%	33 63.5%	28 53.8%	0 0.0%	4 7.7%	0 0.0%	2 3.8%
	131 100.0%	111 84.7%	88 67.2%	74 56.5%	0 0.8%	9 3.8%	0 0.0%	1 3.1%
児童環境_保護者無関心 非該当	60 100.0%	48 80.0%	39 65.0%	33 55.0%	0 0.0%	3 5.0%	0 0.0%	2 3.3%
	123 100.0%	105 85.4%	82 66.7%	69 56.1%	1 0.8%	6 4.9%	0 0.0%	2 3.3%

<案件>

【児童ボルノ】

問3-3. (a) 撮影を行った者

児童ボルノ 計	本人	交際相手 (1 8 歳 未 満)	交際相手 (1 8 歳 以 上)	家族	買春者	法人	18歳未満の児童	相手1 ・8 歳 家 族 以 上 買 春 の 個 人 除 く 交 際	その 他	不 明	無 回 答	
合計 実数 %	108 100.0%	26 24.1%	3 2.8%	8 7.4%	31 28.7%	10 9.3%	0 0.0%	18 16.7%	15 13.9%	5 4.6%	2 1.9%	4 3.7%
つないだ機関_警察	50 100.0%	14 28.0%	2 4.0%	1 2.0%	10 20.0%	4 8.0%	0 0.0%	13 26.0%	3 6.0%	3 6.0%	1 2.0%	2 4.0%
非該当	58 100.0%	12 20.7%	1 1.7%	7 12.1%	21 36.2%	6 10.3%	0 0.0%	5 8.6%	12 20.7%	2 3.4%	1 1.7%	2 3.4%
つないだ機関_学校	23 100.0%	6 26.1%	0 0.0%	1 4.3%	7 30.4%	1 4.3%	0 0.0%	3 13.0%	6 26.1%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%
非該当	85 100.0%	20 23.5%	3 3.5%	7 8.2%	24 28.2%	9 10.6%	0 0.0%	15 17.6%	9 10.6%	3 3.5%	1 1.2%	4 4.7%
生活課題_親子関係不調	42 100.0%	13 31.0%	1 2.4%	4 9.5%	5 11.9%	8 19.0%	0 0.0%	4 9.5%	6 14.3%	3 7.1%	2 4.8%	3 7.1%
非該当	66 100.0%	13 19.7%	2 3.0%	4 6.1%	26 39.4%	2 3.0%	0 0.0%	14 21.2%	9 13.6%	2 3.0%	0 0.0%	1 1.5%
生活課題_低い自己肯定感評価	28 100.0%	11 39.3%	0 0.0%	1 3.6%	5 17.9%	1 3.6%	0 0.0%	4 14.3%	5 17.9%	2 7.1%	1 3.6%	1 3.6%
非該当	80 100.0%	15 18.8%	3 3.8%	7 8.8%	26 32.5%	9 11.3%	0 0.0%	14 17.5%	10 12.5%	3 3.8%	1 1.3%	3 3.8%
生活課題_感情不安定	20 100.0%	8 40.0%	1 5.0%	3 15.0%	2 10.0%	3 15.0%	0 0.0%	1 5.0%	4 20.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%
非該当	88 100.0%	18 20.5%	2 2.3%	5 5.7%	29 33.0%	7 8.0%	0 0.0%	17 19.3%	11 12.5%	5 5.7%	1 1.1%	4 4.5%
生活課題_不登校	21 100.0%	7 33.3%	1 4.8%	6 28.6%	2 9.5%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.5%	0 0.0%	1 4.8%	1 4.8%
非該当	87 100.0%	19 21.8%	2 2.3%	2 2.3%	29 33.3%	6 6.9%	0 0.0%	18 20.7%	13 14.9%	5 5.7%	1 1.1%	3 3.4%
生活課題_異性への依存	21 100.0%	8 38.1%	0 0.0%	3 14.3%	1 4.8%	3 14.3%	0 0.0%	3 14.3%	3 14.3%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%
非該当	87 100.0%	18 20.7%	3 3.4%	5 5.7%	30 34.5%	7 8.0%	0 0.0%	15 17.2%	12 13.8%	4 4.6%	2 2.3%	4 4.6%
生活課題_インターネット上 人間関係依存	19 100.0%	12 63.2%	3 15.8%	3 15.8%	0 0.0%	3 15.8%	0 0.0%	1 5.3%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%
非該当	89 100.0%	14 15.7%	0 0.0%	5 5.6%	31 34.8%	7 7.9%	0 0.0%	17 19.1%	13 14.6%	4 4.5%	2 2.2%	3 3.4%
生活課題_家出・無断外泊	22 100.0%	9 40.9%	0 0.0%	3 13.6%	1 4.5%	4 18.2%	0 0.0%	2 9.1%	2 9.1%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%
非該当	86 100.0%	17 19.8%	3 3.5%	5 5.8%	30 34.9%	6 7.0%	0 0.0%	16 18.6%	13 15.1%	5 5.8%	1 1.2%	3 3.5%
児童環境_保護者分離体験	17 100.0%	7 41.2%	1 5.9%	0 0.0%	3 17.6%	3 17.6%	0 0.0%	2 11.8%	3 17.6%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%
非該当	91 100.0%	19 20.9%	2 2.2%	8 8.8%	28 30.8%	7 7.7%	0 0.0%	16 17.6%	12 13.2%	4 4.4%	1 1.1%	4 4.4%
児童環境_経済的困難	23 100.0%	2 8.7%	0 0.0%	2 8.7%	7 30.4%	4 17.4%	0 0.0%	3 13.0%	6 26.1%	1 4.3%	0 0.0%	1 4.3%
非該当	85 100.0%	24 28.2%	3 3.5%	6 7.1%	24 28.2%	6 7.1%	0 0.0%	15 17.6%	9 10.6%	4 4.7%	2 2.4%	3 3.5%
児童環境_ひとり親家庭	30 100.0%	8 26.7%	1 3.3%	1 3.3%	7 23.3%	5 16.7%	0 0.0%	4 13.3%	9 30.0%	2 6.7%	0 0.0%	1 3.3%
非該当	78 100.0%	18 23.1%	2 2.6%	7 9.0%	24 30.8%	5 6.4%	0 0.0%	14 17.9%	6 7.7%	3 3.8%	2 2.6%	3 3.8%
児童環境_夫婦間不和	19 100.0%	4 21.1%	0 0.0%	0 0.0%	8 42.1%	4 21.1%	0 0.0%	1 5.3%	3 15.8%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%
非該当	89 100.0%	22 24.7%	3 3.4%	8 9.0%	23 25.8%	6 6.7%	0 0.0%	17 19.1%	12 13.5%	5 5.6%	1 1.1%	4 4.5%
児童環境_保護者心身不安定	27 100.0%	2 7.4%	0 0.0%	2 7.4%	12 44.4%	5 18.5%	0 0.0%	1 3.7%	6 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	2 7.4%
非該当	81 100.0%	24 29.6%	3 3.7%	6 7.4%	19 23.5%	5 6.2%	0 0.0%	17 21.0%	9 11.1%	2 2.5%	2 2.5%	2 2.5%
児童環境_保護者無関心	21 100.0%	6 28.6%	0 0.0%	2 9.5%	3 33.3%	3 14.3%	0 0.0%	1 4.8%	2 9.5%	1 4.8%	1 4.8%	1 4.8%
非該当	87 100.0%	20 23.0%	3 3.4%	6 6.9%	24 27.6%	7 8.0%	0 0.0%	17 19.5%	13 14.9%	4 4.6%	1 1.1%	3 3.4%

<案件>

【児童ボルノ】
問3-3.(b) きっかけ

児童ボルノ計	恋愛（交際中に撮影される）性的虐待による者、監護者	家庭内親性暴力によるきょうだい	保護性者犯親・罪戚監被以護害外者（に、交よき際によう相手だ、	仕事（モデル、ジユニア	いじめ	その他	不明	無回答
合計 実数 % 108 100.0%	14 13.0%	27 25.0%	4 3.7%	29 26.9%	2 1.9%	10 9.3%	18 16.7%	7 6.5%
つないだ機関_警察 非該当	50 100.0%	4 8.0%	11 22.0%	0 0.0%	11 22.0%	0 0.0%	10 20.0%	11 22.0%
つないだ機関_学校 非該当	23 100.0%	3 13.0%	4 17.4%	2 8.7%	8 34.8%	0 0.0%	1 4.3%	5 21.7%
生活課題_親子関係不調 非該当	42 100.0%	9 21.4%	8 19.0%	0 0.0%	14 33.3%	1 2.4%	0 0.0%	8 19.0%
生活課題_低い自己肯定感評価 非該当	28 100.0%	4 14.3%	5 17.9%	2 7.1%	8 28.6%	1 3.6%	0 0.0%	6 21.4%
生活課題_感情不安定 非該当	20 100.0%	8 40.0%	3 15.0%	0 0.0%	5 25.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%
生活課題_不登校 非該当	88 100.0%	6 6.8%	24 27.3%	4 4.5%	24 27.3%	1 1.1%	10 11.4%	13 14.8%
生活課題_異性への依存 非該当	21 100.0%	7 33.3%	3 14.3%	1 4.8%	9 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.5%
生活課題_インターネット上人間関係依存 非該当	19 100.0%	7 36.8%	0 0.0%	0 0.0%	8 42.1%	0 0.0%	0 0.0%	7 36.8%
生活課題_家出・無断外泊 非該当	22 100.0%	9 40.9%	1 4.5%	0 0.0%	6 27.3%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%
児童環境_保護者分離体験 非該当	17 100.0%	4 23.5%	4 23.5%	0 0.0%	7 41.2%	0 0.0%	0 23.5%	4 5.9%
児童環境_経済的困難 非該当	91 100.0%	10 11.0%	23 25.3%	4 4.4%	22 24.2%	2 2.2%	10 11.0%	14 15.4%
児童環境_ひとり親家庭 非該当	30 100.0%	4 13.3%	7 23.3%	0 0.0%	11 36.7%	0 0.0%	2 6.7%	6 20.0%
児童環境_夫婦間不和 非該当	19 100.0%	3 15.8%	6 31.6%	1 5.3%	2 10.5%	2 10.5%	0 0.0%	0 21.1%
児童環境_保護者心身不安定 非該当	27 100.0%	2 7.4%	9 33.3%	2 7.4%	8 29.6%	2 7.4%	0 0.0%	1 3.7%
児童環境_保護者無関心 非該当	21 100.0%	2 9.5%	8 38.1%	0 0.0%	6 28.6%	0 0.0%	0 19.0%	0 0.0%

<案件>

【児童ポルノ】
問3-3. (c) 撮影された状況

【児童ポルノ】
問3-3. (d) 記録媒体の頒布の有無

	児童ポルノ計	自らの意志で自ら撮影	他人に強要されて自ら撮影	他人が撮影なし(本人の同意)	他人が撮影あり(本人の同意)	不明	無回答	児童ポルノ計	SNSが見られる(DVD等で第三者)	SNSが見られる(DVD等で第三者)	単純所持される	その他	不明	無回答
合計 実数 %	108 100.0%	28 25.9%	6 5.6%	42 38.9%	25 23.1%	9 8.3%	5 4.6%	108 100.0%	24 22.2%	16 14.8%	41 38.0%	5 4.6%	21 19.4%	4 3.7%
つないだ機関_警察	50 100.0%	17 34.0%	4 8.0%	20 40.0%	8 16.0%	4 8.0%	2 4.0%	50 100.0%	14 28.0%	9 18.0%	17 34.0%	1 2.0%	9 18.0%	2 4.0%
非該当	58 100.0%	11 19.0%	2 3.4%	22 37.9%	17 29.3%	5 8.6%	3 5.2%	58 100.0%	10 17.2%	7 12.1%	24 41.4%	4 6.9%	12 20.7%	2 3.4%
つないだ機関_学校	23 100.0%	5 21.7%	3 13.0%	8 34.8%	5 21.7%	3 13.0%	0 0.0%	23 100.0%	8 34.8%	4 17.4%	6 26.1%	0 0.0%	5 21.7%	0 0.0%
非該当	85 100.0%	23 27.1%	3 3.5%	34 40.0%	20 23.5%	6 7.1%	5 5.9%	85 100.0%	16 18.8%	12 14.1%	35 41.2%	5 5.9%	16 18.8%	4 4.7%
生活課題_親子関係不調	42 100.0%	15 35.7%	1 2.4%	9 21.4%	15 35.7%	3 7.1%	3 7.1%	42 100.0%	4 9.5%	8 19.0%	16 38.1%	2 4.8%	11 26.2%	3 7.1%
非該当	66 100.0%	13 19.7%	5 7.6%	33 50.0%	10 15.2%	6 9.1%	2 3.0%	66 100.0%	20 30.3%	8 12.1%	25 37.9%	3 4.5%	10 15.2%	1 1.5%
生活課題_低い自己肯定感評価	28 100.0%	12 42.9%	1 3.6%	8 28.6%	7 25.0%	3 10.7%	1 3.6%	28 100.0%	5 17.9%	8 28.6%	5 17.9%	2 7.1%	8 28.6%	1 3.6%
非該当	80 100.0%	16 20.0%	5 6.3%	34 42.5%	18 22.5%	6 7.5%	4 5.0%	80 100.0%	19 23.8%	8 10.0%	36 45.0%	3 3.8%	13 16.3%	3 3.8%
生活課題_感情不安定	20 100.0%	10 50.0%	0 0.0%	4 20.0%	7 35.0%	1 5.0%	0 0.0%	20 100.0%	1 5.0%	3 15.0%	9 45.0%	2 10.0%	6 30.0%	0 0.0%
非該当	88 100.0%	18 20.5%	6 6.8%	38 43.2%	18 20.5%	8 9.1%	5 5.7%	88 100.0%	23 26.1%	13 14.8%	32 36.4%	3 3.4%	15 17.0%	4 4.5%
生活課題_不登校	21 100.0%	8 38.1%	0 0.0%	6 28.6%	4 19.0%	2 9.5%	2 9.5%	21 100.0%	0 0.0%	3 14.3%	10 47.6%	2 9.5%	7 33.3%	1 4.8%
非該当	87 100.0%	20 23.0%	6 6.9%	36 41.4%	21 24.1%	7 8.0%	3 8.0%	87 100.0%	24 27.6%	13 14.9%	31 35.6%	3 3.4%	14 16.1%	3 3.4%
生活課題_異性への依存	21 100.0%	9 42.9%	1 4.8%	5 23.8%	7 33.3%	1 4.8%	0 0.0%	21 100.0%	3 14.3%	4 19.0%	8 38.1%	1 4.8%	5 23.8%	0 0.0%
非該当	87 100.0%	19 21.8%	5 5.7%	37 42.5%	18 20.7%	8 9.2%	5 5.7%	87 100.0%	21 24.1%	12 13.8%	33 37.9%	4 4.6%	16 18.4%	4 4.6%
生活課題_インターネット上人間関係依存	19 100.0%	13 68.4%	2 10.5%	2 10.5%	4 21.1%	0 0.0%	0 10.5%	19 100.0%	2 10.5%	4 21.1%	6 31.6%	2 10.5%	7 36.8%	1 5.3%
非該当	89 100.0%	15 16.9%	4 4.5%	40 44.9%	21 23.6%	9 10.1%	3 3.4%	89 100.0%	22 24.7%	12 13.5%	35 39.3%	3 3.4%	14 15.7%	3 3.4%
生活課題_家出・無断外泊	22 100.0%	11 50.0%	0 0.0%	5 22.7%	5 22.7%	1 4.5%	2 9.1%	22 100.0%	5 22.7%	3 13.6%	7 31.8%	2 9.1%	5 22.7%	1 4.5%
非該当	86 100.0%	17 19.8%	6 7.0%	37 43.0%	20 23.3%	8 9.3%	3 3.5%	86 100.0%	19 22.1%	13 15.1%	34 39.5%	3 3.5%	16 18.6%	3 3.5%
児童環境_保護者分離体験	17 100.0%	10 58.8%	1 5.9%	3 17.6%	7 41.2%	1 5.9%	0 0.0%	17 100.0%	3 17.6%	5 29.4%	5 29.4%	1 5.9%	4 23.5%	0 0.0%
非該当	91 100.0%	18 19.8%	5 5.5%	39 42.9%	18 19.8%	8 8.8%	5 5.5%	91 100.0%	21 23.1%	11 12.1%	36 39.6%	4 4.4%	17 18.7%	4 4.4%
児童環境_経済的困難	23 100.0%	3 13.0%	1 4.3%	6 26.1%	10 43.5%	3 13.0%	1 4.3%	23 100.0%	1 4.3%	3 13.0%	13 56.5%	2 8.7%	3 13.0%	1 4.3%
非該当	85 100.0%	25 29.4%	5 5.9%	36 42.4%	15 17.6%	6 7.1%	4 4.7%	85 100.0%	23 27.1%	13 15.3%	28 32.9%	3 3.5%	18 21.2%	3 3.5%
児童環境_ひとり親家庭	30 100.0%	11 36.7%	3 10.0%	7 23.3%	11 36.7%	1 3.3%	1 3.3%	30 100.0%	6 20.0%	7 23.3%	12 40.0%	1 3.3%	4 13.3%	1 3.3%
非該当	78 100.0%	17 21.8%	3 3.8%	35 44.9%	14 17.9%	8 10.3%	4 5.1%	78 100.0%	18 23.1%	9 11.5%	29 37.2%	4 5.1%	17 21.8%	3 3.8%
児童環境_夫婦間不和	19 100.0%	4 21.1%	0 0.0%	8 42.1%	6 31.6%	3 15.8%	0 0.0%	19 100.0%	2 10.5%	2 10.5%	9 47.4%	3 15.8%	3 15.8%	0 0.0%
非該当	89 100.0%	24 27.0%	6 6.7%	34 38.2%	19 21.3%	6 6.7%	5 5.6%	89 100.0%	22 24.7%	14 15.7%	32 36.0%	2 2.2%	18 20.2%	4 4.5%
児童環境_保護者心身不安定	27 100.0%	4 14.8%	0 0.0%	11 40.7%	8 29.6%	3 11.1%	2 7.4%	27 100.0%	2 7.4%	4 14.8%	13 48.1%	2 7.4%	5 18.5%	2 7.4%
非該当	81 100.0%	24 29.6%	6 7.4%	31 38.3%	17 21.0%	6 7.4%	3 3.7%	81 100.0%	22 27.2%	12 14.8%	28 34.6%	3 3.7%	16 19.8%	2 2.5%
児童環境_保護者無関心	21 100.0%	9 42.9%	1 4.8%	3 14.3%	7 33.3%	1 4.8%	1 4.8%	21 100.0%	1 4.8%	5 23.8%	8 38.1%	0 0.0%	6 28.6%	1 4.8%
非該当	87 100.0%	19 21.8%	5 5.7%	39 44.8%	18 20.7%	8 9.2%	4 4.6%	87 100.0%	23 26.4%	11 12.6%	33 37.9%	5 5.7%	15 17.2%	3 3.4%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4.-1. 児童の性別

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4.-3. 相談受理時の児童の年齢

	合計	男児	女児	不明	無回答	今回がはじめて	過去に相談歴あり	無回答	合計	1~5歳	6~12歳	13~15歳	16~18歳	無回答	
															相談受取
合計 実数 %	266 100.0%	15 5.6%	244 91.7%	1 0.4%	6 2.3%	138 51.9%	115 43.2%	13 4.9%	266 100.0%	6 2.3%	48 18.0%	116 43.6%	89 33.5%	7 2.6%	
つないだ機関_警察	142 100.0%	10 7.0%	132 93.0%	0 0.0%	0 0.0%	78 54.9%	59 41.5%	5 3.5%	142 100.0%	1 0.7%	22 15.5%	68 47.9%	51 35.9%	0 0.0%	
非該当	124 100.0%	5 4.0%	112 90.3%	1 0.8%	6 4.8%	60 48.4%	56 45.2%	8 6.5%	124 100.0%	5 4.0%	26 21.0%	48 38.7%	38 30.6%	7 5.6%	
つないだ機関_学校	54 100.0%	6 11.1%	47 87.0%	1 1.9%	0 0.0%	29 53.7%	24 44.4%	1 1.9%	54 100.0%	0 0.0%	9 16.7%	32 59.3%	13 24.1%	0 0.0%	
非該当	212 100.0%	9 4.2%	197 92.9%	0 0.0%	6 2.8%	109 51.4%	91 42.9%	12 5.7%	212 100.0%	6 2.8%	39 18.4%	84 39.6%	76 35.8%	7 3.3%	
生活課題_親子関係不調	172 100.0%	3 1.7%	168 97.7%	1 0.6%	0 0.0%	81 47.1%	86 50.0%	5 2.9%	172 100.0%	3 1.7%	18 10.5%	86 50.0%	65 37.8%	0 0.0%	
非該当	94 100.0%	12 12.8%	76 80.9%	0 0.0%	6 6.4%	57 60.6%	29 30.9%	8 8.5%	94 100.0%	3 3.2%	30 31.9%	30 31.9%	24 25.5%	7 7.4%	
生活課題_低い自己肯定感評価	106 100.0%	3 2.8%	103 97.2%	0 0.0%	0 0.0%	47 44.3%	56 52.8%	3 2.8%	106 100.0%	2 1.9%	13 12.3%	54 50.9%	37 34.9%	0 0.0%	
非該当	160 100.0%	12 7.5%	141 88.1%	1 0.6%	6 3.8%	91 56.9%	59 36.9%	10 6.3%	160 100.0%	4 2.5%	35 21.9%	62 38.8%	52 32.5%	7 4.4%	
生活課題_感情不安定	58 100.0%	2 3.4%	55 94.8%	1 1.7%	0 0.0%	29 50.0%	29 50.0%	0 0.0%	58 100.0%	1 1.7%	7 12.1%	26 44.8%	24 41.4%	0 0.0%	
非該当	208 100.0%	13 6.3%	189 90.9%	0 0.0%	6 2.9%	109 52.4%	86 41.3%	13 6.3%	208 100.0%	5 2.4%	41 19.7%	90 43.3%	65 31.3%	7 3.4%	
生活課題_不登校	73 100.0%	3 4.1%	70 95.9%	0 0.0%	0 0.0%	29 39.7%	42 57.5%	2 2.7%	73 100.0%	0 0.0%	10 13.7%	42 57.5%	21 28.8%	0 0.0%	
非該当	193 100.0%	12 6.2%	174 90.2%	1 0.5%	6 3.1%	109 56.5%	73 37.8%	11 5.7%	193 100.0%	6 3.1%	38 19.7%	74 38.3%	68 35.2%	7 3.6%	
生活課題_異性への依存	68 100.0%	0 0.0%	68 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 36.8%	42 61.8%	1 1.5%	68 100.0%	1 1.5%	2 2.9%	39 57.4%	26 38.2%	0 0.0%	
非該当	198 100.0%	15 7.6%	176 88.9%	1 0.5%	6 3.0%	113 57.1%	73 36.9%	12 6.1%	198 100.0%	5 2.5%	46 23.2%	77 38.9%	63 31.8%	7 3.5%	
生活課題_インターネット上人間関係依存	56 100.0%	2 3.6%	54 96.4%	0 0.0%	0 0.0%	27 48.2%	26 46.4%	3 5.4%	56 100.0%	0 0.0%	5 8.9%	30 53.6%	21 37.5%	0 0.0%	
非該当	210 100.0%	13 6.2%	190 90.5%	1 0.5%	6 2.9%	111 52.9%	89 42.4%	10 4.8%	210 100.0%	6 2.9%	43 20.5%	86 41.0%	68 32.4%	7 3.3%	
生活課題_家出・無断外泊	116 100.0%	1 0.9%	114 98.3%	1 0.9%	0 0.0%	55 47.4%	58 50.0%	3 2.6%	116 100.0%	2 1.7%	6 5.2%	54 46.6%	54 46.6%	0 0.0%	
非該当	150 100.0%	14 9.3%	130 86.7%	0 0.0%	6 4.0%	55 55.3%	57 38.0%	10 6.7%	150 100.0%	4 2.7%	42 28.0%	62 41.3%	35 23.3%	7 4.7%	
児童環境_保護者分離体験	58 100.0%	2 3.4%	56 96.6%	0 0.0%	0 0.0%	18 31.0%	37 63.8%	3 5.2%	58 100.0%	1 1.7%	10 17.2%	26 44.8%	21 36.2%	0 0.0%	
非該当	208 100.0%	13 6.3%	188 90.4%	1 0.5%	2 2.9%	120 57.7%	78 37.5%	10 4.8%	208 100.0%	5 2.4%	38 18.3%	90 43.3%	68 32.7%	7 3.4%	
児童環境_経済的困難	65 100.0%	4 6.2%	60 92.3%	1 1.5%	0 0.0%	33 50.8%	30 46.2%	2 3.1%	65 100.0%	3 4.6%	18 27.7%	27 41.5%	17 26.2%	0 0.0%	
非該当	201 100.0%	11 5.5%	184 91.5%	0 0.0%	6 3.0%	105 52.2%	85 42.3%	11 5.5%	201 100.0%	3 1.5%	30 14.9%	89 44.3%	72 35.8%	7 3.5%	
児童環境_ひとり親家庭	96 100.0%	0 0.0%	95 99.0%	1 1.0%	0 0.0%	46 47.9%	47 49.0%	3 3.1%	96 100.0%	1 1.0%	15 15.6%	54 56.3%	26 27.1%	0 0.0%	
非該当	170 100.0%	15 8.8%	149 87.6%	0 0.0%	6 3.5%	92 54.1%	68 40.0%	10 5.9%	170 100.0%	5 2.9%	33 19.4%	62 36.5%	63 37.1%	7 4.1%	
児童環境_夫婦間不和	58 100.0%	3 5.2%	55 94.8%	0 0.0%	0 0.0%	34 58.6%	22 37.9%	2 3.4%	58 100.0%	3 3.4%	8 13.8%	27 46.6%	21 36.2%	0 0.0%	
非該当	208 100.0%	12 5.8%	189 90.9%	1 0.5%	6 2.9%	104 50.0%	93 44.7%	11 5.3%	208 100.0%	4 1.9%	40 19.2%	89 42.8%	68 32.7%	7 3.4%	
児童環境_保護者心身不安定	72 100.0%	3 4.2%	69 95.8%	0 0.0%	0 0.0%	29 40.3%	43 59.7%	0 0.0%	72 100.0%	4 5.6%	17 23.6%	30 41.7%	21 29.2%	0 0.0%	
非該当	194 100.0%	12 6.2%	175 90.2%	1 0.5%	6 3.1%	109 56.2%	72 37.1%	13 6.7%	194 100.0%	2 1.0%	31 16.0%	86 44.3%	68 35.1%	7 3.6%	
児童環境_保護者無関心	71 100.0%	4 5.6%	66 93.0%	1 1.4%	0 0.0%	31 43.7%	39 54.9%	1 1.4%	71 100.0%	2 2.8%	11 15.5%	30 42.3%	28 39.4%	0 0.0%	
非該当	195 100.0%	11 6.2%	178 91.3%	0 0.0%	6 3.1%	107 54.9%	76 39.0%	12 6.2%	195 100.0%	4 2.1%	37 19.0%	86 44.1%	61 31.3%	7 3.6%	

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4. ケースの詳細-4. 児童には、障がいがありましたか。(MA)

	合計	なし	発達障がい	知的障がい	精神障がい	身体	知的に境界域	不明	無回答
合計 実数	266	154	28	31	3	1	36	15	7
%	100.0%	57.9%	10.5%	11.7%	1.1%	0.4%	13.5%	5.6%	2.6%
つないだ機関_警察	142	93	13	11	2	0	15	10	1
	100.0%	65.5%	9.2%	7.7%	1.4%	0.0%	10.6%	7.0%	0.7%
非該当	124	61	15	20	1	1	21	5	6
	100.0%	49.2%	12.1%	16.1%	0.8%	0.8%	16.9%	4.0%	4.8%
つないだ機関_学校	54	35	4	5	0	0	9	2	0
	100.0%	64.8%	7.4%	9.3%	0.0%	0.0%	16.7%	3.7%	0.0%
非該当	212	119	24	26	3	1	27	13	7
	100.0%	56.1%	11.3%	12.3%	1.4%	0.5%	12.7%	6.1%	3.3%
生活課題_親子関係不調	172	99	17	19	3	0	27	10	1
	100.0%	57.6%	9.9%	11.0%	1.7%	0.0%	15.7%	5.8%	0.6%
非該当	94	55	11	12	0	1	9	5	6
	100.0%	58.5%	11.7%	12.8%	0.0%	1.1%	9.6%	5.3%	6.4%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	56	13	16	1	0	21	2	1
	100.0%	52.8%	12.3%	15.1%	0.9%	0.0%	19.8%	1.9%	0.9%
非該当	160	98	15	15	2	1	15	13	6
	100.0%	61.3%	9.4%	9.4%	1.3%	0.6%	9.4%	8.1%	3.8%
生活課題_感情不安定	58	30	10	5	3	0	11	1	0
	100.0%	51.7%	17.2%	8.6%	5.2%	0.0%	19.0%	1.7%	0.0%
非該当	208	124	18	26	0	1	25	14	7
	100.0%	59.6%	8.7%	12.5%	0.0%	0.5%	12.0%	6.7%	3.4%
生活課題_不登校	73	35	11	7	2	0	15	5	1
	100.0%	47.9%	15.1%	9.6%	2.7%	0.0%	20.5%	6.8%	1.4%
非該当	193	119	17	24	1	1	21	10	6
	100.0%	61.7%	8.8%	12.4%	0.5%	0.5%	10.9%	5.2%	3.1%
生活課題_異性への依存	68	38	8	9	1	0	12	2	0
	100.0%	55.9%	11.8%	13.2%	1.5%	0.0%	17.6%	2.9%	0.0%
非該当	198	116	20	22	2	1	24	13	7
	100.0%	58.6%	10.1%	11.1%	1.0%	0.5%	12.1%	6.6%	3.5%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	27	9	6	1	0	13	3	0
	100.0%	48.2%	16.1%	10.7%	1.8%	0.0%	23.2%	5.4%	0.0%
非該当	210	127	19	25	2	1	23	12	7
	100.0%	60.5%	9.0%	11.9%	1.0%	0.5%	11.0%	5.7%	3.3%
生活課題_家出・無断外泊	116	66	14	13	1	0	18	7	0
	100.0%	56.9%	12.1%	11.2%	0.9%	0.0%	15.5%	6.0%	0.0%
非該当	150	88	14	18	2	1	18	8	7
	100.0%	58.7%	9.3%	12.0%	1.3%	0.7%	12.0%	5.3%	4.7%
児童環境_保護者分離体験	58	31	6	8	1	0	11	2	0
	100.0%	53.4%	10.3%	13.8%	1.7%	0.0%	19.0%	3.4%	0.0%
非該当	208	123	22	23	2	1	25	13	7
	100.0%	59.1%	10.6%	11.1%	1.0%	0.5%	12.0%	6.3%	3.4%
児童環境_経済的困難	65	29	11	13	1	1	10	3	1
	100.0%	44.6%	16.9%	20.0%	1.5%	1.5%	15.4%	4.6%	1.5%
非該当	201	125	17	18	2	0	26	12	6
	100.0%	62.2%	8.5%	9.0%	1.0%	0.0%	12.9%	6.0%	3.0%
児童環境_ひとり親家庭	96	57	9	10	2	0	14	4	1
	100.0%	59.4%	9.4%	10.4%	2.1%	0.0%	14.6%	4.2%	1.0%
非該当	170	97	19	21	1	1	22	11	6
	100.0%	57.1%	11.2%	12.4%	0.6%	0.6%	12.9%	6.5%	3.5%
児童環境_夫婦間不和	58	35	4	9	1	0	9	2	0
	100.0%	60.3%	6.9%	15.5%	1.7%	0.0%	15.5%	3.4%	0.0%
非該当	208	119	24	22	2	1	27	13	7
	100.0%	57.2%	11.5%	10.6%	1.0%	0.5%	13.0%	6.3%	3.4%
児童環境_保護者心身不安定	72	38	11	14	2	1	9	2	0
	100.0%	52.8%	15.3%	19.4%	2.8%	1.4%	12.5%	2.8%	0.0%
非該当	194	116	17	17	1	0	27	13	7
	100.0%	59.8%	8.8%	8.8%	0.5%	0.0%	13.9%	6.7%	3.6%
児童環境_保護者無関心	71	44	6	4	0	1	13	5	0
	100.0%	62.0%	8.5%	5.6%	0.0%	1.4%	18.3%	7.0%	0.0%
非該当	195	110	22	27	3	0	23	10	7
	100.0%	56.4%	11.3%	13.8%	1.5%	0.0%	11.8%	5.1%	3.6%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-5. 児童の学力程度

問3-4-6. 児童買春、児童ポルノに
関わった時の就学、就労

	合計	低い	やや低い	普通	やや高い	高い	不明	無回答	主に就学している	就労している	就学も就労もしていない	不明	無回答
合計 実数	266	61	90	85	10	4	9	7	220	13	25	2	6
%	100.0%	22.9%	33.8%	32.0%	3.8%	1.5%	3.4%	2.6%	82.7%	4.9%	9.4%	0.8%	2.3%
つないだ機関_警察	142	34	45	51	2	3	7	0	118	4	18	2	0
	100.0%	23.9%	31.7%	35.9%	1.4%	2.1%	4.9%	0.0%	83.1%	2.8%	12.7%	1.4%	0.0%
非該当	124	27	45	34	8	1	2	7	102	9	7	0	6
	100.0%	21.8%	36.3%	27.4%	6.5%	0.8%	1.6%	5.6%	82.3%	7.3%	5.6%	0.0%	4.8%
つないだ機関_学校	54	10	26	11	4	1	1	1	49	1	3	1	0
	100.0%	18.5%	48.1%	20.4%	7.4%	1.9%	1.9%	1.9%	90.7%	1.9%	5.6%	1.9%	0.0%
非該当	212	51	64	74	6	3	8	6	171	12	22	1	6
	100.0%	24.1%	30.2%	34.9%	2.8%	1.4%	3.8%	2.8%	80.7%	5.7%	10.4%	0.5%	2.8%
生活課題_親子関係不調	172	46	65	47	9	2	3	0	140	12	19	1	0
	100.0%	26.7%	37.8%	27.3%	5.2%	1.2%	1.7%	0.0%	81.4%	7.0%	11.0%	0.6%	0.0%
非該当	94	15	25	38	1	2	6	7	80	1	6	1	6
	100.0%	16.0%	26.6%	40.4%	1.1%	2.1%	6.4%	7.4%	85.1%	1.1%	6.4%	1.1%	6.4%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	37	42	19	5	2	1	0	90	6	9	1	0
	100.0%	34.9%	39.6%	17.9%	4.7%	1.9%	0.9%	0.0%	84.9%	5.7%	8.5%	0.9%	0.0%
非該当	160	24	48	66	5	2	8	7	130	7	16	1	6
	100.0%	15.0%	30.0%	41.3%	3.1%	1.3%	5.0%	4.4%	81.3%	4.4%	10.0%	0.6%	3.8%
生活課題_感情不安定	58	16	19	17	6	0	0	0	51	1	6	0	0
	100.0%	27.6%	32.8%	29.3%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	87.9%	1.7%	10.3%	0.0%	0.0%
非該当	208	45	71	68	4	4	9	7	169	12	19	2	6
	100.0%	21.6%	34.1%	32.7%	1.9%	1.9%	4.3%	3.4%	81.3%	5.8%	9.1%	1.0%	2.9%
生活課題_不登校	73	21	32	15	2	0	2	1	70	1	2	0	0
	100.0%	28.8%	43.8%	20.5%	2.7%	0.0%	2.7%	1.4%	95.9%	1.4%	2.7%	0.0%	0.0%
非該当	193	40	58	70	8	4	7	6	150	12	23	2	6
	100.0%	20.7%	30.1%	36.3%	4.1%	2.1%	3.6%	3.1%	77.7%	6.2%	11.9%	1.0%	3.1%
生活課題_異性への依存	68	21	22	20	4	0	1	0	54	6	8	0	0
	100.0%	30.9%	32.4%	29.4%	5.9%	0.0%	1.5%	0.0%	79.4%	8.8%	11.8%	0.0%	0.0%
非該当	198	40	68	65	6	4	8	7	166	7	17	2	6
	100.0%	20.2%	34.3%	32.8%	3.0%	2.0%	4.0%	3.5%	83.8%	3.5%	8.6%	1.0%	3.0%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	16	21	14	3	2	0	0	46	2	8	0	0
	100.0%	28.6%	37.5%	25.0%	5.4%	3.6%	0.0%	0.0%	82.1%	3.6%	14.3%	0.0%	0.0%
非該当	210	45	69	71	7	2	9	7	174	11	17	2	6
	100.0%	21.4%	32.9%	33.8%	3.3%	1.0%	4.3%	3.3%	82.9%	5.2%	8.1%	1.0%	2.9%
生活課題_家出・無断外泊	116	33	43	32	3	1	4	0	88	9	19	0	0
	100.0%	28.4%	37.1%	27.6%	2.6%	0.9%	3.4%	0.0%	75.9%	7.8%	16.4%	0.0%	0.0%
非該当	150	28	47	53	7	3	5	7	132	4	6	2	6
	100.0%	18.7%	31.3%	35.3%	4.7%	2.0%	3.3%	4.7%	88.0%	2.7%	4.0%	1.3%	4.0%
児童環境_保護者分離体験	58	18	23	14	0	1	2	0	44	5	9	0	0
	100.0%	31.0%	39.7%	24.1%	0.0%	1.7%	3.4%	0.0%	75.9%	8.6%	15.5%	0.0%	0.0%
非該当	208	43	67	71	10	3	7	7	176	8	16	2	6
	100.0%	20.7%	32.2%	34.1%	4.8%	1.4%	3.4%	3.4%	84.6%	3.8%	7.7%	1.0%	2.9%
児童環境_経済的困難	65	23	29	11	0	0	2	0	56	4	4	1	0
	100.0%	35.4%	44.6%	16.9%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	86.2%	6.2%	6.2%	1.5%	0.0%
非該当	201	38	61	74	10	4	7	7	164	9	21	1	6
	100.0%	18.9%	30.3%	36.8%	5.0%	2.0%	3.5%	3.5%	81.6%	4.5%	10.4%	0.5%	3.0%
児童環境_ひとり親家庭	96	28	38	25	1	1	2	1	86	3	7	0	0
	100.0%	29.2%	39.6%	26.0%	1.0%	1.0%	2.1%	1.0%	89.6%	3.1%	7.3%	0.0%	0.0%
非該当	170	33	52	60	9	3	7	6	134	10	18	2	6
	100.0%	19.4%	30.6%	35.3%	5.3%	1.8%	4.1%	3.5%	78.8%	5.9%	10.6%	1.2%	3.5%
児童環境_夫婦間不和	58	14	24	13	5	1	1	0	50	3	5	0	0
	100.0%	24.1%	41.4%	22.4%	8.6%	1.7%	1.7%	0.0%	86.2%	5.2%	8.6%	0.0%	0.0%
非該当	208	47	66	72	5	3	8	7	170	10	20	2	6
	100.0%	22.6%	31.7%	34.6%	2.4%	1.4%	3.8%	3.4%	81.7%	4.8%	9.6%	1.0%	2.9%
児童環境_保護者心身不安定	72	20	28	18	4	2	0	0	63	5	3	1	0
	100.0%	27.8%	38.9%	25.0%	5.6%	2.8%	0.0%	0.0%	87.5%	6.9%	4.2%	1.4%	0.0%
非該当	194	41	62	67	6	2	9	7	157	8	22	1	6
	100.0%	21.1%	32.0%	34.5%	3.1%	1.0%	4.6%	3.6%	80.9%	4.1%	11.3%	0.5%	3.1%
児童環境_保護者無関心	71	22	26	18	3	1	0	1	57	7	7	0	0
	100.0%	31.0%	36.6%	25.4%	4.2%	1.4%	0.0%	1.4%	80.3%	9.9%	9.9%	0.0%	0.0%
非該当	195	39	64	67	7	3	9	6	163	6	18	2	6
	100.0%	20.0%	32.8%	34.4%	3.6%	1.5%	4.6%	3.1%	83.6%	3.1%	9.2%	1.0%	3.1%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-6-1 主に就学者の就労有無
就学者就労の有無

問3-4-6-2. 就労している人の就労形態
就労者就労形態

	就学している計	就労していない	アルバイトをしている	その他	無回答	就労している計	正規	非正規	アルバイト	その他	無回答
合計 実数	220	166	18	1	35	13	1	1	8	3	0
%	100.0%	75.5%	8.2%	0.5%	15.9%	100.0%	0.4%	0.4%	3.0%	1.1%	0.0%
つないだ機関_警察	118	95	8	1	14	4	0	0	2	2	0
	100.0%	80.5%	6.8%	0.8%	11.9%	100.0%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%
非該当	102	71	10	0	21	9	1	1	6	1	0
	100.0%	69.6%	9.8%	0.0%	20.6%	100.0%	0.8%	0.8%	4.8%	0.8%	0.0%
つないだ機関_学校	49	34	4	0	11	1	0	0	1	0	0
	100.0%	69.4%	8.2%	0.0%	22.4%	100.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%
非該当	171	132	14	1	24	12	1	1	7	3	0
	100.0%	77.2%	8.2%	0.6%	14.0%	100.0%	0.5%	0.5%	3.3%	1.4%	0.0%
生活課題_親子関係不調	140	101	14	1	24	12	1	1	8	2	0
	100.0%	72.1%	10.0%	0.7%	17.1%	100.0%	0.6%	0.6%	4.7%	1.2%	0.0%
非該当	80	65	4	0	11	1	0	0	0	1	0
	100.0%	81.3%	5.0%	0.0%	13.8%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%
生活課題_低い自己肯定感評価	90	72	6	1	11	6	1	0	3	2	0
	100.0%	80.0%	6.7%	1.1%	12.2%	100.0%	0.9%	0.0%	2.8%	1.9%	0.0%
非該当	130	94	12	0	24	7	0	1	5	1	0
	100.0%	72.3%	9.2%	0.0%	18.5%	100.0%	0.0%	0.6%	3.1%	0.6%	0.0%
生活課題_感情不安定	51	39	5	0	7	1	0	0	0	1	0
	100.0%	76.5%	9.8%	0.0%	13.7%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%
非該当	169	127	13	1	28	12	1	1	8	2	0
	100.0%	75.1%	7.7%	0.6%	16.6%	100.0%	0.5%	0.5%	3.8%	1.0%	0.0%
生活課題_不登校	70	58	7	0	5	1	0	0	1	0	0
	100.0%	82.9%	10.0%	0.0%	7.1%	100.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%
非該当	150	108	11	1	30	12	1	1	7	3	0
	100.0%	72.0%	7.3%	0.7%	20.0%	100.0%	0.5%	0.5%	3.6%	1.6%	0.0%
生活課題_異性への依存	54	39	5	0	10	6	1	1	4	0	0
	100.0%	72.2%	9.3%	0.0%	18.5%	100.0%	1.5%	1.5%	5.9%	0.0%	0.0%
非該当	166	127	13	1	25	7	0	0	4	3	0
	100.0%	76.5%	7.8%	0.6%	15.1%	100.0%	0.0%	0.0%	2.0%	1.5%	0.0%
生活課題_インターネット上人間関係依存	46	33	4	1	8	2	1	0	0	1	0
	100.0%	71.7%	8.7%	2.2%	17.4%	100.0%	1.8%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%
非該当	174	133	14	0	27	11	0	1	8	2	0
	100.0%	76.4%	8.0%	0.0%	15.5%	100.0%	0.0%	0.5%	3.8%	1.0%	0.0%
生活課題_家出・無断外泊	88	66	11	0	11	9	0	1	5	3	0
	100.0%	75.0%	12.5%	0.0%	12.5%	100.0%	0.0%	0.9%	4.3%	2.6%	0.0%
非該当	132	100	7	1	24	4	1	0	3	0	0
	100.0%	75.8%	5.3%	0.8%	18.2%	100.0%	0.7%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%
児童環境_保護者分離体験	44	33	2	1	8	5	1	0	3	1	0
	100.0%	75.0%	4.5%	2.3%	18.2%	100.0%	1.7%	0.0%	5.2%	1.7%	0.0%
非該当	176	133	16	0	27	8	0	1	5	2	0
	100.0%	75.6%	9.1%	0.0%	15.3%	100.0%	0.0%	0.5%	2.4%	1.0%	0.0%
児童環境_経済的困難	56	42	2	1	11	4	0	0	3	1	0
	100.0%	75.0%	3.6%	1.8%	19.6%	100.0%	0.0%	0.0%	4.6%	1.5%	0.0%
非該当	164	124	16	0	24	9	1	1	5	2	0
	100.0%	75.6%	9.8%	0.0%	14.6%	100.0%	0.5%	0.5%	2.5%	1.0%	0.0%
児童環境_ひとり親家庭	86	70	6	0	10	3	0	0	2	1	0
	100.0%	81.4%	7.0%	0.0%	11.6%	100.0%	0.0%	0.0%	2.1%	1.0%	0.0%
非該当	134	96	12	1	25	10	1	1	6	2	0
	100.0%	71.6%	9.0%	0.7%	18.7%	100.0%	0.6%	0.6%	3.5%	1.2%	0.0%
児童環境_夫婦間不和	50	34	3	0	13	3	0	0	1	2	0
	100.0%	68.0%	6.0%	0.0%	26.0%	100.0%	0.0%	0.0%	1.7%	3.4%	0.0%
非該当	170	132	15	1	22	10	1	1	7	1	0
	100.0%	77.6%	8.8%	0.6%	12.9%	100.0%	0.5%	0.5%	3.4%	0.5%	0.0%
児童環境_保護者心身不安定	63	49	4	0	10	5	1	0	3	1	0
	100.0%	77.8%	6.3%	0.0%	15.9%	100.0%	1.4%	0.0%	4.2%	1.4%	0.0%
非該当	157	117	14	1	25	8	0	1	5	2	0
	100.0%	74.5%	8.9%	0.6%	15.9%	100.0%	0.0%	0.5%	2.6%	1.0%	0.0%
児童環境_保護者無関心	57	46	5	1	5	7	1	1	4	1	0
	100.0%	80.7%	8.8%	1.8%	8.8%	100.0%	1.4%	1.4%	5.6%	1.4%	0.0%
非該当	163	120	13	0	30	6	0	0	4	2	0
	100.0%	73.6%	8.0%	0.0%	18.4%	100.0%	0.0%	0.0%	2.1%	1.0%	0.0%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-7. 児童買春、児童ポルノに関与したときに同居していた家族の構成員

	合計	実父	実母	継父	継母	養父	養母	実兄	実弟	実姉	義妹	義兄	義弟	義姉
合計 実数	266	118	193	11	1	16	2	45	56	43	66	4	10	3
%	100.0%	44.4%	72.6%	4.1%	0.4%	6.0%	0.8%	16.9%	21.1%	16.2%	24.8%	1.5%	3.8%	1.1%
つないだ機関_警察	142	63	108	7	1	7	2	26	31	22	36	3	8	2
	100.0%	44.4%	76.1%	4.9%	0.7%	4.9%	1.4%	18.3%	21.8%	15.5%	25.4%	2.1%	5.6%	1.4%
非該当	124	55	85	4	0	9	0	19	25	21	30	1	2	1
	100.0%	44.4%	68.5%	3.2%	0.0%	7.3%	0.0%	15.3%	20.2%	16.9%	24.2%	0.8%	1.6%	0.8%
つないだ機関_学校	54	27	39	1	0	3	2	11	9	7	11	2	1	1
	100.0%	50.0%	72.2%	1.9%	0.0%	5.6%	3.7%	20.4%	16.7%	13.0%	20.4%	3.7%	1.9%	1.9%
非該当	212	91	154	10	1	13	0	34	47	36	55	2	9	2
	100.0%	42.9%	72.6%	4.7%	0.5%	6.1%	0.0%	16.0%	22.2%	17.0%	25.9%	0.9%	4.2%	0.9%
生活課題_親子関係不調	172	74	124	7	1	5	2	28	37	26	44	3	5	1
	100.0%	43.0%	72.1%	4.1%	0.6%	2.9%	1.2%	16.3%	21.5%	15.1%	25.6%	1.7%	2.9%	0.6%
非該当	94	44	69	4	0	11	0	17	19	17	22	1	5	2
	100.0%	46.8%	73.4%	4.3%	0.0%	11.7%	0.0%	18.1%	20.2%	18.1%	23.4%	1.1%	5.3%	2.1%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	44	73	6	0	4	2	17	30	17	30	3	2	2
	100.0%	41.5%	68.9%	5.7%	0.0%	3.8%	1.9%	16.0%	28.3%	16.0%	28.3%	2.8%	1.9%	1.9%
非該当	160	74	120	5	1	12	0	28	26	26	36	1	8	1
	100.0%	46.3%	75.0%	3.1%	0.6%	7.5%	0.0%	17.5%	16.3%	16.3%	22.5%	0.6%	5.0%	0.6%
生活課題_感情不安定	58	27	41	4	0	3	1	6	17	10	18	2	3	1
	100.0%	46.6%	70.7%	6.9%	0.0%	5.2%	1.7%	10.3%	29.3%	17.2%	31.0%	3.4%	5.2%	1.7%
非該当	208	91	152	7	1	13	1	39	39	33	48	2	7	2
	100.0%	43.8%	73.1%	3.4%	0.5%	6.3%	0.5%	18.8%	18.8%	15.9%	23.1%	1.0%	3.4%	1.0%
生活課題_不登校	73	26	50	2	0	1	2	10	16	11	17	3	0	1
	100.0%	35.6%	68.5%	2.7%	0.0%	1.4%	2.7%	13.7%	21.9%	15.1%	23.3%	4.1%	0.0%	1.4%
非該当	193	92	143	9	1	15	0	35	40	32	49	1	10	2
	100.0%	47.7%	74.1%	4.7%	0.5%	7.8%	0.0%	18.1%	20.7%	16.6%	25.4%	0.5%	5.2%	1.0%
生活課題_異性への依存	68	25	44	4	1	3	1	11	14	14	16	2	4	1
	100.0%	36.8%	64.7%	5.9%	1.5%	4.4%	1.5%	16.2%	20.6%	20.6%	23.5%	2.9%	5.9%	1.5%
非該当	198	93	149	7	0	13	1	34	42	29	50	2	6	2
	100.0%	47.0%	75.3%	3.5%	0.0%	6.6%	0.5%	17.2%	21.2%	14.6%	25.3%	1.0%	3.0%	1.0%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	26	41	2	0	1	1	9	16	8	14	1	2	1
	100.0%	46.4%	73.2%	3.6%	0.0%	1.8%	1.8%	16.1%	28.6%	14.3%	25.0%	1.8%	3.6%	1.8%
非該当	210	92	152	9	1	15	1	36	40	35	52	3	8	2
	100.0%	43.8%	72.4%	4.3%	0.5%	7.1%	0.5%	17.1%	19.0%	16.7%	24.8%	1.4%	3.8%	1.0%
生活課題_家出・無断外泊	116	48	81	6	1	4	2	16	26	18	24	3	4	1
	100.0%	41.4%	69.8%	5.2%	0.9%	3.4%	1.7%	13.8%	22.4%	15.5%	20.7%	2.6%	3.4%	0.9%
非該当	150	70	112	5	0	12	0	29	30	25	42	1	6	2
	100.0%	46.7%	74.7%	3.3%	0.0%	8.0%	0.0%	19.3%	20.0%	16.7%	28.0%	0.7%	4.0%	1.3%
児童環境_保護者分離体験	58	13	24	5	0	1	2	4	8	4	14	3	1	1
	100.0%	22.4%	41.4%	8.6%	0.0%	1.7%	3.4%	6.9%	13.8%	6.9%	24.1%	5.2%	1.7%	1.7%
非該当	208	105	169	6	1	15	0	41	48	39	52	1	9	2
	100.0%	50.5%	81.3%	2.9%	0.5%	7.2%	0.0%	19.7%	23.1%	18.8%	25.0%	0.5%	4.3%	1.0%
児童環境_経済的困難	65	20	45	4	0	1	1	9	13	15	15	2	1	2
	100.0%	30.8%	69.2%	6.2%	0.0%	1.5%	1.5%	13.8%	20.0%	23.1%	23.1%	3.1%	1.5%	3.1%
非該当	201	98	148	7	1	15	1	36	43	28	51	2	9	1
	100.0%	48.8%	73.6%	3.5%	0.5%	7.5%	0.5%	17.9%	21.4%	13.9%	25.4%	1.0%	4.5%	0.5%
児童環境_ひとり親家庭	96	23	62	1	0	0	0	18	14	21	17	0	1	0
	100.0%	24.0%	64.6%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	14.6%	21.9%	17.7%	0.0%	1.0%	0.0%
非該当	170	95	131	10	1	16	2	27	42	22	49	4	9	3
	100.0%	55.9%	77.1%	5.9%	0.6%	9.4%	1.2%	15.9%	24.7%	12.9%	28.8%	2.4%	5.3%	1.8%
児童環境_夫婦間不和	58	36	42	1	0	1	1	8	16	8	16	2	0	0
	100.0%	62.1%	72.4%	1.7%	0.0%	1.7%	1.7%	13.8%	27.6%	13.8%	27.6%	3.4%	0.0%	0.0%
非該当	208	82	151	10	1	15	1	37	40	35	50	2	10	3
	100.0%	39.4%	72.6%	4.8%	0.5%	7.2%	0.5%	17.8%	19.2%	16.8%	24.0%	1.0%	4.8%	1.4%
児童環境_保護者心身不安定	72	29	51	3	1	6	1	8	18	9	16	3	2	0
	100.0%	40.3%	70.8%	4.2%	1.4%	8.3%	1.4%	11.1%	25.0%	12.5%	22.2%	4.2%	2.8%	0.0%
非該当	194	89	142	8	0	10	1	37	38	34	50	1	8	3
	100.0%	45.9%	73.2%	4.1%	0.0%	5.2%	0.5%	19.1%	19.6%	17.5%	25.8%	0.5%	4.1%	1.5%
児童環境_保護者無関心	71	29	55	4	0	4	0	13	14	15	22	1	2	0
	100.0%	40.8%	77.5%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%	18.3%	19.7%	21.1%	31.0%	1.4%	2.8%	0.0%
非該当	195	89	138	7	1	12	2	32	42	28	44	3	8	3
	100.0%	45.6%	70.8%	3.6%	0.5%	6.2%	1.0%	16.4%	21.5%	14.4%	22.6%	1.5%	4.1%	1.5%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-7. 児童買春、児童ポルノに関与したときに同居していた家族の構成員(続き)

	合計	義妹	祖父	祖母	おじ	おば	その他親戚	親の内縁の夫	親の内縁の妻	里父	里母	その他同居人	無回答
合計 実数	266	7	17	28	2	2	2	11	0	2	2	22	15
%	100.0%	2.6%	6.4%	10.5%	0.8%	0.8%	0.8%	4.1%	0.0%	0.8%	0.8%	8.3%	5.6%
つないだ機関_警察	142	6	8	16	2	2	2	9	0	1	1	10	1
	100.0%	4.2%	5.6%	11.3%	1.4%	1.4%	1.4%	6.3%	0.0%	0.7%	0.7%	7.0%	0.7%
非該当	124	1	9	12	0	0	0	2	0	1	1	12	14
	100.0%	0.8%	7.3%	9.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.8%	0.8%	9.7%	11.3%
つないだ機関_学校	54	2	4	7	0	0	1	2	0	0	0	1	2
	100.0%	3.7%	7.4%	13.0%	0.0%	0.0%	1.9%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	3.7%
非該当	212	5	13	21	2	2	1	9	0	2	2	21	13
	100.0%	2.4%	6.1%	9.9%	0.9%	0.9%	0.5%	4.2%	0.0%	0.9%	0.9%	9.9%	6.1%
生活課題_親子関係不調	172	5	9	15	2	2	2	8	0	1	1	18	7
	100.0%	2.9%	5.2%	8.7%	1.2%	1.2%	1.2%	4.7%	0.0%	0.6%	0.6%	10.5%	4.1%
非該当	94	2	8	13	0	0	0	3	0	1	1	4	8
	100.0%	2.1%	8.5%	13.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	1.1%	1.1%	4.3%	8.5%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	2	8	12	0	0	2	2	0	1	1	9	5
	100.0%	1.9%	7.5%	11.3%	0.0%	0.0%	1.9%	1.9%	0.0%	0.9%	0.9%	8.5%	4.7%
非該当	160	5	9	16	2	2	0	9	0	1	1	13	10
	100.0%	3.1%	5.6%	10.0%	1.3%	1.3%	0.0%	5.6%	0.0%	0.6%	0.6%	8.1%	6.3%
生活課題_感情不安定	58	2	4	9	0	0	2	1	0	0	0	4	1
	100.0%	3.4%	6.9%	15.5%	0.0%	0.0%	3.4%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	1.7%
非該当	208	5	13	19	2	2	0	10	0	2	2	18	14
	100.0%	2.4%	6.3%	9.1%	1.0%	1.0%	0.0%	4.8%	0.0%	1.0%	1.0%	8.7%	6.7%
生活課題_不登校	73	0	7	12	0	0	1	1	0	0	0	9	2
	100.0%	0.0%	9.6%	16.4%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	12.3%	2.7%
非該当	193	7	10	16	2	2	1	10	0	2	2	13	13
	100.0%	3.6%	5.2%	8.3%	1.0%	1.0%	0.5%	5.2%	0.0%	1.0%	1.0%	6.7%	6.7%
生活課題_異性への依存	68	2	5	8	0	0	1	2	0	2	2	5	4
	100.0%	2.9%	7.4%	11.8%	0.0%	0.0%	1.5%	2.9%	0.0%	2.9%	2.9%	7.4%	5.9%
非該当	198	5	12	20	2	2	1	9	0	0	0	17	11
	100.0%	2.5%	6.1%	10.1%	1.0%	1.0%	0.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	8.6%	5.6%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	2	4	8	1	1	0	1	0	0	0	2	2
	100.0%	3.6%	7.1%	14.3%	1.8%	1.8%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%
非該当	210	5	13	20	1	1	2	10	0	2	2	20	13
	100.0%	2.4%	6.2%	9.5%	0.5%	0.5%	1.0%	4.8%	0.0%	1.0%	1.0%	9.5%	6.2%
生活課題_家出・無断外泊	116	4	7	11	1	1	2	5	0	1	1	10	4
	100.0%	3.4%	6.0%	9.5%	0.9%	0.9%	1.7%	4.3%	0.0%	0.9%	0.9%	8.6%	3.4%
非該当	150	3	10	17	1	1	0	6	0	1	1	12	11
	100.0%	2.0%	6.7%	11.3%	0.7%	0.7%	0.0%	4.0%	0.0%	0.7%	0.7%	8.0%	7.3%
児童環境_保護者分離体験	58	2	5	9	1	1	1	1	0	2	2	9	5
	100.0%	3.4%	8.6%	15.5%	1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	0.0%	3.4%	3.4%	15.5%	8.6%
非該当	208	5	12	19	1	1	1	10	0	0	0	13	10
	100.0%	2.4%	5.8%	9.1%	0.5%	0.5%	0.5%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	4.8%
児童環境_経済的困難	65	1	6	8	0	0	1	1	0	0	0	6	3
	100.0%	1.5%	9.2%	12.3%	0.0%	0.0%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	9.2%	4.6%
非該当	201	6	11	20	2	2	1	10	0	2	2	16	12
	100.0%	3.0%	5.5%	10.0%	1.0%	1.0%	0.5%	5.0%	0.0%	1.0%	1.0%	8.0%	6.0%
児童環境_ひとり親家庭	96	1	7	11	0	0	1	6	0	0	0	12	2
	100.0%	1.0%	7.3%	11.5%	0.0%	0.0%	1.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	2.1%
非該当	170	6	10	17	2	2	1	5	0	2	2	10	13
	100.0%	3.5%	5.9%	10.0%	1.2%	1.2%	0.6%	2.9%	0.0%	1.2%	1.2%	5.9%	7.6%
児童環境_夫婦間不和	58	0	2	3	0	0	2	0	0	0	0	5	3
	100.0%	0.0%	3.4%	5.2%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.6%	5.2%
非該当	208	7	15	25	2	2	0	11	0	2	2	17	12
	100.0%	3.4%	7.2%	12.0%	1.0%	1.0%	0.0%	5.3%	0.0%	1.0%	1.0%	8.2%	5.8%
児童環境_保護者心身不安定	72	3	4	8	1	1	2	3	0	0	0	8	3
	100.0%	4.2%	5.6%	11.1%	1.4%	1.4%	2.8%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	4.2%
非該当	194	4	13	20	1	1	0	8	0	2	2	14	12
	100.0%	2.1%	6.7%	10.3%	0.5%	0.5%	0.0%	4.1%	0.0%	1.0%	1.0%	7.2%	6.2%
児童環境_保護者無関心	71	2	6	8	0	0	2	4	0	0	0	8	3
	100.0%	2.8%	8.5%	11.3%	0.0%	0.0%	2.8%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	11.3%	4.2%
非該当	195	5	11	20	2	2	0	7	0	2	2	14	12
	100.0%	2.6%	5.6%	10.3%	1.0%	1.0%	0.0%	3.6%	0.0%	1.0%	1.0%	7.2%	6.2%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-7. 児童買春、児童ポルノに関与したときの同居家族(続き)
構成パターン

	合計	実母と実父のみ	実母と実父、その他家族	実母のみ	実母とその他の家族	実父のみ	実父とその他の家族	その他の家族形態	無回答
合計 実数	266	20	73	17	83	9	16	33	15
%	100.0%	7.5%	27.4%	6.4%	31.2%	3.4%	6.0%	12.4%	5.6%
つないだ機関_警察	142	12	36	9	51	6	9	18	1
	100.0%	8.5%	25.4%	6.3%	35.9%	4.2%	6.3%	12.7%	0.7%
非該当	124	8	37	8	32	3	7	15	14
	100.0%	6.5%	29.8%	6.5%	25.8%	2.4%	5.6%	12.1%	11.3%
つないだ機関_学校	54	3	15	5	16	4	5	4	2
	100.0%	5.6%	27.8%	9.3%	29.6%	7.4%	9.3%	7.4%	3.7%
非該当	212	17	58	12	67	5	11	29	13
	100.0%	8.0%	27.4%	5.7%	31.6%	2.4%	5.2%	13.7%	6.1%
生活課題_親子関係不調	172	9	47	14	54	8	10	23	7
	100.0%	5.2%	27.3%	8.1%	31.4%	4.7%	5.8%	13.4%	4.1%
非該当	94	11	26	3	29	1	6	10	8
	100.0%	11.7%	27.7%	3.2%	30.9%	1.1%	6.4%	10.6%	8.5%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	5	28	7	33	6	5	17	5
	100.0%	4.7%	26.4%	6.6%	31.1%	5.7%	4.7%	16.0%	4.7%
非該当	160	15	45	10	50	3	11	16	10
	100.0%	9.4%	28.1%	6.3%	31.3%	1.9%	6.9%	10.0%	6.3%
生活課題_感情不安定	58	3	14	2	22	4	6	6	1
	100.0%	5.2%	24.1%	3.4%	37.9%	6.9%	10.3%	10.3%	1.7%
非該当	208	17	59	15	61	5	10	27	14
	100.0%	8.2%	28.4%	7.2%	29.3%	2.4%	4.8%	13.0%	6.7%
生活課題_不登校	73	3	17	5	25	3	3	15	2
	100.0%	4.1%	23.3%	6.8%	34.2%	4.1%	4.1%	20.5%	2.7%
非該当	193	17	56	12	58	6	13	18	13
	100.0%	8.8%	29.0%	6.2%	30.1%	3.1%	6.7%	9.3%	6.7%
生活課題_異性への依存	68	5	12	4	23	1	7	12	4
	100.0%	7.4%	17.6%	5.9%	33.8%	1.5%	10.3%	17.6%	5.9%
非該当	198	15	61	13	60	8	9	21	11
	100.0%	7.6%	30.8%	6.6%	30.3%	4.0%	4.5%	10.6%	5.6%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	5	15	4	17	2	4	7	2
	100.0%	8.9%	26.8%	7.1%	30.4%	3.6%	7.1%	12.5%	3.6%
非該当	210	15	58	13	66	7	12	26	13
	100.0%	7.1%	27.6%	6.2%	31.4%	3.3%	5.7%	12.4%	6.2%
生活課題_家出・無断外泊	116	5	29	11	36	6	8	17	4
	100.0%	4.3%	25.0%	9.5%	31.0%	5.2%	6.9%	14.7%	3.4%
非該当	150	15	44	6	47	3	8	16	11
	100.0%	10.0%	29.3%	4.0%	31.3%	2.0%	5.3%	10.7%	7.3%
児童環境_保護者分離体験	58	0	3	6	15	3	7	19	5
	100.0%	0.0%	5.2%	10.3%	25.9%	5.2%	12.1%	32.8%	8.6%
非該当	208	20	70	11	68	6	9	14	10
	100.0%	9.6%	33.7%	5.3%	32.7%	2.9%	4.3%	6.7%	4.8%
児童環境_経済的困難	65	2	10	7	26	3	5	9	3
	100.0%	3.1%	15.4%	10.8%	40.0%	4.6%	7.7%	13.8%	4.6%
非該当	201	18	63	10	57	6	11	24	12
	100.0%	9.0%	31.3%	5.0%	28.4%	3.0%	5.5%	11.9%	6.0%
児童環境_ひとり親家庭	96	1	1	15	45	8	13	11	2
	100.0%	1.0%	1.0%	15.6%	46.9%	8.3%	13.5%	11.5%	2.1%
非該当	170	19	72	2	38	1	3	22	13
	100.0%	11.2%	42.4%	1.2%	22.4%	0.6%	1.8%	12.9%	7.6%
児童環境_夫婦間不和	58	3	27	5	7	1	5	7	3
	100.0%	5.2%	46.6%	8.6%	12.1%	1.7%	8.6%	12.1%	5.2%
非該当	208	17	46	12	76	8	11	26	12
	100.0%	8.2%	22.1%	5.8%	36.5%	3.8%	5.3%	12.5%	5.8%
児童環境_保護者心身不安定	72	5	16	5	25	4	4	10	3
	100.0%	6.9%	22.2%	6.9%	34.7%	5.6%	5.6%	13.9%	4.2%
非該当	194	15	57	12	58	5	12	23	12
	100.0%	7.7%	29.4%	6.2%	29.9%	2.6%	6.2%	11.9%	6.2%
児童環境_保護者無関心	71	3	21	4	27	4	1	8	3
	100.0%	4.2%	29.6%	5.6%	38.0%	5.6%	1.4%	11.3%	4.2%
非該当	195	17	52	13	56	5	15	25	12
	100.0%	8.7%	26.7%	6.7%	28.7%	2.6%	7.7%	12.8%	6.2%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-8. 当該ケースを児童相談所とつないだのは以下のどの組織あるいは個人ですか。(MA)

	合計	警察	学校	幼稚園・保育園	福祉事務所	市町村の児童相談担当部署	保健所・保健センター	病院	都道府県権利擁護センター	民間支援機関	児童本人	児童の保護者	親族	近隣・知人(除く同級生)の保護
合計 実数	266	142	54	1	4	18	1	3	0	2	16	29	24	1
%	100.0%	53.4%	20.3%	0.4%	1.5%	6.8%	0.4%	1.1%	0.0%	0.8%	6.0%	10.9%	9.0%	0.4%
つないだ機関_警察	142	142	19	0	1	4	0	1	0	0	2	6	4	0
	100.0%	100.0%	13.4%	0.0%	0.7%	2.8%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	1.4%	4.2%	2.8%	0.0%
非該当	124	0	35	1	3	14	1	2	0	2	14	23	20	1
	100.0%	0.0%	28.2%	0.8%	2.4%	11.3%	0.8%	1.6%	0.0%	1.6%	11.3%	18.5%	16.1%	0.8%
つないだ機関_学校	54	19	54	0	2	3	0	1	0	0	4	5	3	0
	100.0%	35.2%	100.0%	0.0%	3.7%	5.6%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	7.4%	9.3%	5.6%	0.0%
非該当	212	123	0	1	2	15	1	2	0	2	12	24	21	1
	100.0%	58.0%	0.0%	0.5%	0.9%	7.1%	0.5%	0.9%	0.0%	0.9%	5.7%	11.3%	9.9%	0.5%
生活課題_親子関係不調	172	96	36	1	1	13	0	2	0	2	15	17	17	1
	100.0%	55.8%	20.9%	0.6%	0.6%	7.6%	0.0%	1.2%	0.0%	1.2%	8.7%	9.9%	9.9%	0.6%
非該当	94	46	18	0	3	5	1	1	0	0	1	12	7	0
	100.0%	48.9%	19.1%	0.0%	3.2%	5.3%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	12.8%	7.4%	0.0%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	53	27	1	1	6	0	2	0	2	8	12	11	1
	100.0%	50.0%	25.5%	0.9%	0.9%	5.7%	0.0%	1.9%	0.0%	1.9%	7.5%	11.3%	10.4%	0.9%
非該当	160	89	27	0	3	12	1	1	0	0	8	17	13	0
	100.0%	55.6%	16.9%	0.0%	1.9%	7.5%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	5.0%	10.6%	8.1%	0.0%
生活課題_感情不安定	58	31	15	0	1	4	0	0	0	2	3	6	6	1
	100.0%	53.4%	25.9%	0.0%	1.7%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	5.2%	10.3%	10.3%	1.7%
非該当	208	111	39	1	3	14	1	3	0	0	13	23	18	0
	100.0%	53.4%	18.8%	0.5%	1.4%	6.7%	0.5%	1.4%	0.0%	0.0%	6.3%	11.1%	8.7%	0.0%
生活課題_不登校	73	42	16	0	1	6	1	0	0	0	6	11	7	1
	100.0%	57.5%	21.9%	0.0%	1.4%	8.2%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	8.2%	15.1%	9.6%	1.4%
非該当	193	100	38	1	3	12	0	3	0	2	10	18	17	0
	100.0%	51.8%	19.7%	0.5%	1.6%	6.2%	0.0%	1.6%	0.0%	1.0%	5.2%	9.3%	8.8%	0.0%
生活課題_異性への依存	68	35	15	1	1	8	0	1	0	0	7	7	8	0
	100.0%	51.5%	22.1%	1.5%	1.5%	11.8%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	10.3%	10.3%	11.8%	0.0%
非該当	198	107	39	0	3	10	1	2	0	2	9	22	16	1
	100.0%	54.0%	19.7%	0.0%	1.5%	5.1%	0.5%	1.0%	0.0%	1.0%	4.5%	11.1%	8.1%	0.5%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	37	8	0	1	6	0	0	0	1	1	6	6	0
	100.0%	66.1%	14.3%	0.0%	1.8%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%	10.7%	10.7%	0.0%
非該当	210	105	46	1	3	12	1	3	0	1	15	23	18	1
	100.0%	50.0%	21.9%	0.5%	1.4%	5.7%	0.5%	1.4%	0.0%	0.5%	7.1%	11.0%	8.6%	0.5%
生活課題_家出・無断外泊	116	74	21	1	1	5	0	0	0	2	10	9	10	1
	100.0%	63.8%	18.1%	0.9%	0.9%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	8.6%	7.8%	8.6%	0.9%
非該当	150	68	33	0	3	13	1	3	0	0	6	20	14	0
	100.0%	45.3%	22.0%	0.0%	2.0%	8.7%	0.7%	2.0%	0.0%	0.0%	4.0%	13.3%	9.3%	0.0%
児童環境_保護者分離体験	58	31	12	0	0	2	0	0	0	1	8	3	7	0
	100.0%	53.4%	20.7%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	13.8%	5.2%	12.1%	0.0%
非該当	208	111	42	1	4	16	1	3	0	1	8	26	17	1
	100.0%	53.4%	20.2%	0.5%	1.9%	7.7%	0.5%	1.4%	0.0%	0.5%	3.8%	12.5%	8.2%	0.5%
児童環境_経済的困難	65	31	18	0	1	9	1	1	0	0	8	4	7	1
	100.0%	47.7%	27.7%	0.0%	1.5%	13.8%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	12.3%	6.2%	10.8%	1.5%
非該当	201	111	36	1	3	9	0	2	0	2	8	25	17	0
	100.0%	55.2%	17.9%	0.5%	1.5%	4.5%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%	4.0%	12.4%	8.5%	0.0%
児童環境_ひとり親家庭	96	52	25	0	1	7	0	0	0	0	8	7	10	0
	100.0%	54.2%	26.0%	0.0%	1.0%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	7.3%	10.4%	0.0%
非該当	170	90	29	1	3	11	1	3	0	2	8	22	14	1
	100.0%	52.9%	17.1%	0.6%	1.8%	6.5%	0.6%	1.8%	0.0%	1.2%	4.7%	12.9%	8.2%	0.6%
児童環境_夫婦間不和	58	24	16	0	1	6	0	0	0	1	6	6	5	0
	100.0%	41.4%	27.6%	0.0%	1.7%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	10.3%	10.3%	8.6%	0.0%
非該当	208	118	38	1	3	12	1	3	0	1	10	23	19	1
	100.0%	56.7%	18.3%	0.5%	1.4%	5.8%	0.5%	1.4%	0.0%	0.5%	4.8%	11.1%	9.1%	0.5%
児童環境_保護者心身不安定	72	34	16	1	3	8	1	2	0	0	7	11	8	0
	100.0%	47.2%	22.2%	1.4%	4.2%	11.1%	1.4%	2.8%	0.0%	0.0%	9.7%	15.3%	11.1%	0.0%
非該当	194	108	38	0	1	10	0	1	0	2	9	18	16	1
	100.0%	55.7%	19.6%	0.0%	0.5%	5.2%	0.0%	0.5%	0.0%	1.0%	4.6%	9.3%	8.2%	0.5%
児童環境_保護者無関心	71	38	20	0	1	6	0	0	0	1	4	7	3	1
	100.0%	53.5%	28.2%	0.0%	1.4%	8.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	5.6%	9.9%	4.2%	1.4%
非該当	195	104	34	1	3	12	1	3	0	1	12	22	21	0
	100.0%	53.3%	17.4%	0.5%	1.5%	6.2%	0.5%	1.5%	0.0%	0.5%	6.2%	11.3%	10.8%	0.0%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

つないだ組織・人(続き)

	合計	同級生の保護者	弁護士	施設職員	その他	無回答
合計 実数	266	0	2	9	13	8
%	100.0%	0.0%	0.8%	3.4%	4.9%	3.0%
つないだ機関_警察	142	0	0	2	3	0
	100.0%	0.0%	0.0%	1.4%	2.1%	0.0%
非該当	124	0	2	7	10	8
	100.0%	0.0%	1.6%	5.6%	8.1%	6.5%
つないだ機関_学校	54	0	0	2	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	3.7%	1.9%	0.0%
非該当	212	0	2	7	12	8
	100.0%	0.0%	0.9%	3.3%	5.7%	3.8%
生活課題_親子関係不調	172	0	1	6	11	0
	100.0%	0.0%	0.6%	3.5%	6.4%	0.0%
非該当	94	0	1	3	2	8
	100.0%	0.0%	1.1%	3.2%	2.1%	8.5%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	0	1	5	10	0
	100.0%	0.0%	0.9%	4.7%	9.4%	0.0%
非該当	160	0	1	4	3	8
	100.0%	0.0%	0.6%	2.5%	1.9%	5.0%
生活課題_感情不安定	58	0	1	2	3	0
	100.0%	0.0%	1.7%	3.4%	5.2%	0.0%
非該当	208	0	1	7	10	8
	100.0%	0.0%	0.5%	3.4%	4.8%	3.8%
生活課題_不登校	73	0	0	5	3	0
	100.0%	0.0%	0.0%	6.8%	4.1%	0.0%
非該当	193	0	2	4	10	8
	100.0%	0.0%	1.0%	2.1%	5.2%	4.1%
生活課題_異性への依存	68	0	0	2	5	0
	100.0%	0.0%	0.0%	2.9%	7.4%	0.0%
非該当	198	0	2	7	8	8
	100.0%	0.0%	1.0%	3.5%	4.0%	4.0%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	0	0	1	3	0
	100.0%	0.0%	0.0%	1.8%	5.4%	0.0%
非該当	210	0	2	8	10	8
	100.0%	0.0%	1.0%	3.8%	4.8%	3.8%
生活課題_家出・無断外泊	116	0	1	2	7	0
	100.0%	0.0%	0.9%	1.7%	6.0%	0.0%
非該当	150	0	1	7	6	8
	100.0%	0.0%	0.7%	4.7%	4.0%	5.3%
児童環境_保護者分離体験	58	0	1	7	7	0
	100.0%	0.0%	1.7%	12.1%	12.1%	0.0%
非該当	208	0	1	2	6	8
	100.0%	0.0%	0.5%	1.0%	2.9%	3.8%
児童環境_経済的困難	65	0	0	0	4	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.2%	0.0%
非該当	201	0	2	9	9	8
	100.0%	0.0%	1.0%	4.5%	4.5%	4.0%
児童環境_ひとり親家庭	96	0	0	5	4	0
	100.0%	0.0%	0.0%	5.2%	4.2%	0.0%
非該当	170	0	2	4	9	8
	100.0%	0.0%	1.2%	2.4%	5.3%	4.7%
児童環境_夫婦間不和	58	0	1	2	4	1
	100.0%	0.0%	1.7%	3.4%	6.9%	1.7%
非該当	208	0	1	7	9	7
	100.0%	0.0%	0.5%	3.4%	4.3%	3.4%
児童環境_保護者心身不安定	72	0	0	2	5	1
	100.0%	0.0%	0.0%	2.8%	6.9%	1.4%
非該当	194	0	2	7	8	7
	100.0%	0.0%	1.0%	3.6%	4.1%	3.6%
児童環境_保護者無関心	71	0	0	2	5	0
	100.0%	0.0%	0.0%	2.8%	7.0%	0.0%
非該当	195	0	2	7	8	8
	100.0%	0.0%	1.0%	3.6%	4.1%	4.1%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-9-1. 児童自身の課題(あてはまるものすべてに○)

	合計	親子関係不調	低い自己評価(自信のなさ)	感情不安定	うつ状態	睡眠障害	自傷行為	自殺念慮	P T S D	乖離	パニック	不登校	保健室登校	友人から孤立
合計 実数	266	172	106	58	4	10	39	13	10	11	3	73	7	40
%	100.0%	64.7%	39.8%	21.8%	1.5%	3.8%	14.7%	4.9%	3.8%	4.1%	1.1%	27.4%	2.6%	15.0%
つないだ機関_警察	142	96	53	31	3	6	17	6	7	7	1	42	5	25
	100.0%	67.6%	37.3%	21.8%	2.1%	4.2%	12.0%	4.2%	4.9%	4.9%	0.7%	29.6%	3.5%	17.6%
非該当	124	76	53	27	1	4	22	7	3	4	2	31	2	15
	100.0%	61.3%	42.7%	21.8%	0.8%	3.2%	17.7%	5.6%	2.4%	3.2%	1.6%	25.0%	1.6%	12.1%
つないだ機関_学校	54	36	27	15	0	4	14	3	1	3	2	16	2	7
	100.0%	66.7%	50.0%	27.8%	0.0%	7.4%	25.9%	5.6%	1.9%	5.6%	3.7%	29.6%	3.7%	13.0%
非該当	212	136	79	43	4	6	25	10	9	8	1	57	5	33
	100.0%	64.2%	37.3%	20.3%	1.9%	2.8%	11.8%	4.7%	4.2%	3.8%	0.5%	26.9%	2.4%	15.6%
生活課題_親子関係不調	172	172	85	51	3	6	33	13	6	9	3	59	6	32
	100.0%	100.0%	49.4%	29.7%	1.7%	3.5%	19.2%	7.6%	3.5%	5.2%	1.7%	34.3%	3.5%	18.6%
非該当	94	0	21	7	1	4	6	0	4	2	0	14	1	8
	100.0%	0.0%	22.3%	7.4%	1.1%	4.3%	6.4%	0.0%	4.3%	2.1%	0.0%	14.9%	1.1%	8.5%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	85	106	34	2	5	25	10	7	8	2	43	5	25
	100.0%	80.2%	100.0%	32.1%	1.9%	4.7%	23.6%	9.4%	6.6%	7.5%	1.9%	40.6%	4.7%	23.6%
非該当	160	87	0	24	2	5	14	3	3	3	1	30	2	15
	100.0%	54.4%	0.0%	15.0%	1.3%	3.1%	8.8%	1.9%	1.9%	0.6%	18.8%	1.3%	9.4%	
生活課題_感情不安定	58	51	34	58	2	2	22	11	4	6	3	23	1	17
	100.0%	87.9%	58.6%	100.0%	3.4%	3.4%	37.9%	19.0%	6.9%	10.3%	5.2%	39.7%	1.7%	29.3%
非該当	208	121	72	0	2	8	17	2	6	5	0	50	6	23
	100.0%	58.2%	34.6%	0.0%	1.0%	3.8%	8.2%	1.0%	2.9%	2.4%	0.0%	24.0%	2.9%	11.1%
生活課題_不登校	73	59	43	23	2	3	19	5	2	4	1	73	4	23
	100.0%	80.8%	58.9%	31.5%	2.7%	4.1%	26.0%	6.8%	2.7%	5.5%	1.4%	100.0%	5.5%	31.5%
非該当	193	113	63	35	2	7	20	8	8	7	2	0	3	17
	100.0%	58.5%	32.6%	18.1%	1.0%	3.6%	10.4%	4.1%	4.1%	3.6%	1.0%	0.0%	1.6%	8.8%
生活課題_異性への依存	68	54	38	21	1	2	19	5	4	4	2	24	2	17
	100.0%	79.4%	55.9%	30.9%	1.5%	2.9%	27.9%	7.4%	5.9%	5.9%	2.9%	35.3%	2.9%	25.0%
非該当	198	118	68	37	3	8	20	8	6	7	1	49	5	23
	100.0%	59.6%	34.3%	18.7%	1.5%	4.0%	10.1%	4.0%	3.0%	3.5%	0.5%	24.7%	2.5%	11.6%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	46	27	20	0	3	11	5	5	5	1	24	1	15
	100.0%	82.1%	48.2%	35.7%	0.0%	5.4%	19.6%	8.9%	8.9%	8.9%	1.8%	42.9%	1.8%	26.8%
非該当	210	126	79	38	4	7	28	8	5	6	2	49	6	25
	100.0%	60.0%	37.6%	18.1%	1.9%	3.3%	13.3%	3.8%	2.4%	2.9%	1.0%	23.3%	2.9%	11.9%
生活課題_家出・無断外泊	116	100	58	36	1	4	25	9	6	7	2	42	6	24
	100.0%	86.2%	50.0%	31.0%	0.9%	3.4%	21.6%	7.8%	5.2%	6.0%	1.7%	36.2%	5.2%	20.7%
非該当	150	72	48	22	3	6	14	4	4	4	1	31	1	16
	100.0%	48.0%	32.0%	14.7%	2.0%	4.0%	9.3%	2.7%	2.7%	2.7%	0.7%	20.7%	0.7%	10.7%
児童環境_保護者分離体験	58	48	37	17	2	4	12	4	6	2	0	19	2	11
	100.0%	82.8%	63.8%	29.3%	3.4%	6.9%	20.7%	6.9%	10.3%	3.4%	0.0%	32.8%	3.4%	19.0%
非該当	208	124	69	41	2	6	27	9	4	9	3	54	5	29
	100.0%	59.6%	33.2%	19.7%	1.0%	2.9%	13.0%	4.3%	1.9%	4.3%	1.4%	26.0%	2.4%	13.9%
児童環境_経済的困難	65	48	35	21	1	5	12	2	2	1	1	25	1	11
	100.0%	73.8%	53.8%	32.3%	1.5%	7.7%	18.5%	3.1%	3.1%	1.5%	1.5%	38.5%	1.5%	16.9%
非該当	201	124	71	37	3	5	27	11	8	10	2	48	6	29
	100.0%	61.7%	35.3%	18.4%	1.5%	2.5%	13.4%	5.5%	4.0%	5.0%	1.0%	23.9%	3.0%	14.4%
児童環境_ひとり親家庭	96	73	46	26	2	5	20	5	3	4	1	38	4	20
	100.0%	76.0%	47.9%	27.1%	2.1%	5.2%	20.8%	5.2%	3.1%	4.2%	1.0%	39.6%	4.2%	20.8%
非該当	170	99	60	32	2	5	19	8	7	7	2	35	3	20
	100.0%	58.2%	35.3%	18.8%	1.2%	2.9%	11.2%	4.7%	4.1%	4.1%	1.2%	20.6%	1.8%	11.8%
児童環境_夫婦間不和	58	50	32	19	0	2	11	3	0	2	2	17	2	14
	100.0%	86.2%	55.2%	32.8%	0.0%	3.4%	19.0%	5.2%	0.0%	3.4%	3.4%	29.3%	3.4%	24.1%
非該当	208	122	74	39	4	8	28	10	10	9	1	56	5	26
	100.0%	58.7%	35.6%	18.8%	1.9%	3.8%	13.5%	4.8%	4.8%	4.3%	0.5%	26.9%	2.4%	12.5%
児童環境_保護者心身不安定	72	53	36	21	1	5	14	3	2	3	2	27	2	17
	100.0%	73.6%	50.0%	29.2%	1.4%	6.9%	19.4%	4.2%	2.8%	4.2%	2.8%	37.5%	2.8%	23.6%
非該当	194	119	70	37	3	5	25	10	8	8	1	46	5	23
	100.0%	61.3%	36.1%	19.1%	1.5%	2.6%	12.9%	5.2%	4.1%	4.1%	0.5%	23.7%	2.6%	11.9%
児童環境_保護者無関心	71	55	34	22	1	1	19	8	2	4	2	25	2	12
	100.0%	77.5%	47.9%	31.0%	1.4%	1.4%	26.8%	11.3%	2.8%	5.6%	2.8%	35.2%	2.8%	16.9%
非該当	195	117	72	36	3	9	20	5	8	7	1	48	5	28
	100.0%	60.0%	36.9%	18.5%	1.5%	4.6%	10.3%	2.6%	4.1%	3.6%	0.5%	24.6%	2.6%	14.4%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-9-1. 児童自身の課題(あてはまるものすべてに○) (続き)

	合計	いじめ被害	異性への依存	異性への嫌悪感	インターネット依存	家出・無断外泊	不安定な就労	その他	あてはまらない	わからない	無回答
合計 実数	266	23	68	5	56	116	11	28	24	4	7
%	100.0%	8.6%	25.6%	1.9%	21.1%	43.6%	4.1%	10.5%	9.0%	1.5%	2.6%
つないだ機関_警察	142	11	35	3	37	74	6	9	14	4	0
	100.0%	7.7%	24.6%	2.1%	26.1%	52.1%	4.2%	6.3%	9.9%	2.8%	0.0%
非該当	124	12	33	2	19	42	5	19	10	0	7
	100.0%	9.7%	26.6%	1.6%	15.3%	33.9%	4.0%	15.3%	8.1%	0.0%	5.6%
つないだ機関_学校	54	6	15	0	8	21	1	9	2	0	0
	100.0%	11.1%	27.8%	0.0%	14.8%	38.9%	1.9%	16.7%	3.7%	0.0%	0.0%
非該当	212	17	53	5	48	95	10	19	22	4	7
	100.0%	8.0%	25.0%	2.4%	22.6%	44.8%	4.7%	9.0%	10.4%	1.9%	3.3%
生活課題_親子関係不調	172	13	54	3	46	100	9	15	0	0	0
	100.0%	7.6%	31.4%	1.7%	26.7%	58.1%	5.2%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%
非該当	94	10	14	2	10	16	2	13	24	4	7
	100.0%	10.6%	14.9%	2.1%	10.6%	17.0%	2.1%	13.8%	25.5%	4.3%	7.4%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	13	38	5	27	58	6	7	0	0	0
	100.0%	12.3%	35.8%	4.7%	25.5%	54.7%	5.7%	6.6%	0.0%	0.0%	0.0%
非該当	160	10	30	0	29	58	5	21	24	4	7
	100.0%	6.3%	18.8%	0.0%	18.1%	36.3%	3.1%	13.1%	15.0%	2.5%	4.4%
生活課題_感情不安定	58	8	21	2	20	36	4	6	0	0	0
	100.0%	13.8%	36.2%	3.4%	34.5%	62.1%	6.9%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%
非該当	208	15	47	3	36	80	7	22	24	4	7
	100.0%	7.2%	22.6%	1.4%	17.3%	38.5%	3.4%	10.6%	11.5%	1.9%	3.4%
生活課題_不登校	73	12	24	1	24	42	0	4	0	0	0
	100.0%	16.4%	32.9%	1.4%	32.9%	57.5%	0.0%	5.5%	0.0%	0.0%	0.0%
非該当	193	11	44	4	32	74	11	24	24	4	7
	100.0%	5.7%	22.8%	2.1%	16.6%	38.3%	5.7%	12.4%	12.4%	2.1%	3.6%
生活課題_異性への依存	68	11	68	0	19	46	5	4	0	0	0
	100.0%	16.2%	100.0%	0.0%	27.9%	67.6%	7.4%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
非該当	198	12	0	5	37	70	6	24	24	4	7
	100.0%	6.1%	0.0%	2.5%	18.7%	35.4%	3.0%	12.1%	12.1%	2.0%	3.5%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	10	19	2	56	32	1	4	0	0	0
	100.0%	17.9%	33.9%	3.6%	100.0%	57.1%	1.8%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
非該当	210	13	49	3	0	84	10	24	24	4	7
	100.0%	6.2%	23.3%	1.4%	0.0%	40.0%	4.8%	11.4%	11.4%	1.9%	3.3%
生活課題_家出・無断外泊	116	12	46	3	32	116	8	4	0	0	0
	100.0%	10.3%	39.7%	2.6%	27.6%	100.0%	6.9%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%
非該当	150	11	22	2	24	0	3	24	24	4	7
	100.0%	7.3%	14.7%	1.3%	16.0%	0.0%	2.0%	16.0%	16.0%	2.7%	4.7%
児童環境_保護者分離体験	58	5	18	2	20	29	5	5	1	0	0
	100.0%	8.6%	31.0%	3.4%	34.5%	50.0%	8.6%	8.6%	1.7%	0.0%	0.0%
非該当	208	18	50	3	36	87	6	23	23	4	7
	100.0%	8.7%	24.0%	1.4%	17.3%	41.8%	2.9%	11.1%	11.1%	1.9%	3.4%
児童環境_経済的困難	65	9	17	2	11	28	5	9	2	1	0
	100.0%	13.8%	26.2%	3.1%	16.9%	43.1%	7.7%	13.8%	3.1%	1.5%	0.0%
非該当	201	14	51	3	45	88	6	19	22	3	7
	100.0%	7.0%	25.4%	1.5%	22.4%	43.8%	3.0%	9.5%	10.9%	1.5%	3.5%
児童環境_ひとり親家庭	96	9	30	2	25	54	2	12	3	0	0
	100.0%	9.4%	31.3%	2.1%	26.0%	56.3%	2.1%	12.5%	3.1%	0.0%	0.0%
非該当	170	14	38	3	31	62	9	16	21	4	7
	100.0%	8.2%	22.4%	1.8%	18.2%	36.5%	5.3%	9.4%	12.4%	2.4%	4.1%
児童環境_夫婦間不和	58	9	16	2	15	35	2	7	4	0	0
	100.0%	15.5%	27.6%	3.4%	25.9%	60.3%	3.4%	12.1%	6.9%	0.0%	0.0%
非該当	208	14	52	3	41	81	9	21	20	4	7
	100.0%	6.7%	25.0%	1.4%	19.7%	38.9%	4.3%	10.1%	9.6%	1.9%	3.4%
児童環境_保護者心身不安定	72	8	23	2	15	32	3	7	5	0	0
	100.0%	11.1%	31.9%	2.8%	20.8%	44.4%	4.2%	9.7%	6.9%	0.0%	0.0%
非該当	194	15	45	3	41	84	8	21	19	4	7
	100.0%	7.7%	23.2%	1.5%	21.1%	43.3%	4.1%	10.8%	9.8%	2.1%	3.6%
児童環境_保護者無関心	71	7	20	3	16	36	4	6	3	1	0
	100.0%	9.9%	28.2%	4.2%	22.5%	50.7%	5.6%	8.5%	4.2%	1.4%	0.0%
非該当	195	16	48	2	40	80	7	22	21	3	7
	100.0%	8.2%	24.6%	1.0%	20.5%	41.0%	3.6%	11.3%	10.8%	1.5%	3.6%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-9-2. 児童を取りまく環境(あてはまるものすべてに○)

	合計	保護者若年出産	保護者との分離体験	経済的困難	保護者不安定就労	ひとり親家庭	ステップファミリー	保護者DV	夫婦間不和	夫婦間以外の家族間不和	保護者心身不安定	保護者無関心	親族から孤立	地域から孤立
合計 実数	266	20	58	65	30	96	32	27	58	31	72	71	21	18
%	100.0%	7.5%	21.8%	24.4%	11.3%	36.1%	12.0%	10.2%	21.8%	11.7%	27.1%	26.7%	7.9%	6.8%
つないだ機関_警察	142	12	31	31	18	52	17	14	24	15	34	38	5	7
	100.0%	8.5%	21.8%	21.8%	12.7%	36.6%	12.0%	9.9%	16.9%	10.6%	23.9%	26.8%	3.5%	4.9%
非該当	124	8	27	34	12	44	15	13	34	16	38	33	16	11
	100.0%	6.5%	21.8%	27.4%	9.7%	35.5%	12.1%	10.5%	27.4%	12.9%	30.6%	26.6%	12.9%	8.9%
つないだ機関_学校	54	6	12	18	6	25	7	8	16	6	16	20	3	4
	100.0%	11.1%	22.2%	33.3%	11.1%	46.3%	13.0%	14.8%	29.6%	11.1%	29.6%	37.0%	5.6%	7.4%
非該当	212	14	46	47	24	71	25	19	42	25	56	51	18	14
	100.0%	6.6%	21.7%	22.2%	11.3%	33.5%	11.8%	9.0%	19.8%	11.8%	26.4%	24.1%	8.5%	6.6%
生活課題_親子関係不調	172	18	48	48	22	73	18	23	50	29	53	55	14	11
	100.0%	10.5%	27.9%	27.9%	12.8%	42.4%	10.5%	13.4%	29.1%	16.9%	30.8%	32.0%	8.1%	6.4%
非該当	94	2	10	17	8	23	14	4	8	2	19	16	7	7
	100.0%	2.1%	10.6%	18.1%	8.5%	24.5%	14.9%	4.3%	8.5%	2.1%	20.2%	17.0%	7.4%	7.4%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	17	37	35	17	46	13	16	32	17	36	34	13	11
	100.0%	16.0%	34.9%	33.0%	16.0%	43.4%	12.3%	15.1%	30.2%	16.0%	34.0%	32.1%	12.3%	10.4%
非該当	160	3	21	30	13	50	19	11	26	14	36	37	8	7
	100.0%	1.9%	13.1%	18.8%	8.1%	31.3%	11.9%	6.9%	16.3%	8.8%	22.5%	23.1%	5.0%	4.4%
生活課題_感情不安定	58	6	17	21	11	26	8	10	19	11	21	22	8	7
	100.0%	10.3%	29.3%	36.2%	19.0%	44.8%	13.8%	17.2%	32.8%	19.0%	36.2%	37.9%	13.8%	12.1%
非該当	208	14	41	44	19	70	24	17	39	20	51	49	13	11
	100.0%	6.7%	19.7%	21.2%	9.1%	33.7%	11.5%	8.2%	18.8%	9.6%	24.5%	23.6%	6.3%	5.3%
生活課題_不登校	73	12	19	25	12	38	5	9	17	14	27	25	9	11
	100.0%	16.4%	26.0%	34.2%	16.4%	52.1%	6.8%	12.3%	23.3%	19.2%	37.0%	34.2%	12.3%	15.1%
非該当	193	8	39	40	18	58	27	18	41	17	45	46	12	7
	100.0%	4.1%	20.2%	20.7%	9.3%	30.1%	14.0%	9.3%	21.2%	8.8%	23.3%	23.8%	6.2%	3.6%
生活課題_異性への依存	68	7	18	17	5	30	8	11	16	10	23	20	6	6
	100.0%	10.3%	26.5%	25.0%	7.4%	44.1%	11.8%	16.2%	23.5%	14.7%	33.8%	29.4%	8.8%	8.8%
非該当	198	13	40	48	25	66	24	16	42	21	49	51	15	12
	100.0%	6.6%	20.2%	24.2%	12.6%	33.3%	12.1%	8.1%	21.2%	10.6%	24.7%	25.8%	7.6%	6.1%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	11	20	11	8	25	3	9	15	9	15	16	3	3
	100.0%	19.6%	35.7%	19.6%	14.3%	44.6%	5.4%	16.1%	26.8%	16.1%	26.8%	28.6%	5.4%	5.4%
非該当	210	9	38	54	22	71	29	18	43	22	57	55	18	15
	100.0%	4.3%	18.1%	25.7%	10.5%	33.8%	13.8%	8.6%	20.5%	10.5%	27.1%	26.2%	8.6%	7.1%
生活課題_家出・無断外泊	116	12	29	28	14	54	13	16	35	21	32	36	10	7
	100.0%	10.3%	25.0%	24.1%	12.1%	46.6%	11.2%	13.8%	30.2%	18.1%	27.6%	31.0%	8.6%	6.0%
非該当	150	8	29	37	16	42	19	11	23	10	40	35	11	11
	100.0%	5.3%	19.3%	24.7%	10.7%	28.0%	12.7%	7.3%	15.3%	6.7%	26.7%	23.3%	7.3%	7.3%
児童環境_保護者分離体験	58	13	58	25	9	31	8	12	14	12	21	21	9	3
	100.0%	22.4%	100.0%	43.1%	15.5%	53.4%	13.8%	20.7%	24.1%	20.7%	36.2%	36.2%	15.5%	5.2%
非該当	208	7	0	40	21	65	24	15	44	19	51	50	12	15
	100.0%	3.4%	0.0%	19.2%	10.1%	31.3%	11.5%	7.2%	21.2%	9.1%	24.5%	24.0%	5.8%	7.2%
児童環境_経済的困難	65	10	25	65	17	40	7	14	17	9	28	21	11	12
	100.0%	15.4%	38.5%	100.0%	26.2%	61.5%	10.8%	21.5%	26.2%	13.8%	43.1%	32.3%	16.9%	18.5%
非該当	201	10	33	0	13	56	25	13	41	22	44	50	10	6
	100.0%	5.0%	16.4%	0.0%	6.5%	27.9%	12.4%	6.5%	20.4%	10.9%	21.9%	24.9%	5.0%	3.0%
児童環境_ひとり親家庭	96	9	31	40	16	96	4	14	17	10	29	29	9	11
	100.0%	9.4%	32.3%	41.7%	16.7%	100.0%	4.2%	14.6%	17.7%	10.4%	30.2%	20.2%	9.4%	11.5%
非該当	170	11	27	25	14	0	28	13	41	21	43	42	12	7
	100.0%	6.5%	15.9%	14.7%	8.2%	0.0%	16.5%	7.6%	24.1%	12.4%	25.3%	24.7%	7.1%	4.1%
児童環境_夫婦間不和	58	5	14	17	12	17	7	13	58	9	22	16	7	5
	100.0%	8.6%	24.1%	29.3%	20.7%	29.3%	12.1%	22.4%	100.0%	15.5%	37.9%	27.6%	12.1%	8.6%
非該当	208	15	44	48	18	79	25	14	0	22	50	55	14	13
	100.0%	7.2%	21.2%	23.1%	8.7%	38.0%	12.0%	6.7%	0.0%	10.6%	24.0%	26.4%	6.7%	6.3%
児童環境_保護者心身不安定	72	7	21	28	15	29	10	9	22	11	72	21	9	9
	100.0%	9.7%	29.2%	38.9%	20.8%	40.3%	13.9%	12.5%	30.6%	15.3%	100.0%	29.2%	12.5%	12.5%
非該当	194	13	37	37	15	67	22	18	36	20	0	50	12	9
	100.0%	6.7%	19.1%	19.1%	7.7%	34.5%	11.3%	9.3%	18.6%	10.3%	0.0%	25.8%	6.2%	4.6%
児童環境_保護者無関心	71	11	21	21	12	29	9	8	16	11	21	71	10	9
	100.0%	15.5%	29.6%	29.6%	16.9%	40.8%	12.7%	11.3%	22.5%	15.5%	29.6%	100.0%	14.1%	12.7%
非該当	195	9	37	44	18	67	23	19	42	20	51	0	11	9
	100.0%	4.6%	19.0%	22.6%	9.2%	34.4%	11.8%	9.7%	21.5%	10.3%	26.2%	0.0%	5.6%	4.6%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-9-2. 児童を取りまく環境(続き)

	合計	頻繁な転居	狭いまたは劣悪な住環境	その他	あてはまるものはない	わからない	無回答
合計 実数	266	14	26	24	20	7	7
%	100.0%	5.3%	9.8%	9.0%	7.5%	2.6%	2.6%
つないだ機関_警察	142	7	14	10	17	5	0
	100.0%	4.9%	9.9%	7.0%	12.0%	3.5%	0.0%
非該当	124	7	12	14	3	2	7
	100.0%	5.6%	9.7%	11.3%	2.4%	1.6%	5.6%
つないだ機関_学校	54	2	10	5	2	1	0
	100.0%	3.7%	18.5%	9.3%	3.7%	1.9%	0.0%
非該当	212	12	16	19	18	6	7
	100.0%	5.7%	7.5%	9.0%	8.5%	2.8%	3.3%
生活課題_親子関係不調	172	10	22	18	5	0	0
	100.0%	5.8%	12.8%	10.5%	2.9%	0.0%	0.0%
非該当	94	4	4	6	15	7	7
	100.0%	4.3%	4.3%	6.4%	16.0%	7.4%	7.4%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	9	16	10	3	1	0
	100.0%	8.5%	15.1%	9.4%	2.8%	0.9%	0.0%
非該当	160	5	10	14	17	6	7
	100.0%	3.1%	6.3%	8.8%	10.6%	3.8%	4.4%
生活課題_感情不安定	58	5	8	7	1	0	0
	100.0%	8.6%	13.8%	12.1%	1.7%	0.0%	0.0%
非該当	208	9	18	17	19	7	7
	100.0%	4.3%	8.7%	8.2%	9.1%	3.4%	3.4%
生活課題_不登校	73	4	16	7	2	1	0
	100.0%	5.5%	21.9%	9.6%	2.7%	1.4%	0.0%
非該当	193	10	10	17	18	6	7
	100.0%	5.2%	5.2%	8.8%	9.3%	3.1%	3.6%
生活課題_異性への依存	68	2	12	3	1	2	0
	100.0%	2.9%	17.6%	4.4%	1.5%	2.9%	0.0%
非該当	198	12	14	21	19	5	7
	100.0%	6.1%	7.1%	10.6%	9.6%	2.5%	3.5%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	2	7	9	5	0	0
	100.0%	3.6%	12.5%	16.1%	8.9%	0.0%	0.0%
非該当	210	12	19	15	15	7	7
	100.0%	5.7%	9.0%	7.1%	7.1%	3.3%	3.3%
生活課題_家出・無断外泊	116	7	15	16	2	3	0
	100.0%	6.0%	12.9%	13.8%	1.7%	2.6%	0.0%
非該当	150	7	11	8	18	4	7
	100.0%	4.7%	7.3%	5.3%	12.0%	2.7%	4.7%
児童環境_保護者分離体験	58	5	9	5	0	0	0
	100.0%	8.6%	15.5%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%
非該当	208	9	17	19	20	7	7
	100.0%	4.3%	8.2%	9.1%	9.6%	3.4%	3.4%
児童環境_経済的困難	65	7	15	5	0	0	0
	100.0%	10.8%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
非該当	201	7	11	19	20	7	7
	100.0%	3.5%	5.5%	9.5%	10.0%	3.5%	3.5%
児童環境_ひとり親家庭	96	8	13	9	0	0	0
	100.0%	8.3%	13.5%	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%
非該当	170	6	13	15	20	7	7
	100.0%	3.5%	7.6%	8.8%	11.8%	4.1%	4.1%
児童環境_夫婦間不和	58	2	5	6	0	0	0
	100.0%	3.4%	8.6%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%
非該当	208	12	21	18	20	7	7
	100.0%	5.8%	10.1%	8.7%	9.6%	3.4%	3.4%
児童環境_保護者心身不安定	72	5	9	2	0	0	0
	100.0%	6.9%	12.5%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%
非該当	194	9	17	22	20	7	7
	100.0%	4.6%	8.8%	11.3%	10.3%	3.6%	3.6%
児童環境_保護者無関心	71	8	14	6	0	0	0
	100.0%	11.3%	19.7%	8.5%	0.0%	0.0%	0.0%
非該当	195	6	12	18	20	7	7
	100.0%	3.1%	6.2%	9.2%	10.3%	3.6%	3.6%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-10-1. 当該ケースの取り扱い状況(あてはまるものすべてに○)

	合計	終結 (市町村等 に引きつ き)	終結 (完全 終結)	調査中 (取り扱い中)	継続指導中	児童福祉司指導中	施設入所	里親委託中	家裁送致	訓戒・誓約	他機関あっせん	他児童相談所へ移管	その他	無回答
合計 実数	266	20	34	20	85	28	56	5	11	2	4	6	12	9
%	100.0%	7.5%	12.8%	7.5%	32.0%	10.5%	21.1%	1.9%	4.1%	0.8%	1.5%	2.3%	4.5%	3.4%
つないだ機関_警察	142	10	25	9	48	14	23	2	8	2	1	2	6	2
	100.0%	7.0%	17.6%	6.3%	33.8%	9.9%	16.2%	1.4%	5.6%	1.4%	0.7%	1.4%	4.2%	1.4%
非該当	124	10	9	11	37	14	33	3	3	0	3	4	6	7
	100.0%	8.1%	7.3%	8.9%	29.8%	11.3%	26.6%	2.4%	2.4%	0.0%	2.4%	3.2%	4.8%	5.6%
つないだ機関_学校	54	0	5	7	22	6	9	2	2	0	1	2	2	1
	100.0%	0.0%	9.3%	13.0%	40.7%	11.1%	16.7%	3.7%	3.7%	0.0%	1.9%	3.7%	3.7%	1.9%
非該当	212	20	29	13	63	22	47	3	9	2	3	4	10	8
	100.0%	9.4%	13.7%	6.1%	29.7%	10.4%	22.2%	1.4%	4.2%	0.9%	1.4%	1.9%	4.7%	3.8%
生活課題_親子関係不調	172	9	19	16	58	16	41	4	9	0	3	4	7	1
	100.0%	5.2%	11.0%	9.3%	33.7%	9.3%	23.8%	2.3%	5.2%	0.0%	1.7%	2.3%	4.1%	0.6%
非該当	94	11	15	4	27	12	15	1	2	2	1	2	5	8
	100.0%	11.7%	16.0%	4.3%	28.7%	12.8%	16.0%	1.1%	2.1%	2.1%	1.1%	2.1%	5.3%	8.5%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	5	12	10	24	14	31	3	8	0	0	2	7	2
	100.0%	4.7%	11.3%	9.4%	22.6%	13.2%	29.2%	2.8%	7.5%	0.0%	0.0%	1.9%	6.6%	1.9%
非該当	160	15	22	10	61	14	25	2	3	2	4	4	5	7
	100.0%	9.4%	13.8%	6.3%	38.1%	8.8%	15.6%	1.3%	1.9%	1.3%	2.5%	2.5%	3.1%	4.4%
生活課題_感情不安定	58	1	5	6	17	11	11	0	4	0	2	2	6	0
	100.0%	1.7%	8.6%	10.3%	29.3%	19.0%	19.0%	0.0%	6.9%	0.0%	3.4%	3.4%	10.3%	0.0%
非該当	208	19	29	14	68	17	45	5	7	2	2	4	6	9
	100.0%	9.1%	13.9%	6.7%	32.7%	8.2%	21.6%	2.4%	3.4%	1.0%	1.0%	1.9%	2.9%	4.3%
生活課題_不登校	73	3	5	6	30	11	17	1	4	0	2	1	3	0
	100.0%	4.1%	6.8%	8.2%	41.1%	15.1%	23.3%	1.4%	5.5%	0.0%	2.7%	1.4%	4.1%	0.0%
非該当	193	17	29	14	55	17	39	4	7	2	2	5	9	9
	100.0%	8.8%	15.0%	7.3%	28.5%	8.8%	20.2%	2.1%	3.6%	1.0%	1.0%	2.6%	4.7%	4.7%
生活課題_異性への依存	68	2	5	6	22	7	16	3	6	1	1	0	4	0
	100.0%	2.9%	7.4%	8.8%	32.4%	10.3%	23.5%	4.4%	8.8%	1.5%	1.5%	0.0%	5.9%	0.0%
非該当	198	18	29	14	63	21	40	2	5	1	3	6	8	9
	100.0%	9.1%	14.6%	7.1%	31.8%	10.6%	20.2%	1.0%	2.5%	0.5%	1.5%	3.0%	4.0%	4.5%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	2	7	4	20	4	14	0	3	0	1	1	5	0
	100.0%	3.6%	12.5%	7.1%	35.7%	7.1%	25.0%	0.0%	5.4%	0.0%	1.8%	1.8%	8.9%	0.0%
非該当	210	18	27	16	65	24	42	5	8	2	3	5	7	9
	100.0%	8.6%	12.9%	7.6%	31.0%	11.4%	20.0%	2.4%	3.8%	1.0%	1.4%	2.4%	3.3%	4.3%
生活課題_家出・無断外泊	116	9	13	8	37	14	23	2	9	1	2	1	9	0
	100.0%	7.8%	11.2%	6.9%	31.9%	12.1%	19.8%	1.7%	7.8%	0.9%	1.7%	0.9%	7.8%	0.0%
非該当	150	11	21	12	48	14	33	3	2	1	2	5	3	9
	100.0%	7.3%	14.0%	8.0%	32.0%	9.3%	22.0%	2.0%	1.3%	0.7%	1.3%	3.3%	2.0%	6.0%
児童環境_保護者分離体験	58	1	5	1	23	5	18	3	4	0	1	2	3	1
	100.0%	1.7%	8.6%	1.7%	39.7%	8.6%	31.0%	5.2%	6.9%	0.0%	1.7%	3.4%	5.2%	1.7%
非該当	208	19	29	19	62	23	38	2	7	2	3	4	9	8
	100.0%	9.1%	13.9%	9.1%	29.8%	11.1%	18.3%	1.0%	3.4%	1.0%	1.4%	1.9%	4.3%	3.8%
児童環境_経済的困難	65	1	7	2	25	8	20	0	3	0	1	1	4	2
	100.0%	1.5%	10.8%	3.1%	38.5%	12.3%	30.8%	0.0%	4.6%	0.0%	1.5%	1.5%	6.2%	3.1%
非該当	201	19	27	18	60	20	36	5	8	2	3	5	8	7
	100.0%	9.5%	13.4%	9.0%	29.9%	10.0%	17.9%	2.5%	4.0%	1.0%	1.5%	2.5%	4.0%	3.5%
児童環境_ひとり親家庭	96	3	6	6	34	13	28	1	5	1	2	1	5	1
	100.0%	3.1%	6.3%	6.3%	35.4%	13.5%	29.2%	1.0%	5.2%	1.0%	2.1%	1.0%	5.2%	1.0%
非該当	170	17	28	14	51	15	28	4	6	1	2	5	7	8
	100.0%	10.0%	16.5%	8.2%	30.0%	8.8%	16.5%	2.4%	3.5%	0.6%	1.2%	2.9%	4.1%	4.7%
児童環境_夫婦間不和	58	4	5	7	19	9	14	1	3	0	1	1	3	0
	100.0%	6.9%	8.6%	12.1%	32.8%	15.5%	24.1%	1.7%	5.2%	0.0%	1.7%	1.7%	5.2%	0.0%
非該当	208	16	29	13	66	19	42	4	8	2	3	5	9	9
	100.0%	7.7%	13.9%	6.3%	31.7%	9.1%	20.2%	1.9%	3.8%	1.0%	1.4%	2.4%	4.3%	4.3%
児童環境_保護者心身不安定	72	6	8	3	26	11	18	0	6	0	3	2	3	0
	100.0%	8.3%	11.1%	4.2%	36.1%	15.3%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%	4.2%	2.8%	4.2%	0.0%
非該当	194	14	26	17	59	17	38	5	5	2	1	4	9	9
	100.0%	7.2%	13.4%	8.8%	30.4%	8.8%	19.6%	2.6%	2.6%	1.0%	0.5%	2.1%	4.6%	4.6%
児童環境_保護者無関心	71	1	9	6	22	7	22	1	3	0	2	3	3	0
	100.0%	1.4%	12.7%	8.5%	31.0%	9.9%	31.0%	1.4%	4.2%	0.0%	2.8%	4.2%	4.2%	0.0%
非該当	195	19	25	14	63	21	34	4	8	2	2	3	9	9
	100.0%	9.7%	12.8%	7.2%	32.3%	10.8%	17.4%	2.1%	4.1%	1.0%	1.0%	1.5%	4.6%	4.6%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-10-2. 児童と家族に行った援助の実施状況(あてはまるものすべてに○)

	合計	来所して個別面接	家庭訪問による面接	施設訪問による面接	個別心理療法	グループ療法	精神科医療	学校訪問による面接	司法面接	一時保護・一時保護委託	警察への相談・告発	その他医療	その他	無回答
合計 実数	266	175	96	52	56	1	35	37	17	147	54	18	27	11
%	100.0%	65.8%	36.1%	19.5%	21.1%	0.4%	13.2%	13.9%	6.4%	55.3%	20.3%	6.8%	10.2%	4.1%
つないだ機関_警察	142	96	51	20	24	0	13	19	4	81	21	6	15	4
	100.0%	67.6%	35.9%	14.1%	16.9%	0.0%	9.2%	13.4%	2.8%	57.0%	14.8%	4.2%	10.6%	2.8%
非該当	124	79	45	32	32	1	22	18	13	66	33	12	12	7
	100.0%	63.7%	36.3%	25.8%	25.8%	0.8%	17.7%	14.5%	10.5%	53.2%	26.6%	9.7%	9.7%	5.6%
つないだ機関_学校	54	37	25	10	19	0	7	14	4	38	14	5	3	0
	100.0%	68.5%	46.3%	18.5%	35.2%	0.0%	13.0%	25.9%	7.4%	70.4%	25.9%	9.3%	5.6%	0.0%
非該当	212	138	71	42	37	1	28	23	13	109	40	13	24	11
	100.0%	65.1%	33.5%	19.8%	17.5%	0.5%	13.2%	10.8%	6.1%	51.4%	18.9%	6.1%	11.3%	5.2%
生活課題_親子関係不調	172	116	70	40	42	1	24	23	9	111	36	14	18	2
	100.0%	67.4%	40.7%	23.3%	24.4%	0.6%	14.0%	13.4%	5.2%	64.5%	20.9%	8.1%	10.5%	1.2%
非該当	94	59	26	12	14	0	11	14	8	36	18	4	9	9
	100.0%	62.8%	27.7%	12.8%	14.9%	0.0%	11.7%	14.9%	8.5%	38.3%	19.1%	4.3%	9.6%	9.6%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	73	44	27	28	1	13	10	5	72	28	9	11	1
	100.0%	68.9%	41.5%	25.5%	26.4%	0.9%	12.3%	9.4%	4.7%	67.9%	26.4%	8.5%	10.4%	0.9%
非該当	160	102	52	25	28	0	22	27	12	75	26	9	16	10
	100.0%	63.8%	32.5%	15.6%	17.5%	0.0%	13.8%	16.9%	7.5%	46.9%	16.3%	5.6%	10.0%	6.3%
生活課題_感情不安定	58	49	24	13	14	0	8	8	5	38	16	6	7	0
	100.0%	84.5%	41.4%	22.4%	24.1%	0.0%	13.8%	13.8%	8.6%	65.5%	27.6%	10.3%	12.1%	0.0%
非該当	208	126	72	39	42	1	27	29	12	109	38	12	20	11
	100.0%	60.6%	34.6%	18.8%	20.2%	0.5%	13.0%	13.9%	5.8%	52.4%	18.3%	5.8%	9.6%	5.3%
生活課題_不登校	73	52	36	15	16	0	12	12	2	46	21	5	5	1
	100.0%	71.2%	49.3%	20.5%	21.9%	0.0%	16.4%	16.4%	2.7%	63.0%	28.8%	6.8%	6.8%	1.4%
非該当	193	123	60	37	40	1	23	25	15	101	33	13	22	10
	100.0%	63.7%	31.1%	19.2%	20.7%	0.5%	11.9%	13.0%	7.8%	52.3%	17.1%	6.7%	11.4%	5.2%
生活課題_異性への依存	68	50	22	13	18	1	9	7	3	40	14	5	5	1
	100.0%	73.5%	32.4%	19.1%	26.5%	1.5%	13.2%	10.3%	4.4%	58.8%	20.6%	7.4%	7.4%	1.5%
非該当	198	125	74	39	38	0	26	30	14	107	40	13	22	10
	100.0%	63.1%	37.4%	19.7%	19.2%	0.0%	13.1%	15.2%	7.1%	54.0%	20.2%	6.6%	11.1%	5.1%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	43	19	14	15	0	8	9	0	36	11	4	2	0
	100.0%	76.8%	33.9%	25.0%	26.8%	0.0%	14.3%	16.1%	0.0%	64.3%	19.6%	7.1%	3.6%	0.0%
非該当	210	132	77	38	41	1	27	28	17	111	43	14	25	11
	100.0%	62.9%	36.7%	18.1%	19.5%	0.5%	12.9%	13.3%	8.1%	52.9%	20.5%	6.7%	11.9%	5.2%
生活課題_家出・無断外泊	116	79	47	23	25	0	15	17	4	75	17	12	15	2
	100.0%	68.1%	40.5%	19.8%	21.6%	0.0%	12.9%	14.7%	3.4%	64.7%	14.7%	10.3%	12.9%	1.7%
非該当	150	96	49	29	31	1	20	20	13	72	37	6	12	9
	100.0%	64.0%	32.7%	19.3%	20.7%	0.7%	13.3%	13.3%	8.7%	48.0%	24.7%	4.0%	8.0%	6.0%
児童環境_保護者分離体験	58	35	27	20	18	1	5	10	2	43	19	4	6	0
	100.0%	60.3%	46.6%	34.5%	31.0%	1.7%	8.6%	17.2%	3.4%	74.1%	32.8%	6.9%	10.3%	0.0%
非該当	208	140	69	32	38	0	30	27	15	104	35	14	21	11
	100.0%	67.3%	33.2%	15.4%	18.3%	0.0%	14.4%	13.0%	7.2%	50.0%	16.8%	6.7%	10.1%	5.3%
児童環境_経済的困難	65	48	34	21	14	0	12	13	5	46	24	7	6	1
	100.0%	73.8%	52.3%	32.3%	21.5%	0.0%	18.5%	20.0%	7.7%	70.8%	36.9%	10.8%	9.2%	1.5%
非該当	201	127	62	31	42	1	23	24	12	101	30	11	21	10
	100.0%	63.2%	30.8%	15.4%	20.9%	0.5%	11.4%	11.9%	6.0%	50.2%	14.9%	5.5%	10.4%	5.0%
児童環境_ひとり親家庭	96	66	49	23	27	0	10	19	6	65	23	11	7	2
	100.0%	68.8%	51.0%	24.0%	28.1%	0.0%	10.4%	19.8%	6.3%	67.7%	24.0%	11.5%	7.3%	2.1%
非該当	170	109	47	29	29	1	25	18	11	82	31	7	20	9
	100.0%	64.1%	27.6%	17.1%	17.1%	0.6%	14.7%	10.6%	6.5%	48.2%	18.2%	4.1%	11.8%	5.3%
児童環境_夫婦間不和	58	43	27	17	16	0	11	10	7	42	14	5	6	1
	100.0%	74.1%	46.6%	29.3%	27.6%	0.0%	19.0%	17.2%	12.1%	72.4%	24.1%	8.6%	10.3%	1.7%
非該当	208	132	69	35	40	1	24	27	10	105	40	13	21	10
	100.0%	63.5%	33.2%	16.8%	19.2%	0.5%	11.5%	13.0%	4.8%	50.5%	19.2%	6.3%	10.1%	4.8%
児童環境_保護者心身不安定	72	52	33	18	20	0	10	12	7	49	28	7	6	0
	100.0%	72.2%	45.8%	25.0%	27.8%	0.0%	13.9%	16.7%	9.7%	68.1%	38.9%	9.7%	8.3%	0.0%
非該当	194	123	63	34	36	1	25	25	10	98	26	11	21	11
	100.0%	63.4%	32.5%	17.5%	18.6%	0.5%	12.9%	12.9%	5.2%	50.5%	13.4%	5.7%	10.8%	5.7%
児童環境_保護者無関心	71	43	34	14	17	0	9	10	4	42	17	5	10	0
	100.0%	60.6%	47.9%	19.7%	23.9%	0.0%	12.7%	14.1%	5.6%	59.2%	23.9%	7.0%	14.1%	0.0%
非該当	195	132	62	38	39	1	26	27	13	105	37	13	17	11
	100.0%	67.7%	31.8%	19.5%	20.0%	0.5%	13.3%	13.8%	6.7%	53.8%	19.0%	6.7%	8.7%	5.6%

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】
問3-4-10-3.刑事事件化

【児童買春・ポルノ共通】

問3-4-11. 当該ケースの児童買春・児童ポルノ被害問題に
対応するうえで、困難を感じましたこと。(MA)

	合計	刑事事件化していらない	刑事事件化した	その他	無回答	合計	係 不 児 童 を 本 人 と 恐 れ て 語 ら な い	児 童 を 本 人 と 恐 れ て 語 ら な い	認 童 識 本 語 し 人 ら が 被 害 側 に と つ の い 間	る と 児 童 を 本 人 と 恐 れ て 語 ら な い	児 童 を 本 人 と 恐 れ て 語 ら な い	護 者 問 か 題 を ら が 児 童 を 見 発 見 だ さ れ た る こ と	力 が 児 童 な く 本 人 と 恐 れ て 語 ら な い	が 児 童 な く 本 人 と 恐 れ て 語 ら な い	保 護 者 が 被 害 を 隠 蔽 す る	が 問 題 児 童 に 発 覚 す る と 、 保 つ 護 者
合計 実数 %	266 100.0%	100 37.6%	128 48.1%	24 9.0%	14 5.3%	266 100.0%	26 9.8%	46 17.3%	33 12.4%	58 21.8%	23 8.6%	18 6.8%				
つないだ機関_警察	142 100.0%	60 42.3%	60 42.3%	18 12.7%	4 2.8%	142 100.0%	8 5.6%	25 17.6%	12 8.5%	32 22.5%	6 4.2%	9 6.3%				
非該当	124 100.0%	40 32.3%	68 54.8%	6 4.8%	10 8.1%	124 100.0%	18 14.5%	21 16.9%	21 16.9%	26 21.0%	17 13.7%	9 7.3%				
つないだ機関_学校	54 100.0%	18 33.3%	29 53.7%	6 11.1%	1 1.9%	54 100.0%	11 20.4%	13 24.1%	9 16.7%	10 18.5%	6 11.1%	1 1.9%				
非該当	212 100.0%	82 38.7%	99 46.7%	18 8.5%	13 6.1%	212 100.0%	15 7.1%	33 15.6%	24 11.3%	48 22.6%	17 8.0%	17 8.0%				
生活課題_親子関係不調	172 100.0%	68 39.5%	86 50.0%	14 8.1%	4 2.3%	172 100.0%	14 8.1%	30 17.4%	24 14.0%	43 25.0%	11 6.4%	12 7.0%				
非該当	94 100.0%	32 34.0%	42 44.7%	10 10.6%	10 10.6%	94 100.0%	12 12.8%	16 17.0%	9 9.6%	15 16.0%	12 12.8%	6 6.4%				
生活課題_低い自己肯定感評価	106 100.0%	38 35.8%	55 51.9%	7 6.6%	6 5.7%	106 100.0%	13 12.3%	28 26.4%	18 17.0%	28 26.4%	9 8.5%	12 11.3%				
非該当	160 100.0%	62 38.8%	73 45.6%	17 10.6%	8 5.0%	160 100.0%	13 8.1%	18 11.3%	15 9.4%	30 18.8%	14 8.8%	6 3.8%				
生活課題_感情不安定	58 100.0%	23 39.7%	29 50.0%	5 8.6%	1 1.7%	58 100.0%	3 5.2%	13 22.4%	12 20.7%	15 25.9%	6 10.3%	4 6.9%				
非該当	208 100.0%	77 37.0%	99 47.6%	19 9.1%	13 6.3%	208 100.0%	23 11.1%	33 15.9%	21 10.1%	43 20.7%	17 8.2%	14 6.7%				
生活課題_不登校	73 100.0%	34 46.6%	34 46.6%	3 4.1%	2 2.7%	73 100.0%	8 11.0%	22 30.1%	11 15.1%	16 21.9%	2 2.7%	5 6.8%				
非該当	193 100.0%	66 34.2%	94 48.7%	21 10.9%	12 6.2%	193 100.0%	18 9.3%	24 12.4%	22 11.4%	42 21.8%	21 10.9%	13 6.7%				
生活課題_異性への依存	68 100.0%	26 38.2%	40 58.8%	1 1.5%	1 1.5%	68 100.0%	9 13.2%	16 23.5%	9 13.2%	20 29.4%	1 1.5%	7 10.3%				
非該当	198 100.0%	74 37.4%	88 44.4%	23 11.6%	13 6.6%	198 100.0%	17 8.6%	30 15.2%	24 12.1%	38 19.2%	22 11.1%	11 5.6%				
生活課題_インターネット上人間関係依存	56 100.0%	25 44.6%	27 48.2%	3 5.4%	1 1.8%	56 100.0%	5 8.9%	7 12.5%	7 12.5%	20 35.7%	2 3.6%	6 10.7%				
非該当	210 100.0%	75 35.7%	101 48.1%	21 10.0%	13 6.2%	210 100.0%	21 10.0%	39 18.6%	26 12.4%	38 18.1%	21 10.0%	12 5.7%				
生活課題_家出・無断外泊	116 100.0%	45 38.8%	59 50.9%	10 8.6%	2 1.7%	116 100.0%	11 9.5%	25 21.6%	13 11.2%	31 26.7%	6 5.2%	10 8.6%				
非該当	150 100.0%	55 36.7%	69 46.0%	14 9.3%	12 8.0%	150 100.0%	15 10.0%	21 14.0%	20 13.3%	27 18.0%	17 11.3%	8 5.3%				
児童環境_保護者分離体験	58 100.0%	23 39.7%	31 53.4%	2 3.4%	2 3.4%	58 100.0%	3 5.2%	18 31.0%	7 12.1%	20 34.5%	5 8.6%	8 13.8%				
非該当	208 100.0%	77 37.0%	97 46.6%	22 10.6%	12 5.8%	208 100.0%	23 11.1%	28 13.5%	26 12.5%	38 18.3%	18 8.7%	10 4.8%				
児童環境_経済的困難	65 100.0%	25 38.5%	35 53.8%	2 3.1%	3 4.6%	65 100.0%	7 10.8%	16 24.6%	12 18.5%	12 18.5%	9 13.8%	2 3.1%				
非該当	201 100.0%	75 37.3%	93 46.3%	22 10.9%	11 5.5%	201 100.0%	19 9.5%	30 14.9%	21 10.4%	46 22.9%	14 7.0%	16 8.0%				
児童環境_ひとり親家庭	96 100.0%	35 36.5%	53 55.2%	5 5.2%	3 3.1%	96 100.0%	9 9.4%	20 20.8%	16 16.7%	22 22.9%	13 13.5%	5 5.2%				
非該当	170 100.0%	65 38.2%	75 44.1%	19 11.2%	11 6.5%	170 100.0%	17 10.0%	26 15.3%	17 10.0%	36 21.2%	10 5.9%	13 7.6%				
児童環境_夫婦間不和	58 100.0%	19 32.8%	33 56.9%	5 8.6%	1 1.7%	58 100.0%	4 6.9%	13 22.4%	11 19.0%	17 29.3%	8 13.8%	5 8.6%				
非該当	208 100.0%	81 38.9%	95 45.7%	19 9.1%	13 6.3%	208 100.0%	22 10.6%	33 15.9%	22 10.6%	41 19.7%	15 7.2%	13 6.3%				
児童環境_保護者心身不安定	72 100.0%	34 47.2%	32 44.4%	4 5.6%	2 2.8%	72 100.0%	7 9.7%	13 18.1%	12 16.7%	20 27.8%	11 15.3%	4 5.6%				
非該当	194 100.0%	66 34.0%	96 49.5%	20 10.3%	12 6.2%	194 100.0%	19 9.8%	33 17.0%	21 10.8%	38 19.6%	12 6.2%	14 7.2%				
児童環境_保護者無関心	71 100.0%	27 38.0%	37 52.1%	5 7.0%	2 2.8%	71 100.0%	6 8.5%	15 21.1%	10 14.1%	13 18.3%	6 8.5%	1 1.4%				
非該当	195 100.0%	73 37.4%	91 46.7%	19 9.7%	12 6.2%	195 100.0%	20 10.3%	31 15.9%	23 11.8%	45 23.1%	17 8.7%	17 8.7%				

<案件>

【児童買春・ポルノ共通】

困難 <続き>

	合計	保護者がない問題に向き合わ	保護者がやわらかないの間で意見	する児童かかと指を被う対害混象者乱とし生じて対応する	のはガ児童をドボラノイソイン被春被所と害内すもにるしなく	童買春、福祉司自身が害被から何被害をと見	児童から被害を聞き取る	その他	困難を感じたことはな	わからな	無回答
合計 実数	266	72	29	56	7	6	24	59	11	10	10
%	100.0%	27.1%	10.9%	21.1%	2.6%	2.3%	9.0%	22.2%	4.1%	3.8%	3.8%
つないだ機関_警察	142	41	12	34	5	4	13	27	10	7	3
	100.0%	28.9%	8.5%	23.9%	3.5%	2.8%	9.2%	19.0%	7.0%	4.9%	2.1%
非該当	124	31	17	22	2	2	11	32	1	3	7
	100.0%	25.0%	13.7%	17.7%	1.6%	1.6%	8.9%	25.8%	0.8%	2.4%	5.6%
つないだ機関_学校	54	16	4	14	1	1	7	17	0	1	0
	100.0%	29.6%	7.4%	25.9%	1.9%	1.9%	13.0%	31.5%	0.0%	1.9%	0.0%
非該当	212	56	25	42	6	5	17	42	11	9	10
	100.0%	26.4%	11.8%	19.8%	2.8%	2.4%	8.0%	19.8%	5.2%	4.2%	4.7%
生活課題_親子関係不調	172	51	26	48	6	5	15	41	6	4	0
	100.0%	29.7%	15.1%	27.9%	3.5%	2.9%	8.7%	23.8%	3.5%	2.3%	0.0%
非該当	94	21	3	8	1	1	9	18	5	6	10
	100.0%	22.3%	3.2%	8.5%	1.1%	1.1%	9.6%	19.1%	5.3%	6.4%	10.6%
生活課題_低い自己肯定感評価	106	35	19	29	2	2	11	26	1	1	1
	100.0%	33.0%	17.9%	27.4%	1.9%	1.9%	10.4%	24.5%	0.9%	0.9%	0.9%
非該当	160	37	10	27	5	4	13	33	10	9	9
	100.0%	23.1%	6.3%	16.9%	3.1%	2.5%	8.1%	20.6%	6.3%	5.6%	5.6%
生活課題_感情不安定	58	14	8	17	1	0	6	17	1	2	0
	100.0%	24.1%	13.8%	29.3%	1.7%	0.0%	10.3%	29.3%	1.7%	3.4%	0.0%
非該当	208	58	21	39	6	6	18	42	10	8	10
	100.0%	27.9%	10.1%	18.8%	2.9%	2.9%	8.7%	20.2%	4.8%	3.8%	4.8%
生活課題_不登校	73	18	10	25	5	3	8	17	1	2	0
	100.0%	24.7%	13.7%	34.2%	6.8%	4.1%	11.0%	23.3%	1.4%	2.7%	0.0%
非該当	193	54	19	31	2	3	16	42	10	8	10
	100.0%	28.0%	9.8%	16.1%	1.0%	1.6%	8.3%	21.8%	5.2%	4.1%	5.2%
生活課題_異性への依存	68	23	6	24	2	5	6	16	1	3	0
	100.0%	33.8%	8.8%	35.3%	2.9%	7.4%	8.8%	23.5%	1.5%	4.4%	0.0%
非該当	198	49	23	32	5	1	18	43	10	7	10
	100.0%	24.7%	11.6%	16.2%	2.5%	0.5%	9.1%	21.7%	5.1%	3.5%	5.1%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56	13	4	16	3	2	3	14	3	1	0
	100.0%	23.2%	7.1%	28.6%	5.4%	3.6%	5.4%	25.0%	5.4%	1.8%	0.0%
非該当	210	59	25	40	4	4	21	45	8	9	10
	100.0%	28.1%	11.9%	19.0%	1.9%	1.9%	10.0%	21.4%	3.8%	4.3%	4.8%
生活課題_家出・無断外泊	116	32	13	37	4	6	9	24	4	3	0
	100.0%	27.6%	11.2%	31.9%	3.4%	5.2%	7.8%	20.7%	3.4%	2.6%	0.0%
非該当	150	40	16	19	3	0	15	35	7	7	10
	100.0%	26.7%	10.7%	12.7%	2.0%	0.0%	10.0%	23.3%	4.7%	4.7%	6.7%
児童環境_保護者分離体験	58	20	6	19	2	0	7	12	2	0	0
	100.0%	34.5%	10.3%	32.8%	3.4%	0.0%	12.1%	20.7%	3.4%	0.0%	0.0%
非該当	208	52	23	37	5	6	17	47	9	10	10
	100.0%	25.0%	11.1%	17.8%	2.4%	2.9%	8.2%	22.6%	4.3%	4.8%	4.8%
児童環境_経済的困難	65	22	9	15	1	1	6	19	0	1	1
	100.0%	33.8%	13.8%	23.1%	1.5%	1.5%	9.2%	29.2%	0.0%	1.5%	1.5%
非該当	201	50	20	41	6	5	18	40	11	9	9
	100.0%	24.9%	10.0%	20.4%	3.0%	2.5%	9.0%	19.9%	5.5%	4.5%	4.5%
児童環境_ひとり親家庭	96	27	10	27	3	3	8	24	5	3	1
	100.0%	28.1%	10.4%	28.1%	3.1%	3.1%	8.3%	25.0%	5.2%	3.1%	1.0%
非該当	170	45	19	29	4	3	16	35	6	7	9
	100.0%	26.5%	11.2%	17.1%	2.4%	1.8%	9.4%	20.6%	3.5%	4.1%	5.3%
児童環境_夫婦間不和	58	19	14	19	2	0	7	13	4	0	0
	100.0%	32.8%	24.1%	32.8%	3.4%	0.0%	12.1%	22.4%	6.9%	0.0%	0.0%
非該当	208	53	15	37	5	6	17	46	7	10	10
	100.0%	25.5%	7.2%	17.8%	2.4%	2.9%	8.2%	22.1%	3.4%	4.8%	4.8%
児童環境_保護者心身不安定	72	26	10	16	1	2	7	20	2	2	0
	100.0%	36.1%	13.9%	22.2%	1.4%	2.8%	9.7%	27.8%	2.8%	2.8%	0.0%
非該当	194	46	19	40	6	4	17	39	9	8	10
	100.0%	23.7%	9.8%	20.6%	3.1%	2.1%	8.8%	20.1%	4.6%	4.1%	5.2%
児童環境_保護者無関心	71	26	8	22	4	3	6	18	1	3	1
	100.0%	36.6%	11.3%	31.0%	5.6%	4.2%	8.5%	25.4%	1.4%	4.2%	1.4%
非該当	195	46	21	34	3	3	18	41	10	7	9
	100.0%	23.6%	10.8%	17.4%	1.5%	1.5%	9.2%	21.0%	5.1%	3.6%	4.6%

<案件>

【児童買春・問3-4-11. 当該ケースの児童買春・児童ポルノ被害問題に必要な社会資源(MA)】

	合計	児童ポルノ去する協力機関後、画像消	児童に関する身近な相談機関被害	法的に定められたシェルター	性被害に遭った女性	の性暴力被害を受ける児童(性の教育ため)	妊娠した児童を一時保護で	児童買春ガード・児童ラポールイン被害	その他	必要と考える社会資源はない	わからない	無回答
合計 実数 %	266 100.0%	49 18.4%	96 36.1%	33 12.4%	89 33.5%	161 60.5%	32 12.0%	76 28.6%	17 6.4%	4 1.5%	13 4.9%	9 3.4%
つないだ機関_警察	142 100.0%	25 17.6%	48 33.8%	17 12.0%	55 38.7%	82 57.7%	20 14.1%	44 31.0%	9 6.3%	4 2.8%	7 4.9%	2 1.4%
非該当	124 100.0%	24 19.4%	48 38.7%	16 12.9%	34 27.4%	79 63.7%	12 9.7%	32 25.8%	8 6.5%	0 0.0%	6 4.8%	7 5.6%
つないだ機関_学校	54 100.0%	12 22.2%	23 42.6%	8 14.8%	20 37.0%	41 75.9%	8 14.8%	19 35.2%	3 5.6%	0 0.0%	3 5.6%	0 0.0%
非該当	212 100.0%	37 17.5%	73 34.4%	25 11.8%	69 32.5%	120 56.6%	24 11.3%	57 26.9%	14 6.6%	4 1.9%	10 4.7%	9 4.2%
生活課題_親子関係不調	172 100.0%	25 14.5%	65 37.8%	25 14.5%	58 33.7%	110 64.0%	23 13.4%	46 26.7%	13 7.6%	4 2.3%	6 3.5%	1 0.6%
非該当	94 100.0%	24 25.5%	31 33.0%	8 8.5%	31 33.0%	51 54.3%	9 9.6%	30 31.9%	4 4.3%	0 0.0%	7 7.4%	8 8.5%
生活課題_低い自己肯定感評価	106 100.0%	18 17.0%	39 36.8%	12 11.3%	42 39.6%	80 75.5%	16 15.1%	29 27.4%	7 6.6%	2 1.9%	4 3.8%	1 0.9%
非該当	160 100.0%	31 19.4%	57 35.6%	21 13.1%	47 29.4%	81 50.6%	16 10.0%	47 29.4%	10 6.3%	2 1.3%	9 5.6%	8 5.0%
生活課題_感情不安定	58 100.0%	15 25.9%	20 34.5%	7 12.1%	20 34.5%	36 62.1%	12 20.7%	19 32.8%	6 10.3%	2 3.4%	3 5.2%	1 1.7%
非該当	208 100.0%	34 16.3%	76 36.5%	26 12.5%	69 33.2%	125 60.1%	20 9.6%	57 27.4%	11 5.3%	2 1.0%	10 4.8%	8 3.8%
生活課題_不登校	73 100.0%	13 17.8%	29 39.7%	13 17.8%	26 35.6%	56 76.7%	13 17.8%	25 34.2%	3 4.1%	2 2.7%	2 2.7%	0 0.0%
非該当	193 100.0%	36 18.7%	67 34.7%	20 10.4%	63 32.6%	105 54.4%	19 9.8%	51 26.4%	14 7.3%	2 1.0%	11 5.7%	9 4.7%
生活課題_異性への依存	68 100.0%	11 16.2%	19 27.9%	11 16.2%	28 41.2%	45 66.2%	9 13.2%	17 25.0%	7 10.3%	2 2.9%	4 5.9%	0 0.0%
非該当	198 100.0%	38 19.2%	77 38.9%	22 11.1%	61 30.8%	116 58.6%	23 11.6%	59 29.8%	10 5.1%	2 1.0%	9 4.5%	9 4.5%
生活課題_インターネット上人間関係依存	56 100.0%	14 25.0%	23 41.1%	7 12.5%	20 35.7%	33 58.9%	9 16.1%	16 28.6%	4 7.1%	2 3.6%	2 3.6%	1 1.8%
非該当	210 100.0%	35 16.7%	73 34.8%	26 12.4%	69 32.9%	128 61.0%	23 11.0%	60 28.6%	13 6.2%	2 1.0%	11 5.2%	8 3.8%
生活課題_家出・無断外泊	116 100.0%	17 14.7%	41 35.3%	17 14.7%	42 36.2%	70 60.3%	17 14.7%	28 24.1%	10 8.6%	4 3.4%	4 3.4%	1 0.9%
非該当	150 100.0%	32 21.3%	55 36.7%	16 10.7%	47 31.3%	91 60.7%	15 10.0%	48 32.0%	7 4.7%	0 0.0%	9 6.0%	8 5.3%
児童環境_保護者分離体験	58 100.0%	10 17.2%	22 37.9%	10 17.2%	21 36.2%	38 65.5%	12 20.7%	16 27.6%	4 6.9%	2 3.4%	1 1.7%	1 1.7%
非該当	208 100.0%	39 18.8%	74 35.6%	23 11.1%	68 32.7%	123 59.1%	20 9.6%	60 28.8%	13 6.3%	2 1.0%	12 5.8%	8 3.8%
児童環境_経済的困難	65 100.0%	11 16.9%	23 35.4%	6 9.2%	20 30.8%	36 55.4%	8 12.3%	16 24.6%	2 3.1%	1 1.5%	5 7.7%	2 3.1%
非該当	201 100.0%	38 18.9%	73 36.3%	27 13.4%	69 34.3%	125 62.2%	24 11.9%	60 29.9%	15 7.5%	3 1.5%	8 4.0%	7 3.5%
児童環境_ひとり親家庭	96 100.0%	15 15.6%	33 34.4%	15 15.6%	30 31.3%	58 60.4%	13 13.5%	24 25.0%	6 6.3%	3 3.1%	5 5.2%	2 2.1%
非該当	170 100.0%	34 20.0%	63 37.1%	18 10.6%	59 34.7%	103 60.6%	19 11.2%	52 30.6%	11 6.5%	1 0.6%	8 4.7%	7 4.1%
児童環境_夫婦間不和	58 100.0%	13 22.4%	24 41.4%	5 8.6%	18 31.0%	33 56.9%	9 15.5%	20 34.5%	4 6.9%	1 1.7%	3 5.2%	1 1.7%
非該当	208 100.0%	36 17.3%	72 34.6%	28 13.5%	71 34.1%	128 61.5%	23 11.1%	56 26.9%	13 6.3%	3 1.4%	10 4.8%	8 3.8%
児童環境_保護者心身不安定	72 100.0%	16 22.2%	29 40.3%	10 13.9%	19 26.4%	45 62.5%	10 13.9%	20 27.8%	6 8.3%	1 1.4%	5 6.9%	1 1.4%
非該当	194 100.0%	33 17.0%	67 34.5%	23 11.9%	70 36.1%	116 59.8%	22 11.3%	56 28.9%	11 5.7%	3 1.5%	8 4.1%	8 4.1%
児童環境_保護者無関心	71 100.0%	13 18.3%	27 38.0%	14 19.7%	27 38.0%	49 69.0%	8 11.3%	22 31.0%	5 7.0%	2 2.8%	4 5.6%	0 0.0%
非該当	195 100.0%	36 18.5%	69 35.4%	19 9.7%	62 31.8%	112 57.4%	24 12.3%	54 27.7%	12 6.2%	2 1.0%	9 4.6%	9 4.6%

■アンケート調査票

THE SONGS OF RUMI

児童相談所における「児童買春」「児童ポルノ」への対応状況に墨するアンケート調査

この問題は平成27年度学生幹事子ども子育て支援授業研究事業として、全国約2800人すべての児童が学ぶことを目的としています。この学習では、児童が自ら「問題解決力」を身に付けることを目標とし、児童が自ら問題解決の手の力を身につけることを目的とします。

「ご回答は、当てはまるところに○をつけさせてください。また()内には自由記述をお願いいたします。」
・本講義では充電義務、充電ボルノ松原と把頭した件数分で記入いただけます。回答用紙は3年別冊用紙であります。図書室にてご記入ください。必ずご記入ください。
・各会員個人で充電義務を守らなければなりません。各会員個人で充電義務を守らなければなりません。

アンケート用紙は、各児童発達所でとりまわっていました。
2月15日(月)までに、同封の「レター・ハガテイ」にて、一括して返送ください。
お問い合わせ。

卷之三

この調査は株式会社朝日エカルに委託して実施しております。

トセンターライトハウス
担当:坂本 新
E-mail:research@hlh.jp
Tel:050-3496-7615
FAX:020-4669-6933

【児童賞賛および児童ボルノの定義について】

（参考文献）
1. 犯罪の性別構造（電子的方式、郵便的方式）とその他の人の犯行によつては取扱うことのできない方式で作られる記録等を興味とする者に供するもの。以下同様。）に係る防犯対策その他のものであつて、次の各号のいずれかが掲げる内容の性別を誤認することができる方針等を設けるもの。

（参考文献）
2. 性別記入欄による情報処理の用に供されるもの。以下同様。）に係る防犯対策その他のものであつて、電子計算機による性別記入欄による性別を誤認することができる方針等を設けるもの。

（参考文献）
3. 他人が犯す犯行又は犯者が他人の性別等を偽らせる行為に係る危険の性質であつて性交を興味とする人及び犯す犯行又は犯者が他人の性別等を偽らせるもの。

（参考文献）
4. 本規則の全部又は一部を表けない性別の姿態であつて、既更に児童の性的な部位（性器等）としてはその周辺部が露出され又は隠されているものであり、かつ、性交を興味させ又は刺激するものとなつてはいけません。

（参考文献）
5. 本規則の全部又は一部を表けない性別の姿態であつて、既更に児童の性的な部位（性器等）としてはその周辺部が露出され又は隠されているものであり、かつ、性交を興味させ又は刺激するものとなつてはいけません。

問1. 回答者ご自身について、お答えください。

問1-1. もあなたのは性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性 3. その他

問1-2. あなたの年齢をお答えください。

1. 20歳～24歳 2. 25歳～29歳 3. 30歳～34歳 4. 35歳～39歳 5. 40歳～44歳
6. 45歳～49歳 7. 50歳～54歳 8. 55歳～59歳 9. 60歳以上

問1-3. あなたが児童福祉司になつてからのお通算経験年数をお答えください。

【 】年目

問1-4. あなたはアセスメントの際に児童買春の問題などの程度意識していますか。

1. いつも意識する 2. 年齢や性別によって意識する 3. あまり意識することはない
4. (ほとんど意識しない) 5. わからない

問1-5. あなたはアセスメントの際に児童ボルノの問題などの程度意識していますか。

1. いつも意識する 2. 年齢や性別によって意識する 3. あまり意識することはない
4. (ほとんど意識しない) 5. わからない

問1-6. 児童買春、児童ボルノに関する専修会・勉強会・シンポジウム等に参加したことありますか。

1. 参加したことがある 2. 参加したことない

問2. 平成27年4月1日～9月30日まで相談を受理した事例(専修会を含む)のうち、相談種別に關わらず「児童買春・児童ボルノ被害」が含まれていることを指している事例は何件ありましたか。あるいは含まれている児童の「ある石等例」何件ありましたか。(問1年間に受けた接客に限らずお答えください。)

問2-1. 児童買春、児童ボルノ被害が含まれていることを把握している事例

1. なし 2. 1件 3. 2件 4. 3件 5. それ以上()件
1. なし 2. 1件 3. 2件 4. 3件 5. それ以上()件

問2-2. 児童買春、児童ボルノ被害が含まれている事例

1. なし 2. 1件 3. 2件 4. 3件 5. それ以上()件

以下は問2-1で「児童買春、児童ボルノ被害が含まれていることを把握している事例」が1件以上ある方にお伺いします。

※問2-2で「なし」と回答された方はこれで質問終了です。ありがとうございます。

児童買春、児童ボルノ被害が含まれている事例をお持ちの方は次ページ以降、案件ごとに、
把握している件数分お答えください(恐れのある事例は含まれません)。
なお、質問紙は3件まで用意しています。3件以上ある場合、追加入りますが予め必要数をコピー
一してご対応いただきたくお願い申し上げます。

<1案件目>

問3-1. まだ初めて把握されている事例は「児童買春」(にかわらる)、「児童ボルノ」(にかわらる)をお答えください。

1. 児童買春 → 「児童買春」の段間にへお進みください
2. 児童ボルノ → 「児童ボルノ」の説明へお進みください
3. 児童ボルノ、児童買春複合 → 「児童買春」(児童買春)「児童ボルノ」、両方の説間にお答えください

問3-2 以下の(a) (b) (c) (d) の各項目について当てはまるものすべてに○をつけてください。

(a) 買春した者

1. 家族 2. 18歳以上の個人(家族を除く) 3. 18歳未満の児童 4. その他() 5. 不明

(b) 買春管と接触したきっかけ

1. SNS、アプリ等ネットを通じて 2. JG・JKビジネス
4. 交際相手、知人、友人による斡旋
(c) 買春の対象

1. 食事 2. 治癒 3. 金品 4. その他() 5. 不明

(d) 行動

1. 性交、性交類似行為 → → → → 1. 口 2. 直門 3. 肛 4. 不明
2. 相手方が児童の身体をさわる → 1. 胸 2. 乳首 3. 腹部 4. 直門 5. 性器
3. 相手方が自己の身体を触らせせる 1. 胸 2. 乳首 3. 腹部 4. 直門 5. 性器
4. 下着を弄る
5. 性的な接觸は避けられないが、金品を引換えにデータやお茶をしている
6. その他()

※上記質問で身体部位を把握するものは、地図された部位によつて接觸するものとそりでないものがもあるためです。
※「児童買春」のみが該当する場合には、「問3-4」へお読みください。

【児童ボルノ】

問3-1 でもしくは3と答えた方は、こちらの質問にお答えください。

問3-3 以下の(a) (b) (c) (d) の各項目について当てはまるものすべてに○をつけてください。

(a)撮影を行った者

1. 本人 2. 交際相手(18歳未満) 3. 交際相手(18歳以上) 4. 犯罪者
6. 法人 7. 18歳未満の児童(家族・買春者除く) 9. その他()
8. 18歳以上の個人(交際相手、家族・買春者除く) 10. その他()
(b) きっかけ

1. 志願(実際に撮影された) 2. 性的虐待(保護者、監護者による)
3. 家庭内暴力(きょうだい)、親戚による)
4. 性犯罪者(交際相手、保護者、監護者、きょうだい、親戚以外による)
5. 仕事(モデル、ジュニアアイドル)
7. いたずら()
(c)撮影された状況

1. 自らの意志で自ら撮影した 2. 他人に強要されて自ら撮影した
4. 他人に撮影された(本人の同意あり) 6. 不明
1. SNS、メール、LINEやDVDなどの機体で、第三者が簡単にみられる状態にする(本人の同意なし)
2. SNS、メール、LINEやDVDなどの機体で、第三者が簡単にみられる状態にする(本人の同意あり)
3. 車輪所持される 4. その他()
(d)記録機体の場所の有無

以下は、児童買春・児童ポルノ共通の質問となります。

問 3-4-1. ケースの詳細についてお聞かせください。

1. 男児 2. 女児 3. 不明

問 3-4-2. 児童の性別をお答えください。

1. 今回がはじめて 2. 過去に相談歴あり

問 3-4-3. 相談受理をした際の児童の年齢をお答えください。

年齢()歳

問 3-4-4. 児童には、障がいがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. なし 2. 発達障がい 3. 知的障がい 4. 検査障がい 5. 身体障がい 6. 知的に障害領域 7. 不明

問 3-4-5. 児童の学力はおおむねどの程度だと思われますか。

1. 低い 2. やや低い 3. 普通 4. やや高い 5. 高い 6. 不明

問 3-4-6. 児童買春・児童ポルノに觸れたりをもつていたとき、児童は主に就学していましたか、就労していましたか。

1. 就労している→就労形態「1. 正規 2. 非正規 3. アルバイト 4. その他()」

2. 就学も就労もしていない→就労形態「1. 正規 2. 非正規 3. その他()」

3. 就学も就労もしていない→就労形態「1. 正規 2. 非正規 3. その他()」

問 3-4-7. 児童買春・児童ポルノに觸れたりをもつていた家庭の構成員をすべてお答えください。

1. 実父	2. 実母	3. 繩父	4. 繩母	5. 爽父	6. 繩母	7. 実兄()人
8. 実弟()人	9. 実姉()人	10. 実妹()人	11. 離兄()人	12. 離弟()人	13. 離姉()人	14. 離妹()人
15. おじ	16. おば	17. おじの配偶者(いとこ等)()人	18. おばの配偶者(いとこ等)()人	19. その他配偶者()人	20. 父の内縁の夫()人	21. 総の内縁の妻()人
22. 爭父	23. 爭母	24. その他同居人()人				

問 3-4-8. 当該ケースを児童相談所とつないだのは以下のどの組織あるいは個人ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 警察	2. 学校	3. 幼稚園・保育園	4. 福祉事務所	5. 市町村の児童相談担当部署
6. 保健所・保険センター	7. 病院	8. 都道府県警性犯罪の専門部署センター	9. 民間支援機関	
10. 児童本人	11. 当該児童の保護者	12. 新族	13. 近隣・知人(同級生の保護者除く)	
14. 同級生の保護者	15.弁護士	16. 法務省	17. その他()	

問 3-4-9-1. 児童自身の課題(あてはまるものすべてに○)

1. 母子関係不調	2. 低い自己評価(自信のなさ)	3. 情緒不安定	4. うつ状態	5. 睡眠障害	6. 自傷行為
7. 自殺意念	8. PTSD	9. 解離	10. バニッシュ	11. 不整挾	12. 保健室登校
13. 友人から孤立	14. いじめ被害を受けたいた	15. 异性への依存	16. 异性への過度な恋愛感	17. インターコット上の人間関係への懸念	18. 家出・無断外出
19. その他の()					

21. あてはまるものはない 22. わからない

問 3-4-9-2. 児童を取りまく環境(あてはまるものすべてに○)

1. 保護者の若年出産	2. 保護者との分離休憩	3. 経済的な困難	4. 保護者の不安定な就労
5. ひとり親家庭	6. ステップファミリー	7. 保護者のDV	8. 夫婦間不和
9. 夫婦以外の家族間の不和	10. 保護者の心身の不安定状態	11. 保護者の氣鬱心	12. 繁族から孤立
13. 地域から孤立	14. 搬家など転居	15. 楽しいまたは劣悪な住環境	16. その他の()
17. あてはまるものはない、			

以上で質問は終了です。ありがとうございました。2案件目がある方は次ページへお進みください。

問 3-4-10. 当該ケースにおいて、児童に具体的にどのような対応を行いましたか。

問 3-4-10-1. 当該ケースの取り扱い状況(あてはまるものすべてに○)

1. 終結(市区町村等に引き継いで終了)	2. 終結(安全に相談終了)	3. 闇送中(取り扱い中)
4. 依然指導中	5. 児童福祉司指導中	6. 施設入所中(退列)
7. 里親委託中	8. 家庭送致	9. 刑戒・看守
11. 他の児童相談所に移送	10. 他機関幹部機関指揮別	12. その他()

問 3-4-10-2. 児童と家族に行った援助の実施状況(あてはまるものすべてに○)

1. 来所してもらい個別面接	2. 家庭訪問による面接	3. 施設に訪問しての面接	4. 種別心理療法
5. グループ療法	6. 精神科医療	7. 学校訪問による面接	8. 司法面接
9. 一時保護・一時保護委託	10. 教諭への相談・告発	11. その他()	
12. その他()			

問 3-4-10-3. 当該ケースは刑事事件化していますか。

1. 刑事事件化した	2. 刑事事件化していない	3. その他()
------------	---------------	-----------

問 3-4-11. 当該ケースにおける児童買春もしくは児童ポルノ被害問題に対するうえで、どのようなことに因難を感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 児童本人が加害像との関係不和を恐れて被害について語らない	2. 児童本人が問題行動であると認識し、被害について語らない	3. 保護者が被害することで保護者から見捨てられる不安を抱いています	4. 児童本人に十分な判断能力がない、奉公を把握できない
5. 保護者が被害を隠蔽する	6. 問題解決すると、保護者が児童に脅威を持つ	7. 保護者が問題に向き合わない	8. 保護者や家族の間で意見が合わない
9. 黒道が被害として対応するか治療を受けるかという混乱が生じる	10. 何を児童買春もしくは児童ポルノ被害とするかがガイドラインが所内にない	11. 保護者批判自身が何を児童買春、児童ポルノ被害とするのかわからず	12. 児童から被害を聞き取る適切な方法がわからない
13. その他()	14. 困難を感じたことばかりだった	15. わからない	16. わからない

問 3-4-12. 当該ケースにおける児童買春もしくは児童ポルノ被害問題に対するうえで、どのような社会資源が必要だと考えられましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 児童が介流出後、画像消去する協力機関	2. 児童買春・児童ポルノ被害に係する専門的な相談機関	3. 法的に認められたシェルター	4. 性被害に対する専門的カウンセリング(性教育含む)
5. 性被害を受けた児童のためのカウンセリング(性教育含む)	6. 妊娠した児童を一時保護できる施設	7. 児童買春・児童ポルノ被害対応ガイドライン	8. その他()
9. 必要とする社会資源はない	10. わからない	11. 必要とする社会資源はない	12. 必要とする社会資源はない

<2 案件目>

問 3-1. まず初めに把握されている事例は「児童買春」にかかわるものか、「児童がルノ」にかかわるものかをお選びください。

1. 児童買春 → 「児童買春」の該問へお進みください。)

2. 児童がルノ → 「児童がルノ」の該問へお進みください。)

3. 児童買春複合 → 「児童買春」【児童買春】、両方の該問にお答えください。)

【児童買春】

問 3-2. 以下の(a) (b) (c) (d) の各項目について当てはまるものすべてに○をつけてください。

(a) 買春した者

1. 痴漢 2. 18歳以上の個人(家族を除く) 3. 18歳未満の児童 4. その他() 5. 不明

(b) 買春者と接觸したきっかけ

1. SNS、アプリ等ネットを通じて

4. 交際相手・友人・友人による紹介

(c) 買春の対象

1. 金串 2. 唇泊 3. 金品 4. その他() 5. 不明

(d) 行動

1. 性交・性交際行為 →→→→→ 1. 口 2. 肛門 3. 膜 4. 不明

2. 相手方が児童の身体をさわる → 1. 腕 2. 乳首 3. 脣部 4. 肛門 5. 性器 6. 大腿部

7. 手 8. その他() 9. 不明

3. 相手方が自己の身体を触らせる 1. 腕 2. 乳首 3. 脣部 4. 肛門 5. 性器 6. 大腿部

7. 手 8. その他() 9. 不明

4. 下着を脱ぐ

5. 性的な接觸は確認されないが、金品と引き換えにデータやお菓子をしている

6. その他() 7. 不明

※上記質問で児童が該当するのは、熱られた部位によって法律に抵触するものとそぞうやないものがあるためです。

※【児童買春】のみが該当する場合には、「問 3-4」へお進みください。

問 3-1. どちらは3と答えた方は、こちらの質問にお答えください。

(a) 撮影を行った者

1. 本人 2. 交際相手(18歳未満) 3. 交際相手(18歳以上) 4. 家族 5. 買春者

6. 法人 7. 18歳未満の児童(交際相手・家族・買春者除外)

8. 18歳以上の個人(交際相手・家族・買春者除外) 9. その他() 10. 不明

(b) きっかけ

1. 恋愛(恋愛中に撮影される) 2. 性的虐待(保護者、監護者による)

3. 家庭内暴力(暴力による) 4. 性犯

4. 性犯罪(交際相手、保護者、監護者、ぎょうだい、親戚以外による)

5. 仕事(モデル、ジュニアアイドル) 6. いじめ 7. その他() 8. 不明

(c) 撮影された状況

1. 自らの意で自ら撮影した 2. 他人に強要されて自ら撮影した 3. 他人に撮影された(本人の同意なし)

4. 他人に撮影された(本人の同意あり) 5. 不明

(d) 記録媒体の販売の有無

1. SNS、メール、LINEやDVDなどの媒体で、第三者が簡単にみられる状態にする(本人の同意なし)

2. SNS、メール、LINEやDVDなどの媒体で、第三者が簡単にみられる状態にする(本人の同意あり)

3. 単純所持される 4. その他() 5. 不明

〔以下は、児童買春・児童がルノにかかわる際〕

問 3-4. ケースの詳細についてお答えがります。

問 3-4-1. 児童の性別をお答えください。 1. 男児 2. 女児 3. 不明

問 3-4-2. 児童の性別相談室での相談受理者は 1.今回がはじめて 2.過去に相談歴あり

問 3-4-3. 相談受理した際の児童の年齢をお答えください。 年齢()歳

問 3-4-4. 児童には、障がいがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. なし 2. 発達障がい 3. 知的障がい 4. 精神障がい 5. 身体障がい 6. 知的二機能障 7. 不明

問 3-4-5. 児童の学力はおおよねどの程度だと思われますか。

1. 低い 2. やや低い 3. 普通 4. やや高い 5. 高い 6. 不明

問 3-4-6. 児童買春、児童がルノに觸りをもつていたとき、児童は主に就労していましたか、就労していました。

1. 主に就労している→就労の有無 1. 就労していない 2. アルバイト 3. その他()

2. 就労している→就労形態 1. 正規 2. 非正規 3. アルバイト 4. その他()

3. 就労もしていない 4. 不明

問 3-4-7. 児童買春、児童がルノに開示したときに同居していた家族の構成員をすべてお答えください。

(a) 実家による幹族 1. 実父 2. 実母 3. 結婚 4. 魔母 5. 結婚 6. 爽母 7. 美兄()人

8. 実弟()人 9. 爪脚()人 10. 実妹()人 11. 美兄()人

12. 美弟()人 13. 美脚()人 14. 美妹()人 15. 爽父()人 16. 爽父()人

17. 爽じ 18. おば()人 19. その他姉妹()人 20. 級の内縁の夫()人

21. 爽の内縁の妻 22. 爽父 23. 爽母 24. その他同居人()人

問 3-4-8. 当該ケースを児童相談所とつないだのは以下のどの組織あるいは個人ですか。

(a) あてはまるもののすべてに○)

1. 警察 2. 学校 3. 幼稚園・保育園 4. 犯罪事務所 5. 市町村の児童相談担当部署

6. 保健所・保健センター 7. 病院 8. 新進府県認証の精神科医療センター

10. 児童本人、11. 当該児童の保護者 12. 爽族 13. 近隣対人(同級生の保護者除く)

14. 圖紙生の保護者 15. 弁護士 16. 施設職員 17. その他()

問 3-4-9. 児童が抱えていた生活問題を語んでください。

(a) あてはまるもののすべてに○)

1. 児童自身の問題(あてはまるものすべてに○)

2. 在い自己評価(自信のなさ) 3. 壓抑不安定 4. うつ状態 5. 睡眠障害 6. 自傷行為

7. 自殺意願 8. PTSD 9. 解離 10. バニック 11. 不登校 12. 保健室登校

13. 友人から孤立 14. いじめ被害を受けた 15. 性への依存 16. 同性への過剰な恋愛

17. インターコット上の人の関係への依存 18. 驚出・無断外出 19. 本屋の不適切な執拗

20. その他の()

21. あてはまるものはない 22. わからない

問 3-4-9-1. 児童自身の問題(あてはまるものすべてに○)

1. 亂子關係不調 2. 在い自己評価(自信のなさ) 3. 壓抑不安定 4. うつ状態 5. 睡眠障害 6. 自傷行為

7. 乱射意願 8. PTSD 9. 解離 10. バニック 11. 不登校 12. 保健室登校

13. 友人から孤立 14. いじめ被害を受けた 15. 性への依存 16. 同性への過剰な恋愛

17. インターコット上の人の関係への依存 18. 驚出・無断外出 19. 本屋の不適切な執拗

20. その他の()

21. あてはまるものはない 22. わからない

問 3-4-9-2. 児童を取りまく環境(あてはまるものすべてに○)

1. 保護者の若年出産 2. 保護者との分離体験 3. 経済的な困難 4. 保護者の不安定な勤労

5. ひとり親家庭 6. ステップファミリー 7. 保護者のDV 8. 夫婦間不和

9. 夫婦間以外の家族間の不和 10. 保護者の心身の不安定状態 11. 保護者の無関心 12. 朝族から孤立

13. 地域から孤立 14. 頻繁な転居 15. 使いまたは劣悪な住環境 16. その他の()

17. あてはまるものはない 18. わからぬ

問 3-4-10. 当該ケースにおいて、児童に具体的にどのような対応を行いましたか。

1. 終結(市區町村等)に引き起い状況 (あてはまるものすべてに○)
 2. 終結(完全に相談終了) 3. 調査中(取り扱い中)
4. 徒歩指導中 5. 児童権利司指導中 6. 旅館入所中 7. 学校訪問による面接
 7. 里親委託中 8. 家裁送致 9. 調成 譲約 10. 他機関轉達(機関種別)
 11. 他の児童相談所に移管 12. その他()

問 3-4-10-2. 児童と家族に行った援助の実績状況(あてはまるものすべてに○)

1. 来所してもらひ個別面接 2. 家庭訪問による面接 3. 旅館入所中 4. 個別心理療法
 5. グループ活 法 6. 精神科医鑑 7. 学校訪問による面接 8. 司法面接
 9. 一時保護・一時保健委託 10. 警察への相談・告発 11. 其の他()
 12. その他()

問 3-4-10-3. 当該ケースは刑事案件化していますか。

1. 刑事事件化した 2. 刑事事件化していない 3. その他()

問 3-4-11. 当該ケースにおける児童買春もしくは児童ポルノ被害問題に対応するうえで、どのようなことに困難を感じましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 児童本人が加害側との關係不和を露めて被害について語らない
 2. 児童本人が問題行動であると認識し、被害について語らない
 3. 情報が発言することで保護者がから見捨てられる不安を抱きがち
 4. 児童本人に十分な判断能力がなく、事情を把握できない
 5. 保護者が被害を隠蔽する
 6. 問題発覚すると、保護者が児童に巨魔感を持つ
 7. 保護者が問題に向き合えない
 8. 保護者や家族の間で意見が合わない
 9. 児童を被害者として対応するが指導対象として対応するかという混乱が生じる
 10. 向けを児童買春被害もしくは児童ポルノ被害とするかのガイドラインが所内にない
 11. 児童答申担当者が向児童買春・児童ポルノ被害とするのがわからず
 12. 児童から被害を聞き取る適切な方法がわからず
 13. その他()
 14. 困難を感じることはなかった

問 3-4-12. 当該ケースにおける児童買春もしくは児童ポルノ被害問題に対応するうえで、どのような社会資源が必要と考られましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 児童買春・児童ポルノ流出後、画像消去する協力機関
 2. 児童買春・児童ポルノ被害に関する専門的な相談機関
 3. 法的に取られたシエレーター
 4. 性被害に専門できる病院・クリニック
 5. 性被害を受けた児童のためのカウンセリング(性教育合む)
 6. 指揮した児童を一時保護できる協力機関
 7. 児童買春・児童ポルノ被害対応ガイドライン
 8. その他()
 9. 必要となる社会資源はない
 10. わからぬ

以上で質問は終ります。ありがとうございました。3案件目がある方は次ページへお進みください。
 尚、3案件以上お持ちの方は予め調査票をコピーしていただきますようお願いいたします。

<案件目>

問 3-4-1. まず初めに把握されている事例は「児童買春」にかかるもののか、「児童ポルノ」にかかるもののかをお選びください。

1. 児童買春 → 「児童買春」の段階へお進みください
 2. 児童ポルノ → 「児童ポルノ」の段階へお進みください
 3. 児童ポルノ、児童買春複合 → 「児童ポルノ」、「児童買春」[児童ポルノ]、両方の段間にお答えください

【児童買春】

問 3-2. 以下の(a) (b) (c) (d) の各項目について当てはまるものすべてに○をつけてください。

- (a) 買した者 1. 買した者 2. 18歳以上の個人(家庭教師) 3. 18歳未満の児童 4. その他() 5. 不明
 (b) 買春者と接触したきっかけ 1. SNS、アドバイザリ等ネットを通じて 2. JC-JKビジネス 3. 家族による斡旋 4. 交際相手・親人・友人による斡旋 5. その他() 6. 不明
 (c) 買春の方法 1. 金車 2. 宿泊 3. 金品 4. その他() 5. 不明
 (d) 行動 1. 性交、性交連続行為 2. 口 3. 膣 4. 不明
 2. 相手方が児童の身体をさわる 1. 脣 2. 乳首 3. 腹部 4. 肛門 5. 性器 6. 大腿部
 3. 相手方が自己の身体を触らせる 1. 脣 2. 乳首 3. 腹部 4. 肛門 5. 性器 6. 大腿部
 4. 下着を弄る
 5. 性的な接觸は確認されないが、金品と引き換えにデータやお茶をしている
 6. その他() 7. 不明

※上記質問で身体部位を把握するのは、麻酔された部位によって法律に抵触するものとどうやないものがもあるたたがです。

※【児童買春】のみが該当する場合には、「問3-4」へお進みください。

【児童ポルノ】

問 3-1で2もしくは3と答えた方は、こちらの質問にお答えください。

- (a)撮影を行った者 1. 本人 2. 交際相手(18歳未満) 3. 交際相手(18歳以上) 4. 家族 5. 買春者
 6. 法人 7. 18歳未満の児童交際相手・家族・買春者(除く) 8. その他() 10. 不明
 8. 18歳以上の個人(交際相手・家族・買春者除く) 9. その他() 11. 不明
 (b)きっかけ 1. 愛愛(恋愛中に撮影される) 2. 性的虐待(保護者、監護者による)
 3. 家庭内性暴力(さうぢ) 4. 暴威による
 4. 性犯罪被害(交際相手、保護者、監護者、きょうだい、親戚以外による)
 5. 仕事(モテル、ジュニアアイドル) 6. いじめ 7. その他() 8. 不明
 (c)撮影された状況 1. 自らの意志で自ら撮影した 2. 他人に強要されて自ら撮影した 3. 他人に撮影された(本人の同意なし)
 4. 他人に撮影された(本人の同意あり) 5. 不明

(d) 質問紙の提出の有無 1. SNS、メール、LINEやDVDなどの媒体で、第三者が簡単にみられる状態にする(本人の同意なし)
 2. SNS、メール、LINEやDVDなどの媒体で、第三者が簡単にみられる状態にする(本人の同意あり)
 3. 単純断捨れる 4. その他() 5. 不明

(以下は、児童買春、児童ポルノにかかるものとします)

問 3-4-1. 児童の性別をお答えください。

問 3-4-2. 児童の児童相談所での相談受理者は

問 3-4-3. 相談受理をした際の児童の年齢をお答えください。

問 3-4-4. 児童には、障がいがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. なし
2. 発達障がい
3. 知的障がい
4. 精神障がい
5. 身体障がい
6. 知的に境界感
7. 不明

問 3-4-5. 児童の学力はおどれどどの程度だと思われますか。

問 3-4-6. 児童買春、児童ポルノに觸りをもつていたとき、児童は主に勉強していましたか、就労していましたか、勉強していた場合はその形態をお答えください。

問 3-4-7. 児童買春、児童ポルノに触りをもついた家庭の構成員をすべてお答えください。

- | | | | | | | |
|------------|------------|---------------------|----------------|--------|-------|-----------|
| 1. 実父 | 2. 実母 | 3. 継父 | 4. 継母 | 5. 爪父 | 6. 爪母 | 7. 異児()人 |
| 8. 弟弟()人 | 9. 妹妹()人 | 10. 弟弟()人 | 11. 異兄()人 | | | |
| 12. 異弟()人 | 13. 異妹()人 | 14. 異妹()人 | 15. 祖父 | 16. 祖母 | | |
| 17. おじ | 18. おば | 19. その他親戚(いとこ等)()人 | 20. 親の内縁の夫 | | | |
| 21. 親の内縁の妻 | 22. 里父 | 23. 里母 | 24. その他同居人()人 | | | |

問 3-4-8. 当該ケースを児童相談所とつないだのは以下のどの組織あるいは個人ですか。

1. 警察
2. 学校
3. 幼稚園・保育園
4. 福祉事務所
5. 市町村の児童相談担当幹部
6. 保健所・保険センター
7. 病院
8. 郡道府県政策の福利施策セミナー
9. 民間支援機関
10. 児童本人
11. 当該児童の保護者
12. 親族
13. 近隣児童(同級生の保護者除く)
14. 同僚生の保護者
15. 弁護士
16. 旅館職員
17. インターネット上の個人關係への依存
18. 犯出・無断外出
19. 本日の不安定な就労
20. その他()
21. おてはまるものはない
22. わからぬ

194

問 3-4-9-1. 児童自身の誤謬(あてはまるものすべてに○)

1. 親子關係不調
2. 低い自己評価(自信のなさ)
3. 感情不安定
4. うつ状態
5. 睡眠障害
6. 自傷行為
7. 自殺念慮
8. PTSD
9. 解離
10. バニッシュ
11. 不登校
12. 保健室登校
13. 友人から孤立
14. いじめ被害を受けている
15. 异性への依存
16. 异性への嫌悪
17. インターネット上の個人關係への依存
18. 犯出・無断外出
19. 本日の不安定な就労
20. その他()
21. おてはまるものはない
22. わからぬ

195

問 3-4-9-2. 児童を取りまく環境(あてはまるものすべてに○)

1. 保護者の若年出産
2. 保護者との分離体験
3. 经济的な困難
4. 保護者の不安定な就労
5. ひとり親家庭
6. ストックファミリー
7. 保護者のDV
8. 失脚感不和
9. 夫婦間以外の家族間の不和
10. 保護者の心身の不安定状態
11. 保護者の懇親心
12. 懇親から孤立
13. 地域から孤立
14. 綱繩な家庭
15. 换いまたは劣悪な住環境
16. その他()
17. おてはまるものはない
18. わからぬ

以上で質問は終了です。ありがとうございました。4案件以上ご回答いただいた方はホッチキスで止めいただきまますようお願い申し上げます。

- 問 3-4-10-1. 当該ケースの取り扱い状況(あてはまるものすべてに○)
1. 搭送(市町区町村等に引受けた)で終了
 2. 終結(完全に相談終了)
 3. 調査中(取り扱い中)
 4. 护理措置中
 5. 児童福祉司指名中
 6. 施設入所中(機関)
 7. 量刑検討中
 8. 家族連絡
 9. 刑事・警戒
 10. 他機関紹介(差別鑑定)
 11. 他の児童相談所に转管
 12. その他の()

問 3-4-10-2. 児童と家族に行った援助の実施状況(あてはまるものすべてに○)

1. 来所してもらい個別面接
2. 家庭訪問による面接
3. 施設に勤務しての面接
4. 種別心理療法
5. グループ療法
6. 精神科医療
7. 学校訪問による面接
8. 司法面接
9. 一時保護・一時保護養育
10. 警察への相談・告発
11. その他医療()
12. その他()

問 3-4-10-3. 当該ケースは刑事事件化していますか。

1. 刑事事件化した
2. 刑事事件化していない
3. その他()

問 3-4-11. 当該ケースにおける児童買春(あてはまるものすべてに○)

1. 児童本人が加害側との関係不和を抱れて被害について語らない
2. 児童本人が問題行動であると誤解し、被害について語らない
3. 問題が発見することで保護者がから見当たる不安を抱きがち
4. 児童本人に十分な判断能力がない、専門家を把握できない、
5. 保護者が被害を認識する
6. 問題発見すると、保護者が児童に忌避感を持つ
7. 保護者が問題に向き合えない
8. 保護者や警察の間で意見が合わない
9. 保護者や警察として対応するか指導を要として対応するかという混乱が生じる
10. 私を児童買春(あてはまるものすべてに○)
11. 児童買春同自身が何を児童買春、児童ポルノ被害とするのがラインが研修内にない
12. 児童から被害を聞き取る適切な方法がわからない
13. その他()
14. 困難を感じたことはなかった
15. わからぬ

問 3-4-12. 当該ケースにおける児童買春(あてはまるものすべてに○)

- 必要とえられましたか。(あてはまるものすべてに○)
1. 児童ポルノ派生後、画像譲りをする協力機関
 2. 児童買春・児童ポルノ被害に囲むする身近な相談機関
 3. 性被害を受けた児童のためのカウンセリング(性教育含む)
 4. 性被害に対応できる病院・クリニック
 5. 性被害を一時保護できる協力機関
 6. 妊娠した児童を一時保護できる協力機関
 7. 児童買春・児童ポルノ被害行方不明
 8. その他()
 9. 必要とする社会資源はない
 10. わからぬ

■ インタビュー事前調査票

実父母の関係	<input type="checkbox"/> 特に問題なし <input type="checkbox"/> 死別（□夫母 □夫母）（当時の児童の年齢：歳） <input type="checkbox"/> 口離婚による離別（児童との交流 □なし □あり）（当時の児童の年齢：歳） <input type="checkbox"/> 口失踪・行方不明による離別（□夫父 □夫母）（当時の児童の年齢：歳） <input type="checkbox"/> 口不明		
児童の虐待の有無	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 身体的（いつから：）（誰から：） <input type="checkbox"/> 精神的（いつから：）（誰から：） <input type="checkbox"/> 性的（いつから：）（誰から：） <input type="checkbox"/> 口ネグレクト（いつから：）（誰から：） <input type="checkbox"/> 口身体障がい（いつから：）（誰から：）		
児童の性被害の有無	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 本児の障がいの有無 <input type="checkbox"/> 口精神障がい（いつから：）（誰から：） <input type="checkbox"/> 口身体障がい（いつから：）（誰から：） <input type="checkbox"/> 口軽度知的障がいが疑われるが、診断なし <input type="checkbox"/> 口生活保護受給なし <input type="checkbox"/> 口非認定世帯 <input type="checkbox"/> 口認定世帯		
児童の就学の状況	<input type="checkbox"/> 就学していない □小学校在学中 □中学校在学中 <input type="checkbox"/> □高校在学中（□金日制 □定期制 □通宿制・単位制 □その他） <input type="checkbox"/> □専門学校在学中 □中卒 □高校中退 □その他（□）		
【学校の状況】	<input type="checkbox"/> 通学：□毎日通っている □休みがちだが通学している □ほとんど通えていない <input type="checkbox"/> □不登校 <input type="checkbox"/> ◆はじめの有無：□なし □あり □不明 <input type="checkbox"/> ◆特別学校・養護学校の在籍経験：□なし □あり □不明		
児童の就労の状況	<input type="checkbox"/> 【就労】 <input type="checkbox"/> □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> □就労中（職種：□）		
同居する家族の構成員	<input type="checkbox"/> ＜保護者＞ <input type="checkbox"/> ◆間柄： □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> ◆間柄： □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> ＜兄弟姉妹（義理含む）＞ □なし □あり <input type="checkbox"/> ◆間柄： □就学中 □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> ＜祖父母＞ □同居なし □同居あり <input type="checkbox"/> ◆間柄： □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> ◆間柄： □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> ＜その他＞（保護者の内縁關係、義戚等） <input type="checkbox"/> ◆間柄： □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> ◆間柄： □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他）		
学力の程度	低い 1 2 3 4 5 高い		
第2回調査の結果	<input type="checkbox"/> 検査結果の発達指教により、下記の区分をお選びください。 <input type="checkbox"/> □正常域 □境界域 □異常域 □不明		
児童の人間関係に関する事項	<input type="checkbox"/> ＜家庭内＞ <input type="checkbox"/> 相談できる相手が □いる（誰：□） □いない □不明 <input type="checkbox"/> ＜家庭外の大人＞ <input type="checkbox"/> 相談できる相手が □いる（誰：□） □いない □不明 <input type="checkbox"/> ＜学校・職場の友人・同僚＞ <input type="checkbox"/> 相談できる相手が □いる（誰：□） □いない □不明 <input type="checkbox"/> ＜学校外の友人＞ <input type="checkbox"/> 相談できる相手が □いる（誰：□） □いない □不明 <input type="checkbox"/> ＜ネット上の知人・友人＞ <input type="checkbox"/> 相談できる相手が □いる（誰：□） □いない □不明		

「児童相談所における児童買春、児童ボルノ被害児童への対応状況に関する調査」

ケース種別		□児童買春 □児童ボルノ	
児童相談所につながったときの当該児童の概要			
性別	男	年齢	ケ月
児童相談所につながった際の主訴		児童の過去の施設入所経験	□なし (理由：□)
児童の就学の状況	<input type="checkbox"/> 就学していない □小学校在学中 □中学校在学中 <input type="checkbox"/> □高校在学中（□金日制 □定期制 □通宿制・単位制 □その他） <input type="checkbox"/> □専門学校在学中 □中卒 □高校中退 □その他（□）		
【学校の状況】	<input type="checkbox"/> 通学：□毎日通っている □休みがちだが通学している □ほとんど通えていない <input type="checkbox"/> □不登校 <input type="checkbox"/> ◆はじめの有無：□なし □あり □不明 <input type="checkbox"/> ◆特別学校・養護学校の在籍経験：□なし □あり □不明		
児童の就労の状況	<input type="checkbox"/> 【就労】 <input type="checkbox"/> □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> □就労中（職種：□）		
同居する家族の構成員	<input type="checkbox"/> ＜保護者＞ <input type="checkbox"/> ◆間柄： □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> ◆間柄： □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> ＜兄弟姉妹（義理含む）＞ □なし □あり <input type="checkbox"/> ◆間柄： □就学中 □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> ＜祖父母＞ □同居なし □同居あり <input type="checkbox"/> ◆間柄： □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> ◆間柄： □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> ＜その他＞（保護者の内縁關係、義戚等） <input type="checkbox"/> ◆間柄： □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他） <input type="checkbox"/> ◆間柄： □非就労 □就労中（□正規 □非正規 □アルバイト □その他）		

	<その他人間関係に関する特記事項>	
児童の 対人関係における特徴	<例：説いを断れない、本心を伝えられない、攻撃的になる等>	
児童の生活環境・家庭環境に関する特記事項	<例：経済的困窮、保護者の病気や障がいの有無、近年出産、家庭内暴力、外国籍等>	
【児童買春】 相手方	□18歳以上の個人 (家族を除く) □18歳未満の児童 □その他() □不明	【児童ボルノ】 撮影を行った者 □本人 □家族 □個人(交際相手・家族除く) □買春者 □法人 □その他() □不明
【児童買春】 対価	□食事 □宿泊 □金品 □好意 □過度なしおき □その他() □不明	【児童ボルノ】 行動 □自分で撮影 □他人に撮影された (本人の同意なし) □他人に撮影された (本人の同意あり) □不明
【児童買春】 行動	□性交・性交類似行為 (□□ □肛門 □陰 □不明) □相手方が児童の身体を触る (□胸 □乳首 □背部 □肛門 □性器 □大腿部 □手 □不明)	【児童ボルノ】 記録媒体の頒布の 有無 □SNS、メール、Line やDVDなどの媒体で、 第三者が簡単にみられる状態にする(本人の 同意なし) □ SMS、メール、Line

	やDVDなどの媒体で、 第三者が簡単にみられる状態にする(本人の 同意なし) □単純所持される □その他() □不明
	□相手方が自己の身體を触らせる (□脚 □乳首 □臀部 □肛門 □性器 □大腿部 □手 □不明) □下着を売る □性的な接触は確認されないが、 保護者・家族以外の大人と一緒に 出掛けている □不明 □その他()
※児童買春・児童ボルノ等どちらの場合もお答えください。	
児童買春・児童ボルノとの関わりをもつたときの状況(共通項目)	
関わりを持つたときの年齢	歳 □不明
加害者(買春相手/撮影側)とどのような媒体でつながったか。	加害者(買春相手/撮影側) □なし □あり (誰:)
子どもが語った児童買春・児童ボルノと関わりをもつかけ	幹旋者の有無 □なし □あり (誰:)
児童買春・児童ボルノと家族構成の変化	□なし □あり(状況: ボルノと関係性 持ったときの生活の変化) □なし □あり(状況: <就学・就労の変化> □なし □あり(状況: <友人関係> □なし □あり(状況: <生活環境の変化> □なし □あり(状況: <その他特記事項:>)

当該児童への対応			
<input type="checkbox"/> 面接指導 (<input type="checkbox"/> 助言指導) <input type="checkbox"/> 他機関あつせん)	一時保護	<input type="checkbox"/> なし □あり (_____)	日間)
<input type="checkbox"/> 児童福祉司指導	施設入所措置・ 里親委託措置	<input type="checkbox"/> なし □施設入所措置 (種別： _____))
<input type="checkbox"/> 児童委員指導	その他)	<input type="checkbox"/> なし □あり (内容： _____)	口里親委託措置)
<input type="checkbox"/> 児童家庭支援センター指導・指 導委託	加害親と児童を分断 するための対応)	<input type="checkbox"/> なし □なし □あり (内容： _____))
<input type="checkbox"/> 口福祉事務所送致又は通知(知的 障害者福祉司・社会福祉主事指導 を含む)	児童買春被置後の 医療機関の受診	<input type="checkbox"/> なし □あり (_____)	科)
<input type="checkbox"/> 児童相談所送致	保育プログラムの状況 来所してもらい)	<input type="checkbox"/> なし □あり	
<input type="checkbox"/> 口知的障害者福祉司社会福祉主事 指導	個別面接)	<input type="checkbox"/> なし □あり	
<input type="checkbox"/> 助産又は母子保健の実施に係る 都道府県知事への報告	家庭訪問による面接)	<input type="checkbox"/> なし □あり	
<input type="checkbox"/> □訓教・養育(誰に： _____)	施設に訪問しての 面接)	<input type="checkbox"/> なし □あり	
<input type="checkbox"/> □児童福祉施設入所 □指定医療機関委託	学校訪問による面接)	<input type="checkbox"/> なし □あり	
<input type="checkbox"/> □児童福祉施設通所 □法第27条第1項第4号による 家庭裁判所送致	個別心理療法)	<input type="checkbox"/> なし □あり	
<input type="checkbox"/> □障害児入所施設等への利用契約 □その他 (_____)	グループ療法)	<input type="checkbox"/> なし □あり	
<input type="checkbox"/> □未対応	精神科医療) 保護者への支援・指導)	<input type="checkbox"/> なし □あり	
	通所グループへの 参加の有無)	<input type="checkbox"/> なし □あり	
	教育機関との連携)	<input type="checkbox"/> なし □あり (内容： _____))
	警察との連携)	<input type="checkbox"/> なし □あり (内容： _____))
	その他 当該児童に 行った対応	<自由記述>	

付 記

本調査は、厚生労働省 平成27年度子ども・子育て支援推進調査研究事業の助成をうけて実施しました。

本調査に協力してくださった児童相談所の皆さんに心より御礼申し上げます。

【委員名簿】

委 員

◎湯澤 直美 立教大学 教授
福富 護 東京学芸大学 名誉教授
川松 亮 子どもの虹情報研修センター 研究部長
藤原 志帆子 特定非営利活動法人人身取引被害者サポートセンターイトハウス 代表
武子 愛 淑徳大学大学院 博士後期課程、人間総合科学大学 非常勤講師
赤嶺 恵理 杏林大学 専任講師
田中 元基 千葉市子育て支援館 臨床発達心理士

※ ◎ (委員長)

委託先

株式会社 朝日エル

事務局

坂本 新 特定非営利活動法人人身取引被害者サポートセンターイトハウス 事務局長

【執筆分担】

はじめに：藤原 志帆子

第1章：武子 愛

第2章：武子 愛・赤嶺 恵理・田中 元基

第3章 第1節：田中 元基

第2節：赤嶺 恵理

第3節：赤嶺 恵理・武子 愛

第4章 第1節：湯澤 直美

第2節：川松 亮

第5章 第1節：藤原 志帆子

第2節：福富 護

おわりに：湯澤 直美

平成 27 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
「児童相談所における児童買春、児童ポルノ被害児童への
対応状況に関する研究」報告書

2016 年 3 月

「児童相談所における児童買春・児童ポルノ被害児童への
対応状況に関する調査研究事業研究会」編

発行

(特非) 人身取引被害者サポートセンター ライトハウス
〒150-8691 東京渋谷郵便局 私書箱 7 号
TEL : 050-3496-7615 FAX : 020-4669-6933
URL : <http://lhj.jp/>

印刷・製本

株式会社 トータルアドプランニング
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-23-2
TEL03-3946-5090 (代) FAX03-3946-8477

